

# 川崎地区コミュニティセンター改築工事（建築主体工事）設計図

事業主体 亀山市



一級建築士事務所

株式会社

上野建築研究所

# 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事) 図面リスト

NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE
<改築>						<構造>		
A-01	建築工事 特記仕様書-1		R-05	<既存棟> 配置図・仕上表 (改修前・後)		S-01	<本館棟> 木構造特記仕様書	
A-02	建築工事 特記仕様書-2		R-06	<既存棟> 平面詳細図 (改修前・後)	A3版1/100 A1版1/50	S-02	<本館棟> 構造用集材工事特記仕様書	
A-03	建築工事 特記仕様書-3		R-07	<既存棟> 矩計図 (改修前・後)	A3版1/60 A1版1/30	S-03	<本館棟> 位置図・地質柱状図	A3版1/400 A1版1/200
A-04	建築工事 特記仕様書-4		R-08	<既存棟> 立面図・断面図 (改修前)	A3版1/100 A1版1/50	S-04	<本館棟> 基礎伏・基礎詳細図	A3版1/200・60 A1版1/100・30
A-05	建築工事 特記仕様書-5		R-09	<既存棟> 立面図・断面図 (改修後)	A3版1/100 A1版1/50	S-05	<本館棟> 床伏図・部材リスト	A3版1/200 A1版1/100
A-06	建築工事 工事区分表		R-10	<既存棟> 展開図 (改修前)	A3版1/100 A1版1/50	S-06	<本館棟> 小屋伏図	A3版1/200 A1版1/100
A-07	建築工事 メーカーリスト		R-11	<既存棟> 展開図 (改修後)	A3版1/100 A1版1/50	S-07	<本館棟> 軸組図-1	A3版1/200 A1版1/100
A-08	<共通> 用地測量・仮設計画図(案)	A3版1/800 A1版1/200	R-12	<既存棟> 天井伏・屋根伏図 (改修前・後)	A3版1/100 A1版1/50	S-08	<本館棟> 軸組図-2	A3版1/200 A1版1/100
A-09	<共通> 敷地求積・建物求積図	A3版1/400・300 A1版1/200・150	R-13	<既存棟> 建具指示・建具表 (改修前・後)	A3版1/200 A1版1/100	S-09	<本館棟> 構造詳細図	A3版1/100・40 A1版1/50・20
A-10	<本館棟> 設計概要・付近見取図・仕上表		<外構>			S-10	<本館棟> Zマーク表示金物リスト	
A-11	<本館棟> 配置図・平面図	A3版1/200 A1版1/100	L-01	<共通> 外構撤去図	A3版1/200 A1版1/100	S-11	<既存棟> 木構造耐震補強工事特記仕様書 No.1	
A-12	<本館棟> 立面図・断面図	A3版1/200 A1版1/100	L-02	<共通> 外構計画図	A3版1/200 A1版1/100	S-12	<既存棟> 木構造耐震補強工事特記仕様書 No.2	
A-13	<本館棟> 矩計図	A3版1/60 A1版1/30	L-03	<共通> 外構詳細図	A3版1/60・40 A1版1/30・20	S-13	<既存棟> 基礎伏・床伏図(補強前)	A3版1/100 A1版1/50
A-14	<本館棟> 平面詳細図	A3版1/100 A1版1/50	<解体>			S-14	<既存棟> 基礎伏・床伏図(補強後)	A3版1/100 A1版1/50
A-15	<本館棟> 展開図-1	A3版1/100 A1版1/50	D-01	解体工事 特記仕様書		S-15	<既存棟> 小屋伏・庇伏図(補強前)	A3版1/100 A1版1/50
A-16	<本館棟> 展開図-2	A3版1/100 A1版1/50	D-02	解体工事 全体配置図		S-16	<既存棟> 小屋伏・庇伏図(補強後)	A3版1/100 A1版1/50
A-17	<本館棟> 天井伏図	A3版1/100 A1版1/50	D-03	<旧近澤医院 診療所> 解体図-1	A3版1/200 A1版1/100	S-17	<既存棟> 軸組図 (補強前)	A3版1/100 A1版1/50
A-18	<本館棟> 建具指示図・建具表	A3版1/200 A1版1/100	D-04	<旧近澤医院 診療所> 解体図-2	A3版1/200・60 A1版1/100・30	S-18	<既存棟> 軸組図 (補強後)	A3版1/100 A1版1/50
A-19	<本館棟> 家具詳細図	A3版1/100・60 A1版1/50・30	D-05	<旧近澤医院 母屋・トイレ> 解体図	A3版1/200 A1版1/100	S-19	<既存棟> 補強詳細図-1	A3版1/100 A1版1/50
A-20	<共通> サイン計画 位置図・リスト	A3版1/400・20 A1版1/200・10	D-06	<旧近澤医院 2階建て倉庫> 解体図-1	A3版1/200 A1版1/100	S-20	<既存棟> 補強詳細図-2	A3版1/100 A1版1/50
<改修>			D-07	<旧近澤医院 2階建て倉庫> 解体図-2	A3版1/200・60 A1版1/100・30			
R-01	改修工事 特記仕様書-1		D-08	<旧近澤医院 平家建て倉庫> 解体図	A3版1/200・60 A1版1/100・30			
R-02	改修工事 特記仕様書-2		D-09	<現川崎地区コミュニティセンター施設> 解体図-1	A3版1/200 A1版1/100			
R-03	改修工事 特記仕様書-3		D-10	<現川崎地区コミュニティセンター施設> 解体図-2	A3版1/200・60 A1版1/100・30			
R-04	改修工事 特記仕様書-4		D-11	<現川崎地区コミュニティセンター施設> 解体図-3	A3版1/200 A1版1/100			
			D-12	<現川崎地区コミュニティセンター施設> 解体図-4				

建築工事特記仕様書																																																																											
I 建築工事仕様																																																																											
<p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(平成22年版)」(以下「標仕」という。)による。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事および機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を用いる。なお、電気設備工事の工事仕様書は(E-1)図、機械設備工事の工事仕様書は(M-1)図による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の( . . . )内の表示番号は、共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) (別 . . . )は(5. 3. 7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。</p> <p>(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。</p>		<p>① 完成図等</p> <p>② 施工図等の取扱い</p> <p>③ 完成写真</p>		<p>○作成する ・作成しない 着手時に製本を提出 ※A2版(3部)、A3縮小版(3部) 完成図 ※A2版(3部)、A3縮小版(3部) 施工図 ※1部 保全に関する資料の部数 ※1部 完成図の原図サイズ及び仕様 ※現場説明書による ○A2版 監督員の指示による その他提出書類は監督員の指示による</p> <p>施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。</p> <p>下記のことを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・モノクローム ※キャビネ版</td> <td>外部( )内部( )</td> <td>※2</td> <td>※100×125以上</td> </tr> <tr> <td>○カラー ○キャビネ版 ○サービス版</td> <td>外部(4面) 内部(各室2面)</td> <td>※2</td> <td>※100×125以上</td> </tr> <tr> <td>(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カラー四切木製パネル</td> <td>外部( )内部( )</td> <td>※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カラー半切木製パネル</td> <td>外部( )内部( )</td> <td>※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カラスライド</td> <td>外部( )内部( )</td> <td>※1</td> <td>※24×36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外部( )内部( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>撮影業者 ○監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※図示 ○SGL=KBM-300</p> <p>工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は構造・仕上げ共在来にならない補修する。</p>		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)	・モノクローム ※キャビネ版	外部( )内部( )	※2	※100×125以上	○カラー ○キャビネ版 ○サービス版	外部(4面) 内部(各室2面)	※2	※100×125以上	(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)				・カラー四切木製パネル	外部( )内部( )	※2		・カラー半切木製パネル	外部( )内部( )	※2		・カラスライド	外部( )内部( )	※1	※24×36以上		外部( )内部( )			<p>⑤ 鉄筋工事</p> <p>① 鉄筋の種類 (5. 2. 1) (表5. 2. 1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○SD295A</td> <td>※D16以下</td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 鉄筋の継手 (5. 3. 4)</p> <p>呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ○重ね継手</p> <p>③ 鉄筋の最小かぶり厚さ (5. 3. 5)</p> <p>最小かぶり厚さは目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>共仕表5. 3. 5の値に加える寸法(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面</td> <td>※内側10、外側20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 既製コンクリート杭の杭頭補強 (5. 3. 1) (別1. 1)</p> <p>5 最上階柱頭補強 (別2. 1)</p> <p>※行方 ・行わない</p> <p>⑥ 帯筋 (別2. 2)</p> <p>※H形(口は除く)</p> <p>⑦ 壁開口部の補強 (別4. 2) (別表4. 3) (別表4. 4)</p> <p>一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 耐震壁 ※図示</p> <p>8 梁貫通孔の補強形式 (別7. 1) (別表7. 1~別表7. 3)</p> <p>※H形 ・MH形 ・M形</p> <p>9 機械吊上げ用フック (別7. 3)</p> <p>・A種 ・B種 ・C種(ヶ所)</p> <p>10 圧接完了後の試験 (5. 1. 1. 9)</p> <p>※超音波探傷試験 ・引張試験</p>		種類の記号	呼び名(mm)	○SD295A	※D16以下	・SD345	※D19以上					施工箇所	共仕表5. 3. 5の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※内側10、外側20																						
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)																																																																								
・モノクローム ※キャビネ版	外部( )内部( )	※2	※100×125以上																																																																								
○カラー ○キャビネ版 ○サービス版	外部(4面) 内部(各室2面)	※2	※100×125以上																																																																								
(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)																																																																											
・カラー四切木製パネル	外部( )内部( )	※2																																																																									
・カラー半切木製パネル	外部( )内部( )	※2																																																																									
・カラスライド	外部( )内部( )	※1	※24×36以上																																																																								
	外部( )内部( )																																																																										
種類の記号	呼び名(mm)																																																																										
○SD295A	※D16以下																																																																										
・SD345	※D19以上																																																																										
施工箇所	共仕表5. 3. 5の値に加える寸法(mm)																																																																										
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※内側10、外側20																																																																										
<p>① 一般共通事項</p> <p>① 適用基準等</p> <p>○公共建築改修工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版) ○木造建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版) ○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版) ○工事写真の撮り方(最新版) ○建築鉄骨設計基準及び同解説(最新版) ○敷地調査共通仕様書(最新版)</p> <p>② 工事実績情報の登録 (1. 1. 4) ※適用する</p> <p>③ 発生材の処理等 (1. 1. 13) ※現場説明書による ○構外搬出適切処置</p> <p>④ 品質計画 (1. 2. 2) ※建築基準法に基づき定められる風圧区分等の適用工事 ・8章 ・9章 ・10章 ・13章 ・14章 ・16章 ・17章 ○風速(Vo=3.4m/sec) ○地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ○積雪区分 告示第1455号 別表(4.0cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>)</p> <p>⑤ 電気保安技術者 (1. 3. 3) ※適用する</p> <p>6 条件明示項目 (1. 3. 5)</p> <p>⑦ 建築材料等</p> <p>※本工事に使用する建築材料等は、別記記載規格によるほか建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」及び別記記載の資材及び見積りメーカー(参考)又はこれらと同等とする。</p> <p>品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、資源の活用はもちろんのこと他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。</p> <p>※合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない、難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒドアセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないものか発散が少ないものとする。これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が少ないものとする。</p> <p>⑧ 室内空気中の化学物質濃度測定 (1. 5. 2) ※測定箇所(5箇所 ※図示) ※測定方法(パッシブ法) ※報告書(2部提出) ※内装工事終了後、換気・通風を行い採取することとし、困難な場合は監督員と協議すること。</p> <p>⑨ 特別な材料の工法 ※共仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>⑩ 技能士</p>		<p>② 仮設工事</p> <p>① 監督職員事務所 監督職員事務所の規模その他 ※現場説明書による ○図示 (2. 3. 1) (表2. 3. 1)</p> <p>② 工事用水 構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる(※有償・無償) (2. 3. 1)</p> <p>③ 工事用電力 構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる(※有償・無償) (2. 3. 1)</p> <p>③ 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土 種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 (3. 2. 3) (表3. 2. 1)</p> <p>② 建設発生土の処理 ※現場説明書による。 (3. 2. 5) ○構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し</p> <p>3 地盤改良 ・セメント系地盤改良材 kg/m3 添加量については現場の土を採取の上、事前配合・六価クロム溶出試験等により決めること また、施工後、一軸圧縮試験及び平板載荷試験を行い地耐力を確認する。 ※設計基準強度 kN/m2(長期) ○平板載荷試験を行い地耐力を確認する。 長期耐力50kN/m2×3倍(1箇所 ※図示)</p> <p>④ 載荷試験</p>		<p>⑥ コンクリート工事</p> <p>① 普通コンクリートの設計基準強度 (6. 1. 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度Fc(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○21</td> <td>基礎躯体、主要構造部</td> </tr> <tr> <td>○18</td> <td>上記以外</td> </tr> </tbody> </table> <p>② レディーミクストコンクリートの種別</p> <p>③ セメントの種類 (6. 1. 5) (6. 4. 1) (6. 4. 2) (表6. 1. 1) (6. 3. 2) (6. 1. 3. 2) (6. 1. 6. 2) (表6. 3. 1)</p> <p>※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種(場所打ちコンクリート杭) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水和熱</th> <th>7d</th> <th>35.2 J/g以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>28d</td> <td>40.2 J/g以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 骨材の種類 (6. 3. 3) (6. 5. 4) ※A ・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3以下)</p> <p>⑤ 混和材料の種別 (6. 3. 5) (6. 4. 8) ※混和剤 ・混和材</p> <p>⑥ 無筋コンクリート (6. 1. 4. 3) 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup></p> <p>7 コンクリート躯体表面の処理 外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上げり面は凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しは、水圧50N/mm<sup>2</sup>以上かつ、2.5分/m<sup>2</sup>以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ ※20mm</p> <p>8 断熱材兼用型枠 適用及び適用箇所について 19章内装工事14断熱材による</p>		設計基準強度Fc(N/mm <sup>2</sup> )	施工箇所	○21	基礎躯体、主要構造部	○18	上記以外	水和熱	7d	35.2 J/g以下		28d	40.2 J/g以下																																																										
設計基準強度Fc(N/mm <sup>2</sup> )	施工箇所																																																																										
○21	基礎躯体、主要構造部																																																																										
○18	上記以外																																																																										
水和熱	7d	35.2 J/g以下																																																																									
	28d	40.2 J/g以下																																																																									
<p>⑦ 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨の製作工場 (7. 1. 3) ・監督職員の承諾する製作工場(M、Rグレード程度) ※建築基準法に基づく評価を受けた製作工場のうち、下記の条件を満足するもの。 (1) 契約電力 ( )kw以上(デマンド契約した場合はこの70%で可) (2) 超音波探傷器又は放射線透過試験装置 ( )台以上 (3) 建築士 1級( )名以上 2級( )名以上 (4) WES8103 1級( )名以上 2級( )名以上 (5) NDIUT III種( )名以上 II種( )名以上</p> <p>2 施工管理技術者 ※適用する (7. 1. 4)</p> <p>3 鋼材 (7. 2. 1) (7. 2. 10) (表7. 2. 1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼材の材質</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類の記号</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SN490B</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SN490C</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>STK400</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>STKR400</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SSC400</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>BCR295</td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 スクラップ ※改良型スクラップ ・ノンスクラップ</p> <p>5 エンドタブ 鋼製エンドタブ 切断する箇所( )</p>		鋼材の材質	使用箇所	規格等	種類の記号			SS400		※JIS規格による	SN490B		※JIS規格による	SN490C		※JIS規格による	STK400		※JIS規格による	STKR400		※JIS規格による	SSC400		※JIS規格による	BCR295		※JIS規格による	<p>④ 地業工事</p> <p>1 既製コンクリート杭地業 (4. 3. 1) (4. 3. 2) 種類 (4. 3. 1) (4. 3. 2) ※高強度プレストレストコンクリート杭(建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(m)及び種別</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験堀</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭頭の処理 ※切断しない (4. 3. 7) 先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4. 3. 2) 杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。(4. 3. 6)</p> <p>施工法 (4. 3. 3~4. 3. 5) ・認定埋込み杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの) ・打込み工法 ※設計基準強度 RA= kN/m2(長期)</p> <p>鋼杭の材料 (4. 4. 1) (4. 4. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭径×厚さ(mm)</th> <th>杭長(m)及び種別</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>先端部形状及び補強 ※開放形 ・補強(※図示) (4. 4. 2) 施工法 (4. 3. 3~4. 3. 5) ・認定回転貫入工法(建築基準法に基づく杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの) ※設計基準強度 RA= kN/本(長期)</p> <p>※再生クラッシュラン ○切込み砂利及び切込み砕石 (4. 6. 3)</p> <p>施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4. 6. 6) ○防湿ポリエチレンフィルム敷き 厚さ 0.15mm ○断熱ポリスチレンフォーム敷き 厚さ 25.00mm</p> <p>③ 砂利地業 (4. 6. 3)</p> <p>④ 床下防湿層</p>			杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考	試験堀						試験杭						本杭												杭径×厚さ(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考										
鋼材の材質	使用箇所	規格等																																																																									
種類の記号																																																																											
SS400		※JIS規格による																																																																									
SN490B		※JIS規格による																																																																									
SN490C		※JIS規格による																																																																									
STK400		※JIS規格による																																																																									
STKR400		※JIS規格による																																																																									
SSC400		※JIS規格による																																																																									
BCR295		※JIS規格による																																																																									
	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考																																																																						
試験堀																																																																											
試験杭																																																																											
本杭																																																																											
杭径×厚さ(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考																																																																							
<p>特記事項</p> <p>変更事項</p> <p>日付</p>		<p>一級建築士事務所 (三重県知事)登録第1-748号 管理建築士・今岡雄之 一級建築士登録第55324号 松本正博 一級建築士登録第187579号 〒518-0401 三重県伊賀市平野見地330-22 330-22 HIRANOMINOH, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-6272 FAX(0595)23-6273</p> <p>日付 11.03.10 名簿 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図 図名 縮尺 積印 A20-01 NS</p> <p>原簿番号</p>																																																																									

6 高力ボルト	※トルシア高力ボルト ・ J I S 高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)		2 改質アスファルトシート防水	種別 AS-1 AS-2 厚さ ( ) (9.3.2~9.3.4)		3 陶磁器質タイル型枠先付け工法	(11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)	
	7 溶接部の試験	A O Q L ※4.0% 2.5% (7.6.11) 検査水準 ※第6水準 図示 (7.6.11) (表7.6.2)		施工箇所 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1)			適用タイル 種類 タイル型枠先付け面のせき板 小口タイル ※タイルシート法 ※共仕6.9.3「材料」(b)(3)又は 二丁掛タイル 目地樹工法 金属製タイル先付け用パネル 大形タイル 枝木法	
8 耐火被覆	試験の種類 試験箇所 試験方法 ※超音波探傷試験 完全溶込み溶接部 ※共仕7.6.11(b)による ・放射線試験 ・マクロ試験		3 合成高分子系ルーフィングシート防水	種別 厚さ(mm) 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類 ・S-F1 ※1.2 シルバー ※非歩行 ・S-F2 ※2.0 カラー ・S-F3 ※2.0 ・S-M1 ※1.5 ・S-M2 ※1.5 ※1.5		⑫ 木工事	① 木材の品質 ※共仕12.2.1 ※構造材、造材は 市内製材所等 を優先とする。 (12.2.1) ・保存処理木材を適用する箇所 (土台)	
	(7.9.2~7.9.6)			(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)			② 樹種 ※共仕表12.2.3による (12.2.1) (表12.2.3) ○代用樹種を適用しない箇所 (集会所、構造集材) ◎産地指定等の木材で入手が困難な場合は、監督職員と協議し承諾するものとする。 (12.2.2)	
⑨ アンカーボルトの保持及び埋込み工法	※構造用アンカーボルト (※上スルーPL4.5、下スルーPL6.0、四隅下部L-5.0*4*4) (表7.10.1) ・建方用アンカーボルト (A種 B種 C種)		4 塗膜防水	種別 施工箇所 備考 ・X-1 仕上げ塗料塗り ・X-2 シルバー カラー ・Y-1 地下外壁防水 Y-2工法の保護シート ・Y-2 ※適用する 適用しない		⑬ 屋根及びとい工事	③ 集成材	
⑩ 柱底均しモルタル工法	※A種 B種 (7.2.9) (表7.10.2) 無収縮モルタルの製造所 評価名簿による			脱気装置 設ける 材質 ( ) 設置数量 (㎡当たり1箇所)			④ 接着剤	
11 溶融亜鉛めっき工法	亜鉛めっきの種類 材料 適用部位 A種 最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板 B種 最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 業地ごしらは、J I S H 9 1 2 4 溶融亜鉛めっき作業標準による。		⑤ シーリング	下表以外は、表9.6.1による (9.6.2) (表9.6.1)		⑭ 金属形成板葺	⑤ 防腐・防蟻処理	
⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・ALCパネル・押出成形セメント板工事	① 建築用コンクリートブロック 補強コンクリートブロック造 ※空洞ブロック16 空洞ブロック16-W (8.2.2) 帳壁及び扉 ※共仕表8.3.1及び下表による (8.3.2)			施工箇所 シーリング材の種類(記号) ○誘発目地・外壁、建具廻り MS-2 ○内部取合 SR-2 ○ガラス SR-1			⑥ 床板張り	
2 ALCパネル SDR工法	適用箇所 厚さ(mm) ・間仕切壁 地下二重壁 外壁 ○断 高 2m以下 120 さ 2mを超える 150 ・衛生配管用裏積みブロック 100		⑩ 石工事	石の品質 (10.2.1) 床用石材 ※2等品 壁及びその他の石材 ※1等品 石の種類・表面仕上げ (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)		⑮ タイル工事	① 天然石張り	
③ 押出成形セメント板	(8.4.2~8.4.5) (表8.4.2) (表8.4.3)			種別 種類 産地・名称(厚さmm) 仕上げの種類 男性用トイレ 花崗岩 御影石 20 ※本磨き パーナー仕上			② テラソ張り	
3 押出成形セメント板	種別 単位荷重(N/㎡) 厚さ(mm) 取付け工法種別 ・外壁パネル 1180・1960 ※100+25 A種 D種 E種 ・間仕切壁パネル ※100 D種 E種 F種 G種 ・屋根パネル 9801 ※100 ※共仕8.4.6による ・床パネル 2350・3530 100 150		⑪ タイル工事	外壁石張り (10.3.2) (10.3.3) (10.5.2) (10.5.3) 工法 ・外壁湿式工法(※流し筋工法) 乾式工法 石裏面処理 行う(小口共) 裏打ち処理 行う ドレインパイプ ※ステンレス SUS304		⑯ 防水工事	② 壁の石張り工法	
⑨ 1 アスファルト防水	厚さ ※50mm以上 (8.5.2~8.5.5) (表8.5.1) (表8.5.2) 種類 無石棉タイプ (タイプII) (8.5.2~8.5.5) (表8.5.1) (表8.5.2)			内壁石張り (10.4.2) (10.4.3) (10.5.2) (10.5.3) 工法 ・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法 あと施工アンカー工法)			⑰ 金属工事	
2 防水工事	施工箇所 表面形状 工法 耐火性能 ・外壁 ※フラットパネル A種 ※有り( ) ・デザインパネル B種 無し( ) ・タイルベースパネル C種 ・間仕切り壁 ※フラットパネル B種 ※有り( ) ・デザインパネル(図示) C種 無し( ) ・タイルベースパネル		裏打ち処理 行う 床石張りの裏面処理 行う (10.6.2) 屋内のワックス掛け 行う (10.1.5)		⑱ 建築工事		① ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	
3 防水工事	製造所 評価名簿による		タイルの種類 (11.2.1)		⑲ 建築工事		② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)	
4 防水工事	厚さ 50mm未満 種類 無石棉タイプ		タイルの種類 形状寸法(mm) きじ うわぐすり 役物 色 備考 施工箇所 磁器 磁器 陶器 施功 無功 あり なし 標準 特注 外装床 300*300 ○ - - ○ ○ ○ - ※点字・誘導タイル 外装床 150*150 ○ - - ○ ○ ○ ○ ※段鼻タイル		⑳ 建築工事		③ 鉄の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	
5 防水工事	種別 施工箇所 (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.11)		役物:標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない 行う(※外壁タイル)		⑳ 建築工事		④ 溶融亜鉛めっき (14.2.1)	
6 防水工事	※A1-2 A-2 D-1 B1-2 床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ E-1		内装タイル ※壁タイル接着剤張り 横上げ張り (11.3.3) (表11.3.2) 外装タイル 密着張り マスク張り 躯体表面の処理 行う ※MCR工法6章コンクリート工事又は 高圧水洗(ポリマーセメントモルタル下地)工法 施工範囲 図示		⑳ 建築工事		⑤ 電気亜鉛めっき (14.2.1)	
7 防水工事	アスファルト ※3種 4種 (9.2.2) 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 (9.2.2) ただし、特定フロンを含まないもの。		下地モルタル塗り ※共仕15.2.2~15.2.5による タイルの試験張り ※行わない 行う(※外壁タイル) (11.2.1) 既調合モルタルの製造所 評価名簿による (11.2.3) ポリマーセメントモルタルの製造所 評価名簿による 製造所 評価名簿による		⑳ 建築工事		⑥ 溶融亜鉛めっき (14.2.1)	
8 防水工事	立上り部の保護 ・れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板(厚さ15mm) (9.2.5) 製造所 評価名簿による				⑳ 建築工事		⑦ 溶融亜鉛めっき (14.2.1)	

<p>④ 手すり及びタラップ等</p> <p>5 金属成形板張り</p> <p>6 アルミニウム製空木</p> <p>7 ふっ素樹脂焼付塗装鋼板</p>	<p>(14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料の種類</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">手すり・車止パイプ</td> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>※H L程度 ○鏡面程度 ○B程度</td> </tr> <tr> <td>・鉄</td> <td>亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タラップ</td> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>※研磨無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき 内外部 ※C種</td> </tr> </table> <p>(14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>製法</th> <th>材種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・スパンドレル形</td> <td>※押出し ・ロール</td> <td>※アルミニウム製</td> <td>巾156×H17</td> <td>0.6</td> <td>・B-1種</td> </tr> <tr> <td>・パネル形</td> <td>※プレス</td> <td>・B-1種 ・B-2種 ( )</td> <td></td> <td></td> <td>※B-2種(カラー)</td> </tr> </table> <p>伸縮調整機手 ※設けない ・設ける(施工箇所は図示) (14.6.3)</p> <p>(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・250形</td> <td>2.2以上</td> <td>※A-1又は B-1種</td> <td>固定方法及び 間隔は品質計 面で定めたもの</td> <td>隅角部及び突出り部等の 役物は本体製造所の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>2.5以上</td> <td>・B-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>3.0以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所</p>	種類	材料の種類	表面処理	手すり・車止パイプ	※ステンレスSUS304	※H L程度 ○鏡面程度 ○B程度	・鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種	タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し		亜鉛めっき 内外部 ※C種	形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	・スパンドレル形	※押出し ・ロール	※アルミニウム製	巾156×H17	0.6	・B-1種	・パネル形	※プレス	・B-1種 ・B-2種 ( )			※B-2種(カラー)	種類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考	・250形	2.2以上	※A-1又は B-1種	固定方法及び 間隔は品質計 面で定めたもの	隅角部及び突出り部等の 役物は本体製造所の仕様による。	・300形	2.5以上	・B-2種			・350形	3.0以上				<p>5 鋼製軽量建具</p> <p>品質規格 ※共仕による ・製造所標準仕様による (製造所 評価名簿による) 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 標準型建具 簡易気密型ドアセット ・適用する (16.4.5) 製造所 評価名簿による</p> <p>6 ステンレス製建具</p> <p>製品の許容寸差(ただし書きの建具) ※製造所標準製作規定寸法許容差による (16.5.4) 表面仕上げ ※H L程度 ・鏡面仕上げ (16.5.5) 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり) 特定防火設備の戸 ・適用する (表16.5.1)</p> <p>7 自動ドア開閉装置</p> <table border="1"> <tr> <th>開閉方法</th> <th colspan="2">センサの種類</th> </tr> <tr> <td>※スライディングドア ・スイングドア</td> <td>・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ</td> <td>・電子マットスイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ</td> </tr> </table> <p>(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)(表16.8.3)</p> <p>⑧ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>品質規格 ※共仕16.9.3による ・製造所標準仕様による</p> <p>⑨ 木製建具</p> <p>かまち戸の樹種 ※特記以外、かまち(スプルス) 鏡板(スプルス) (16.6.2) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) (表16.6.3) ・鳥の子 ※合板類は、JASで定めるホルムアルデヒド放出量の等級 F☆☆☆☆ (16.6.2) ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)およびパーティクルボード (19.7.2) JISで定めるホルムアルデヒド放出量の等級 E0</p> <p>⑩ 建具用金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>マスターキー ※製作する ・製作しない (16.7.4) 建具金物の種類 (表16.7.1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モノロック 本締め付きモノロック シリダ箱錠 シリダ本締め錠 ドアクローザ</td> <td>評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>棒錠錠 ビボットヒンジ ヒンジクローザ フロアヒンジ</td> <td>評価名簿による</td> </tr> </table> <p>標準型建具 (16.3.6)(16.4.6) 錠前類は、レバーハンド錠とする なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける (16.7.2) 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ※ビボットヒンジ</p> <p>⑪ ガラス</p> <p>下記以外は、建具表による (16.9.2) ・ガラスブロック 品質JIS A5212によるもの又は評価名簿によるもの</p> <table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <th>色調</th> <th>パターン</th> <th>防火認定</th> </tr> <tr> <td>※クリア ・乳白</td> <td>・熱線反射 ・カラー( )</td> <td></td> <td>※無し ・有り</td> </tr> </table> <p>⑫ ガラスとめ材及び溝</p> <p>ガラスとめ材 (16.13.2)(表9.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○シーリング材 ※ガスケット(FIX部はシーリング材)</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び軽量鋼製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> </table> <p>ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.9.3) 共仕16.9.3以外のアルミニウム性建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会JAS17 ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、 承諾を受ける</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム</td> <td>第2種</td> <td>※内張り ○外張り</td> <td>飛散防止率 D1</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A5759による ※両面張り(建具番号:AD-2、3、4)</p> <p>14 重量シャッター</p> <p>開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1) 外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 ・50・80・120 危害防止機構 設置しない箇所 図示 ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16.10.2)</p> <p>15 軽量シャッター</p> <p>開閉形式 ・手動式 ・上部電動式 (16.11.2)(表16.11.1) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (16.11.3)</p> <p>形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.11.4) ガイドレール等 ※鋼板製(厚さ1.6mm) ・ステンレス製SUS304 (表16.11.2) 外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 ・50・65 ※80</p>	開閉方法	センサの種類		※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ	・電子マットスイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ	種類	品質・規格	マスターキー ※製作する ・製作しない (16.7.4) 建具金物の種類 (表16.7.1)		モノロック 本締め付きモノロック シリダ箱錠 シリダ本締め錠 ドアクローザ	評価名簿による	棒錠錠 ビボットヒンジ ヒンジクローザ フロアヒンジ	評価名簿による	寸法(mm)	色調	パターン	防火認定	※クリア ・乳白	・熱線反射 ・カラー( )		※無し ・有り	建具の種類	材種	アルミニウム製	○シーリング材 ※ガスケット(FIX部はシーリング材)	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	名称	種類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ○外張り	飛散防止率 D1	<p>16 オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td> <td>・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 (SUS304)</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125</p> <p>⑬ 塗装工事</p> <p>① 材料</p> <p>※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。 (18.1.3) ※ 建築内部に使用する37樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆</p> <p>② 素地ごしらえ</p> <p>亜鉛めっき面の素地ごしらえの種類 (18.2.4)(表18.2.3)(表18.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工部位及び塗料種別</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル 塗りの場合</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>A種、C種以外</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装をする場合</td> </tr> </table> <p>せつこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 (18.2.7)(表18.2.7) 種別 ※B種 ・ A種(施工箇所: )</p> <p>3 床用塗料塗り</p> <p>材質 エポキシ樹脂系塗料(※標準色 ) 仕上種別 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m<sup>2</sup>以上とする</p> <p>4 防塵用塗料塗り</p> <p>材質 ウレタン樹脂系塗料(※標準色 ) 仕上種別 コーティング(ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m<sup>2</sup>以上とする。</p> <p>⑤ 施工一般</p> <p>(18.2.2)~(18.17.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗料塗り</th> <th>施工箇所</th> <th>下地の種類</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>錆止め塗料塗</th> </tr> <tr> <td>2-FLE B種</td> <td>外部</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※ A種(見え掛り) ※ B種</td> </tr> <tr> <td>2-UE B種</td> <td>外部</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※ A種(見え掛り) ※ B種</td> </tr> <tr> <td>2-UC B種</td> <td>内部</td> <td>木部</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>※ A種(見え掛り) ※ B種</td> </tr> <tr> <td>FE B種</td> <td>内部</td> <td>鉄鋼面 木部</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・ A種(見え掛り) ※ B種</td> </tr> <tr> <td>EP B種</td> <td>外部、内部</td> <td>ボート面 木部</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・ A種(見え掛り) ※ B種</td> </tr> </table> <p>自然塗料(半透明) 外部(3回) 内部(2回) 木部 ・A種 ※B種 ※ A種(見え掛り) ※ B種</p> <p>錆止め塗料の種類 ・A種 ※B種 (18.3.2)</p> <p>⑥ 打放し保護材</p> <p>○塗布 2回(高機能・多機能コンクリート保護材 程度)</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 (SUS304)	種別	施工部位及び塗料種別	A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル 塗りの場合	B種	A種、C種以外	C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装をする場合	塗料塗り	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料塗	2-FLE B種	外部	鉄鋼面	※A種 ・B種	※ A種(見え掛り) ※ B種	2-UE B種	外部	鉄鋼面	※A種 ・B種	※ A種(見え掛り) ※ B種	2-UC B種	内部	木部	・A種 ※B種	※ A種(見え掛り) ※ B種	FE B種	内部	鉄鋼面 木部	・A種 ※B種	・ A種(見え掛り) ※ B種	EP B種	外部、内部	ボート面 木部	・A種 ※B種	・ A種(見え掛り) ※ B種	<p>⑬ 内装工事</p> <p>① 接着剤</p> <p>壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤の (19.2.2)(19.8.2) ホルムアルデヒドの放出量 ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆ ※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする</p> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※発泡層のないもの</td> <td>※NC</td> <td>・無地 ・マーブル柄</td> <td>・2.5 ※2.0</td> </tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td> <td>※NF</td> <td>※ノンワックスタイプ</td> <td>・2.5 ※2.0</td> </tr> </table> <p>工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所: ) (19.2.3)</p> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※コンポジションビニル床タイル(半硬質)</td> <td>CT</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンポジションビニル床タイル(軟質)</td> <td>CTS</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ホモジニアスピリル床タイル</td> <td>HT</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>・コンポジションビニル床タイル</td> <td>※2</td> <td>体積抵抗値(JIS K6911による)</td> </tr> <tr> <td>・ホモジニアスピリル床タイル</td> <td>※4.0又は4.5</td> <td>1.0×10<sup>9</sup>Q以下、または、 満たない抵抗値(JIS A1454による)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>満たない抵抗値(JIS A1454による)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>1.0×10<sup>10</sup>Q未満</td> </tr> </table> <p>3 ビニル床タイル張り</p> <p>4 帯電防止床タイル張り</p> <p>5 ビニル幅木</p> <p>高さ(mm) ※60 ・75 (19.2.2)</p>	種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)	※発泡層のないもの	※NC	・無地 ・マーブル柄	・2.5 ※2.0	・発泡層のあるもの	※NF	※ノンワックスタイプ	・2.5 ※2.0	種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考	※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2.0		・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS	・2.5		・ホモジニアスピリル床タイル	HT	・		種類	厚さ(mm)	性能	・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K6911による)	・ホモジニアスピリル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10 <sup>9</sup> Q以下、または、 満たない抵抗値(JIS A1454による)	・	・	満たない抵抗値(JIS A1454による)	・	・	1.0×10 <sup>10</sup> Q未満
	種類	材料の種類	表面処理																																																																																																																																																																																			
	手すり・車止パイプ	※ステンレスSUS304	※H L程度 ○鏡面程度 ○B程度																																																																																																																																																																																			
		・鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種																																																																																																																																																																																			
	タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し																																																																																																																																																																																			
			亜鉛めっき 内外部 ※C種																																																																																																																																																																																			
	形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理																																																																																																																																																																																
・スパンドレル形	※押出し ・ロール	※アルミニウム製	巾156×H17	0.6	・B-1種																																																																																																																																																																																	
・パネル形	※プレス	・B-1種 ・B-2種 ( )			※B-2種(カラー)																																																																																																																																																																																	
種類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考																																																																																																																																																																																		
・250形	2.2以上	※A-1又は B-1種	固定方法及び 間隔は品質計 面で定めたもの	隅角部及び突出り部等の 役物は本体製造所の仕様による。																																																																																																																																																																																		
・300形	2.5以上	・B-2種																																																																																																																																																																																				
・350形	3.0以上																																																																																																																																																																																					
開閉方法	センサの種類																																																																																																																																																																																					
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ	・電子マットスイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ																																																																																																																																																																																				
種類	品質・規格																																																																																																																																																																																					
マスターキー ※製作する ・製作しない (16.7.4) 建具金物の種類 (表16.7.1)																																																																																																																																																																																						
モノロック 本締め付きモノロック シリダ箱錠 シリダ本締め錠 ドアクローザ	評価名簿による																																																																																																																																																																																					
棒錠錠 ビボットヒンジ ヒンジクローザ フロアヒンジ	評価名簿による																																																																																																																																																																																					
寸法(mm)	色調	パターン	防火認定																																																																																																																																																																																			
※クリア ・乳白	・熱線反射 ・カラー( )		※無し ・有り																																																																																																																																																																																			
建具の種類	材種																																																																																																																																																																																					
アルミニウム製	○シーリング材 ※ガスケット(FIX部はシーリング材)																																																																																																																																																																																					
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材																																																																																																																																																																																					
ステンレス製	※シーリング材																																																																																																																																																																																					
名称	種類	張り面	性能値																																																																																																																																																																																			
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ○外張り	飛散防止率 D1																																																																																																																																																																																			
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																																																																																			
※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 (SUS304)																																																																																																																																																																																			
種別	施工部位及び塗料種別																																																																																																																																																																																					
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル 塗りの場合																																																																																																																																																																																					
B種	A種、C種以外																																																																																																																																																																																					
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装をする場合																																																																																																																																																																																					
塗料塗り	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料塗																																																																																																																																																																																		
2-FLE B種	外部	鉄鋼面	※A種 ・B種	※ A種(見え掛り) ※ B種																																																																																																																																																																																		
2-UE B種	外部	鉄鋼面	※A種 ・B種	※ A種(見え掛り) ※ B種																																																																																																																																																																																		
2-UC B種	内部	木部	・A種 ※B種	※ A種(見え掛り) ※ B種																																																																																																																																																																																		
FE B種	内部	鉄鋼面 木部	・A種 ※B種	・ A種(見え掛り) ※ B種																																																																																																																																																																																		
EP B種	外部、内部	ボート面 木部	・A種 ※B種	・ A種(見え掛り) ※ B種																																																																																																																																																																																		
種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																			
※発泡層のないもの	※NC	・無地 ・マーブル柄	・2.5 ※2.0																																																																																																																																																																																			
・発泡層のあるもの	※NF	※ノンワックスタイプ	・2.5 ※2.0																																																																																																																																																																																			
種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																			
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2.0																																																																																																																																																																																				
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS	・2.5																																																																																																																																																																																				
・ホモジニアスピリル床タイル	HT	・																																																																																																																																																																																				
種類	厚さ(mm)	性能																																																																																																																																																																																				
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K6911による)																																																																																																																																																																																				
・ホモジニアスピリル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10 <sup>9</sup> Q以下、または、 満たない抵抗値(JIS A1454による)																																																																																																																																																																																				
・	・	満たない抵抗値(JIS A1454による)																																																																																																																																																																																				
・	・	1.0×10 <sup>10</sup> Q未満																																																																																																																																																																																				
<p>⑮ 左官工事</p> <p>① モルタル塗り材料</p> <p>吸水調整材 (15.2.2) 製造所 評価名簿による</p> <p>防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 製造所 評価名簿による</p> <p>下記以外は共仕表6.2.4及び共仕15.3.2による(表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平たんさ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>フリーアクセスフロア(パネル構法)範囲</td> <td>1mにつき10以下</td> <td>塗料塗りの場合も含む</td> </tr> <tr> <td>フリーアクセスフロア(溝構法)範囲</td> <td>3mにつき7以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>(15.5.2)(表15.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">○専付け仕上塗材</td> <td>○外装薄塗材E</td> <td>※ゆず肌状 ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>・砂壁状じゆらく</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>※ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W</td> <td>・京壁状じゆらく</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>耐候性 ※3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td>溶媒 ※水系 ・溶剤系</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・複層塗材RE</td> <td>・複層塗材RE</td> <td>樹脂 ※アクリル系 ・シリコンウレタン系</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>外観 ※つやあり ・つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形複層塗材RS</td> <td>防水形の増塗材 ※行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量骨材仕上塗材</td> <td>吹付用軽量塗材 砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽量塗材</td> <td>平たん状</td> <td></td> </tr> </table> <p>建築内部に使用する37樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 (15.5.2) ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆ 防火材料の指定 ※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。</p> <p>② 床コンクリートの直均し仕上げ</p> <p>③ 仕上塗材仕上げ</p>	施工箇所	平たんさ(mm)	備考	フリーアクセスフロア(パネル構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む	フリーアクセスフロア(溝構法)範囲	3mにつき7以下		種類	呼び名	仕上げの形状等	○専付け仕上塗材	○外装薄塗材E	※ゆず肌状 ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・内装薄塗材E	・砂壁状じゆらく	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・防水形外装薄塗材E	※ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状	・外装薄塗材S	・砂壁状	・内装薄塗材W	・京壁状じゆらく	・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様	・可とう形複層塗材CE	耐候性 ※3種	・複層塗材Si	上塗材	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系	・複層塗材RE	・複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系 ・シリコンウレタン系	・複層塗材RS		・防水形複層塗材CE	外観 ※つやあり ・つやなし	・防水形複層塗材E	・メタリック	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材 ※行う		・軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材 砂壁状	・こて塗用軽量塗材	平たん状		<p>⑮ 建具工事</p> <p>1 見本の製作等</p> <p>・特殊な建具の仮組(建具番号: ) (表16.1.4)</p> <p>② アルミニウム製建具</p> <p>外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>特見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>※A-3</td> <td>※W-4</td> <td>※70</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>S-5</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面処理 ※B-1種 ・B-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)(表14.2.1)</p> <p>屋内建具</p> <p>表面処理 ※C-1種又はB-1種 (表14.2.1) ・C-2種又はB-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)</p> <p>防虫網 (16.2.3)</p> <p>網の種類 ※合成樹脂製(ブラック) ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) 形式 ※外部可動式 ・固定式</p> <p>④ 鋼製建具</p> <p>簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.3.2)(表16.3.1) ・適用する(適用箇所は建具表による) ※適用しない</p> <p>製品の寸法許容差(ただし書きの建具) (16.3.4)(表16.3.3) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 特定防火設備の戸 ・適用する 標準型建具 簡易気密型ドアセット ・適用する 製造所 評価名簿による (16.3.6)</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示	※B種	S-5	・	・	○100		・C種	S-6	A-4	W-5	・100																																																																																																											
施工箇所	平たんさ(mm)	備考																																																																																																																																																																																				
フリーアクセスフロア(パネル構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む																																																																																																																																																																																				
フリーアクセスフロア(溝構法)範囲	3mにつき7以下																																																																																																																																																																																					
種類	呼び名	仕上げの形状等																																																																																																																																																																																				
○専付け仕上塗材	○外装薄塗材E	※ゆず肌状 ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																				
	・内装薄塗材E	・砂壁状じゆらく																																																																																																																																																																																				
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状																																																																																																																																																																																				
	・防水形外装薄塗材E	※ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状																																																																																																																																																																																				
	・外装薄塗材S	・砂壁状																																																																																																																																																																																				
	・内装薄塗材W	・京壁状じゆらく																																																																																																																																																																																				
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様																																																																																																																																																																																				
	・可とう形複層塗材CE	耐候性 ※3種																																																																																																																																																																																				
	・複層塗材Si	上塗材																																																																																																																																																																																				
	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系																																																																																																																																																																																				
・複層塗材RE	・複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系 ・シリコンウレタン系																																																																																																																																																																																				
	・複層塗材RS																																																																																																																																																																																					
	・防水形複層塗材CE	外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																																																																																																				
	・防水形複層塗材E	・メタリック																																																																																																																																																																																				
・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																																																																																					
	・軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材 砂壁状																																																																																																																																																																																				
・こて塗用軽量塗材	平たん状																																																																																																																																																																																					
種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																	
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示																																																																																																																																																																																	
※B種	S-5	・	・	○100																																																																																																																																																																																		
・C種	S-6	A-4	W-5	・100																																																																																																																																																																																		
<p>特記事項</p> <p>変更事項</p> <p>日付</p>	<p>一級建築士事務所(三重県知事)登録第1-748号 管理建築士:今岡雄之 一級建築士登録第55324号 松本正博 一級建築士登録第187579号 〒518-0401 三重県伊賀市平野見町330-22 330-22 HIRANOMINO, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-6272 FAX(0595)23-6273</p> <p>日付 11.03.10</p> <p>名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図</p> <p>図名 建築工事 特記仕様書-3</p> <p>縮尺 NS</p> <p>図面番号 A20-03</p> <p>積印</p>																																																																																																																																																																																					

6	カーペット敷き	・織じゆうたん (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1~2)			
		種別 バイル形状 帯電性 色柄等 備考			
	・A種	・カットバイル			
	・B種	・ループバイル			
	・C種	・カット、ループバイル併用			
	・タフテッドカーペット (19.9.3) (19.3.4) (表19.3.2)				
		バイル形状 バイル長 (mm) 工法 帯電性			
	・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	人体帯電圧	
	・マルチレベルループ	※4~6	・グリッパー工法	※3kV以下	
	・レベルループバイル	※4			
・カット、ループ併用					
	○タイルカーペット (19.3.3) (表19.3.2)				
	種別 バイル形状 電気抵抗値 施工箇所				
※A種	※ループバイル	※1.0kV以下	事務室、ふれあいホール、相談室		
・B種	・カットバイル	・適用しない			
7	合成樹脂塗床	(19.4.2) (表19.4.1~19.4.7)			
		種類 仕上げの種類			
	※ウレタン樹脂塗床材	※平滑仕上げ	・防滑仕上げ	・つや消し仕上げ	
	・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ	・厚膜流し展べ仕上げ (※平滑 防滑)	・樹脂モルタル仕上げ (※平滑 防滑)	
		・防滑仕上げ			
		ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量			
		※F☆☆☆☆ F☆☆☆			
	8	フローリング張り	(19.5.2~19.5.7) (表19.5.1~19.5.4)		
			種別 樹種 工法 仕上げ塗装等		
		※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法 (C種)	※塗装品
・		・ひのき	・接着材併用	・無塗装品	・
・		・	・	・	・
・		・	・	・	・
		ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆ F☆☆☆		
9		畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)		
			下地の種類 畳の種類		
		共仕表12.5.1による床組	※B種		
	ポリスチレンフォーム床下地	※C種			
		畳表及び畳床はVOC含有率が少ないものとする			
	10	ポリスチレンフォーム床下地材	畳下地 厚さ (mm) 33 40 50 65 80 95		
			フローリング類 厚さ (mm) 33 40 50 65 80 95		
		11	せっこうボードその他のボード張り	(19.7.2) (表19.7.1)	
				種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等	
			・硬質木セメント板	HW 1.5 2.0 2.5	
・普通木セメント板			NW 1.5 2.0 2.5		
○けい酸カルシウム板			0.8FK タイプ2 (無石棉) ○5・6・8・10		
○ロックウール化粧吸音板			DR ※フラットタイプ (※9 (不燃) 1.2 )		
			○凹凸タイプ (※1.2 (不燃) 1.5・19 )		
・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)			※フラットタイプ9 (不燃)		
	・凹凸タイプ (※1.2 1.5) (不燃)				
○せっこうボード	GB-R 1.2.5 (不燃) 9.5 (準不燃)				
・不燃積層せっこうボード	GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)				
	化粧有 (トラバーチン模様)				
○せっこう防水ボード	GB-S 1.2.5 (不燃)				
・強化せっこうボード	GB-F 1.2.5 (不燃) 1.5.0 (不燃)				
・せっこうラスボード	GB-L 9.5				
○化粧せっこうボード (マーブル程度)	GB-D 1.2.5 (不燃) 9.5 (準不燃)				
・化粧せっこうボード (木目)	模様 (※柱目 板目) 専用下地材付き				
・難燃合板	※生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)				
	・不透明塗料塗り (Lな合板程度)				
・メラミン樹脂化粧板	JIS K6903による 厚さ1.2				
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF 3 7 9 12				
・単板張りパーテュルボード	・無研磨板				
	・研磨板				
	1.0 1.2 1.5 1.8				
・ハードボード (素地)	HB				
	・無研磨板 (スタンダード テンパー)				
	・研磨板 (スタンダード テンパー)				
・インシュレーションボード	IB				
	・A級 (天井仕上 内装仕上 )				
	・9 12 15 18				
	(19.7.2) (表9.6.1)				
	合板類、繊維板、及びパーテュルボードのホルムアルデヒドの放散量				
	※F☆☆☆☆ F☆☆☆				
	軽量鉄骨下地ボード 遮音壁の遮音シール材				
	※適用する 適用しない				

12	吸音材	(表19.7.1)				
		種類 JISの記号 厚さ (mm)				
	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B ※2.5				
	※グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B ※2.5				
	13	壁紙張り	(19.8.2)			
			施工箇所 壁紙の種類 防火性能 品質等			
		壁 (一般部)	紙 織物 ビニル 化学繊維 無機質	・不燃 ○準不燃 ※難燃	量産品程度	
		壁 (水廻他)	・ 〇	・ 不燃 ○準不燃 ※難燃	中級品 (汚れ防止) 程度	
			・ 〇	・ 不燃 準不燃 難燃		
			・ 〇	・ 不燃 準不燃 難燃		
		・ 〇	・ 不燃 準不燃 難燃			
		・ 〇	・ 不燃 準不燃 難燃			
		・ 〇	・ 不燃 準不燃 難燃			
		・ 〇	・ 不燃 準不燃 難燃			
	(19.9.3) (表18.2.4) (表18.2.7)					
	素地ごしらえ					
	モルタル、プラスター面 ※B種 A種 (施工箇所: )					
	せっこうボード面 ※B種 A種 (施工箇所: )					
	壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ F☆☆☆					
14	断熱材	(19.9.2) (19.9.3)				
		種類 施工箇所 厚さ (mm) 品質等				
	・押出法	※2種b	※一般部	※2.5	特定フロンを使用しないもの	
	ポリスチレン					
	フォーム	※3種b	・接地部分	※2.5		
	保温板	(スキム層付)				
	・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	—	特定フロンを使用しないもの	
			・一般部	※1.5	難燃性※3級 2級	
					製造所 評価名簿による	
・断熱材兼用型枠	・木質系	※壁 (図示の範囲)	※4.0以下	断熱抵抗		
	・エウツ系			=厚さ/熱伝導率		
	・プラスチック系			=0.676以上		
				(t・m <sup>2</sup> ・kI/w)		
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」				
		において、評価を取得したもの				
		ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆ F☆☆☆			
		○アルミ箔グラスウール 厚さ100mm 2.4kg/m3				
15	浴室天井材					
		市販品				
		材質 表面仕上げ 性能 幅 (mm) 備考				
	※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は種付き	
		・アルマイト処理品		100	とし、製造所の	
	※硬質塩ビ製	※塗装品		※300	標準品とする。	
		・木目調		100		
	20	1 フリーアクセスフロア	(20.2.2)			
			施工箇所 構法 仕上り高 (mm) 適用地震時 水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材			
			※パネル構法		1.0G	※3,000N
		・溝構法		※0.6G	5,000N	※タイルカーペット
		・パネル構法		1.0G	3,000N	・帯電防止床タイル
		・溝構法		0.6G	5,000N	・タイルカーペット
		・パネル構法		1.0G	3,000N	・帯電防止床タイル
		・溝構法		0.6G	5,000N	・タイルカーペット
		表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による				
		スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 図示				
	コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事)					
	コンセントの箇所数は図示					
	配線用取り出しパネル 配線取り出し開口: パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上					
	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合					
	※2.0~3.0パーセント					
	空調用吹き出しパネル ※無し					
	・有り (※固定式 可変式 : 施工箇所は図示)					
	製造所 評価名簿による					
2	2 可動間仕切	(20.2.3)				
		構造形式 パネル部の 表面材種 仕上げ 不燃材料				
		※パネル式	・	※鋼板 (※0.6 0.8)	※メラミン樹脂又はアクリル	・あり
		・スタッド式			樹脂焼付け	
		・スタッドパネル式				
		品質 JIS A6512によるもの又は評価名簿によるもの				

3	移動間仕切	(20.2.4)				
		遮音性能による区分 厚さ (mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所				
	・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装		
			・	・壁紙張り		
	※遮音タイプ	※60	※鋼板	・焼付け塗装 (和休ボード仕上)	会議室1・3	
			・ボード	・壁紙張り		
		表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による				
		製造所 評価名簿による				
	4	トイレブース	(20.2.5)			
			表面仕上げ材 ※杉突板合板2-UC塗 (アルミ製コーナーエッジ付き)			
		・メラミン樹脂系化粧板				
		・ポリエステル樹脂系化粧板				
		足形伏 ※幅木型 足金物型				
		製造所 評価名簿による				
5		階段滑止め	(20.2.6)			
			材種 ステンレス SUS304			
			形状 ビニルタイヤ入り			
			両端フラットエンド 無し ※有り (ステンレス製 ※ビニル製)			
		幅 (mm) 約35				
		取付け工法 ※接着工法 埋込み工法				
	6	廊下手すり				
			種類 施工箇所			
			※集成材クリアラッカー仕上げ			
			(市販品 径 約36mm×L600)			
		・木目調ビニル製ハンドレール (φ34mm)				
7		黒板及びホワイトボード	(20.2.8)			
			種類 寸法 (mm) 色彩 備考			
		・黒板	※焼付け	※緑 黒	※平面 曲面 スクリーン付引分	
				※緑 黒		
		・行事ホワイトボード	※ほうろう	※白 (縦線入)	※平面 曲面 スクリーン付引分	
		※軽鉄壁下地補強 (図示)				
	6	ブラインド	(20.2.12)			
			形式 種類 スラットの材種 スラットの幅 (mm)			
		※横形	※ギア式	・コード式	※アルミニウム合金製	※2.5 3.5 (暗幕タイプ)
		・操作棒式				
・縦形		※1本操作コード		・アルミスラット	※80	
		・2本操作コード		※クロススラット	100	
7		ロールスクリーン	(20.2.13)			
			防火性能 ※有り			
		8	カーテン	(20.2.14)		
				施工箇所 形式 装置 名称品質 ひだの種類		
			片引 引分 電動 ひも引 手引			
9	カーテンレール	(20.2.14)				
		材種 ※アルミニウム製				
		形式 片引き ※引分け (※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)				
		・市販品 (アルミニウム製 押し出型材)				
		溝幅×深さ (mm) 90×150 120×80 ※120×150 150×80				
		色彩 ※B-1 B-2 (※ブラウン系 ブラック ステンカラー)				
		※スチール製 (焼付け塗装) 木製 ※形状 ( 図示 )				
	11	止水板	(20.2.14)			
			形状 ・差込式 据置式 壁張り式			
			製造所			
材質 アルミニウム製 (※縦織タイプ ○目地タイプ)						
12		天井点検口				
			材質 アルミニウム製 (受け枠 ※アルミ製 ステンレス製)			
		13	床点検口			
				材質 アルミニウム製 (受け枠 ※アルミ製 ステンレス製)		
			14	鋼製書架及び物品棚		
					種類 規格等 耐荷重による種類	
	・鋼製書架			JISS 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ	
	・鋼製物品棚			JISS 1040の規格による	※1種 2種 3種	

15	かざ箱	市販品 形式 ○30組用 ・60組用 ・120組用																								
16	靴拭きマット	市販品 ・形状寸法 材質 ・塩化ビニル製ラバー巻取式(ステンレス製受枠、点字ブロック) ・ビニル製(ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ステンレス製(受枠とも)																								
17	流し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(L=mm)</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・流し台</td> <td>◎2400 ・1500 ○900</td> <td>トラップ付き</td> <td>※市販品</td> </tr> <tr> <td>・調理台</td> <td>※600 ・450 ・300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>※700 ・600</td> <td>バックガード ※有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>※1200 ・900 ・600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水切り棚</td> <td>※1200 ・900</td> <td>ステンレス製 ※1段式</td> <td>※市販品</td> </tr> </tbody> </table> <p>※図示(市販品)</p>	種類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等	・流し台	◎2400 ・1500 ○900	トラップ付き	※市販品	・調理台	※600 ・450 ・300			・コンロ台	※700 ・600	バックガード ※有り		・つり戸棚	※1200 ・900 ・600			・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品
種類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等																							
・流し台	◎2400 ・1500 ○900	トラップ付き	※市販品																							
・調理台	※600 ・450 ・300																									
・コンロ台	※700 ・600	バックガード ※有り																								
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600																									
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品																							
18	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 ・形状寸法 2400×H900 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り																								
19	洗面カウンター	材 種 ○形突板合板(心材:集成材) ・メラミン樹脂化粧板張り ○人工大理石(仕様 ※図示) 奥行き(mm) ・約450 ○約600																								
20	防煙垂れ壁	・固定式 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※納入り磨板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>・綿入り磨板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・可動式 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </tbody> </table> 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	※納入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	・綿入り磨板ガラス				種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																							
※納入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																							
・綿入り磨板ガラス																										
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																							
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																							
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り																							
21	視覚障害者用床 タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	ブロックパターンはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※塩化ビニル製 ○磁器又はせり器質タイル(※300 ・ ) ・レジンコンクリート製 屋 外 ※レジンコンクリート製 ○磁器又はせり器質タイル(※300 ・ )																								
22	旗竿	材 質 ※アルミニウム合金製 形 式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ(m) ・6 ・8 ・10 ・12 操作方法 ・※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式 製造所																								
23	旗竿受金物	材 種 ステンレス製SUS304																								
24	フェンス	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ※樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・目隠しフェンス 製造所																								
25	屋外掲示板	照明器具 ※有り ○無し ○形状寸法 1400×H1800移設(位置 ※図示) 施 錠 ※有り ・無し 製造所																								
26	車止め支柱	ステンレス製(上下式) 径76.3mm H=700mm(SUSチェーン内蔵) ※スプリング付 ・スプリング無し																								
27	収納・収納家具	材質 ※図示 形状・寸法 ※図示 ホルムアルデヒドの放出量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆																								
28	エキスパンション ・ジョイント金物	材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り( ) ・無し 防水型 ※適用する ・適用しない																								

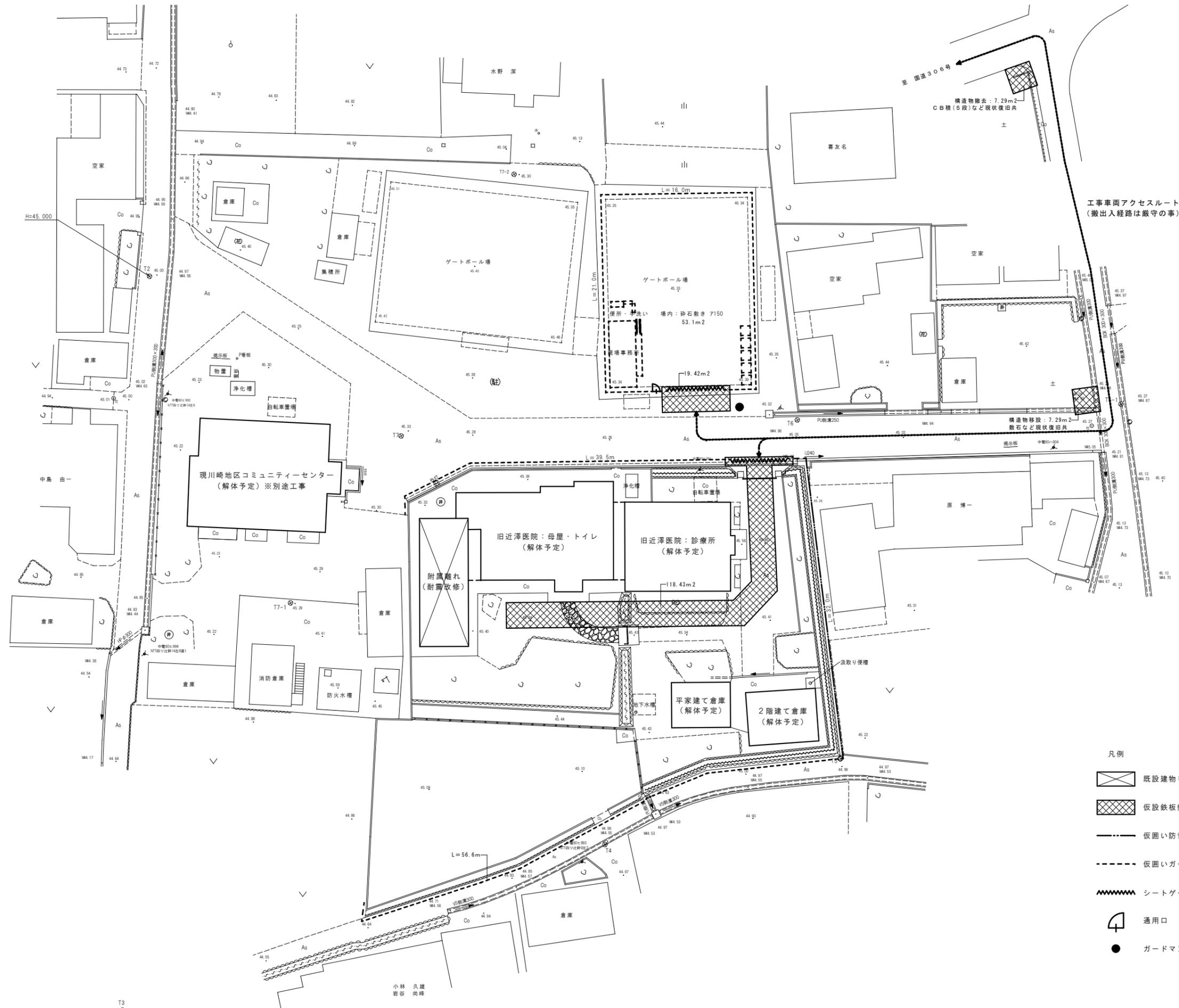
21	排水工 事	① 排水管 排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管(※1種 ・2種)</td> <td>B形(ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>○硬質塩化ビニル管</td> <td>※VP ・VU</td> <td>φ150</td> </tr> <tr> <td>・排水用リガウ硬質塩化ビニル管</td> <td>・REP-VU</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1)(21.3.3) ・砂基礎(地床厚さ20cm以上 材料 山砂の類) ② 排水溝及びふた ③ 埋戻し土 4 浸透管及び浸透併	材 種	管の種類	管形状(接合方法)	※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種 ・2種)	B形(ゴム接合)	○硬質塩化ビニル管	※VP ・VU	φ150	・排水用リガウ硬質塩化ビニル管	・REP-VU																															
材 種	管の種類	管形状(接合方法)																																										
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種 ・2種)	B形(ゴム接合)																																										
○硬質塩化ビニル管	※VP ・VU	φ150																																										
・排水用リガウ硬質塩化ビニル管	・REP-VU																																											
22	舗装工 事	1 盛り土に用いる材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1) 2 遮断層及び凍上抑制層の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 (22.2.2)(22.2.3) ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂 3 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2) 種類 ※普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ※5以上 ・ ) 4 路床土の支持力比試験 ※行方(※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5) 5 路床締固め度の試験 ・行方(※現場CBR試験 箇所) (22.2.5) 6 路盤材料 ※再生クラッシュラン(RC-40) (22.3.3) クラッシュラン(C-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの 7 アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カラー舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カラー舗装の着色骨材</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト</td> <td>※再生アスファルト</td> <td>・ストレートアスファルト (22.4.3)</td> </tr> <tr> <td>加熱アスファルト混合物の種類</td> <td></td> <td>(22.4.4)(表22.4.6)</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>※一般地域</td> <td>・寒冷地域</td> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>・細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>・粗粒度アスファルト混合物(20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シールコート</td> <td>※行わない</td> <td>・行方(施工範囲) (22.4.5)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物の抽出試験</td> <td>※行わない</td> <td>・行方 (22.4.6)</td> </tr> </tbody> </table> ⑤ コンクリート舗装 9 透水性舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行方 (22.6.6)(22.4.6) 10 排水性舗装 アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2) ※改質アスファルトⅠ型 ・改質アスファルトⅡ型 タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用時期</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下記以外</td> <td>PKR-T1</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>PKR-T2</td> </tr> </tbody> </table> アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行方 (22.7.6)	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラー舗装	※無し ・有り		カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)	アスファルト	※再生アスファルト	・ストレートアスファルト (22.4.3)	加熱アスファルト混合物の種類		(22.4.4)(表22.4.6)	区分	※一般地域	・寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)		・細粒度アスファルト混合物(13)	・細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)	基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)		シールコート	※行わない	・行方(施工範囲) (22.4.5)	アスファルト混合物の抽出試験	※行わない	・行方 (22.4.6)	適用時期	種 類	下記以外	PKR-T1	冬期	PKR-T2
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																										
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																										
・カラー舗装	※無し ・有り																																											
カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)																																										
アスファルト	※再生アスファルト	・ストレートアスファルト (22.4.3)																																										
加熱アスファルト混合物の種類		(22.4.4)(表22.4.6)																																										
区分	※一般地域	・寒冷地域																																										
表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																										
	・細粒度アスファルト混合物(13)	・細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)																																										
基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)																																											
シールコート	※行わない	・行方(施工範囲) (22.4.5)																																										
アスファルト混合物の抽出試験	※行わない	・行方 (22.4.6)																																										
適用時期	種 類																																											
下記以外	PKR-T1																																											
冬期	PKR-T2																																											

11	ブロック系舗装	① ブロック系舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通平板(N) ・カラー平板(C)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・洗出平板(W) ・凝石平板(S)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </tbody> </table> ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※標準ブロック</td> <td>※80</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック</td> <td>歩道部 ※60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用ブロック</td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は黄色とする</td> </tr> <tr> <td>・積生ブロック</td> <td>※80 ・100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基 層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>※うるこ張り</td> <td>※コンクリート舗装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト舗装</td> </tr> </tbody> </table> 品 質 JIS K5665による <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅(mm)</th> <th>布厚さ(mm)</th> <th>揮発性有機溶剤の含有率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>※白</td> <td>※150</td> <td>※1.0</td> <td>塗料総質量に対して</td> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>5%以下</td> </tr> <tr> <td>※3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 12 路面表示用塗料	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂	・洗出平板(W) ・凝石平板(S)			・モルタル	種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック	※80	※標準品	・透水性ブロック	歩道部 ※60		・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色とする	・積生ブロック	※80 ・100		種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層	※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うるこ張り	※コンクリート舗装				・アスファルト舗装	種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率	・1種	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して	・1種	加熱			・100		5%以下	※3種1号	熔融	粉体状				
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																		
※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂																																																																		
・洗出平板(W) ・凝石平板(S)			・モルタル																																																																		
種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																																																			
※標準ブロック	※80	※標準品																																																																			
・透水性ブロック	歩道部 ※60																																																																				
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色とする																																																																			
・積生ブロック	※80 ・100																																																																				
種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層																																																																		
※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うるこ張り	※コンクリート舗装																																																																		
			・アスファルト舗装																																																																		
種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																															
・1種	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して																																																															
・1種	加熱			・100		5%以下																																																															
※3種1号	熔融	粉体状																																																																			
23	植栽工 事	① 樹木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※行方 ・行わない</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </tbody> </table> 芝及び地被類、有効土層 ※20 工法 ※B種 整備範囲 ※植栽範囲 ・図示 樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>※A種</td> <td>・葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7超~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3超~7以下</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3以下</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 ② 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ○客土(※畑土 ・黒土) ※H300程度 (23.3.2) ③ 土壌改良材 ※適用する(バーク肥料50L/m <sup>2</sup> ) (23.2.3)(23.2.4) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 ④ 支柱材 ※杉の焼丸太 ・竹 (23.3.2) 5 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2) 6 芝張り 種類 ※こらうら芝 ・野芝 (23.4.2)	適 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲	※行方 ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲	・12以上	※100	※A種	・葉張りの範囲	・7超~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3超~7以下	※60	・C種	・図示	・3以下	※50	・D種																																								
適 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲																																																																		
※行方 ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示																																																																		
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲																																																																		
・12以上	※100	※A種	・葉張りの範囲																																																																		
・7超~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																		
・3超~7以下	※60	・C種	・図示																																																																		
・3以下	※50	・D種																																																																			
24	雑工 事	① 改築工事(本館棟) ○溝縁再生木(中空材) ○場所(※図示) 形状寸法: 725×95 ○溝縁点字紙(蓄光タイプ) ○場所(※図示) 形状寸法: φ23×5×25個付(300×300) ○足洗いジコングラ製(埋込タイプ) ○場所(※図示) 形状寸法: 550×550×170 STゲレーグ付 ※市販品 ○透赤外線PTC床暖房 ○場所(※図示) 形状寸法: 70.5 PTCホモニター(6帖用) ○バツ照明付化粧鏡 ○場所(※図示) 形状寸法: 360×150×1000木製BOX 蛍光灯付 ※市販品 ○L型手摺(抗菌タイプ) ○場所(※図示) 形状寸法: φ32×600×600メブ AL材 ※市販品 ○小便手摺(抗菌タイプ) ○場所(※図示) 形状寸法: φ32ステンレス+軟質樹脂 ※市販品 ○郵便受入 ○場所(※図示) 形状寸法: SUS 370×455×150 差込口共 ※市販品 ○ロキ昇降用はしご ○場所(※図示) 形状寸法: SUS受け(FL+2600)パイプ・手摺共 ※市販品 ○消火器BOX 半埋込型 ○場所(※図示) 形状寸法: スチール AQ焼付 H740×270×150(d75) ※市販品 ② 改修工事(既存棟) ○耐震改修工事 特記仕様書 による。 ○既存CB積改修(基礎・控え共) ○場所(※図示) 形状寸法(※図示) ※既存CB柱木+1段撤去 ※天端:和型(いぶし)丸瓦施工 ※壁面:外装薄塗材(ケ目ゴテ仕上)、目地処理材(外装セキ系薄塗り下地) ○井戸栓蓋(SUS材)連結 ○場所(※図示) 形状寸法: 120×120 自然塗料(か一半透明)3回塗 ③ 外構工事(屋 外) ○既存解体工事 特記仕様書 による。 ④ 解体工事(既 存)																																																																			

工事区分表

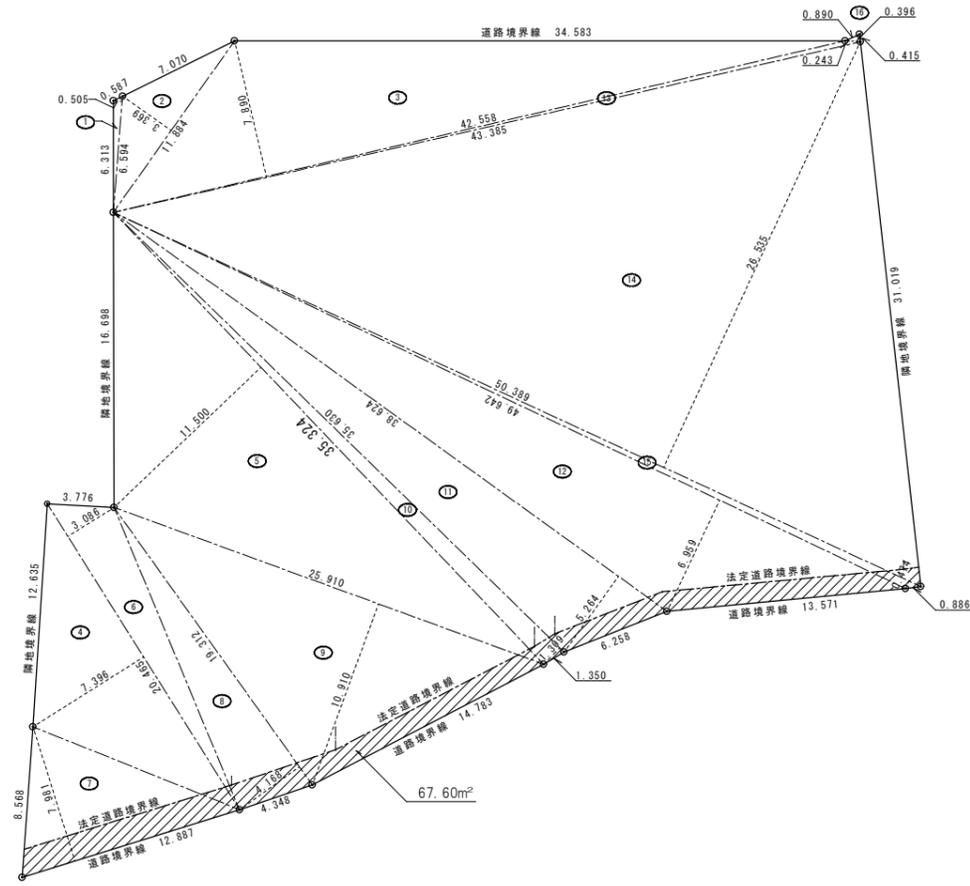
適用	項目	建築	電気	機械	別途	備考	適用	項目	建築	電気	機械	別途	備考	適用	項目	建築	電気	機械	別途	備考
○	直接仮設						・	ヘッダーダクトの取付						・	銅板製及び樹脂製のタンクに取付る電極等の取付用金物及び函体					
○	関係官公署への申請手続	○	○	○			・	同上のマーカ等の取付		○				・	防火扉等の閉鎖装置		○			
○	関係官公署の各種負担金				○	非課税となるもの等	・	同上の耐火処理	○					・	同上の防災壁までの制監視用配管配線		○			
○	本設受電後引渡までの電気使用料金	○	○	○		基本料金を含む	・	アクセスフロアの穴開け加工	○				○Aフロアを含む	・	防火防災シャッター等の閉鎖装置	○				
○	本設水道、下水、ガスの引渡までの使用料金	○	○	○			・	アクセスフロア下部の防塵塗装	○					・	同上の防災壁までの制監視用配管配線		○			
・	コンクリート躯体の水槽類	○	○				・	アクセスフロアの設備機器用架台		○	○			・	排煙口・給気口・ダンパー等の制御機構	○	○			自然排煙のみ建築
・	コンクリート躯体の蓄熱槽	○				断熱工事を含む	○	一般天井の設備機器取付用穴開		○	○			○	排煙口・給気口及び手動開放装置	○	○			自然排煙のみ建築
・	同上の連通管及び槽内通気管	○					○	設備機器取付用の壁及び天井の補強	○	○	○		家具・器具下地は建築	・	同上の防災壁までの制監視用配管配線		○			
・	同上の槽外通気管	○					○	天井及び床の点検口	○					・	防火扉防火シャッター・排煙口・給気口・ダンパー等用の煙感知器及び配管配線	○				
・	同上のマンホール及び蓋	○					・	シャフト等の点検口						・	屋内消火栓等の本体			○		
・	同上の点検口トラップ	○					○	ルーバー天井の床下及び天井材	○				T・Mバー含む	・	同上の開口部の構造補強	○				
・	同上の槽内防水及び清掃	○					○	ルーバー天井の照明器具・感知器・スピーカ		○				・	同上の起動押釦・位置表示灯		○			
・	同上の設備			○	○		○	ルーバー天井の空調用吹出口			○			・	同上の配管配線		○			
・	同上の水中ポンプ引上用ガイドパイプ			○	○		・	ルーバー天井のスプリングラヘッド			○			・	スプリングラポンプ・消火栓ポンプ等の制御盤			○		呼水槽の警報（消滅）を含む
・	煙突の構造及び断熱	○					○	ルーバー天井の鋼板設置用プレート及び穴開加工		○			現地穴開加工は各工事	・	同上のアラーム弁及び配管配線			○		
・	煙突の排出口及び配水管	○					○	サイン類の本体（非電照式）	○				誘導標識等を含む	・	同上の消火水槽の警報用電極			○		
・	煙突の煙導取合部の開口及び取付金物	○					・	サイン類の本体（電照式）		○			照明器具を含む	・	同上の配管配線			○		
・	煙突迄の煙導			○	○		・	同上用電源		○				・	同上の防災壁等への配管配線			○		
○	鉄筋コンクリート造の梁・壁・床のスリーブ及び箱入	○	○	○			○	流し台、調理台及び化粧カウンターの据付	○				トラップは流し台に含む	・	電気室等のCO2消火設備			○		
○	同上の補強	○					○	同上への配管及び機器の接続（施工時に打合せの事）		○	○			・	CO2消火装置の操作盤			○		
○	同上の穴埋	○	○	○			○	レンジフード（ミニキッチン含む）	○	○			天井層のみ機械設備	・	同上の2次側配管配線及び機器の取付			○		
・	鉄骨鉄筋コンクリート造の梁貫通スリーブ	○					○	同上のダクト及び接続			○			・	給気ファン等の電源インターロック			○		
・	同上の補強	○					・	便所等の化粧鏡（オーダー品）	○	○				・	同上の防災壁等への配管配線			○		
・	同上の穴埋	○	○	○			○	便所等の化粧鏡（電照式）	○				既製品	・	ピストンダンパー用CO2ガス配管				○	
・	鉄骨造の梁貫通スリーブ	○					○	便所等の化粧鏡用電源			○			・	ピストンダンパー本体				○	
・	同上の補強	○					○	便所等の面台	○					・	同上の操作盤及び据付				○	
・	同上の穴埋（区画貫通部）	○	○	○			○	便所等の照明用ボックス	○				BOX下地共	・	同上の2次側配管配線				○	
○	外壁貫通部の防水スリーブ	○	○	○			○	同上の照明器具		○				○	消火器ボックス（埋込型）			○		
○	同上の配管後のシーリング	○	○	○			○	身障者便所の鏡			○			○	消火器ボックス（露出型）			○		屋外のみ
○	設備機器設置用のコンクリート基礎	○	○	○			・	システム便所（ユニット）の設置	○					・	消火器ボックス（消火栓箱に組込）					
○	設備機器設置用のアンカー用孔開及び箱入			○	○		・	エレベーターの各階出入口の開口及び補強	○					○	消火器（ABC-10型）					○
○	設備機器設置用のアンカー及び埋戻			○	○		・	エレベーターの各階押釦等の穴開	○					・	消火器（大型）					○
○	設備機器設置用の鋼製架台			○	○		・	エレベーター機械室の床穴開及び補強	○					・	防火監視盤					○
○	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	○					・	同上の穴埋				○		・	防火監視用の配管				○	
・	屋外へのコンクリート配管立上	○					・	エレベーター機械室の搬入用開口及び同復旧	○					・	同上の配線及び端末機器取付					○
・	同上の配管後開口部心さぎ			○	○		・	エレベーター機械室の搬入用吊りフック及びビーム	○					・	同上の建具加工				○	
・	同上の配管廻のシーリング			○	○		・	エレベーターの電源供給		○				・	同上に取付機器又は組込機器					○
○	雨水排水の縦樋及び最寄会所への接続	○	○	○			・	エレベーター昇降路内の鋼製ファスタープレート（S造）	○					・	防火監視設備から中央監視設備間の配管配線				○	
○	雨水排水の会所柵及び屋外排水管	○	○	○			・	エレベーター昇降路内の鋼製中間ビーム（S造）	○					○	合併処理浄化槽及び制御盤・プロワ等の据付					○
○	雨水排水の会所柵の蓋	○	○	○			・	エレベーター昇降路内の鋼製中間ビーム（RC・SRC造）				○		○	同上の電源供給					○
○	汚水排水の会所柵及び蓋			○	○		・	エレベーター昇降路内の配線				○		○	遠赤外線床暖房及び茶道用電気炭・炉等の据付					○
○	化粧蓋の場合の化粧仕上	○					・	エレベーター昇降路外の配管		○				○	同上の電源供給					○
・	機器搬入用仮設開口及び仕舞			○	○		・	エレベーター昇降路外の配線				○		○	足洗い及び手摺等の据付					○
・	同上の機器搬入用フック及びホイストビーム			○	○		・	エレベーター用インターホン				○		○	同上への配管等の接続（施工時に打合せの事）					○
・	配管・配線用のビット及びトレンチ	○					・	エレベーター機械室の換気口	○					○	既存棟の前装改修に伴う工事					○
・	同上の緑金物及び蓋	○					・	エレベーター昇降路内の点検用トラップ	○					○	既存建築物及び外構等の解体、移設に伴う工事					○
・	同上の内部仕上	○					・	エレベーター昇降路内の点検用差込		○				・						○
・	電気室・機械室等の床上コンクリート	○					・	エレベーター空調用ドレン配管			○			・						
・	発電機室のオイルタンク廻の防油堤	○					・	エスカレータービットの築造	○					・	中央監視盤に組込					
・	同上の廃油ビット	○					・	エスカレーター搬入用吊りフック	○					・						
・	発電機室のオイルタンク及び架台			○			・	エスカレーター外装仕上	○					・						
・	同上の給油口			○			・	エスカレーターの電源供給			○			・						
・	同上の連絡用インターホン及び油面計			○			・	エスカレーターの下部照明			○			・						
・	発電機室の減圧水槽廻の防水堤	○					・	エスカレーター用監視盤				○		○	自動ドア・スイッチ取付（壁面）					
・	同上の排水	○					・	エスカレーターから監視盤への配管配線			○			・						
・	同上の減圧水槽及び架台			○			・	電動シャッター及びドア等の制御盤・操作面並びに配線（施工時に打合せの事）	○					・						
○	外壁、鋼板製枠床の設備機器取付穴開及び補強	○					・	電動シャッター及びドア等の操作面用配管等		○				・						
○	同上の穴埋			○	○		・	同上の1次側電源供給		○				・						
○	設備機器用の壁材の穴開（石・タイル等の場合）			○	○		・	空調自動制御用機器及び現場盤			○			・						
○	設備機器用の壁材の穴開（ボード等の場合）			○	○		・	同上用電源盤		○				・						
○	設備機器用の壁材の穴開（鋼板パネル・ガラス等の場合）			○	○		・	同上の2次側電源工事			○			・						
・	パーティション組込ボックス及び配管	○					○	空調機器及び衛生設備器具等の据付			○			・						
・	同上の設備機器取付用補強	○					○	同上制御盤と電動機接続までの電源		○				○	VVVF制御の場合は空調、衛生工事					
・	同上の配線及び機器取付			○	○		○	給湯器及び操作盤等の据付			○			○	小型電気温水器は別途					
○	外壁ガラの取付	○				へントキヤップは除く	○	同上の2次側電気工事			○			・						
○	同上のダクト接続用金物	○					○	空気熱源ヒートポンプパッケージの電源供給		○				・						
○	同上のダクト及び接続			○			○	同上の2次側電気工事			○			○	室外機から室内機の配管配線					
○	建具ガラの取付	○					・	液面警報盤			○			・						
○	同上のダクト接続用金物	○					・	水槽用液面制御スイッチ			○			○	加圧給水ポンプ盤					
○	同上のダクト及び接続			○			・	同上の配管配線			○			○	同上2次側配管配線					
・	セルラードクトの取付	○					・	コンクリート製水槽等に取付る電極・フロートスイッチ及び函体		○				・						

建築工事指定資材及び業者見積メーカー（参考）				分類	資材名	適用範囲	規格・メーカー等	
工事材料等 ・別記記載規格によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 評価名簿」及び別記記載の資材及び見積りメーカー（参考） 又はこれと同等以上とする。 ・品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。				左官工事	陶器質タイル	モザイクタイル・内装タイル	JIS A5209（陶器質タイル）JISマーク表示品	
						外装タイル・床タイル・特殊タイル	㈱INA X、岩尾磁器工業㈱、㈱カミヤマセラミック、織部製陶㈱、㈱国代耐火工業所、㈱ダントー、東陶機器㈱、長谷製陶㈱、日本陶管㈱、三井鉱山タイル㈱ 信越化学工業㈱、和信化学工業㈱、㈱コウワ、㈱プラネットジャパン、玄々化学工業㈱	
						保水材	JIS A6903（ドロマイトブラスター）JISマーク表示品	
						ブラスター	JIS A6904（せっこうブラスター）JISマーク表示品 JIS A6909（建築用仕上塗料）JISマーク表示品	
				塗装工事	仕上塗料		JIS A6903（ドロマイトブラスター）JISマーク表示品	
						ロックウール吹付材	不燃第1022号（ロックウール保温材）の認定品でJIS A9504（人造鉱物繊維保温材）JISマーク表示品	
						塗料	JIS規格品（屋内で使用する場合、ホルムアルデヒド放数量 F☆☆☆☆ 表示品）	
						自然塗料	日本オスモ㈱、和信化学工業㈱、㈱コウワ、㈱プラネットジャパン、玄々化学工業㈱	
				内装工事	ウレタン樹脂ニス塗	木部	エスケー研㈱、関西ペイント㈱、菊水化学工業㈱、信和化学工業㈱、ジョンソン㈱、神東塗料㈱、スズカフイン㈱、大日本塗料㈱、日本ペイント㈱	
						内外装薄塗材	基礎部（ゆず肌仕上） 既存03積（クシ目ゴテ仕上）	JIS A6909（建築用仕上塗料）JISマーク表示品 アイカ工業㈱、四国化成工業㈱、エスケー研㈱、信和化学工業㈱、スズカフイン㈱
						内外装セメント系薄塗下地処理材	同上下地（目地処理材）	アイカ工業㈱、四国化成工業㈱、日丸産業㈱
						打放し保護材	ヘルツ化学㈱ 相当品	JIS A5705（ビニル系床材）JISマーク表示品
				家具・ユニット工事	ビニル床シート		JIS A5705（ビニル系床材）JISマーク表示品	
						ビニル床タイル	JIS A5705（ビニル系床材）JISマーク表示品	
						石膏ボード	JIS A6901（石膏ボード製品）JISマーク表示品（化粧石膏ボード、吸音用石膏ボードはその基材をJISの規格品とする）。	
						吸音板	JIS A6301（吸音材料）JISマーク表示品	
				左官工事	木毛セメント		JIS A5404（木毛セメント板）JISマーク表示品	
						木片セメント	JIS A5404（木片セメント板）JISマーク表示品	
						パーティクルボード	JIS A5404（パーティクルボード）JISマーク表示品	
						バルブセメント板	JIS A5414（バルブセメント板）JISマーク表示品	
				左官工事	メラミン化粧板		JIS A6903（熱硬化性樹脂化粧板）JISマーク表示品	
						発泡プラスチック保温材	JIS A9511（発泡プラスチック保温材）JISマーク表示品	
						壁紙	JIS A9511（壁紙）JISマーク表示品	
						普通合板	「普通合板の日本農林規格」	
				左官工事	難燃合板		「難燃合板の日本農林規格」	
						特殊合板	「特殊合板の日本農林規格」	
						フローリング	「フローリングの日本農林規格」	
						カーペット	東リ㈱、㈱タジマ、㈱川島織物、住江織物㈱、東レリビング㈱、日東紡織㈱	
				左官工事	塗床材		㈱エービーシー商会、㈱ダイフレックス、中外商工㈱、美州興産㈱、㈱ヤナセ	
						造付家具	㈱誠文社、飛騨産業㈱、㈱トモエ木工、クラフトコフナヤ㈱、㈱ミナビックアオイ、森本木工	
						既製家具（実習台）	車いす対応	
						既製家具（調理台・ミニキッチン）	扉タイプ（IHコンロ・換気扇付） ㈱INA Xサンウエーブマーケティング、タカラスタンダード㈱、クリナップ㈱、トーヨー工業㈱、アス・ステンレス㈱、松下電工㈱	
				左官工事	ブライド及びアコーディオンドアカーテン		立川プラインド工業㈱、㈱ニチベイ、㈱ヨコタ、東京プラインド工業㈱	
						踏高カーテンレール	立川プラインド工業㈱、㈱ヨコタ、トソー㈱	
						銘板サイン	㈱コトブキ、㈱博電舎、㈱新日本電機製作所、青光㈱、㈱美装、大和工芸、㈱フタバ工芸、㈱河合振装堂	
						黒板・掲示板・映写スクリーン	杉田エース㈱、㈱オーエス、㈱ミナビックアオイ、野地硬質黒板㈱、奥山黒板㈱、ココヨ㈱、トーギ㈱	
				左官工事	ユニットバス・シャワー		㈱INA X、TOTO㈱、㈱ブリヂストンIPG、パナソニック電工㈱	
						昇降機	㈱三重日立、東芝エレベーター㈱、三菱エレベーター施設	
						ウッドデッキ（手摺含む）	再生木（中空材） ハンディテック㈱、積水化学工業㈱、㈱マッティージャパン、㈱エービーシー商会、日本住宅パネル工業共同組合、㈱ガイソウハウス、㈱ハタノ	
						点字版（蓄光タイプ）	杉田エース㈱ 相当品	
				左官工事	洗剤（ミカゲ調）	レジコンクリート製	タキロン㈱、三菱樹脂㈱	
						金属製システムフロア	藤澤建機㈱、パナソニック電工㈱、日立機材㈱、三洋工業㈱、ナカ工業㈱、共同カイツック㈱、フクビ化学工業㈱	
						発泡プラスチック製床下地	油化三昌建材㈱、積水化成工業㈱	
						遠赤外線PTC床暖房	カーボンヒーター（6帖用） 南キアアシスト 相当品	
				左官工事	バツ照明付化粧鏡		TOTO㈱、㈱INA X	
						L型・小便器手摺	TOTO㈱、㈱INA X、㈱アトラス、ナカ工業㈱	
						濃緑・エトラス手摺・内部金物・柱脚金物	㈱かじり、三晃工業㈱、土生製作所	
						換気面戸（鋼製）、土台パッキン	早川工業㈱、ゼオン化成㈱、フクビ化学工業㈱、㈱サンメン、㈱大阪ジョイフル	
				左官工事	郵便受入・キ・BOX・はしご・消火器BOX		杉田エース㈱ 相当品	
						木 材	製材（市内製材所を優先とする） 「製材の日本農林規格」の規格品（鈴鹿森林組合、なかの材木㈱、三栄林材㈱） 合板類 「合板の日本農林規格」の規格品	
						接着系アンカー	日本ヒルティ㈱、日本デコラックス㈱、旭化成ジオテック㈱、峰岸㈱	
						接合具及び接合金物	釘（材質は鉄又はステンレス） 木ねじ（材質は鉄又はステンレス） 上記の材質が鉄（鋼）の場合 JIS A5508（くぎ）JISマーク表示品 又は Zマーク表示金物及び、同等以上の性能を有し監督職員の承諾するもの JIS B1135（すりわり付き木くぎ）JISマーク表示品 又は Zマーク表示金物及び、同等以上の性能を有し監督職員の承諾するもの JIS H8641（溶解亜鉛めっき）によるHDZ35以上の亜鉛めっき 又は ダクロダイズド処理品	
				左官工事	ラスカットパネル		㈱ノダ 相当品	
						遠赤外線電気炭・炉壇	ヤマキ電器㈱ 相当品	
						排水管	JIS A5303（連心力鉄筋コンクリート管）JISマーク表示品 JIS A5302（無鉄筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管）JISマーク表示品	
						配管用鋼管	JIS G3452（配管用炭素鋼鋼管）JISマーク表示品	
				左官工事	硬質塩化ビニル管		JIS K6741（硬質塩化ビニル管）VP JISマーク表示品	
						排水用硬質塩化ビニル管 継手	JIS K6739（排水用硬質塩化ビニル管 継手）JISマーク表示品	
						と い	㈱タニタハウジングウェア、㈱オーテイス、井上商事㈱、積水化学工業㈱、三菱樹脂㈱、クボタ松下電工外装㈱	
						ルーフドレン	㈱オオタケフアンドリー、カネソウ㈱、第一機材㈱、タイドレ㈱、㈱中部コーポレーション、㈱ニムラ、㈱長谷川鑄造所、福西鋳物㈱	
				左官工事	軽量鉄骨天井及び壁下地		JIS A6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））JISマーク表示品	
						アルミニウム製窓木	㈱エービーシー商会、田島ルーフィング㈱、㈱東京興業貿易商會、日新工業㈱、理研軽金属工業㈱	
						スパンドレ	難波金属㈱、三協立山アルミニウム工業㈱、㈱ハイロッド、ホクセイ㈱、理研軽金属工業㈱	
						点検口	㈱オクジュー、㈱ダイケン、大建工業㈱、ナカ工業㈱、理研アルミ建材㈱	
				左官工事	木 材	製材（市内製材所を優先とする） 「製材の日本農林規格」の規格品（鈴鹿森林組合、なかの材木㈱、三栄林材㈱） 合板類 「合板の日本農林規格」の規格品		
						集成材	齊藤木材工業㈱、ラミネート・ラボ㈱、セブン工業㈱、トリスミ集成材㈱、三井物産ハウステクノ㈱、銘建工業㈱	
						接合具及び接合金物	釘（材質は鉄又はステンレス） 木ねじ（材質は鉄又はステンレス） 上記の材質が鉄（鋼）の場合 JIS A5508（くぎ）JISマーク表示品 又は Zマーク表示金物及び、同等以上の性能を有し監督職員の承諾するもの JIS B1135（すりわり付き木くぎ）JISマーク表示品 又は Zマーク表示金物及び、同等以上の性能を有し監督職員の承諾するもの JIS H8641（溶解亜鉛めっき）によるHDZ35以上の亜鉛めっき 又は ダクロダイズド処理品	
						アルミニウム製建具	トステム㈱、YKKAP㈱、三協立山アルミニウム工業㈱、不二サッシ㈱	
				左官工事	木製建具	再生木ルーバー等含む	ハンディテック㈱、積水化学工業㈱、㈱トモエ木工、クラフト・コフナヤ㈱、㈱ミナビックアオイ、森本木工	
						鋼製建具	トステム㈱、YKKAP㈱、近畿工業㈱、(有)豊友工業、豊和工業㈱、和光金属㈱	
						軽量ドア	小松ウォール工業㈱、山金工業㈱、三和シャッター㈱、日本スピンドル製造㈱、コマニー㈱、㈱イトーキ、㈱同村製作所、㈱ニチベイ	
						移動間仕切・トイレスクリーン	小松ウォール工業㈱、三和シャッター㈱、コマニー㈱、㈱ニチベイ	
				左官工事	ステンレス製建具		昭和鋼機㈱、㈱田島機三製作所、田島メタルワーク㈱、㈱永瀬製作所、ニューウォールシステム㈱	
						シャッター	三和シャッター㈱、文化シャッター㈱、東洋シャッター㈱	
						ガラス	JIS R3202（フロート板ガラス及び層積板ガラス）JIS規格に適合する製品	
						型板ガラス	JIS R3203（型板ガラス） JIS規格に適合する製品	
				左官工事	網入り板ガラス及び網入り板ガラス		JIS R3204（網入り板ガラス及び網入り板ガラス）JIS規格に適合する製品	
						合わせガラス	JIS R3205（合わせガラス） JIS規格に適合する製品	
						強化ガラス	JIS R3206（強化ガラス） JIS規格に適合する製品	
						複層ガラス	JIS R3209（複層ガラス） JIS規格に適合する製品	
				左官工事	Low-Eガラス		日本フクソーガラス㈱、旭硝子㈱、トステム㈱、YKKAP㈱、㈱安田ガラス、産屋硝子建材㈱、野田硝子㈱	
						飛散防止フィルム	㈱サンゲツ、住友スリーエム㈱、リンテック㈱、住友大阪セメント㈱、豊洋商事㈱	
						中空ポリカーボネート	旭硝子㈱ 相当品	
						特記事項		
					変更事項			
					日付			
					一級建築士事務所 株式会社 上野建築研究所 Ueno Architect & Associates			
					一級建築士事務所（三重県知事）登録第 1-748号 管理建築士：今岡健之 一級建築士登録第 55324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0001 三重県伊賀市平野町 330-22 330-22 HIRANOMINO, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL (0595)23-6272 FAX (0595)23-6273			
					日付	11.03.10		
					名 称	川崎地区コミュニティセンター改築工事（建築主体工事）設計図		
					図 番	縮 尺		
					棟 号	NS		
					原簿番号	A20-07		

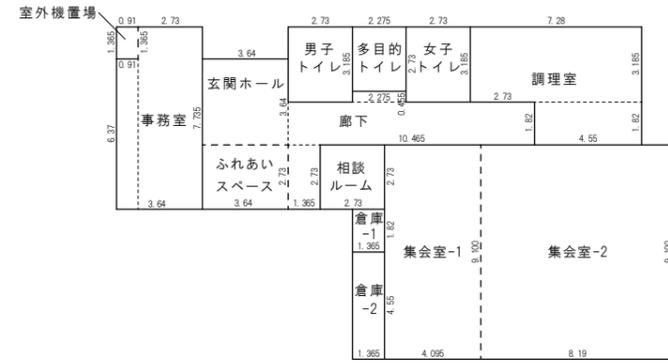


- 凡例
- 既設建物を示す。
  - 仮設鉄板敷き範囲を示す。
  - 仮囲い防音シート張り H=2.0m
  - 仮囲いガードフェンス H=1.8m
  - シートゲート W6.0×H=4.5m
  - 通用口
  - ガードマン配置

特記事項	変更事項	一級建築士事務所 <b>株式会社 上野建築研究所</b> Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所(三重県知事)登録第 1-748号 管理建築士: 今岡雄之 一級建築士登録第 55324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0001 三重県伊賀市平野見地330-22 330-22 HIRANOMINOH, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL (0595)23-6272 FAX (0595)23-6273	日付 11.03.10 棟名 IMAKA MATSUMOTO 担当者 NISHIO OHNO MATSUDA	名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図 図名 <共通> 用地測量・仮設計画図(案) 縮尺 A3版 1/400 A1版 1/200	図番 A20-08 積印
------	------	--	--	--	--	-----------------



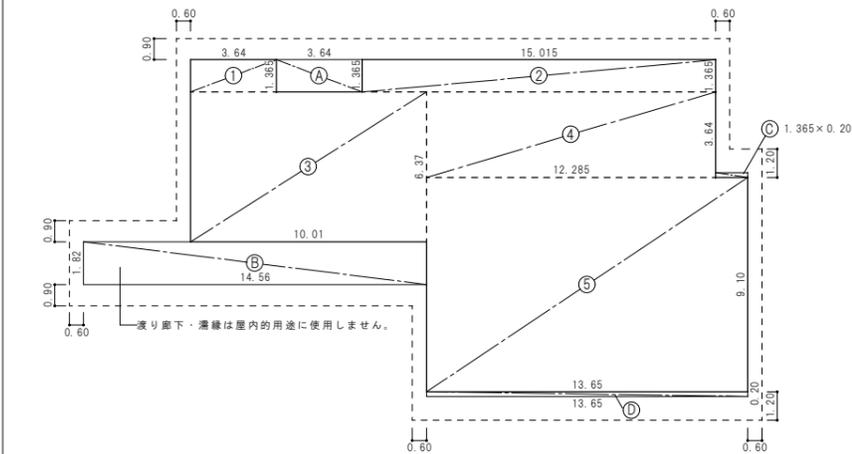
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	6.594	0.505	3.329970	1.6649850
2	11.884	3.369	40.037196	20.0185980
3	42.558	7.890	335.782620	167.8913100
4	20.465	7.396	151.359140	75.6795700
5	35.324	11.500	406.226000	203.1130000
6	20.465	3.086	63.154990	31.5774950
7	12.887	7.981	102.851147	51.4255735
8	19.312	4.168	80.492416	40.2462080
9	25.910	10.910	282.678100	141.3390500
10	35.630	1.309	46.639670	23.3198350
11	38.624	5.264	203.316736	101.6583680
12	49.642	6.959	345.458678	172.7293390
13	43.385	0.243	10.542555	5.2712775
14	50.389	26.535	1,337.072115	668.5360575
15	50.389	0.474	23.884386	11.9421930
16	0.891	0.396	0.352836	0.1764180
合計				1,716.5892775
敷地面積				1,716.58 m <sup>2</sup>
法定面積				1,648.98 m <sup>2</sup> (1,716.58 - 67.60)



室別求積表(算定式)

室名	計算式	面積	室名	計算式	面積
玄関ホール	3.640 × 3.640	13.25 m <sup>2</sup>	多目的トイレ	2.275 × 2.730	6.21 m <sup>2</sup>
ふれあいスペース	3.640 × 2.730	9.94 m <sup>2</sup>	調理室	7.280 × 3.185	31.47 m <sup>2</sup>
廊下	2.275 × 0.455 10.465 × 1.820 1.365 × 2.730	23.81 m <sup>2</sup>	相談ルーム	2.730 × 2.730	7.45 m <sup>2</sup>
事務室	0.910 × 6.370 2.730 × 7.735	26.91 m <sup>2</sup>	集会室-1	4.095 × 9.100	37.26 m <sup>2</sup>
室外機置場	1.365 × 0.910	1.24 m <sup>2</sup>	集会室-2	8.190 × 9.100	74.53 m <sup>2</sup>
男子トイレ	2.730 × 3.185	8.70 m <sup>2</sup>	倉庫-1	1.365 × 1.820	2.48 m <sup>2</sup>
女子トイレ	2.730 × 3.185	8.70 m <sup>2</sup>	倉庫-2	1.365 × 4.550	6.21 m <sup>2</sup>
合計		258.16 m <sup>2</sup>	合計		258.16 m <sup>2</sup>

建物求積図(本館棟) S=1/150

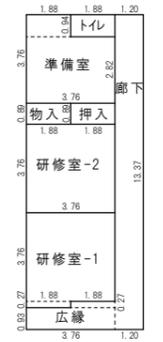


建物求積表(算定式)

番号	計算式	計	番号	計算式	計
①	3.640 × 1.365	4.968600	Ⓐ	3.640 × 1.365	4.968600
②	15.015 × 1.365	20.495475	Ⓑ	14.560 × 1.820	26.499200
③	10.010 × 6.370	63.763700	Ⓒ	1.365 × 0.200	0.273000
④	12.285 × 3.640	44.717400	Ⓓ	13.650 × 0.200	2.730000
⑤	13.650 × 9.100	124.215000			

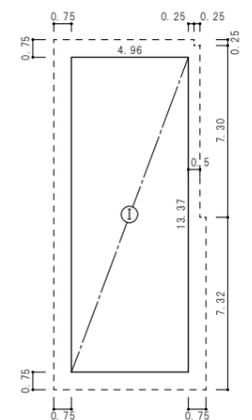
建築面積	本館棟 ① ~ ⑤ + Ⓐ ~ Ⓔ = 292.630975m <sup>2</sup>	改め計 292.63m <sup>2</sup>	既存棟 ① = 66.3152m <sup>2</sup>	改め計 66.31m <sup>2</sup>
延床面積	本館棟 ① ~ ⑤ = 258.160175m <sup>2</sup>	改め計 258.16m <sup>2</sup>	既存棟 ① = 66.3152m <sup>2</sup>	改め計 66.31m <sup>2</sup>

	本館棟		既存棟		合計	
	コミュニティセンター(集会所)	計	付属離れ	計		
敷地面積					1,716.58 m <sup>2</sup>	520 T
建築面積	292.63 m <sup>2</sup>	292.63 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	358.94 m <sup>2</sup>	109 T
床面積	258.16 m <sup>2</sup>	258.16 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	324.47 m <sup>2</sup>	98 T



室名	計算式	面積
廊下・広縁	1.200 × 13.370 1.880 × 0.270 3.760 × 0.930	20.05 m <sup>2</sup>
トイレ	1.880 × 0.940	1.77 m <sup>2</sup>
準備室	1.880 × 0.940 3.760 × 2.820	12.37 m <sup>2</sup>
物入	1.880 × 0.890	1.67 m <sup>2</sup>
押入	1.880 × 0.890	1.67 m <sup>2</sup>
研修室-2	3.760 × 3.760	14.14 m <sup>2</sup>
研修室-1	3.760 × 3.760 1.880 × 0.270	14.64 m <sup>2</sup>
合計		66.31 m <sup>2</sup>

建物求積図(既存棟) S=1/150



番号	計算式	計
①	4.960 × 13.370	66.3152

建築面積	既存棟 ① = 66.3152m <sup>2</sup>	改め計 66.31m <sup>2</sup>
延床面積	既存棟 ① = 66.3152m <sup>2</sup>	改め計 66.31m <sup>2</sup>

	本館棟		既存棟		合計	
	コミュニティセンター(集会所)	計	付属離れ	計		
敷地面積					1,716.58 m <sup>2</sup>	520 T
建築面積	292.63 m <sup>2</sup>	292.63 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	358.94 m <sup>2</sup>	109 T
床面積	258.16 m <sup>2</sup>	258.16 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	66.31 m <sup>2</sup>	324.47 m <sup>2</sup>	98 T

口設計概要

口内部仕上表

Table with columns for 工事名, 工事場所, 建築主氏名, 建築主住所, 都市計画, 防火地域, 道路巾員, 敷地面積, 用途地域, 敷地高低差, その他条件, 許容建築率, 指定60%, 許容積率, 指定200%. Rows include 玄関ホール, 事務室, ふれあいスペース, 相談ルーム, 廊下, 集会室, 倉庫-1, 倉庫-2, ロフト倉庫, 男子トイレ, 女子トイレ, 多目的トイレ, 調理室.

Table with columns for 工事種別, 用途, 建築面積, 延床面積, 人員規模, 防火種別, 構造種別, 階数, 最高高さ, 最高軒高, 居室床高, 基礎形式, 便所種別, 口浄化槽(人員算定), 集会所施設関係(1-イ), 屋根, 軒裏, 外壁, 基礎, エントランス.

Table with columns for 仕上, 下地, 破風, 軒裏, 外壁, 基礎, エントランス, 床, 柱・梁, 手摺, 軒, 壁, 建具, 基礎, エントランス.

Table with columns for 床, 柱・梁, 手摺, 軒, 壁, 建具, 基礎, エントランス, 床, 柱・梁, 手摺, 軒, 壁, 建具, 基礎, エントランス.

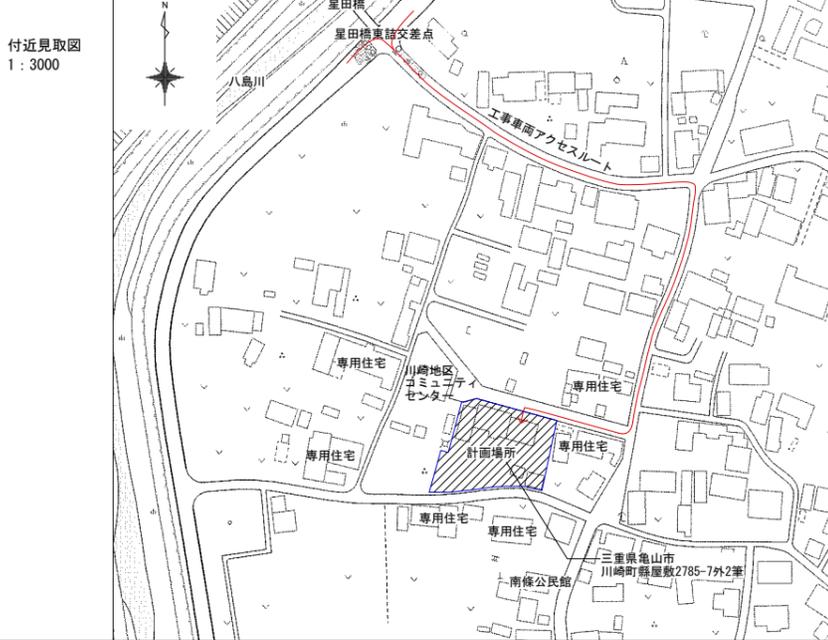
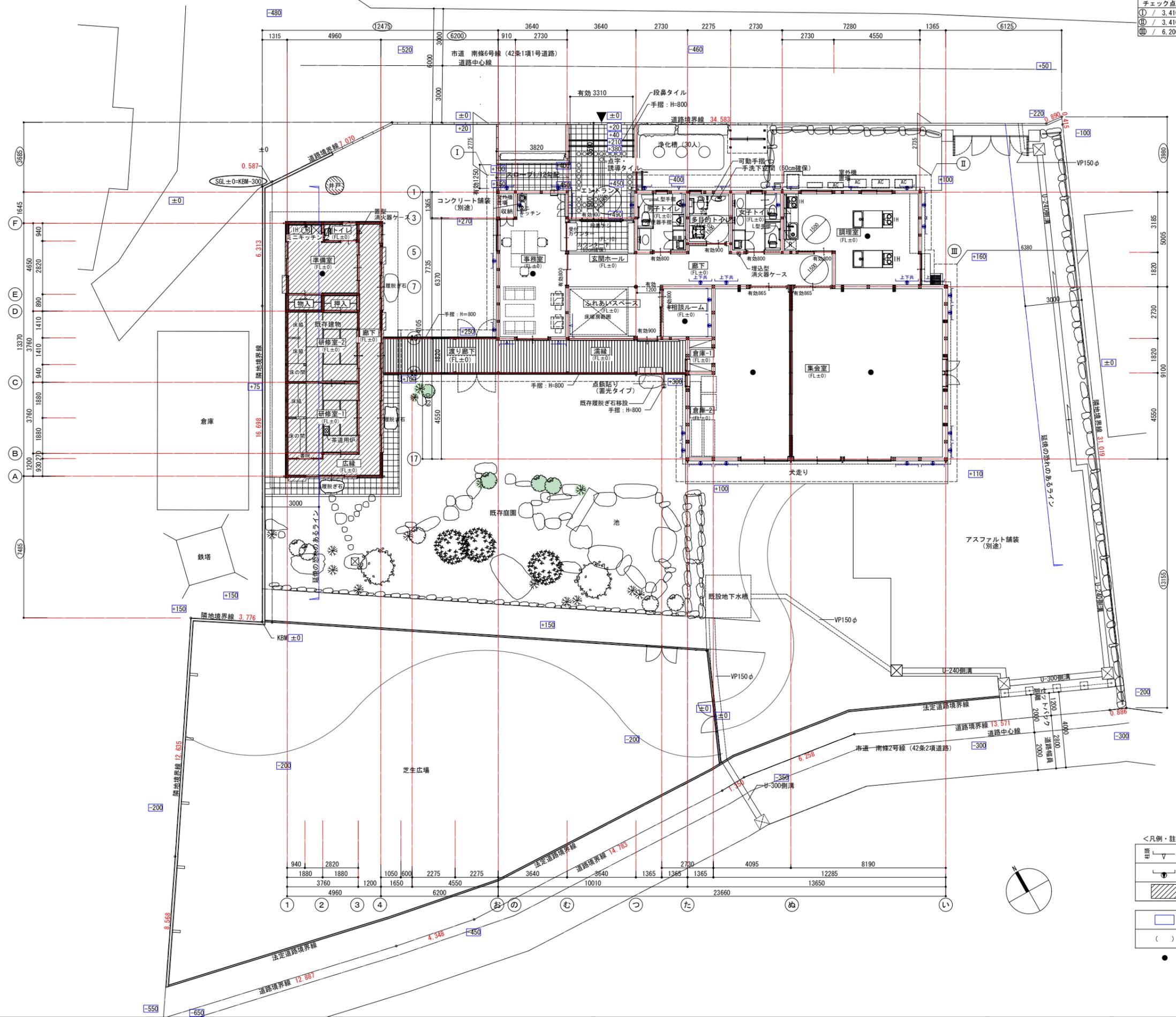


Table listing materials and specifications for 床・巾木, 塗装, 壁, 天井, 断熱材, 窓, 扉, 床, 柱・梁, 手摺, 軒, 壁, 建具, 基礎, エントランス.

高さ制限検討		判定
①	3,410 mm 【道路斜線】 $1.25 \times (6,000 + (2775 \times 2)) = 14,437.5 \text{ mm}$	> 3,410 mm (OK)
②	3,410 mm 【道路斜線】 $1.25 \times (6,000 + (2735 \times 2)) = 14,337.5 \text{ mm}$	> 3,410 mm (OK)
③	6,200 mm 【隣地斜線】 $20,000 + (1.25 \times 6380) = 27,975 \text{ mm}$	> 6,200 mm (OK)

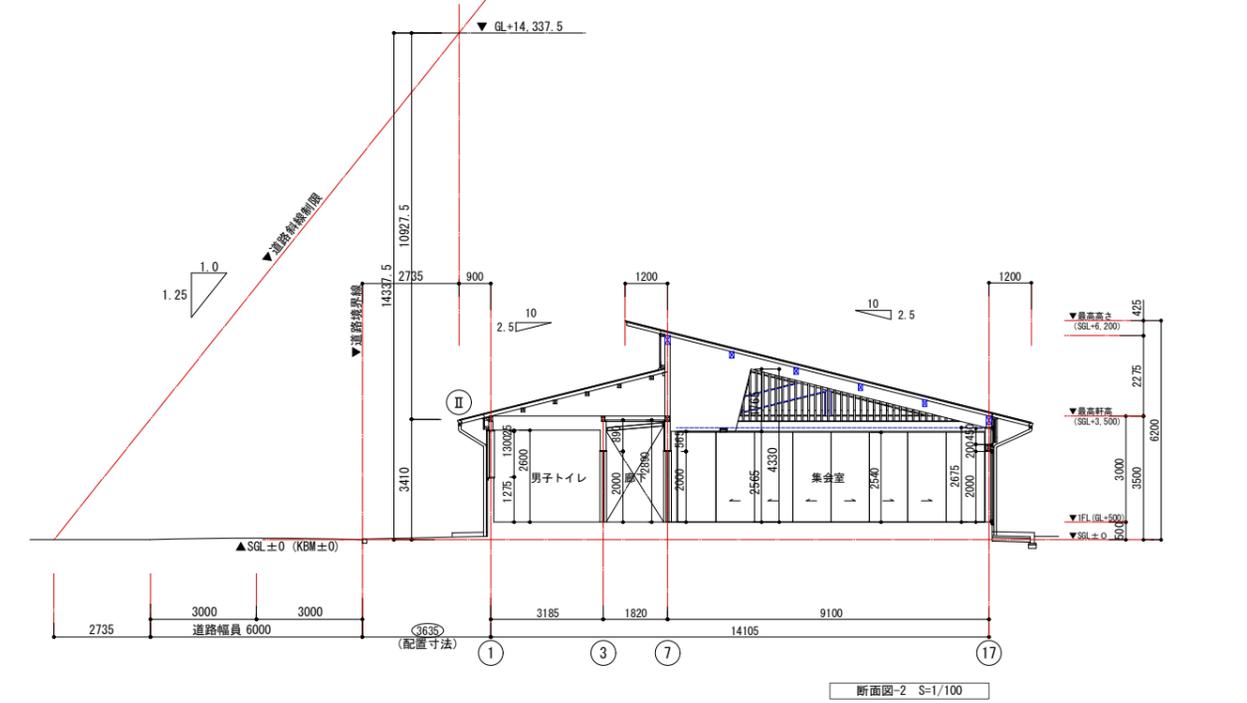
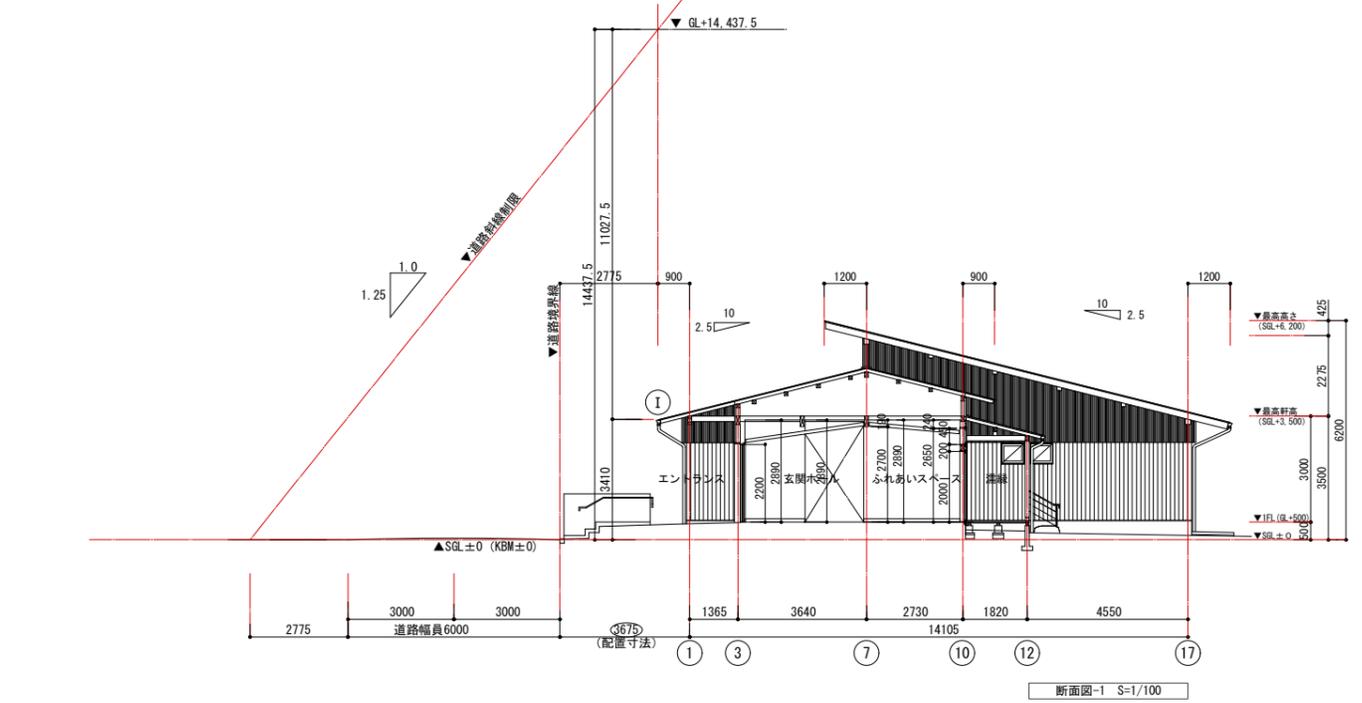
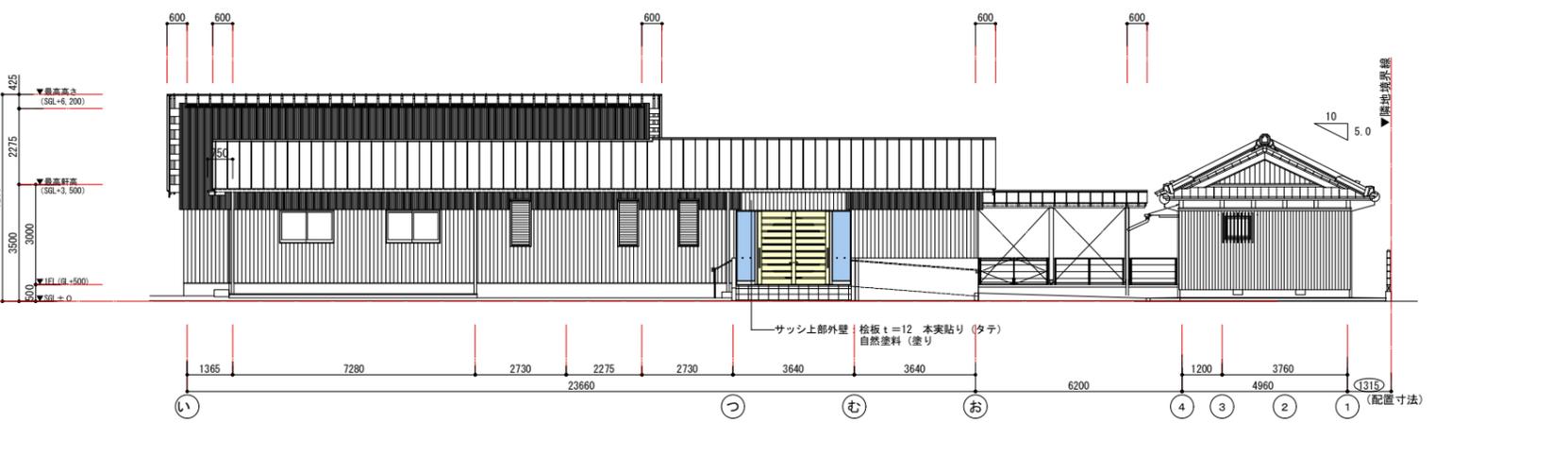
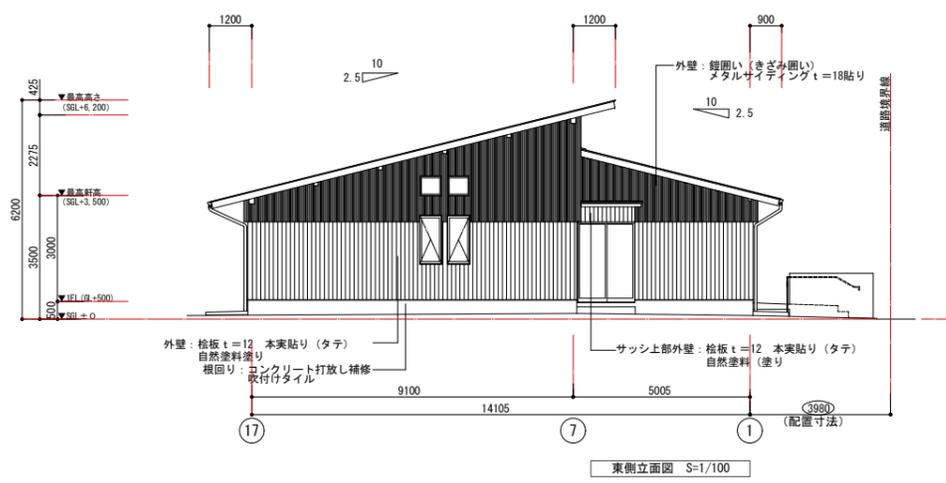
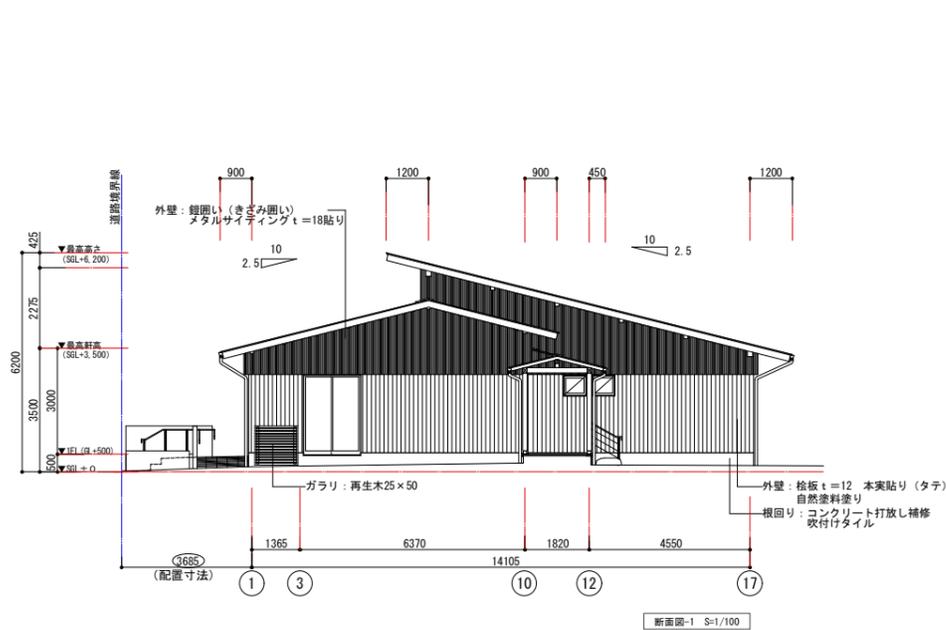
□ 注記事項  
 ※1 令125条第1項敷地内通路（主出入口）有効1.5m以上 図示  
 ※2 ポーチ舗装の措段差2.0cm以内



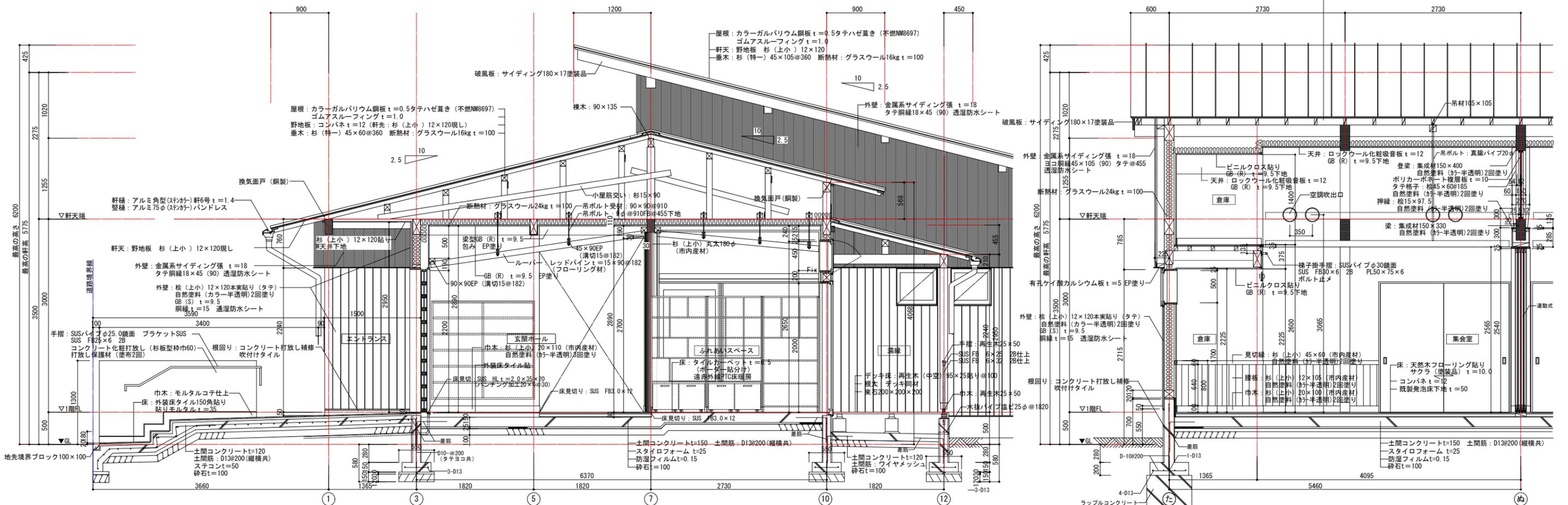
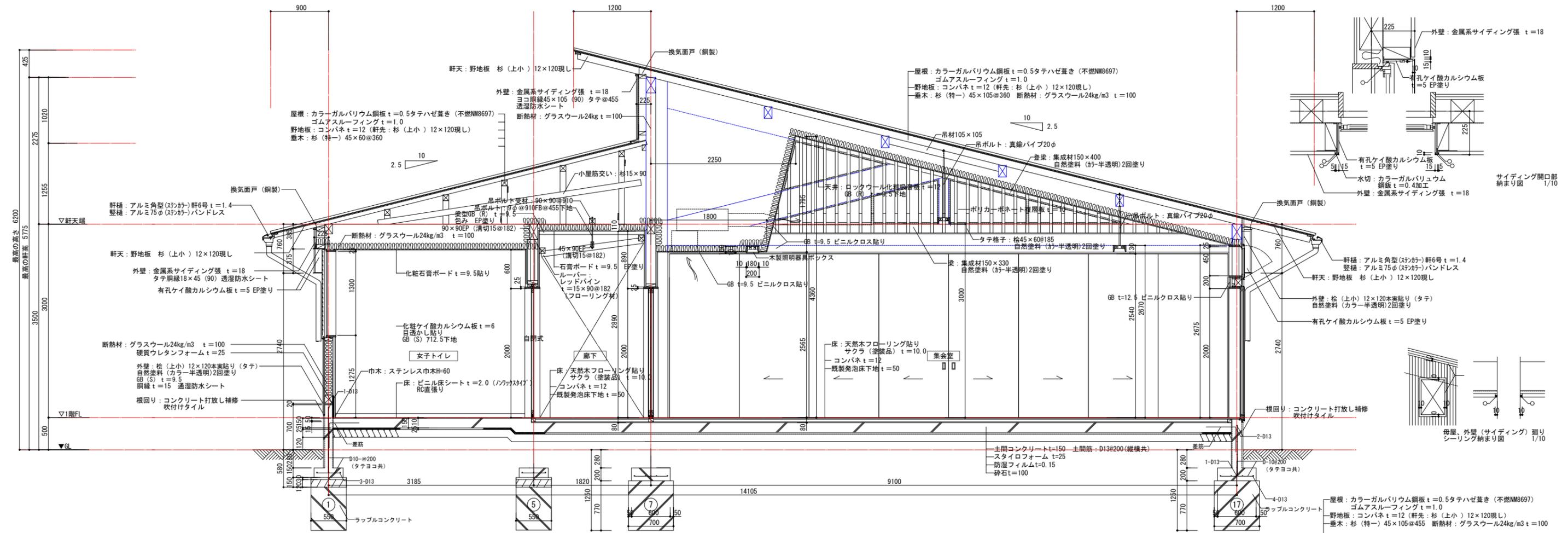
<凡例・注記事項>

柱頭	柱脚	筋違い: 4.5 × 10.5
●	○	筋違い: 4.5 × 10.5 (タスキ掛)
斜線		既存建物を示す
□		SGLよりのレベルを示す
( )		FL (SGL+500) よりのレベルを示す
●		室内空气中の化学物質の濃度測定位置を示す

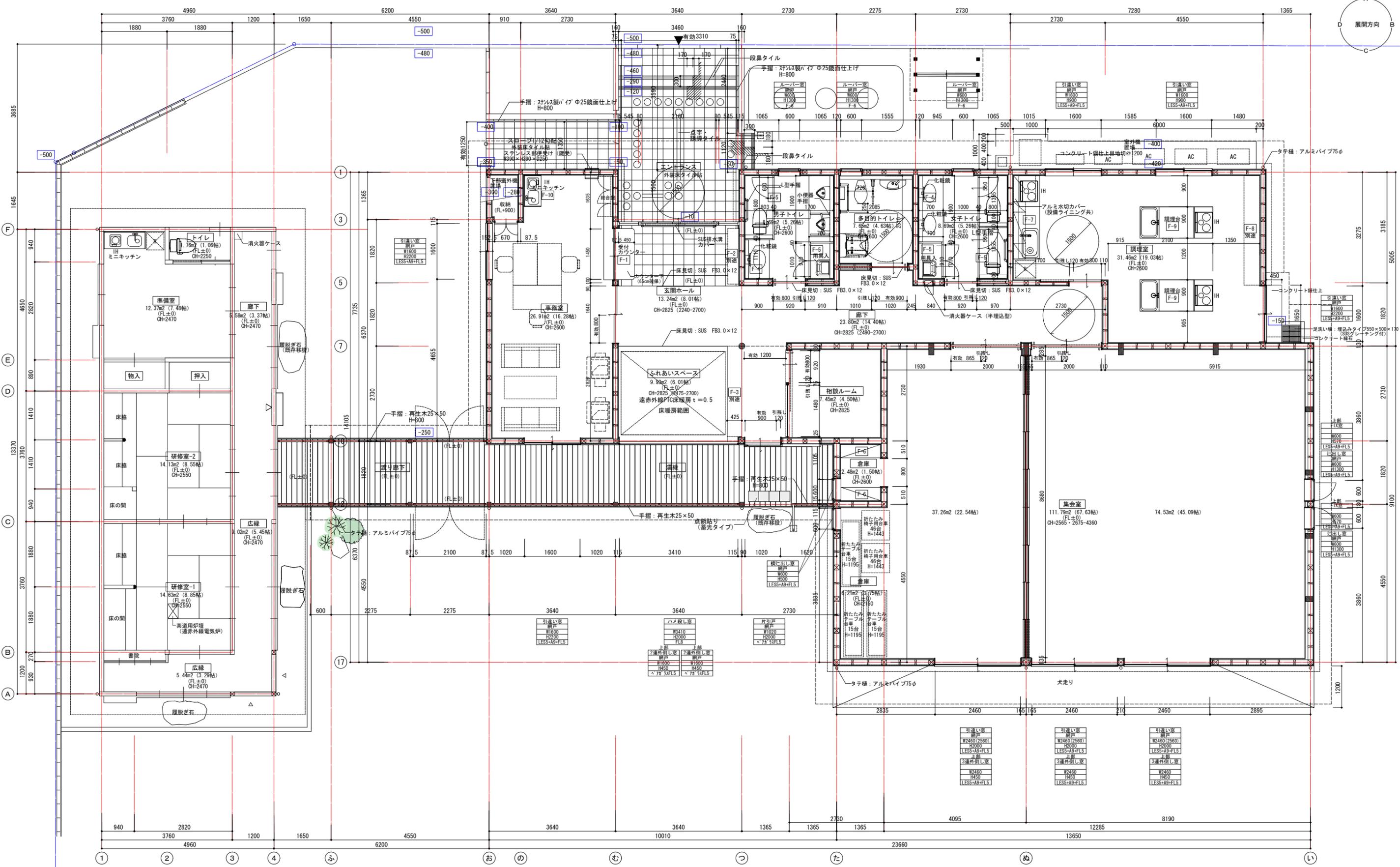
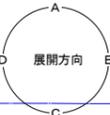




特記事項	変更事項	目付	一級建築士事務所 <b>株式会社 上野建築研究所</b> Ueno Architect & Associates	日付 11.03.10 設計者 IMAOKA MATSUMOTO 監理者 NISIO FUKUDA	名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事) 設計図 図名 <本館棟> 立面図・断面図 縮尺 A3版1/200 A1版1/100	図番 A20-12 検印
------	------	----	--	---	--	-----------------



特記事項	変更事項	一級建築士事務所 株式会社 上野建築研究所 Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所 (三重県知事) 登録第 1-748号 管理建築士 今岡隆之 一級建築士登録第 5324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0801 三重県伊賀市平野見籠330-22 330-22 HIRANOMI NOKI, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL (0595)23-6272 FAX (0595)23-6273	日付 11.03.10 図名 川崎地区コミュニティセンター改築工事 (建築主体工事) 設計図 縮尺 A3版1/60 A1版1/30	図面番号 A20-13
------	------	---	--	--	-------------



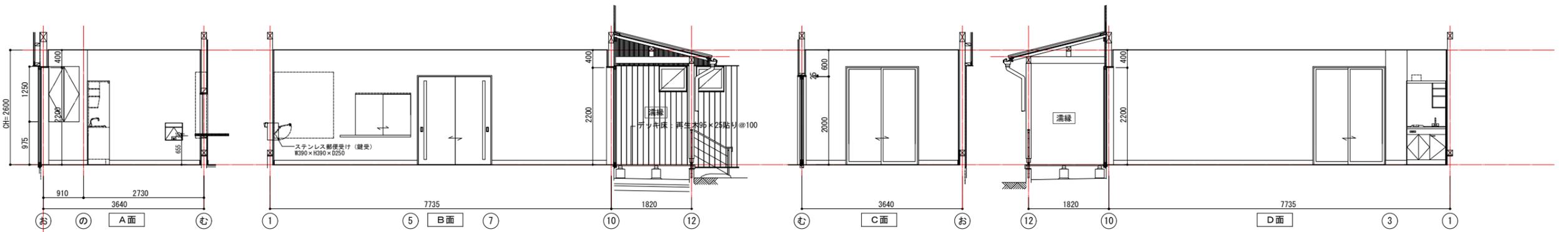
凡例  
FLよりのレベルを示す

玄関ホール	
天井	GB (R) t=9.5 EP塗り レッドパイン t=15×90 (7D-リング材) 面取 ルーバー状吊@182 (船底天井)
壁	ビニルクロス貼り
腰壁	GB (R) t=12.5
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	外装床タイル貼150角 防水
ふれあいスペース	
天井	GB (R) t=9.5 EP塗り レッドパイン t=15×90 (7D-リング材) 面取 ルーバー状吊@182 (船底天井)
壁	ビニルクロス貼り 北側壁面: 杉板ムク材 t=15~30×巾40~60ランダム貼り 自然塗料
腰壁	GB (R) t=12.5
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	天然木フローリング貼り タイカカーベット敷き t=6.5 (ポーター貼分け) 遠赤外線PTC床暖房 t=0.5 RC
廊下	
天井	GB (R) t=9.5 EP塗り レッドパイン t=15×90 (7D-リング材) 面取 ルーバー状吊@182 (船底天井)
壁	ビニルクロス貼り GB (R) t=12.5
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	天然木フローリング貼り サクラ (塗装品) t=10.0 コンパネ t=12 既製発泡床下地 t=50

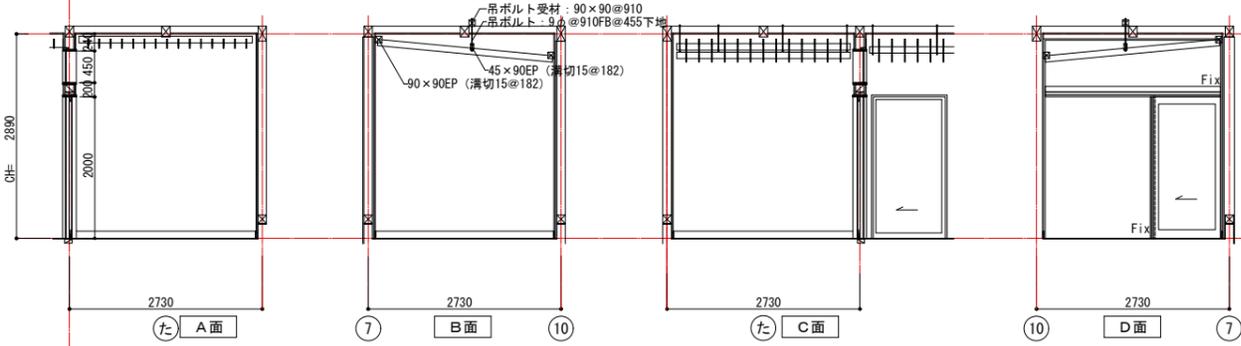
集会所	
天井	ロックウール化粧吸音板 t=12 集成材探現し 自然塗料 ビニルクロス貼り GB (R) t=9.5 下地
壁	ビニルクロス貼り 集成材探現し 自然塗料
腰壁	GB (R) t=12.5
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	天然木フローリング貼り サクラ (塗装品) t=10.0 コンパネ t=12 既製発泡床下地 t=50
倉庫-1	
天井	ビニルクロス貼り GB (F) t=9.5 下地
壁	ビニルクロス貼り GB (R) t=12.5
腰壁	杉 (上小) 20×100 (市内産材)
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	天然木フローリング貼り サクラ (塗装品) t=10.0 コンパネ t=12 既製発泡床下地 t=50
倉庫-2	
天井	ビニルクロス貼り GB (F) t=9.5 下地
壁	ビニルクロス貼り GB (R) t=12.5
腰壁	杉 (上小) 20×100 (市内産材)
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	天然木フローリング貼り サクラ (塗装品) t=10.0 コンパネ t=12 既製発泡床下地 t=50
ロフト倉庫	
天井	ロックウール化粧吸音板 t=12 ビニルクロス貼り GB (F) t=9.5 下地
壁	ビニルクロス貼り GB (R) t=12.5
腰壁	杉 (上小) 20×100 (市内産材)
巾木	杉 (上小) 20×100 (市内産材) 自然塗料
床	天然木フローリング貼り サクラ (塗装品) t=10.0 コンパネ t=12



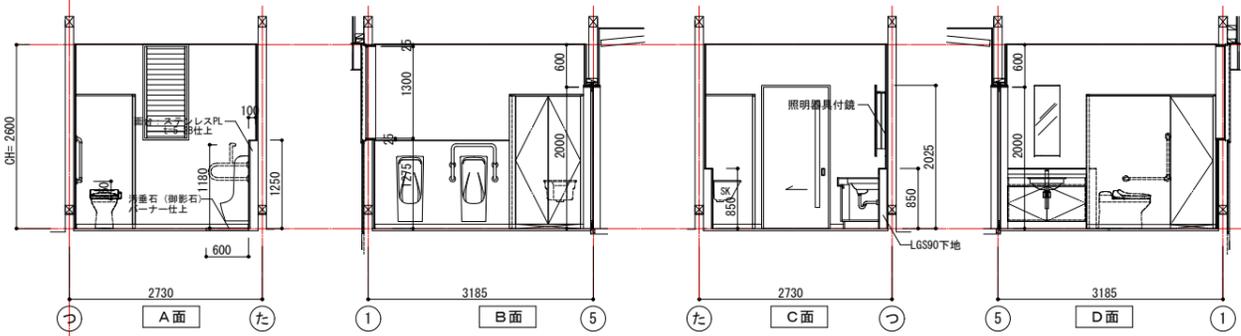
事務室	
天井	GB (D) t=9.5
壁	W下地 ビニルクロス貼り GB (R) t=12.5
腰壁	
巾木	杉(上小) 20×100 (市内産材)
床	自然塗料 タイルカーペット敷きt=6.5 (ポーター貼分け) RC面



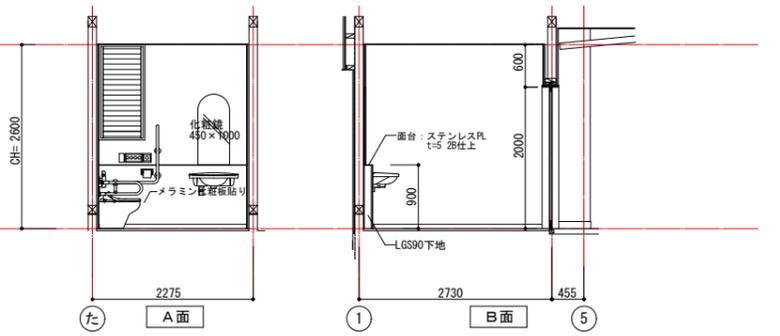
相談ルーム	
天井	GB (R) t=9.5 EP レッドパイン t=15×90 (70-リング材) 面取 ルーバー状吊@182(船底天井)
壁	ビニルクロス貼り GB (R) t=12.5
腰壁	
巾木	杉(上小) 20×100 (市内産材)
床	自然塗料 タイルカーペット敷きt=6.5 (ポーター貼分け) RC面



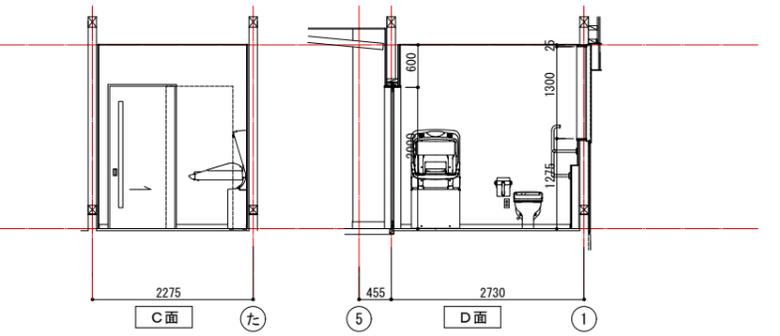
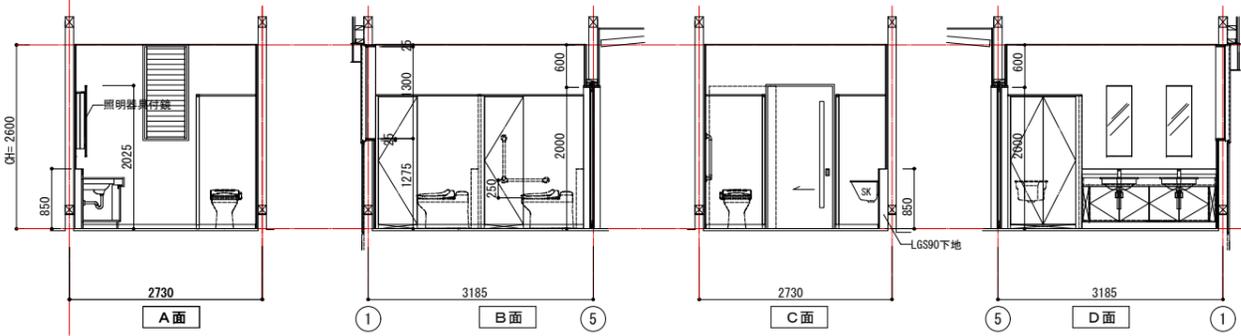
男性用トイレ	
天井	GB (D) t=9.5
壁	化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0
腰壁	GB (S) t=12.5
巾木	SUS H=60
床	ビニル床シート貼 t=2.0 (ノック3347) RC面 モルタル



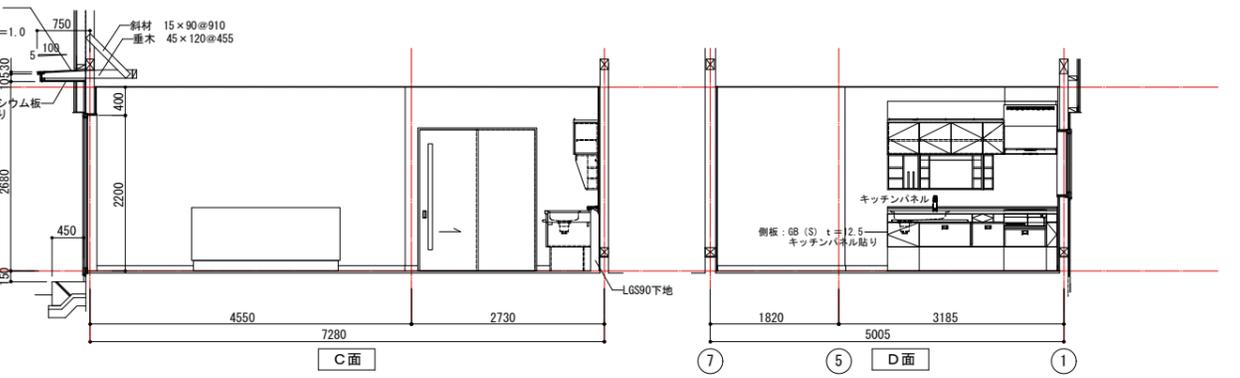
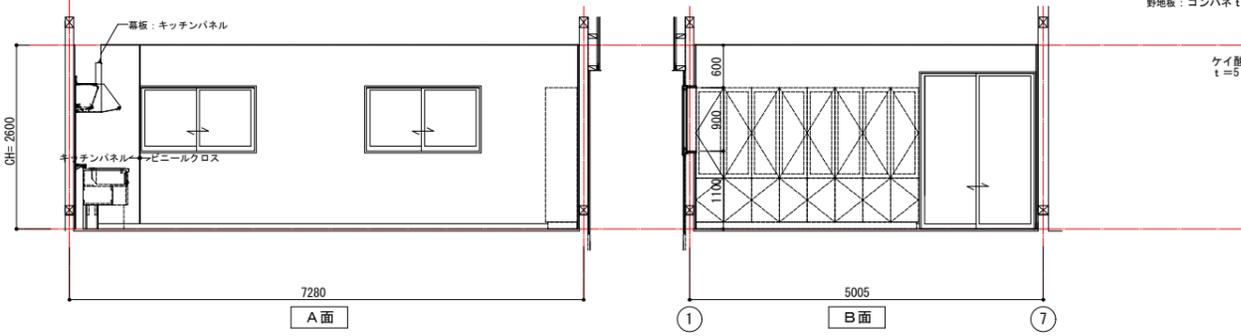
多目的トイレ	
天井	GB (D) t=9.5
壁	化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0
腰壁	GB (S) t=12.5
巾木	SUS巾木 H=60
床	ビニル床シート貼 t=2.0 (ノック3347) RC面 モルタル

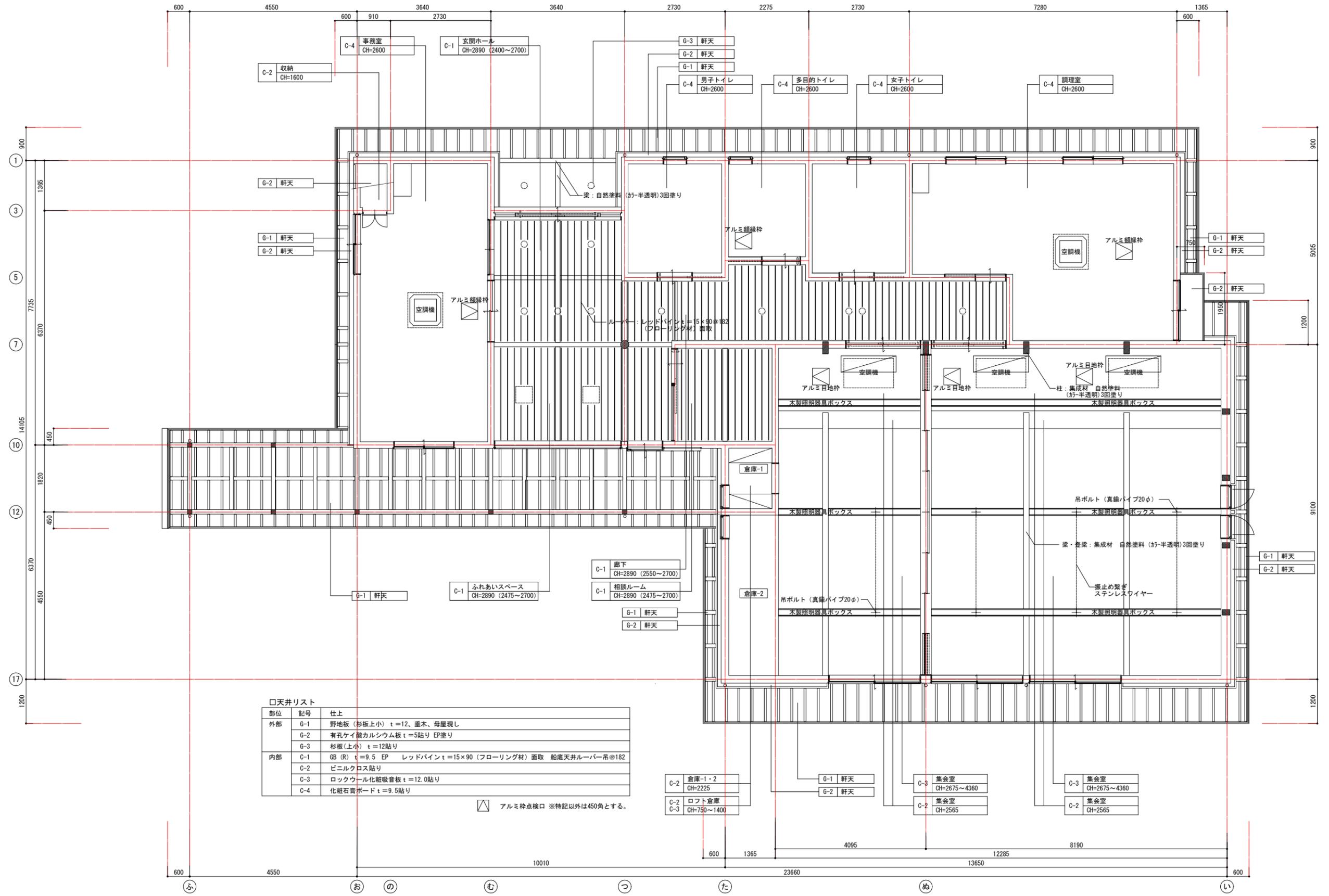


女性用トイレ	
天井	GB (D) t=9.5
壁	化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0
腰壁	GB (S) t=12.5
巾木	SUS H=60
床	ビニル床シート貼 t=2.0 (ノック3347) RC面 モルタル



調理室	
天井	GB (D) t=9.5
壁	ビニルクロス貼 (汚れ防止) GB (S) t=12.5
腰壁	同上
巾木	ビニル床シート立上 H=75 GB (S) t=12.5
床	ビニル床シート貼 t=2.5 (防滑) RC面 モルタル



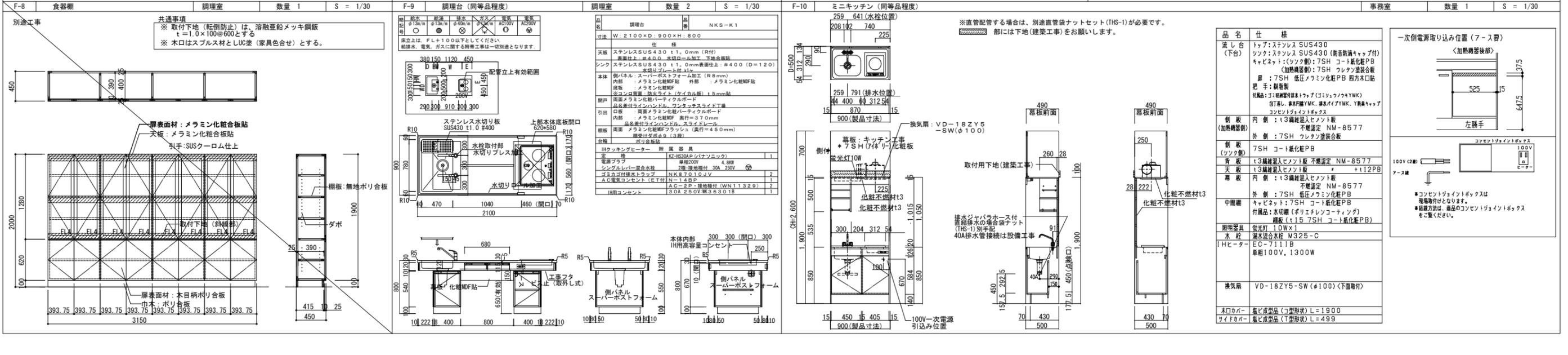
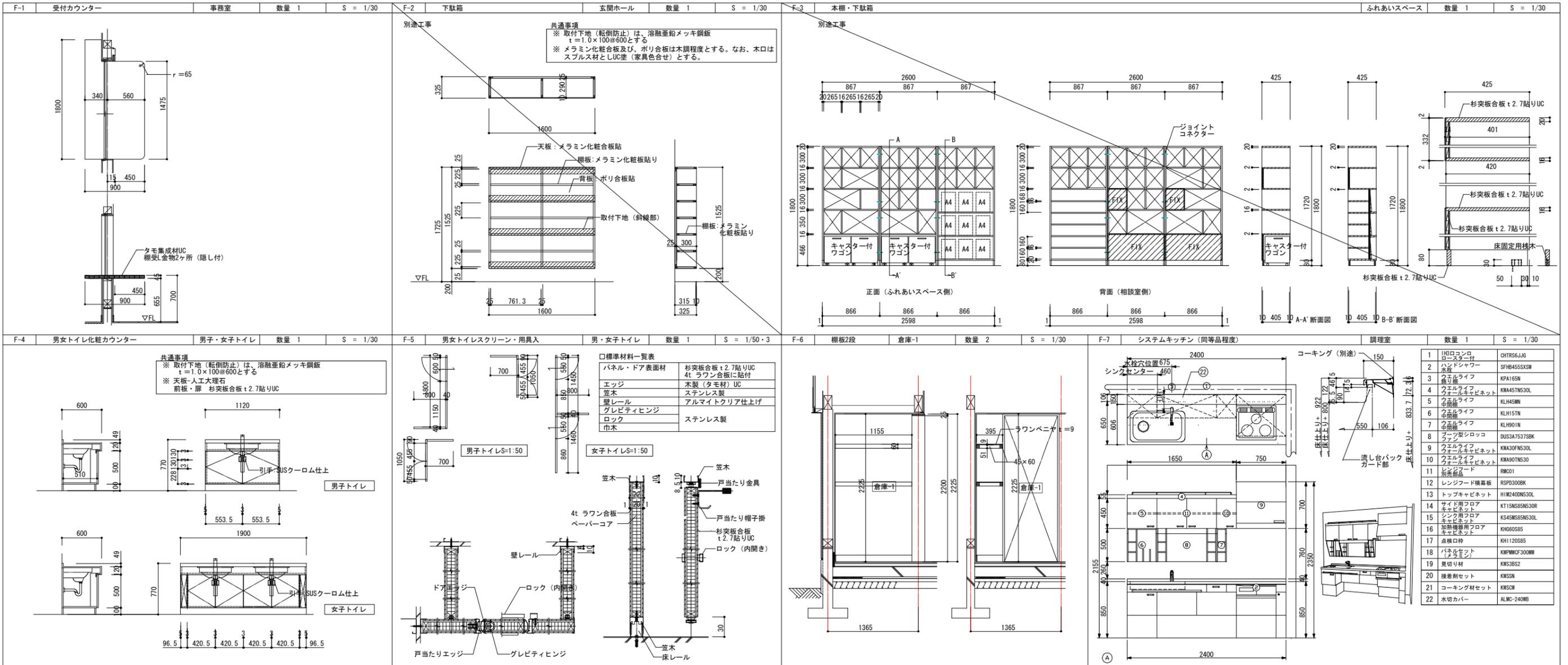


□天井井リスト

部位	記号	仕上
外部	G-1	野地板(杉板上小) t=12、垂木、母屋現し
	G-2	有孔ケイ酸カルシウム板 t=5貼り EP塗り
	G-3	杉板(上小) t=12貼り
内部	C-1	GB (R) t=9.5 EP レッドバイン t=15×90 (フローリング材) 面取 船底天井ルーバー吊@182
	C-2	ビニルクロス貼り
	C-3	ロックウール化粧吸音板 t=12.0貼り
	C-4	化粧石膏ボード t=9.5貼り

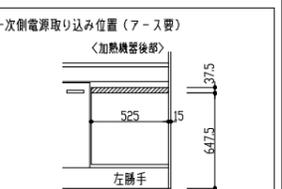
△ アルミ枠点検口 ※特記以外は450角とする。





1	IH3口コンロ	ロースター付	GHTRS6JUG
2	ハンドシャワー	水栓	SFH455SKSW
3	ウエルライフ	中扉	KPA165N
4	ウエルライフ	フルオープンキャビネット	KMA45TN30L
5	ウエルライフ	中扉	KLH45NM
6	ウエルライフ	中扉	KLH15TN
7	ウエルライフ	中扉	KLH901N
8	フレンジ	レンジフード	DUS3A75375BK
9	ウエルライフ	フルオープンキャビネット	KMA30FN30L
10	ウエルライフ	フルオープンキャビネット	KMA90TN30L
11	レンジフード	別売部品	BMC01
12	レンジフード	別売部品	RSP0300BK
13	トップキャビネット	HIMC400N30L	
14	サイド用フロア	キャビネット	KT15NS5N30R
15	サイド用フロア	キャビネット	KS45MS5N30L
16	加熱機	別売部品	KHG600S5
17	点検口	別売部品	KH1120S85
18	パネルセット	(メラミン)	KMPWMP300MM
19	見切り材	別売部品	KMS3BS2
20	接着剤	別売部品	KWSSN
21	コーキング材	別売部品	KWSW
22	水切りカバー	別売部品	ALMC-240WB

品名	仕様
流し台(下台)	トップ:ステンレス SUS430 シンク:ステンレス SUS430 (断音減振タイプ) キャビネット:(シンク側):7SH コート紙化粧PB (加熱機側):7SH コート紙化粧PB 扉:7SH 低圧メラミン化粧PB 西方木口貼 把手:樹脂製 取付:3口電源用トラップ(ゴシヨクキヤMK) BT取付:別売部品(別注:別売部品)MK、YMK、キャビネット コンソルトジョイントボックス
側板(加熱機側)	内側:3口電源用トラップ 不燃認定 NM-8577
側板(シンク側)	7SH コート紙化粧PB
天板	3口電源用トラップ 不燃認定 NM-8577 +12PB
扉	内側:3口電源用トラップ 不燃認定 NM-8577 外側:7SH コート紙化粧PB
中扉	外側:7SH 低圧メラミン化粧PB キャビネット:7SH コート紙化粧PB 付属品:水切網(ポリエチレンコートタイプ) 扉:7SH コート紙化粧PB
照明器具	蛍光灯 10W×1 取付:別売部品(別注)
水栓	排水混合水栓 M325-C EC-7111B 単相100V、1300W
IHヒーター	VD-18ZY5-SW(φ100)(下置型)
換気扇	VD-18ZY5-SW(φ100)(下置型)
木口カバー	別売部品(L型) L=1900
サイドカバー	別売部品(T型) L=499



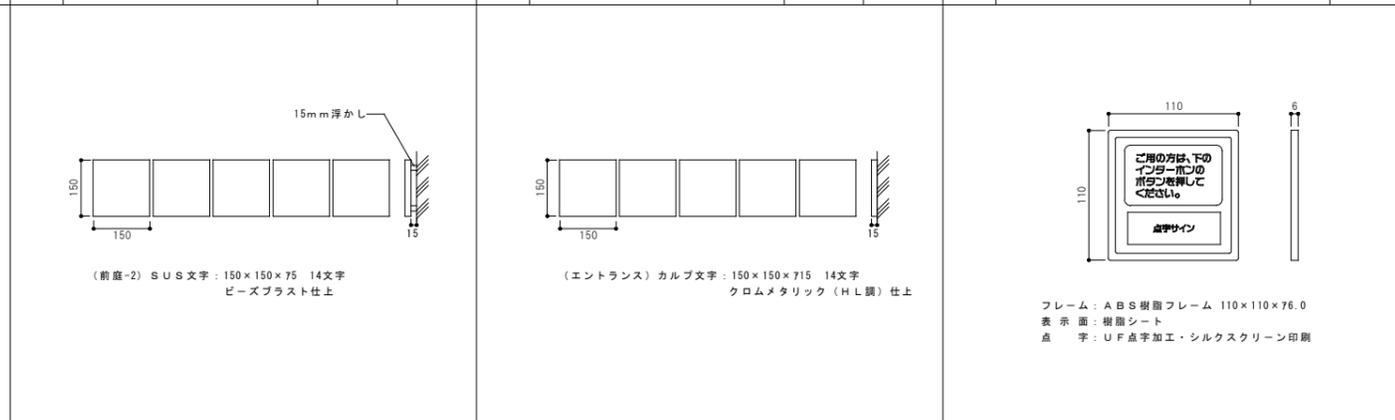
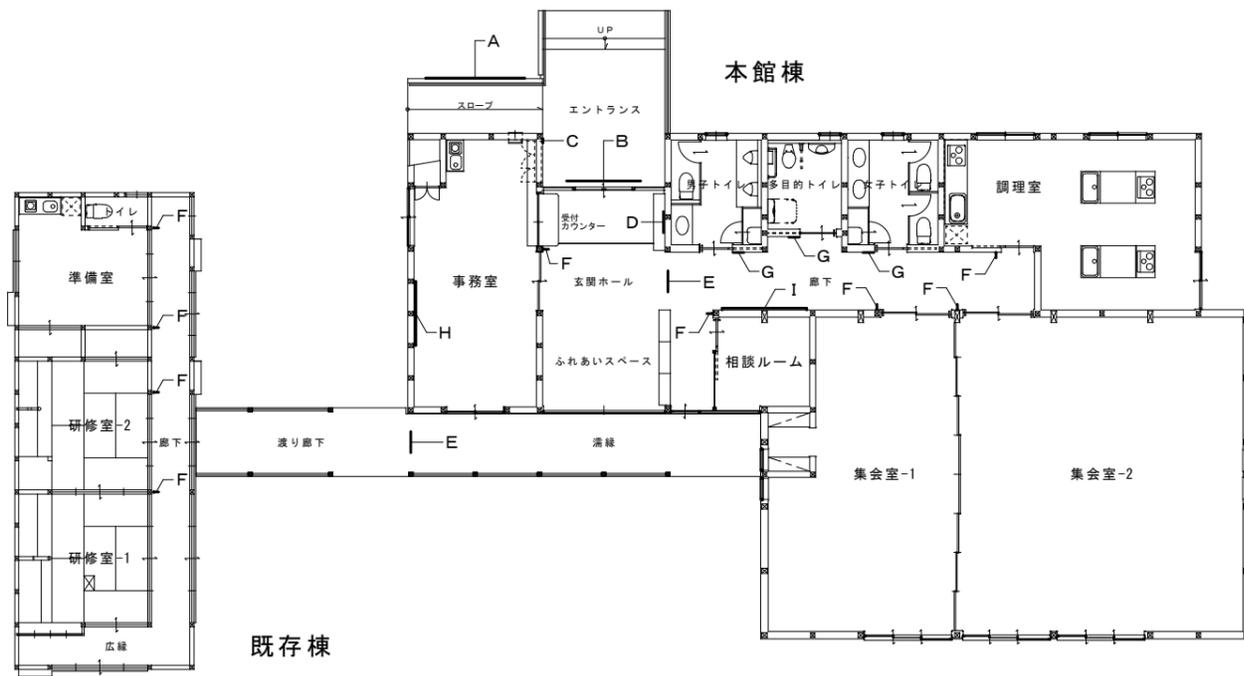
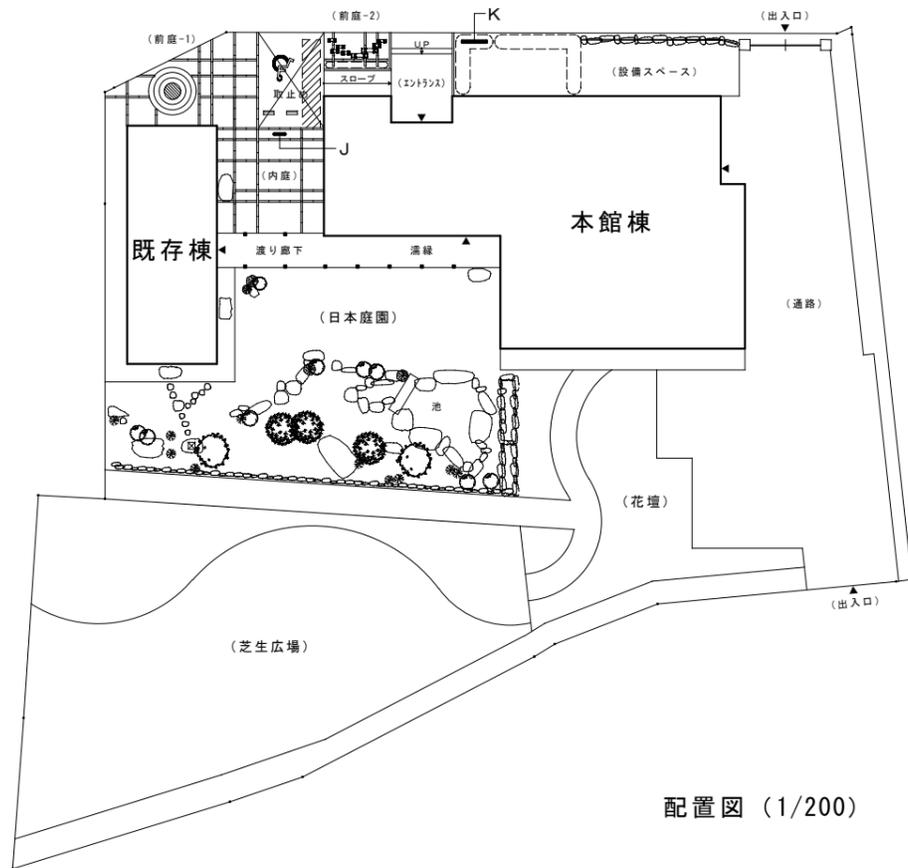
サイン計画 位置図 (配置図・平面図)

1/100・200

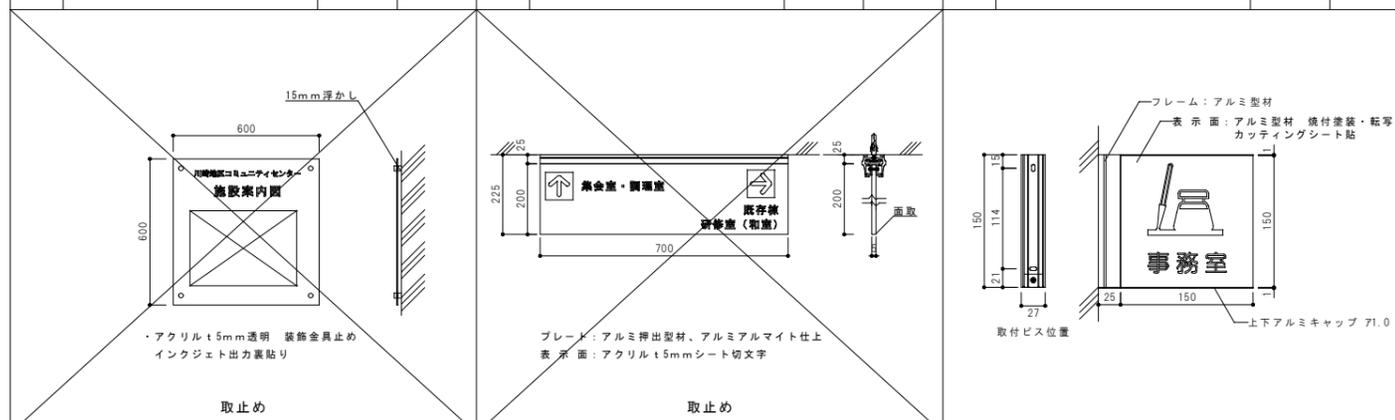
A	前庭館名サイン	1箇所	1/10	B	玄関館名サイン	1箇所	1/10	C	ドアホンサイン	1箇所	1/2
---	---------	-----	------	---	---------	-----	------	---	---------	-----	-----

<凡例>

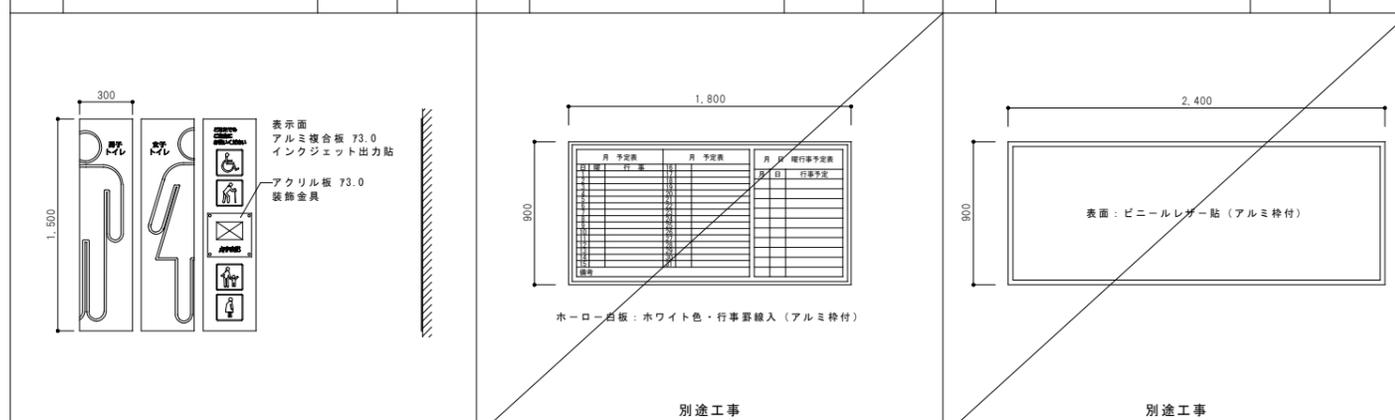
- A 前庭館名サイン
- B 玄関館名サイン
- C ドアホンサイン
- D 利用案内サイン
- E 吊り下げサイン
- F 室名サイン
- G トイレサイン
- H 行事用ホワイトボード
- I 掲示板
- J 車いす区画サイン
- K 屋外掲示板



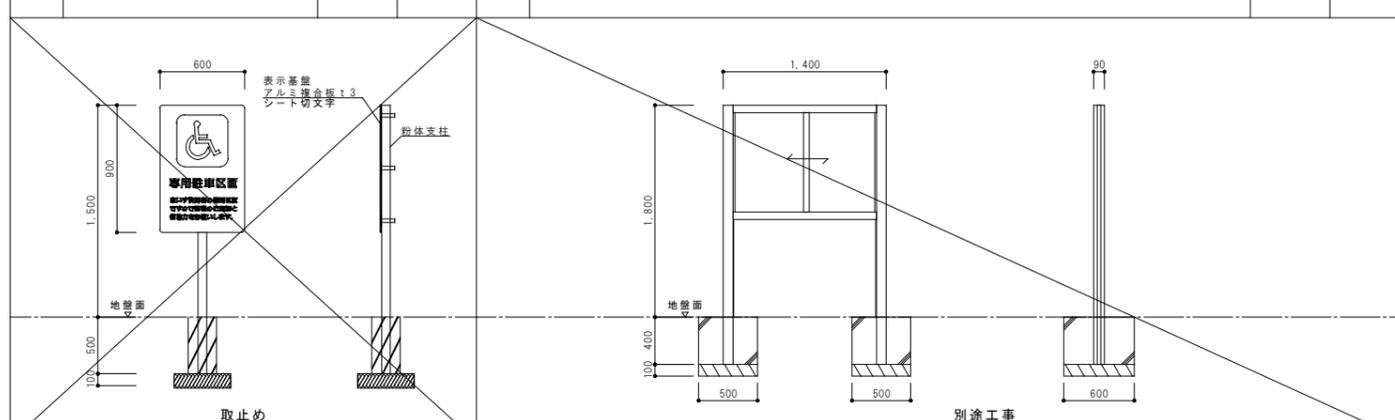
D	利用案内サイン(点字表記)	1箇所	1/10	E	吊り下げサイン	2箇所	1/6	F	室名サイン(点字表記)	9箇所	1/4
---	---------------	-----	------	---	---------	-----	-----	---	-------------	-----	-----



G	トイレサイン(点字表記)	3箇所	1/20	H	行事用ホワイトボード	1箇所	1/15	I	掲示板	1箇所	1/15
---	--------------	-----	------	---	------------	-----	------	---	-----	-----	------



J	車いす区画サイン	1箇所	1/40	K	屋外掲示板(敷地外より移設)	1箇所	1/20
---	----------	-----	------	---	----------------	-----	------



工事名 川崎地区コミュニティセンター改築工事に伴う耐震改修工事

I 工事概要

1. 工事場所 三重県龜山市川崎町 地内
2. 工事内容 構名称: 既存棟(旧近澤医院、附属離れ)
用途: 住宅(S41.12竣工)⇒集会所
構造: 木造平家建て
建築面積: 66.31㎡(20.1T)
延床面積: 66.31㎡(20.1T)
工事項目: 下記による。

＜耐震改修工事＞

- 上記に伴う、解体撤去工事（当該工事に伴う撤去等）
上記に伴う、直接仮設工事（当該工事に伴う足場等）
上記に伴う、耐震補強工事（金物、耐力壁の増設等）
上記に伴う、外装改修工事（外壁、建具改修等）
上記に伴う、内装改修工事（洋室、広縁改修等）
上記に伴う、設備改修工事（電気、機械とも別途工事）

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」（以下「改修仕」）による。

2. 特記仕様

- (1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、◎の付いたものを適用する。
◎印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3)特記事項に記載の（ ）内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。

Table with 2 columns: 章 項目, 特記事項. Contains detailed specifications for construction standards, documents, site management, and construction conditions.

Table with 2 columns: ⑦ 発生材の処理等, ⑧ 建築材料等, ⑩ 施工数量調査, ⑪ 調査のための破壊部分の補修, ⑫ 技能士, ⑬ 化学物質の濃度測定, ⑭ 特別な材料の工法, ⑮ 騒音・振動の防止, ⑯ 排出ガス対策建設機械の使用, ⑰ 工事写真, ⑱ 完成図. Contains technical specifications for waste, materials, surveying, repairs, skills, chemicals, special materials, noise, gas, photos, and completion drawings.

Table with 2 columns: ① 完成写真, ② 設備工事との取合い, ③ 養生その他, ④ 事故報告, ⑤ 外部足場, ⑥ 仮設工事, ⑦ 監督員事務所, ⑧ 危険物貯蔵所, ⑨ 請負者事務所, ⑩ 材料倉庫, ⑪ 作業小屋, ⑫ 仮設便所, ⑬ 工事用水, ⑭ 工事用電力, ⑮ その他. Contains specifications for photos, equipment, safety, accidents, scaffolding, temporary construction, supervision, hazardous materials, contractor offices, material storage, work sheds, temporary toilets, water, power, and other site facilities.

Table with 2 columns: ① 防水改修工事, ② 保護層等, ③ 合成高分子系, ④ 塗膜防水, ⑤ 既存塗膜防水層表面の仕上塗装, ⑥ 7mm以上製笠木, ⑦ シーリング用材料. Contains specifications for waterproofing, protection layers, synthetic resin systems, coatings, existing waterproofing, and sealing materials.

8 シーリング改修 工法の種類	・シーリング充てん工法 (3.7.4)																							
	・シーリング再充てん工法 (3.7.5)																							
④ 施工数量	※行う ○行わない																							
	・調査範囲 ※全面 ・外壁 (吹付タイル・タイル貼部分)																							
⑤ 改修工法の種類	・調査項目 ひび割れ部 (幅0.2mm、0.2mm~1.0mm、1.0mm以上) はがれ及びはく落部分 浮き部																							
	・調査方法 目視及びミリスケール等 足場 ・枠組 ・ゴンドラ																							
⑥ 改修工法等	・報告書 3部監督員に提出 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																							
	・調査業者 材料メーカーの指定する施工業者とする																							
⑦ 改修工法等	⑧全面改修 (既存杉板張り等を撤去し、外壁・小壁・下地とも新設とする) (4.1.4)																							
	<table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート打放し 仕上げ 軒裏</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シール工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・モルタル塗り 仕上げ 外壁</td> <td>・欠損部</td> <td>※充てん工法</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・コンクリート打放し面改修工法 (コナ-吉田若返りシム程度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・モルタル塗り 仕上げ 外壁</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シール工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部</td> <td>※充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・浮き部</td> <td>・浮き部</td> <td>・アカビシシ部分球 樹脂注入工法 ・アカビシシ全面球 樹脂注入工法 ・アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 ※注入口付アカビシシ部分球 樹脂注入工法 ・注入口付アカビシシ全面球 樹脂注入工法 ・注入口付アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>・目地</td> <td>※目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗り仕上げ</td> <td>・吹替部</td> <td>・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ※複層仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り</td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・コンクリート打放し 仕上げ 軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シール工法	・モルタル塗り 仕上げ 外壁	・欠損部	※充てん工法	・その他	・コンクリート打放し面改修工法 (コナ-吉田若返りシム程度)	・モルタル塗り 仕上げ 外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シール工法	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・浮き部	・浮き部	・アカビシシ部分球 樹脂注入工法 ・アカビシシ全面球 樹脂注入工法 ・アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 ※注入口付アカビシシ部分球 樹脂注入工法 ・注入口付アカビシシ全面球 樹脂注入工法 ・注入口付アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・目地	※目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法	・塗り仕上げ	・吹替部
外壁	種類	改修工法																						
・コンクリート打放し 仕上げ 軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シール工法																						
・モルタル塗り 仕上げ 外壁	・欠損部	※充てん工法																						
	・その他	・コンクリート打放し面改修工法 (コナ-吉田若返りシム程度)																						
・モルタル塗り 仕上げ 外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シール工法																						
	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法																						
・浮き部	・浮き部	・アカビシシ部分球 樹脂注入工法 ・アカビシシ全面球 樹脂注入工法 ・アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 ※注入口付アカビシシ部分球 樹脂注入工法 ・注入口付アカビシシ全面球 樹脂注入工法 ・注入口付アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法																						
	・目地	※目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法																						
・塗り仕上げ	・吹替部	・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ※複層仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り																						
⑧ 改修工法等	樹脂注入工法 (4.3.4)(4.4.5)(4.5.5)																							
	種類 ・自動式低圧球 樹脂注入 注入量 ( ) 注入孔間隔 ( ) ・手動式球 樹脂注入 注入量 ( ) 注入孔間隔 ( ) ・機械式球 樹脂注入 注入量 ( ) 注入孔間隔 ( )																							
Uカットシーリング材充てん工法 (4.3.5)	種類 ・シーリング用材充てん (・PU-2 ) ・可とう性エポキシ樹脂充てん平滑仕上 (巾10mm*深さ10mm以上) (日本樹脂施工協同組合程度)																							
	シーリング用材のうにポリマーセメントモルタル充てん ・行う ・行わない																							
⑨ 改修工法等	○ホールダウン金物及びアルミサッシ取付等に併い荒壁は撤去後復旧とする。																							

シール工法 (4.3.6)(4.4.7)																				
種類 ・パテ状エポキシ樹脂シール ・可とう性エポキシ樹脂シール																				
充てん工法 (4.3.7)(4.4.8)																				
種類 ・エポキシ樹脂モルタル充てん (日本樹脂施工協同組合程度) ・ポリマーセメントモルタル充てん																				
モルタル塗替え工法 (4.4.9)																				
アカビシシ部分球 樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1)																				
アカビシシ部分球 樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1)																				
施工箇所																				
一般部分																				
指定部分																				
狭幅部																				
アカビシシ全面球 樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2)																				
施工箇所																				
一般部分																				
指定部分																				
狭幅部																				
アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 (4.4.12)(図4.4.2)																				
施工箇所																				
一般部分																				
指定部分																				
狭幅部																				
注入口付アカビシシ部分球 樹脂注入工法 (4.4.13)(図4.4.3)																				
施工箇所																				
一般部分																				
指定部分																				
狭幅部																				
注入口付アカビシシ全面球 樹脂注入工法 (4.4.14)(図4.4.4)																				
施工箇所																				
一般部分																				
指定部分																				
狭幅部																				
注入口付アカビシシ全面球 リマセメントスラリー注入工法 (4.4.15)(図4.4.4)																				
施工箇所																				
一般部分																				
指定部分																				
狭幅部																				
タイル部分貼替え工法 (4.5.7)																				
種類 ・ポリマーセメントモルタルによる貼替え ・球 樹脂による貼替え																				
貼付用モルタル及び目地材の既成調合材料 ・使用する ・使用しない																				
タイル貼替え工法 (4.5.8)																				
種類 (表4.5.3)																				
<table border="1"> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>タイル寸法</th> <th>工法</th> <th>塗り厚(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装タイル</td> <td rowspan="2">・小口タイル以上二丁掛け以下</td> <td>・密着貼り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・改良積上げ貼り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ユニットタイル</td> <td rowspan="2">・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下</td> <td>・改良圧着貼り</td> <td>下地側4~6 タイル側3~4</td> </tr> <tr> <td>・マスク貼り</td> <td>3~4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・モザイクタイル貼り</td> <td>3~5</td> </tr> </table>	タイルの種類	タイル寸法	工法	塗り厚(mm)	・外装タイル	・小口タイル以上二丁掛け以下	・密着貼り	5~8	・改良積上げ貼り	4~7	・ユニットタイル	・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下	・改良圧着貼り	下地側4~6 タイル側3~4	・マスク貼り	3~4			・モザイクタイル貼り	3~5
タイルの種類	タイル寸法	工法	塗り厚(mm)																	
・外装タイル	・小口タイル以上二丁掛け以下	・密着貼り	5~8																	
		・改良積上げ貼り	4~7																	
・ユニットタイル	・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下	・改良圧着貼り	下地側4~6 タイル側3~4																	
		・マスク貼り	3~4																	
		・モザイクタイル貼り	3~5																	

4 目地改修工法	目地ひび割れ改修工法 (4.5.16(a))		
	伸縮目地改修工法 (4.5.16(b))		
	目地 伸縮目地 (位置 寸法 × ) 検査 シーリング接着性試験 ・行う (・簡易接着性試験) ・行わない		
	材料 (4.2.2)(a) エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) ・低粘度形 ・中粘度形 仮止めシール材等はエポキシ樹脂製造所の指定する製品で既存及び新規塗膜に支障のないもの		
	可とう性エポキシ樹脂 パテ状エポキシ樹脂 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントスラリー タイル貼替用エポキシ樹脂 磁器質タイル せっ器質タイル		
5 仕上塗材 仕上げ	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (4.2.2)(j)(表4.2.4(その1)(その2))		
	種類 呼び名 仕上形状 工法		
・薄付け仕上塗材 JIS A 6909 (建築用仕上塗材)	・外装薄塗材Si ・可とう形 外装薄塗材Si ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・やさぎ波状	・吹付け ・ローラー	
	・外装薄塗材E ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・やさぎ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて ・ローラー ・こて	
・厚付け仕上塗材 JIS A 6909 (建築用仕上塗材)	・可とう形 外装厚塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・やさぎ波状	・吹付け ・こて ・ローラー	
	・防水形 外装厚塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・やさぎ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー ・こて	
・厚付け仕上塗材 JIS A 6909 (建築用仕上塗材)	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	スタックコ ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし	・吹付け ・こて ・ローラー
	・外装厚塗材C ・外装厚塗材E	スタックコ ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・吹付け ・こて ・ローラー
・複層仕上塗材 JIS A 6909 (建築用仕上塗材)	・複層塗材CE ・可とう形 複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材OE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	※ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様	※ローラー ・吹付け
	・複層塗材CE ・可とう形 複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材OE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・吹付け ・こて ・ローラー
○小壁 (砂壁仕上げ) ○外壁 (木部見え掛り、自然塗装 半透明 3回塗) ○既存柱及び土台 (GL+1.0m以下)の木部見え掛りは防蟻・防蟻剤塗りとする。			

既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3)	工法 処理範囲																																
※サンダー工法																																	
・高圧水洗工法																																	
・塗膜はく離剤工法																																	
・水洗い工法																																	
下地調整 (※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上塗材主材)																																	
複層仕上塗材の上塗材の種類 (表4.2.4)																																	
<table border="1"> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外観</th> </tr> <tr> <td>・アクリル系</td> <td>・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系</td> <td>・つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・シリカ系</td> <td>・水系</td> <td>・つやあり</td> </tr> <tr> <td>・ポリウレタン系</td> <td>・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系</td> <td>・つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・アクリル シリコン系</td> <td>・溶剤系 ・水系</td> <td>・つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ふっ素系</td> <td>・溶剤系 ・水系</td> <td>・つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> </table>	樹脂種類	溶媒種類	外観	・アクリル系	・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック	・シリカ系	・水系	・つやあり	・ポリウレタン系	・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック	・アクリル シリコン系	・溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック	・ふっ素系	・溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック															
樹脂種類	溶媒種類	外観																															
・アクリル系	・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック																															
・シリカ系	・水系	・つやあり																															
・ポリウレタン系	・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック																															
・アクリル シリコン系	・溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック																															
・ふっ素系	・溶剤系 ・水系	・つやあり ・つやなし ・メタリック																															
(注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材及び防水形複層塗材には適用しない。																																	
5 1 改修工法	・かぶせ工法 (・カバー工法 ・持出し工法 ・ノンシール工法) (5.1.3) ・撤去工法 (※はつり工法 ・引抜き工法) ○木製雨戸の撤去後復旧、既存木製建具ヘカマ錠取付及び、建具新設																																
2 見本の製作	・製作する ・製作しない (5.1.5)																																
3 ブラインド カーテンボックス等	○再使用する ※再使用しない (5.1.6(c)) (既存のまま)																																
4 アルミ製建具	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (5.2.2)(表5.2.1)																																
	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>枠の見込み寸法 70mm</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>枠の見込み寸法 100mm</td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	備考	○A種	S-4	A-3	W-4	枠の見込み寸法 70mm	・B種	S-5				・C種	S-6	A-4	W-5	枠の見込み寸法 100mm												
種別	耐風圧性	気密性	水密性	備考																													
○A種	S-4	A-3	W-4	枠の見込み寸法 70mm																													
・B種	S-5																																
・C種	S-6	A-4	W-5	枠の見込み寸法 100mm																													
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>遮音性</th> <th>種類</th> <th>断熱性</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット</td> <td></td> <td>・断熱ドアセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防音サッシ</td> <td></td> <td>・断熱サッシ</td> <td></td> </tr> </table>	種類	遮音性	種類	断熱性	・防音ドアセット		・断熱ドアセット		・防音サッシ		・断熱サッシ																					
種類	遮音性	種類	断熱性																														
・防音ドアセット		・断熱ドアセット																															
・防音サッシ		・断熱サッシ																															
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>面内変形追随性</th> </tr> <tr> <td>・耐震ドアセット</td> <td></td> </tr> </table>	種類	面内変形追随性	・耐震ドアセット																													
種類	面内変形追随性																																
・耐震ドアセット																																	
	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 (表5.2.2)																																
	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>表面処理</th> <th>規格番号</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>・A-1</td> <td>無着色陽極酸化皮膜</td> <td>JIS H8601</td> <td>AA15</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td>着色陽極酸化皮膜</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B-1</td> <td>無着色陽極酸化塗装複合皮膜</td> <td>JIS H8602</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○B-2</td> <td>着色陽極酸化塗装複合皮膜</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-1</td> <td>無着色陽極酸化皮膜</td> <td>JIS H8601</td> <td>AA6</td> </tr> <tr> <td>・C-2</td> <td>着色陽極酸化皮膜</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>化成皮膜の上に塗装</td> <td>JIS H4001</td> <td></td> </tr> </table>	種別	表面処理	規格番号	種類	・A-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA15	・A-2	着色陽極酸化皮膜			※B-1	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602	B	○B-2	着色陽極酸化塗装複合皮膜			・C-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA6	・C-2	着色陽極酸化皮膜			・D	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001	
種別	表面処理	規格番号	種類																														
・A-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA15																														
・A-2	着色陽極酸化皮膜																																
※B-1	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602	B																														
○B-2	着色陽極酸化塗装複合皮膜																																
・C-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA6																														
・C-2	着色陽極酸化皮膜																																
・D	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001																															
5 網戸	防虫網の材質 (5.2.3(e)) ※合成樹脂製 (ブラック) ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316) 網目 ※16メッシュ ・18メッシュ																																
6 鋼製建具	鋼製建具の性能等級 (5.3.2)(表5.3.1)																																
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>気密性</th> <th>水密製</th> </tr> <tr> <td>・簡易気密型ドアセット</td> <td>A-3</td> <td>W-1</td> </tr> </table>	種類	気密性	水密製	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1																										
種類	気密性	水密製																															
・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1																															
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>遮音性</th> <th>種類</th> <th>断熱性</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット</td> <td></td> <td>・断熱ドアセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防音サッシ</td> <td></td> <td>・断熱サッシ</td> <td></td> </tr> </table>	種類	遮音性	種類	断熱性	・防音ドアセット		・断熱ドアセット		・防音サッシ		・断熱サッシ																					
種類	遮音性	種類	断熱性																														
・防音ドアセット		・断熱ドアセット																															
・防音サッシ		・断熱サッシ																															
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>面内変形追随性</th> </tr> <tr> <td>・耐震ドアセット</td> <td></td> </tr> </table>	種類	面内変形追随性	・耐震ドアセット																													
種類	面内変形追随性																																
・耐震ドアセット																																	

7 鋼製軽量建具	(5.4.2)			
	種 類	気 密 性		
	・簡易気密型ドアセット	A-3		
	種 類	遮音性	種 類	断熱性
	・防音ドアセット		・断熱ドアセット	
	・防音サッシ		・断熱サッシ	
	種 類	面内変形追随性		
	・耐震ドアセット			
8 ステンレス製建具	(5.5.2)			
	種 類	気 密 性	水 密 製	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
	種 類	遮音性	種 類	断熱性
	・防音ドアセット		・断熱ドアセット	
	・防音サッシ		・断熱サッシ	
	種 類	面内変形追随性		
	・耐震ドアセット			
⑤ 建具用金物	曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ (5.5.5)			
	金物の見掛かり部等の材質 (5.6.2)			
	※改標仕表5.6.1(その1)(その2)による			
10 自動ドア	マスターキー ※製作する ・製作しない (5.6.4)			
	開閉方法 (5.7.3)			
	・スライディングドア (・片引き ・引分け)			
開閉装置	・スイングドア (・片開き ・両開き)			
	スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (5.7.2)(b)(1)			
	※改共仕表5.7.1による ( )			
	スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (5.7.2)(b)(2)			
	※改標仕表5.7.2による ( )			
	センサの種類 (5.7.3)(表5.7.3)			
11 重量シャッター	・マトスイッチ ・電子(電磁)マトスイッチ			
	・光線(反射)スイッチ ・音波スイッチ			
	・熱線スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ			
	・ペダルスイッチ ・押しボタンスイッチ			
	凍結防止措置 ・行う ・行わない (5.7.3)(f)			
	種類 (5.9.2)			
	・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター			
	耐風圧強度			
	・50 ・80 ・120			
	開閉機能 (5.9.2)(表5.9.1)			
	・上部電動式(手動併用) ・上部手動式			
	シャッターケース			
12 軽量シャッター	・設置する ・設置しない			
	開閉形式 (5.10.2)(表5.10.1)			
	・上部電動式(手動併用) ・手動式			
	耐風圧強度			
	・50 ・65 ・80			
	スラットの材質及び形状			
	・材質 ( )			
	・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形			
	型式及び機構 (5.11.2)			
13 オバーヘッドドア	セクション材料			
	・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスチック			
	耐風圧強度			
	・50 ・75 ・100 ・125			
	開閉方式			
	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式			
	収納形式			
	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーティカル形			
	ガイドレール (5.11.3)			
・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板				

⑬ ガラス	板ガラス (5.12.2(a))				
	厚 さ	備 考			
	○フロント板ガラス	5mm			
	○型板ガラス	4mm			
	・網入り板ガラス	6.8mm ※ひし網 ・角網			
	・線入り板ガラス				
材料板ガラスの種類及び厚さ等					
	・合わせガラス				
	・強化ガラス	5mm (学校向け)			
	・熱線吸収板ガラス				
	・複層ガラス				
	・熱線反射ガラス	反射皮膜 ・内面 ・外面			
	・倍強度ガラス				
⑮ ガラスとめ材	(5.12.2(b))				
	建具の種類	種 類			
	アルミニウム製	・ガスケット ※グレイジングチャンネル形 (枠見込み70mmの引違い、片引き障子の場合)			
	鋼製	・シーリング材 ・ガスケット			
	ステンレス製	・シーリング材 ・			
	※シーリング材				
⑯ 一般事項	板ガラスをはめ込む溝の大きさ (5.12.1による (枠見込み70mmの7mmに6mm製建具の場合 (強化、合わせ、倍強度ガラスを用いる場合を除く))				
	改修部分	改 修 範 囲			
	○天井	図示による			
	○壁	図示による			
	○床	図示による			
	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 (6.1.3)(c)				
	(図示による)				
	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 (6.1.3)(f)				
	※行う (図示による)				
⑱ 既存床撤去、 下地補修	・行わない				
	既存床仕上げ材の除去等 (6.2.2(a)(1))				
	浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去				
	※行う ・行わない				
	合成樹脂塗る床材の除去等 (6.2.2(a)(2))				
	・機械的除去工法 ※目荒工法				
⑳ 既存壁撤去、 下地補修	改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(c))				
	※施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ○(全面清掃)				
	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 (6.3.2)				
㉑ 木下地等	(小舞下地荒壁コスト)				
	表面仕上げ ・A種 ※B種 ・C種 (6.5.1(c))(表6.5.1)				
	木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) (6.5.2(a)(1))(表6.5.2)				
	部材、下地材	種 別			
	構造材、下地材	※A種 ・B種			
	造作材	※A種 ・B種			
構造材及び下地材の等級 (6.5.2(a)(2)(iv))					
部材名称	等 級	部材名称	等 級	部材名称	等 級
土台	小節	野縁	小節		
頭繋ぎ	小節	間柱	小節		
間仕切	小節	半柱	上小(見掛り)		
胴縁	小節	柱	上小(見掛り)		
◎構造、部材リストを優先とする。					
造作材の等級 (6.5.2(a)(2)(v))(表6.5.3)					
使用箇所	部 材 名 称				
生地のまま	・ 部 材 名 称				
又は	・ 等 級				
透明塗料塗り	※A種 (ただし、見掛かり面)				
の場合	・ B種				
不透明塗料塗りの場合	※A種				
	・ B種				

5 軽量鉄骨壁下地	代替樹種の使用 ・禁止する ※禁止しない (6.5.2(a)(3))					
	集材材 (6.5.2(b)(c))					
	ホルムアルデヒドの放散量					
	※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆					
	構造用集材材					
	部材名称	品 名	強度等級	材面の品質	樹種名	接着性能
6 軽量鉄骨 天井下地	造作用集材材					
	部材名称	等 級	単 材 の 樹 種	厚 さ		
7 ビニル床シート、 ビニル床材 及び ゴム床材張り	化粧ばり造作用集材材					
	表面仕上材の化粧単板の樹種 ( ) 厚さ ( )					
	ホルムアルデヒドの放散量					
	※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆					
	床張り用合板					
	厚さ5.5mm合板の接着程度 ( )					
	防霉処理 ※施工する ( ) ・施工しない					
	防ぎ処理 ※施工する ・施工しない					
	スタッド、ランナーなどの種類 (6.7.3)(表6.7.1)					
	・45形					
	・65形					
	・90形					
	・100形					
	野縁等の種類 (6.6.2)(表6.6.1)					
	部 材	種 類	備 考			
・シングル野縁	・19形 ・25形	※屋外25形				
・ダブル野縁	・19形 ・25形					
・野縁受け	・19形 ・25形					
	既存埋込みインサート (6.6.4(a)(1))					
	・使用する(引張試験) ※使用しない					
	材料 (6.8.2)					
	○ビニル床シート 【JIS A5705(ビニル系床材)】 (6.8.2(a))					
	・防汚性ビニル床シート					
	種類の記号	機能・場所	厚 さ	備 考		
NC		2.5mm	マーブル程度			
NF	準備室・トイレ	2.0mm	ノンワックス程度			
	・ビニル床シート 【JIS A5705(ビニル系床材)】 (6.8.2(b))					
	種 類					
	厚 さ					
	備 考					
	・帯電防止床シート (6.8.2(c)(1))					
	種 類	性 能	厚 さ	備 考		
	・帯電防止床シート (6.8.2(c)(1))					
	種 類	性 能	厚 さ	備 考		

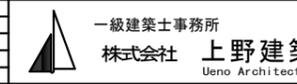
8 合成樹脂張り床	・視覚障害者用床タイル (6.8.2(c)(2))			
	種 類	形 状		
9 フローリング張り	・その他 (6.8.2(c)(3))			
	種 類	性 能	厚 さ	備 考
10 フローリング張り	・ビニル幅木 (6.8.2(d))			
	厚 さ	高 さ	備 考	
11 フローリング張り	・ゴム床タイル (6.8.2(e))			
	色 柄	厚 さ	備 考	
12 フローリング張り	工法			
	下地 (6.8.3(a))			
	・モルタル下地 ・木下地 ・その他 ( )			
13 フローリング張り	ビニル床シート張り (6.8.3(b))			
	熱溶接工法 ・適用する ・適用しない			
	ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量			
	※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆			
	弾性ウレタン塗る床材の仕上げ種類、行程 (6.10.2)(b)(表6.10.3)			
	※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ			
	エポキシ樹脂塗る床材の仕上げ種類 (6.10.3(c))(表6.10.4~6.10.7)			
	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂めし仕上げ ・防汚仕上げ			
	ホルムアルデヒドの放散量			
	※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆			
	・モルタル埋込み工法 (6.11.4)(表6.11.1)			
	フローリングブロック(単位:mm)			
	樹 種	厚 さ	大 小	備 考
	※なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う。
14 フローリング張り	・釘留め工法 (6.11.5)(表6.11.2)(表6.11.3)			
	材 料	種 別	種 別	樹 種
	・フローリングボード(根太張用)			※洋材
	・複合フローリング(根太張用) ・1種 ・A種			
	・無垢フローリング(根太張用) ・2種 ・B種			
	・複合3種フローリング(直張用) ・3種 ※C種			
15 フローリング張り	○接着工法 (6.11.6)(表6.11.1)(表6.11.2)(表6.11.4)			
	材 種	樹 種		
	・フローリングボード(直張用)	※なら		
	・フローリングブロック(直張用) ・			
	・複合1種フローリング(直張用)			
	・複合2種フローリング(直張用)			
	・複合3種フローリング(直張用)			
	材 種	樹 種	厚 さ	大 小
	※単層フローリングボード	○なら	○15	○5×500以上
16 フローリング張り	塗装 (6.11.7(b))			
	○ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)			
	※水性ウレタンクリヤー(床用)塗るうエワックス塗り			
	・生地のままワックス塗り			
	種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 (6.12.2)(表6.12.1)			
	※茶道用炉の据付による欠寸法425×300(研修室-1)			

11	カーペット	敷き 織じゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)			
		種 別	パイル形状	帯電性	品質の程度
		・A種	・カットパイル	※人体耐電圧	
		・B種	・ループパイル	3KV以下	
		・C種	・カット、ループ併用	・	
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		タフテッドカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)			
		パイル形状・カット	パイル長さ(mm)	帯電性	工 法
		・カットパイル	・	※人体耐電圧	※全面接着工法
		・ループパイル		3KV以下	・グリッド工法
		・ループパイル、ループ併用		・	・
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		ニードルパンチカーペット (6.9.2)(d)(2)			
		厚さ(mm)	帯電性		備 考
		・	※人体耐電圧3KV以下		・
タイルカーペット (6.9.2)(表6.9.2)					
パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)		
・カットパイル	※500×500	※6.5	・適用しない		
※ループパイル	・	・	・		
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
敷き方 (6.9.3)(d)(2)					
平 場	※市松敷き	・模様流し	・		
階段部分	・市松敷き	※模様流し	・		
せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2)(表6.13.1)					
名称	種 類	規格、区分等	厚 さ (mm)		
せ っ こ う ボ ー ド	せっこうボード (GB-R)	壁	・9.5(準不燃)		
			※12.5(不燃)		
		天井	※9.5(準不燃)		
			・12.5(不燃)		
		シーリングせっこうボード (GB-S)	1号	・12.5(不燃)	
				※12.5(準不燃)	
		強化せっこうボード (GB-F)	1号	・12.5(不燃)	
				※9.5	
		せっこうボード (GB-L)	1号	・9.5(不燃)	
				※9.5(不燃)	
不燃積層せっこうボード (GB-NC)	1号	・9.5(不燃)			
		※9.5(不燃)			
化粧せっこうボード (GB-D)	普通	・木目模様	※9.5(準不燃) ・12.5(不燃)		
		・	・		
吸 音 材 料	吸音材	・吸音材 (RW-B)	1号	・2.5	
		・ガラス繊維吸音材 (GW-B)	2号 32K	・2.5ガラスクロス包	
		吸音材 (DW)	内部用	普通	・9.0(不燃) ・12.0
			軒天用	普通	・9.0(不燃) ・12.0(不燃)
繊維強化セメント	繊維強化セメント (0.8KF)	・なら	※6.0		
			・	・	
合 板	特殊合板	・天然木化粧合板	化粧単板		
		・しおじ	※0.3未満		
	化粧合板	・特殊加工	※3.0		
		・化粧合板	・		
難燃合板	難燃合板	・シナベニヤ	※1類(水廻り) ※5.5・9.0(体育館)		
		直仕上(塗装他)	※2類(一般部) ・有孔(寒冷紗裏貼品)		
・パーティクルボード	・	・シナベニヤ	※1類(水廻り) ※5.5 12.0		
		直仕上(塗装他)	※2類(一般部) ・		
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆					
遮音シール材 (6.13.2)(h) ・適用する(・アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない					

13	壁紙張り	ホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (6.14.2)										
		施 工 箇 所	品 質 の 程 度	防 火 種 別								
		○準居室、トイレ	○ビニル紙(量産品程度)	※1-1 1-2 5-1								
		・	・	・1-1 ※1-2 5-1								
		・	・	・1-1 1-2 ※5-1								
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。										
		14	タイル張り	既成目地材 (6.15.3) ・使用する(形状)								
		15	タイル貼	伸縮調整目地 (6.16.2) 位置 ・図示								
		タイルの種類 (6.16.3)										
		施工箇所	形状・寸法(mm)	き じ	うわぐすり	役 物	色	品質の程度				
				磁器	陶器	施軸	無軸	あり	なし	標準	特注	
				・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。												
試験張り、見本焼き等 (6.16.3)(a)(3)												
試験張り ・行う ※行わない												
見本焼き ・行う ※行わない												
工法 (6.16.1)(表6.16.6)(表6.16.7)												
・積上げ張り												
・壁タイル接着剤張り												
16	断熱材	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (9.5.2) 断熱材打込み工法										
種 類		種 別	厚 さ (mm)	施工箇所								
・ビーズ法ポリスチレンフォーム		・	・									
・押出法ポリスチレンフォーム		・保温板2種b	・2.5									
		・保温板3種b	・2.5									
		・	・									
・硬質ウレタンフォーム		・	・									
・ポリウレタンフォーム		・	・									
上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。												
断熱材現場発泡工法 (9.5.3)												
難燃性		厚 さ (mm)	施 工 箇 所									
・2級		・2.5	※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所									
・3級		・	・									
・		・	・									
上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。												
壁紙施工用でん粉系接着剤、UV樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆												
17	接着剤											
18	材料	建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a) ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b) ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)										
種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)												
下 地		種 別										
○木部		・RA種 ※RB種 ・RC種										
・鉄鋼面		・RA種 ※RB種 ・RC種										
・亜鉛めっき面		・RA種 ※RB種 ・RC種										
・モルタル面、プラスター面		・RA種 ※RB種 ・RC種										
・コンクリート、ALCパネル面		・RA種 ※RB種 ・RC種										
・コンクリート、押出成形セメント板面		・RA種 ※RB種 ・RC種										
・せっこうボード、その他ボード面		・RA種 ※RB種 ・RC種										
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー												
19	錆止め塗料塗り	塗料種別 (7.3.2)(表7.3.1) 鉄鋼面錆止め塗料 ※A種(屋外、屋内) ・B種(屋内) ・C種(屋内) JIS K 5625 JIS K 5621 JPMS-21 錆止め塗料塗り種別 (7.3.3)(表7.3.3~7.3.4) 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 ※C種										

4	合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	塗料種別 ※1種 (7.4.2)			
		種別	種 別		
		・下 地	種 別		
		・木部	・A種 ※B種 ・C種		
		・鋼鉄面	・A種 ※B種 ・C種		
		・亜鉛めっき面	・A種 ・B種 ・C種		
		種別 (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.2)			
		下 地	種 別		
		・木部	・A種 ※B種 ・C種		
		・鉄鋼面及び亜鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種		
		6	アクリル樹脂系非水分散形塗料	種別 ・A種 ※B種 (7.6.2)(表7.6.1)	
		7	アクリル樹脂エナメル塗り (AE)	下地調整 ・RA種 ・RB種 ・RC種 (7.7.2)(表7.7.1) 種別 ・A種 ※B種 ・C種 (7.7.3)(表7.7.1)	
		8	2液形エナメル塗り (2-UE)	種別 (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.3) 鉄鋼面 ※A種 ・B種 亜鉛めっき面 ※A種 ・B種 コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種	
		9	7液形エナメル塗り (2-ASE)	種別 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.3) 鉄鋼面 ・A種 ・B種 亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種	
		10	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り (2-FUE)	種別 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.3) 鉄鋼面 ・A種 ・B種 亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種	
11	つや有合成樹脂エポキシペイント塗り (EP-G)	種別 ・A種 ※B種 ・C種 (7.11.2)(表7.11.1) しみ止め ※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う (屋内 鉄部 程度 木部 程度)			
12	合成樹脂エポキシペイント塗り (EP)	種別 ・A種 ※B種 ・C種 (7.12.2)(表7.12.1) しみ止め ※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う (屋内 RC、モルタル、ボード面等 程度)			
13	多彩模様塗料塗り (EP-M)	種別 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3) コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、木部 鉄鋼面及び亜鉛めっき面 ・A種 ※B種			
14	合成樹脂エポキシ模様塗料塗り (EP-T)	種別 (7.14.2)(表7.14.1) ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種			
15	ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	種別 (7.15.2)(表7.15.1) 木部 ・A種 ※B種 ・既設床面が掛けのうえ、3回塗り ※無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内床 程度)			
16	ウレタン樹脂塗り (CL)	種別 (7.16.2)(表7.16.1) 木部 ・A種 ※B種			
17	ウレタン樹脂塗り (OS)	種別 (7.17.2)(表7.17.1) 木部			
18	屋内水系塗料	種別(既存塗膜がSOP、VP塗等をEP-G塗に塗替える場合) (7.18.2) 木部 ・A種 ※B種 ・C種 (表7.18.1) 鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 (表7.18.2) その他 ※RC、モルタル、石膏ボード面下地等の塗替え及び新規 (※11節 ※12節 ・14節) を適用とする			
19	自然塗装	種別 木部 汚れ・付着物除去のうえ外部は3回、内部は2塗りとする ※顔料系木部着色材 (屋内外 半透明 程度) ※無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内外 半透明 程度)			
20	打放し保護材	・塗布 2回 (程度)			

8	雑工事	① 外部改修	
		② 内部改修	
		○WD-2引違い戸	○場所(※図示) カマ鏡取付
		○茶道用遠赤外線電気炭、炉壇	○場所(※図示) 形状寸法: 425×300×210 市販品
		○ミニキッチン(ヒーター)	○場所(※図示) 形状寸法: 1200×500×1900 市販品
		○棚板ポリ合板	○場所(※図示) 形状寸法: 780×300×725
		○消火器BOX 型式 ABS AC焼付	○場所(※図示) 形状寸法: H620×290×230 市販品
		③ 改修工事 特記仕様書-4 NS	



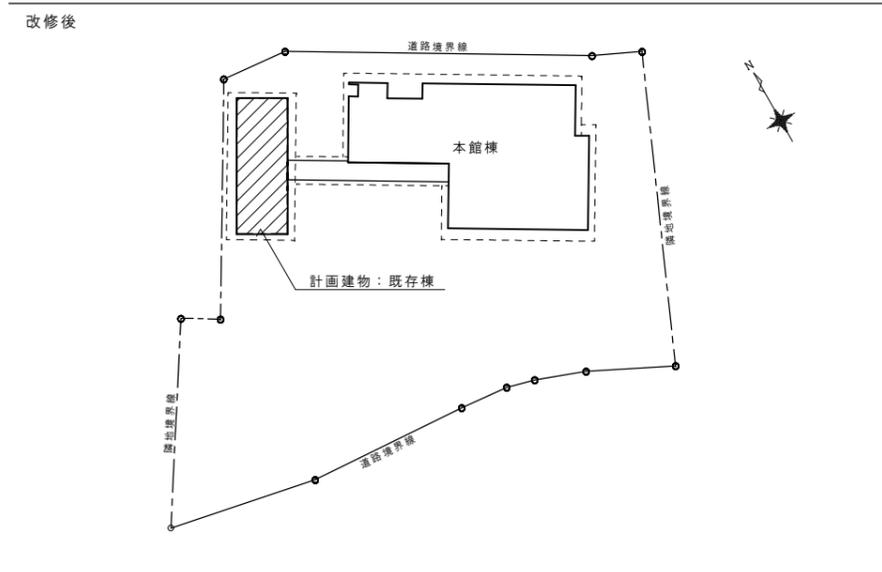
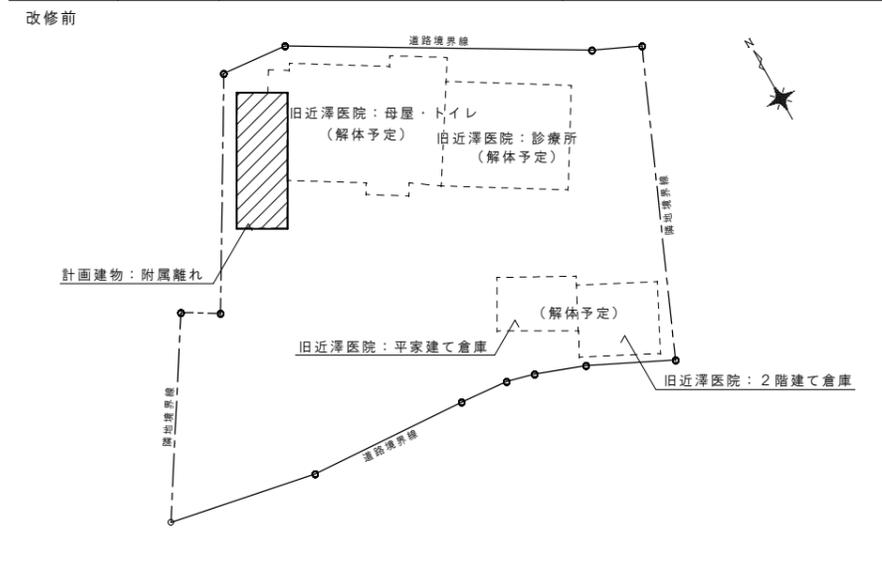
一級建築士事務所  
株式会社 上野建築研究所  
Ueno Architect & Associates  
TEL (0595) 23-6272 FAX (0595) 23-6273

一級建築士事務所(三重県知事)登録第1-748号 日付 11.03.10  
管理建築士:今岡隆之 一級建築士登録第55324号  
松本正博 一級建築士登録第187579号  
〒518-0801 三重県伊賀市平野基地330-22 棟名  
330-22 HIRANOMINGO, IGA CITY, MIE 図名  
PREFECTURE 518-0801 JAPAN 棟名  
TEL (0595) 23-6272 FAX (0595) 23-6273 棟名

□設計概要			
一般事項	工事名	川崎地区コミュニティセンター改築工事に伴う耐震改修工事(旧近澤医院:附属離れ)	
	工事場所	三重県亀山市川崎町縣屋敷2785-7 他2筆	
	建築主氏名	亀山市長 櫻井義之	
	建築主住所	三重県亀山市本丸町577番地	
建物概要	工事種別	耐震改修工事	その他構造
	用途	公民館(住宅⇒集会所)	階数
	建築面積	66.31㎡	最高軒高
	延床面積	66.31㎡	最高高さ
	構造種別	木造(在来工法)	基礎形式
外部仕上表	改修前	改修後	
	屋根	仕上:日本瓦(土居)葺	⇒既存のまま
		下地:杉小巾板張 t=9.0(木摺)	⇒既存のまま
		+杉皮下地	
	庇	仕上:銅板葺	⇒既存のまま(雨押え脱着)
		下地:杉小巾板張 t=9.0(化粧)	⇒既存のまま
	外壁	仕上:杉板(心材無地)縦張 巾105	⇒撤去の上、桧上小 A12×120 本実加工(新設)木部見え掛り、自然塗装仕上
		下地:真壁+胴縁	⇒一部真壁+胴縁撤去及び耐力壁補強の上付柱・付土台・付梁・付鴨居・胴縁(新設)
	小壁	仕上:ジュラク塗	⇒砂壁仕上(新設)
		下地:真壁	⇒胴縁+ラスカットパネル t=7.5(新設)
	軒裏	仕上:化粧野地板・垂木顕し	⇒既存のまま
		その他:庇とも同様	⇒既存のまま
	樋	軒樋:銅製角 5号 70.35、落し口共	⇒既存のまま(既設取合部:新設)
		堅樋:銅製64×57×70.35	⇒堅樋脱着及び既設取合部(新設)
	建具	共通:木製建具	⇒既存のまま(サッシ、面格子:新設)
	その他:雨戸・戸袋	⇒撤去、復旧	
基礎	広縁側:天然石洗い出し t=20(RC下地)	⇒既存のまま	
	その他:モルタル塗(RC下地)	⇒既存のまま	

□内部仕上表		室名	区分	床			巾木			壁			天井			天井高	備考
仕上レベル	下地レベル			下地	仕上	下地	仕上	高さ	下地	仕上	外壁断熱材	廻縁	下地	仕上	上部断熱材		
		和室1(6帖)	改修前	±0	C東石 W床 荒床	畳敷		畳寄せ		荒壁	繊維壁		W	杉竿縁天井張	2550		
		研修室-1	処置		既存のまま	解体		既存のまま			既存のまま			既存のまま			
			改修後	±0	コンパオ=12	畳敷											茶道用炉(電気炭付) W床下地、畳切込共
		床の間	改修前	+70	C東石 W床 W	畳敷		畳寄せ		荒壁	繊維壁		W	杉板張	2480		
			処置			既存のまま		既存のまま				既存のまま		既存のまま			
			改修後														
		床脇(書院)	改修前	+360	C東石 W床 W	襦袢		襦袢摺		荒壁	繊維壁		W	杉板張	1820		
			処置			既存のまま		既存のまま				既存のまま		既存のまま			
			改修後														
		和室2(6帖)	改修前	±0	C東石 W床 荒床	畳敷		畳寄せ		荒壁	繊維壁		W	杉竿縁天井張	2550		
		研修室-2	処置		既存のまま	解体		既存のまま			既存のまま			既存のまま			
			改修後	±0	コンパオ=12	畳敷											
		床の間	改修前	+70	C東石 W床 W	畳目板		襦袢摺		荒壁	繊維壁		W	杉板張(網代)	2480		
			処置			既存のまま		既存のまま				既存のまま		既存のまま			
			改修後														
		床脇	改修前	+70	C東石 W床 W	畳目板		襦袢摺		荒壁	繊維壁		W	杉板張	2550		
			処置			既存のまま		既存のまま				既存のまま		既存のまま			
			改修後														
		押入	改修前	±0	C東石 W床 W	荒床張		襦袢摺		荒壁	モルタル塗 t=20		W	杉竿縁天井張	2400		
			処置			既存のまま	解体		解体		解体			解体		中段:シナ合板	
			改修後	±0		シナ合板 t=9.0		襦袢摺(米褥)	24		シナ合板 t=5.5		W	W網縁	シナ合板 t=4.0		
		洋室(8帖)	改修前		W	フロア合板張		襦袢摺		荒壁	ジュラク塗		W	杉竿縁天井張	2470		
		準備室	処置		解体	解体		解体			既存のまま			解体			
			改修後		W	ビニル床シート貼り(ノンワックス)		木製巾木	60	W網縁	ビニルクロス GB(R) t=12.5		V	W網縁	化粧石膏ボード t=9.5	2470	ミニキッチン:1200×500×H1900 (IHヒーター・照明付) 上部蓋共
		洋室(8帖)	改修前		W	フロア合板張		襦袢摺		荒壁	ジュラク塗		W	杉竿縁天井張	2470		
		トイレ(新設)	処置		解体												
			改修後	±0	W	ビニル床シート貼り(ノンワックス)		木製巾木	60	W網縁	ビニルクロス GB(R) t=12.5		V	W網縁	化粧石膏ボード t=9.5	2400	棚板:ポリ合板
		物入	改修前	±0	C東石 W床 W	荒床張		襦袢摺		荒壁	モルタル塗 t=20		W	杉竿縁天井張	2400		
			処置			既存のまま	解体		解体		解体			解体		中段:シナ合板、点検口	
			改修後	±0		シナ合板 t=9.0		襦袢摺(米褥)	24		シナ合板 t=5.5		W	W網縁	シナ合板 t=4.0		
		廊下・広縁	改修前	±0	C東石 W床 荒床	カーペット敷		襦袢摺		荒壁	繊維壁			杉板張	2470	カーテン・レール共撤去 カーテンBOX(既存のまま)	
			処置			既存のまま	解体		解体		解体			既存のまま			
			改修後	±0	C東石 W床 W	縁甲板貼り t=15		襦袢摺(米褥)	30		繊維壁					消火器BOX(置型)	

□ 使用材料・凡例			
<躯体・下地>	<床・巾木>	<塗装>	<室名表示>
RC直 コンクリート直押え	PU ウレタン樹脂防塵塗装	EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗	㊦ カットングシート
RC型 コンクリート型枠取外し補修	EPO エポキシ樹脂防塵塗装	FE フタル酸樹脂エナメル塗	㊦ ビクトサイン
RC化 コンクリート化粧打放し補修	VS ビニル床シート	UC ポリウレタン樹脂ウニス塗	<内装制限>
OAF OAFフロア下地	SH ソフト巾木	2-U-E 2液形ポリウレタンエナメル塗	㊦ 壁・天井:(下地とも) 準不燃材料以上
NB 樹脂製床下地	GT 外装床タイル	自然塗装 カラー半透明(外部3回、内部2回)	㊦ 壁・天井:(下地とも) 難燃材料以上
W 木製床組下地	WT 便所床タイル	<断熱材>	※上記以外は内装制限なし
M モルタル下地	<壁・天井>	GW アルミ箔グラスウール	
LGS 軽量鉄骨下地	VC ビニルクロス	PF ポリスチレンフォーム	
	GB(F) サイディングボード	<廻り縁>	
	GB(R) 石膏ボード	W 木製廻縁	
	GB(S) シーリング石膏ボード	V ビニル製廻縁	
	GB(D) 化粧石膏ボード	<BOX>	
	DR 化粧ロックウール吸音板	CB カーテンBOX	
	FK 化粧ケイ酸カルシウム板	BB ブラインドBOX	
	WSB 木毛セメント板	SB 映写スクリーンBOX	

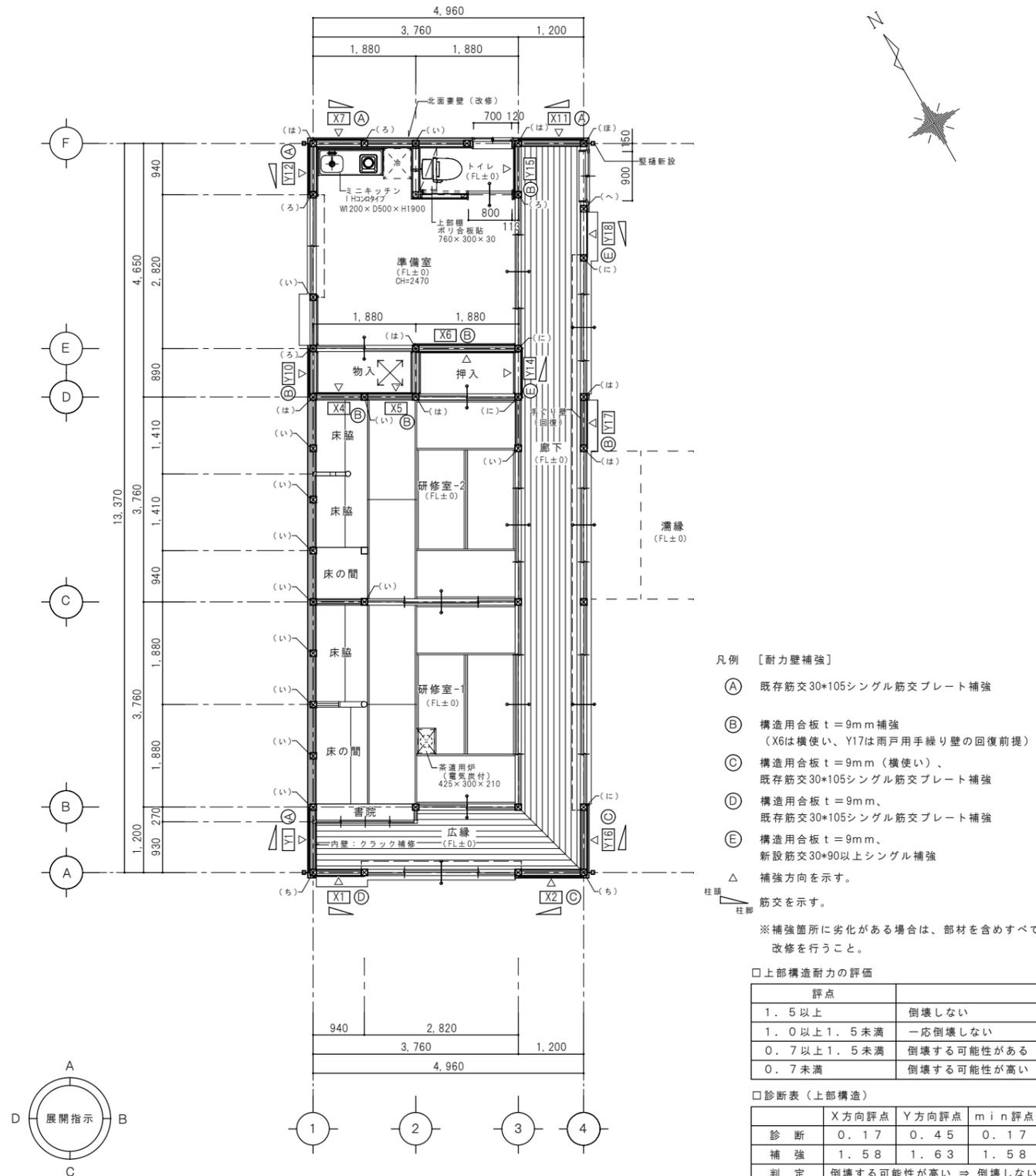
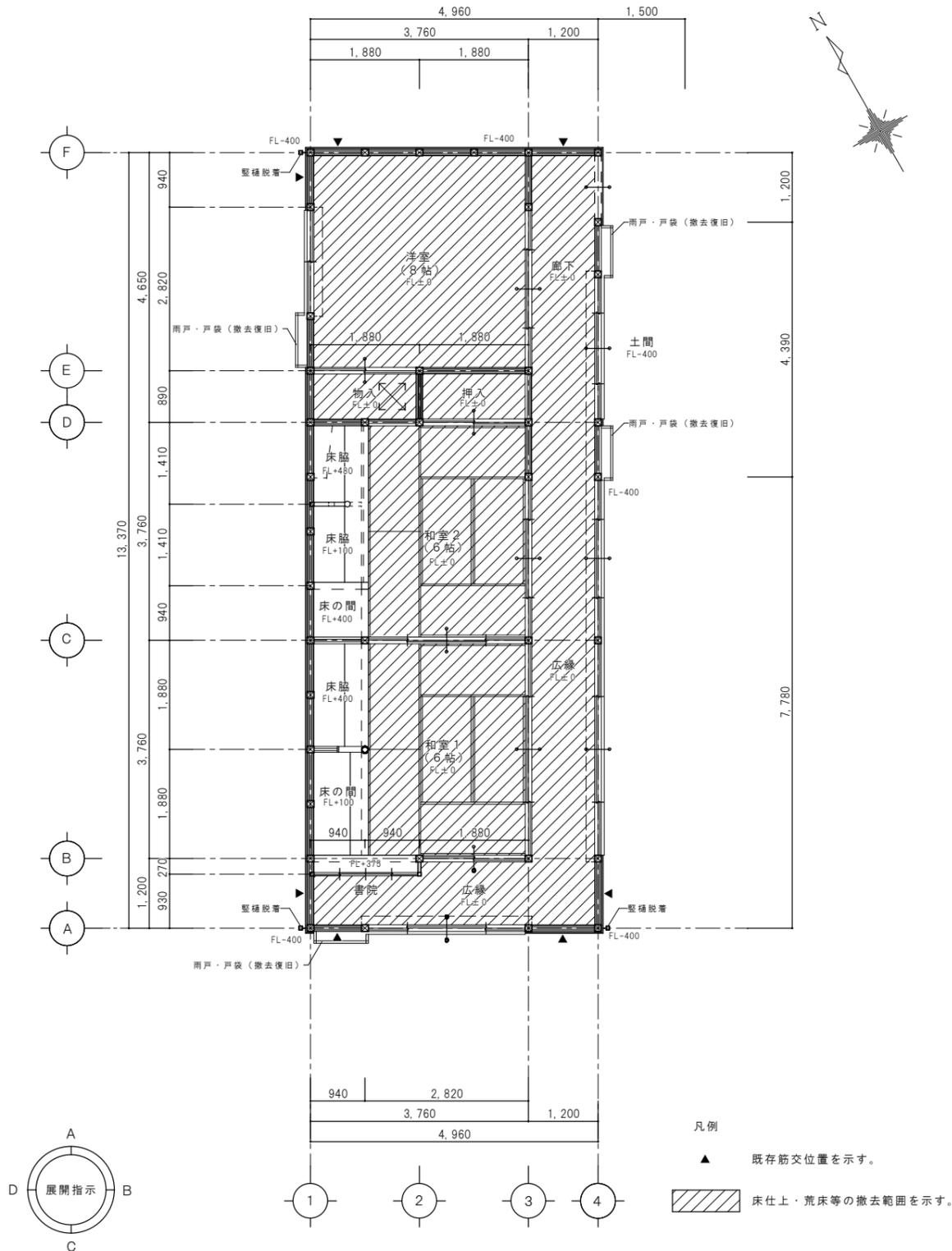


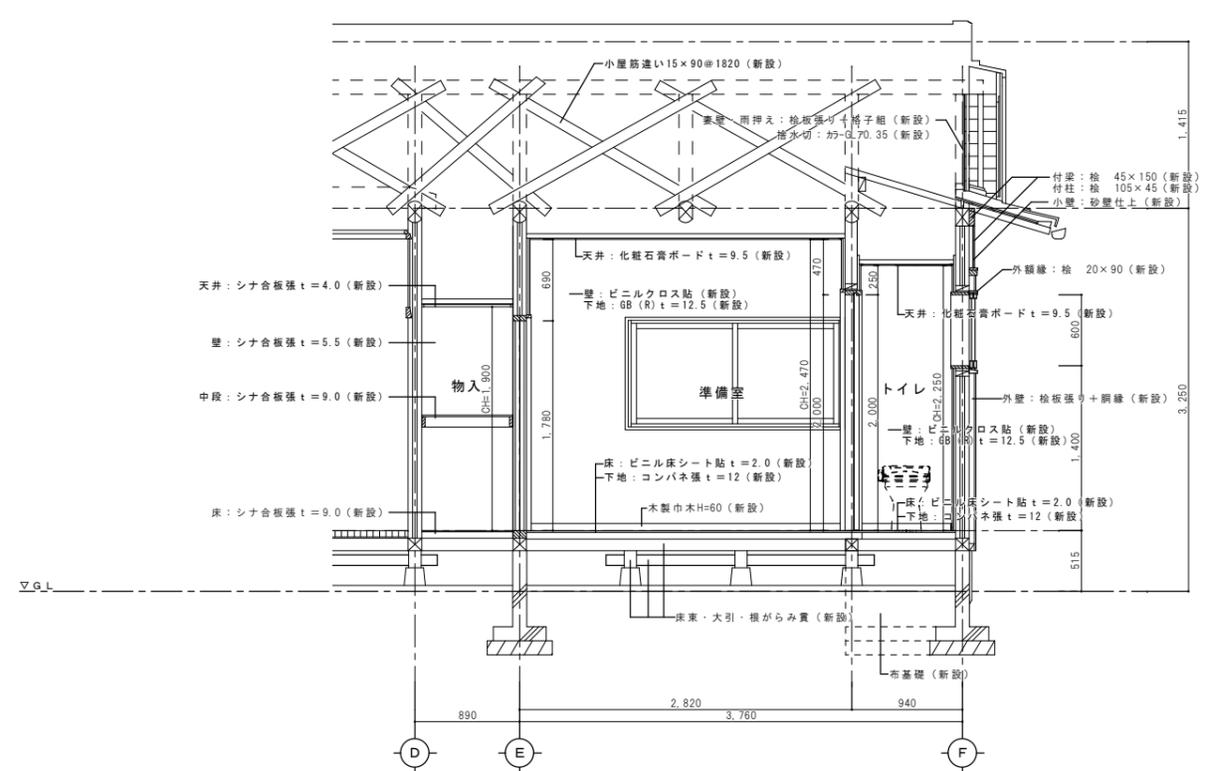
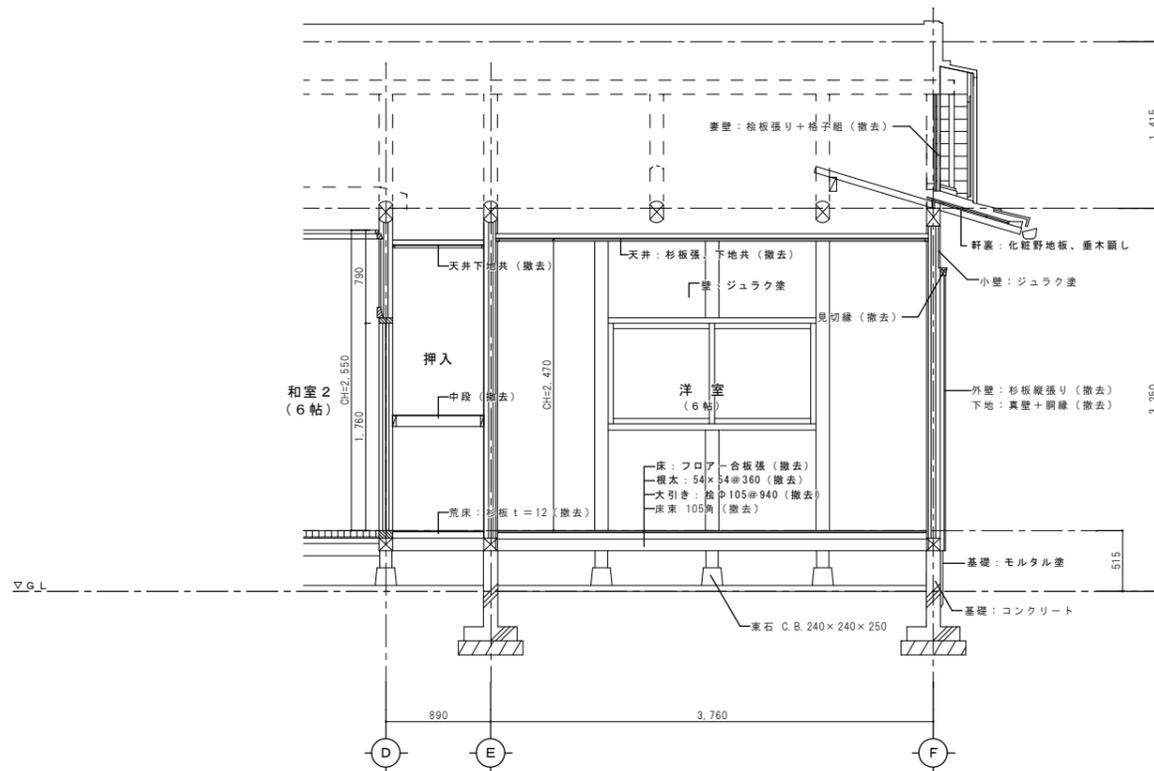
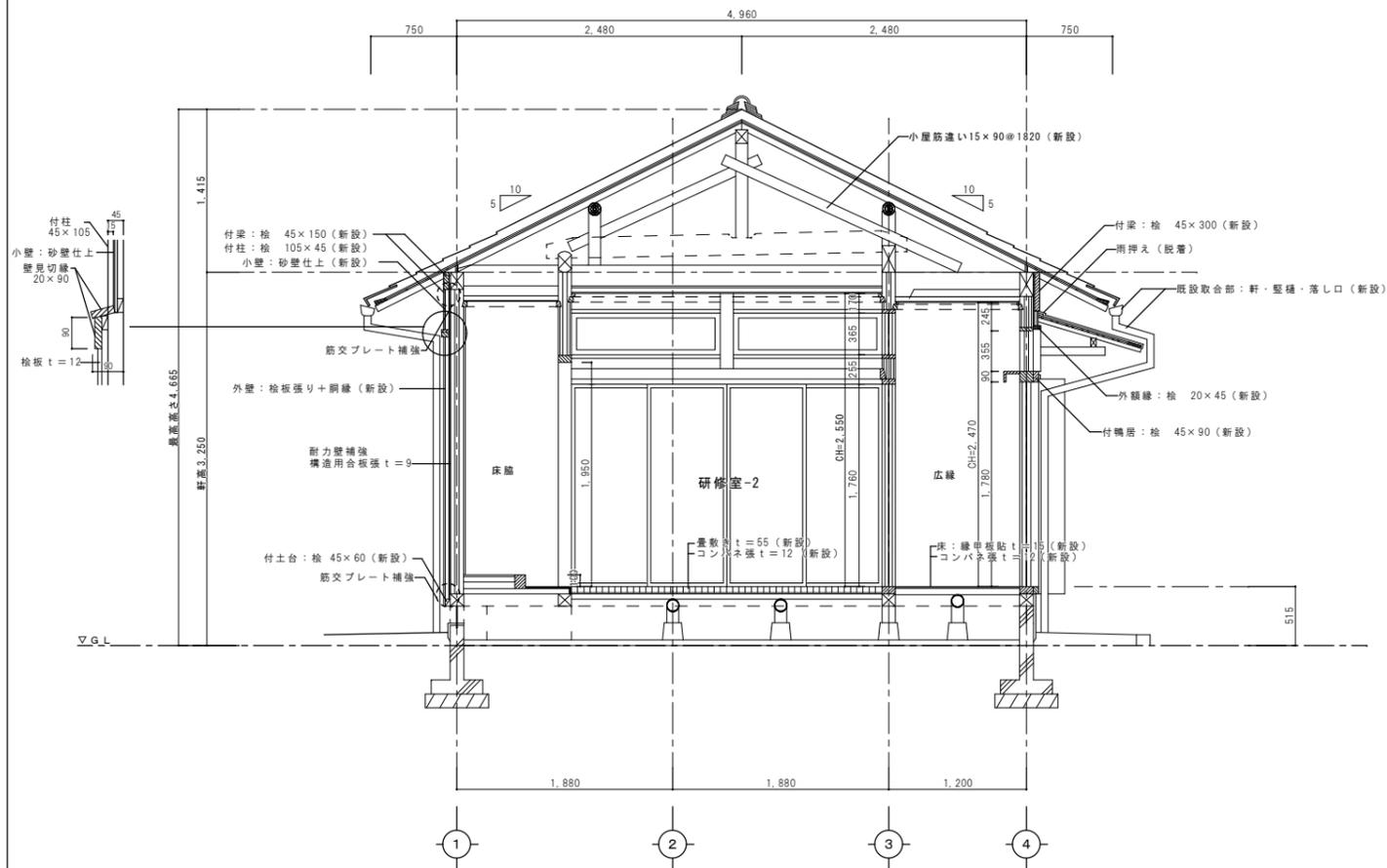
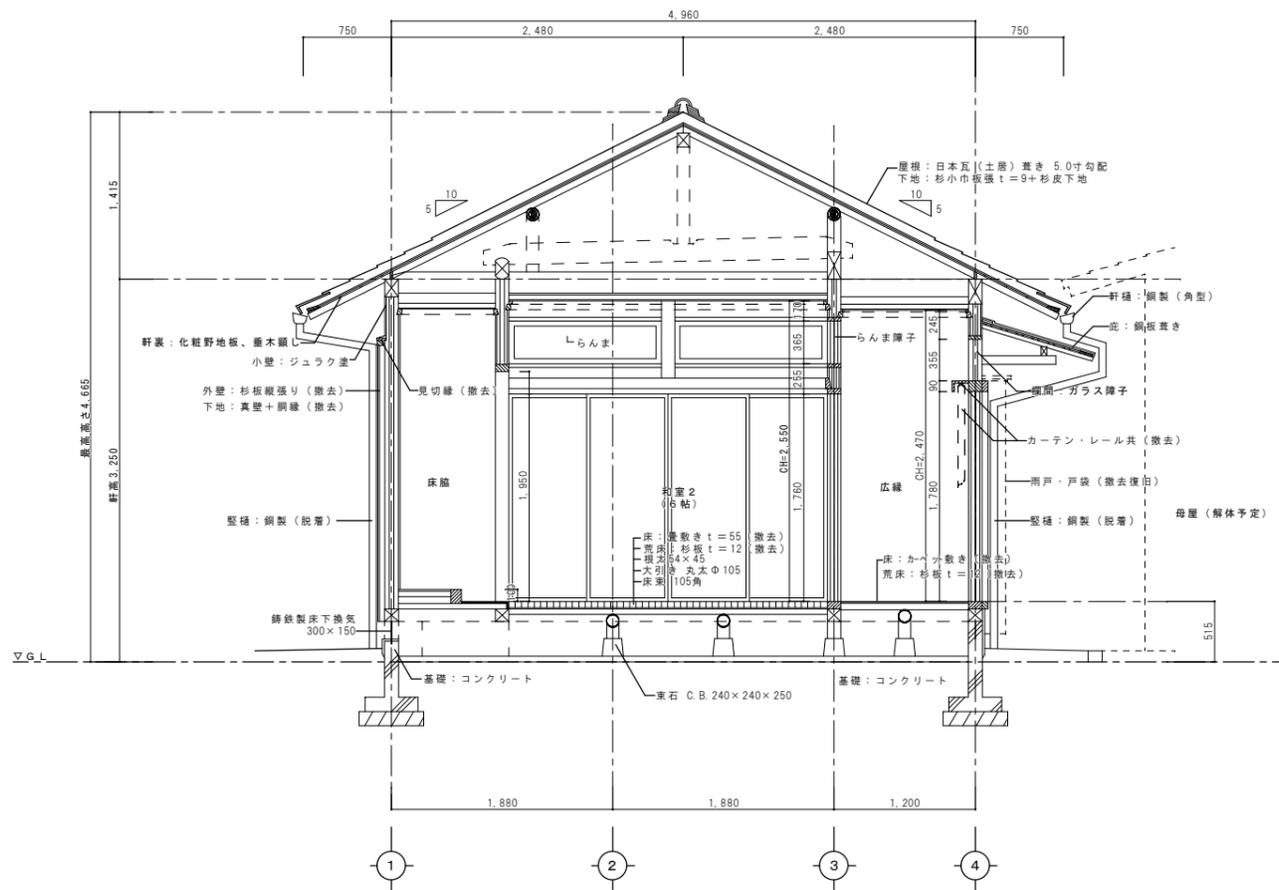
撤去内容 ※外壁、押入等側より耐力壁及び金物補強を行い。又、床下（荒床撤去）・小屋裏の補強、腐朽箇所等の改善を行う。

- ・耐震補強に伴い、外壁板張（一部荒壁、下地共）の撤去を行う。
- ・耐震補強に伴い、北面妻壁（雨押え共）の撤去を行う。
- ・耐震補強に伴い、縦樋及び雨戸、戸袋等の脱着を行う。
- ・耐震補強に伴い、内装仕上（床、壁、天井ほか）の撤去を行う。
- ・内装改修に伴い、カーテン（レール共）及び繊維壁の撤去を行う。
- ・内装改修に伴い、洋室の床組、天井下地ほかの撤去を行う。

改修内容 ※洋室⇒準備室とし床・壁・天井を新設し、トイレ・ミニキッチン等を設置する。又、荒床を撤去復旧し床仕上材の新設を行う。

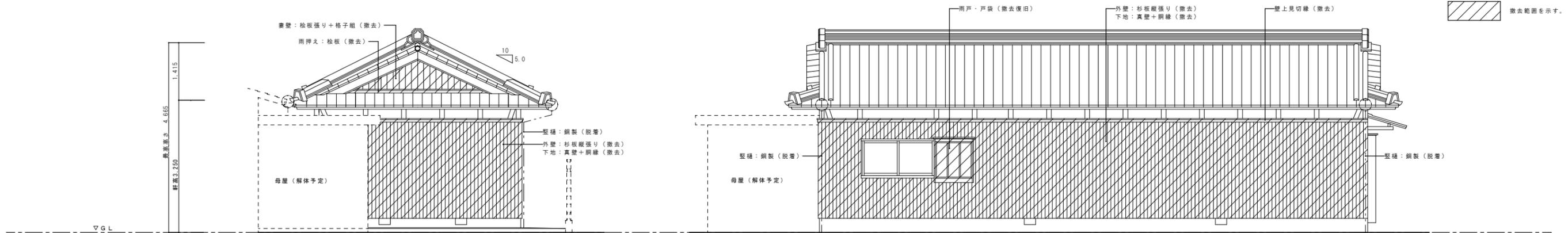
- ・耐震補強に伴い、床組、軸組、小屋組の部材等の新設を行う。
- ・耐震補強に伴い、接着アンカー及び告示金物等の新設を行う。
- ・耐震補強に伴い、外壁及び妻壁、小壁（下地共）の新設を行う。
- ・外装改修に伴い、一部とい及び建具（面格子共）の新設を行う。
- ・内装改修に伴い、基礎、床組、軸組、小屋組部材等の新設を行う。
- ・内装改修に伴い、内装仕上（床、壁、天井ほか）等の新設を行う。
- ・内装改修に伴い、電気設備及び機械設備（別途工事）の新設を行う。





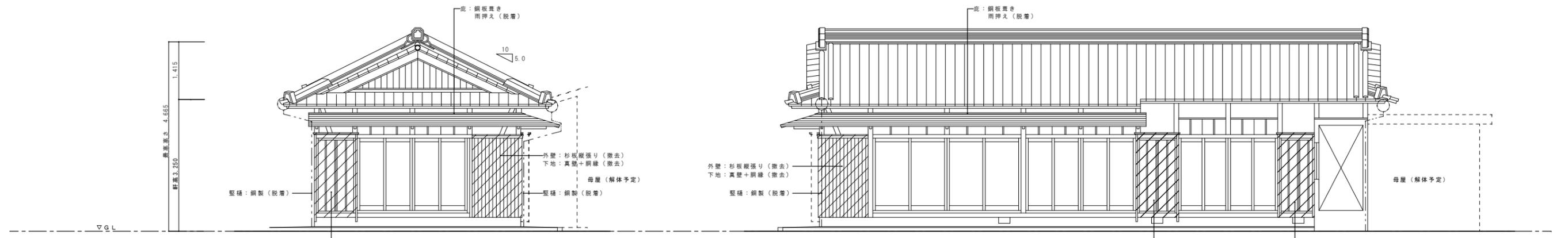
※註記: 改修部の木部見え掛りは、自然塗装(外部3回、内部2回)とする。

特記事項	変更事項	一級建築士事務所 <b>株式会社 上野建築研究所</b> Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所(三重県知事)登録第1-748号 管理建築士:今岡隆之 一級建築士登録第55324号 松本正博 一級建築士登録第187579号 〒518-0801 三重県伊賀市平野町地330-22 330-22 HIRANOMINOH, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-8272 FAX(0595)23-8273	日付 11.03.10 名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事) 設計図 縮尺 A3版1/60 A1版1/30 校印	図面番号 R13-07 校印
	日付		日付 11.03.10 校印 担当者 IMAOKA MATSUMOTO 担当者 NISHIO FUKUDA OHNO	名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事) 設計図 縮尺 A3版1/60 A1版1/30 校印	図面番号 R13-07 校印



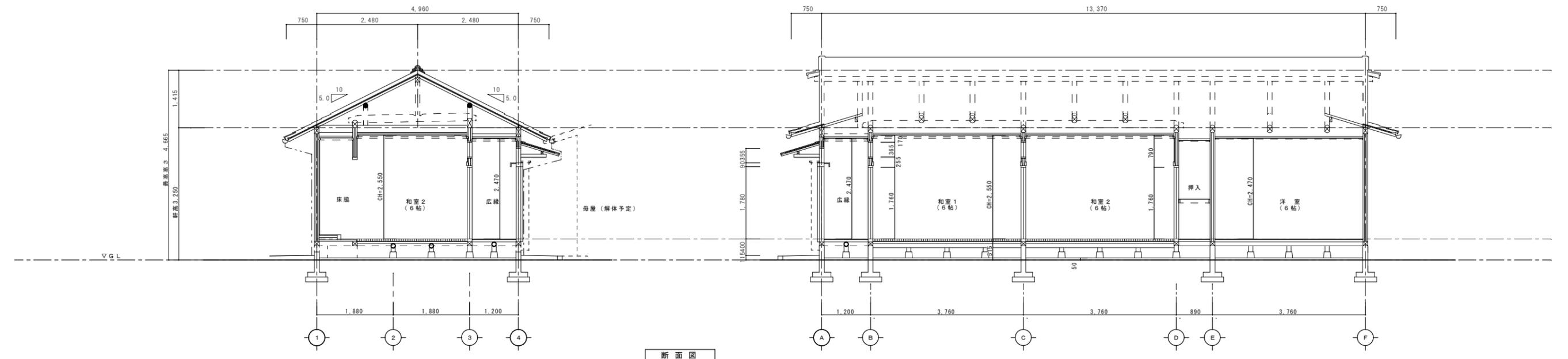
北立面図

西立面図

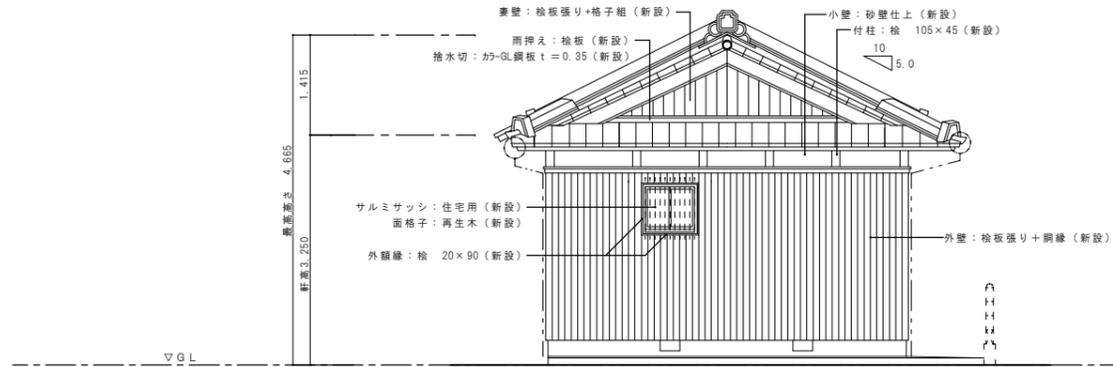


南立面図

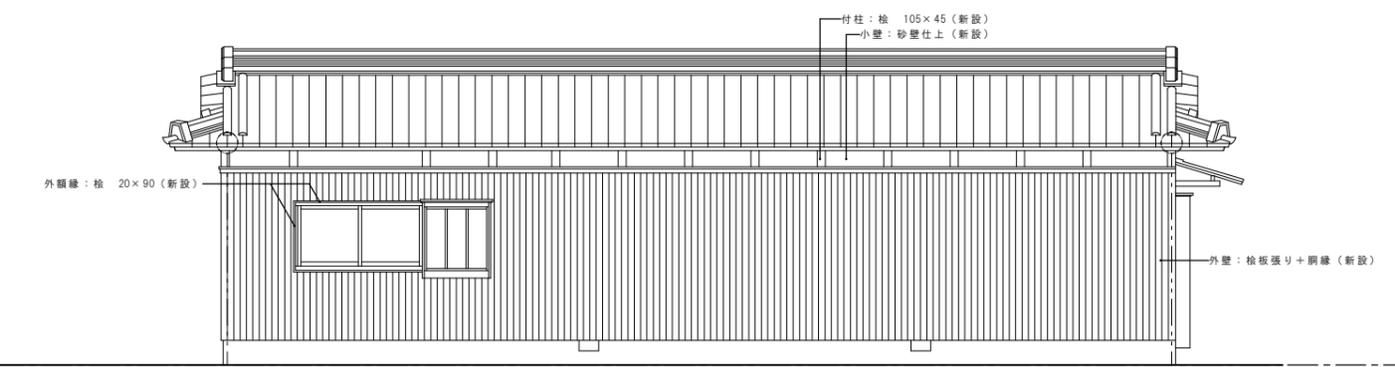
東立面図



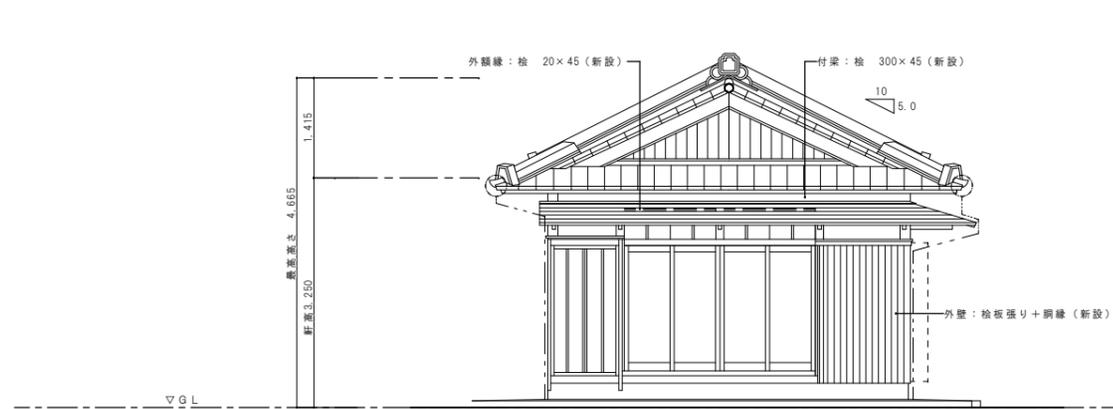
断面図



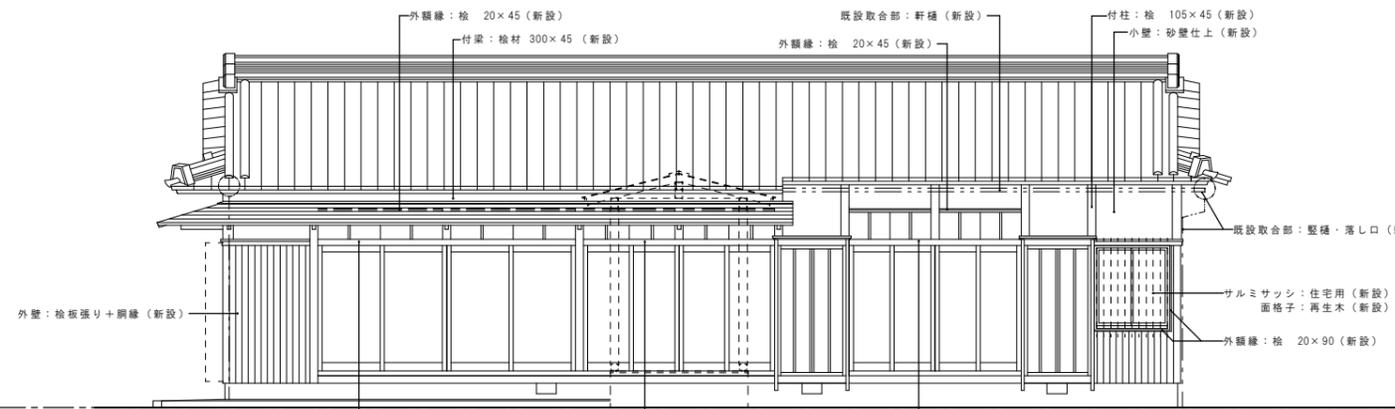
北立面図



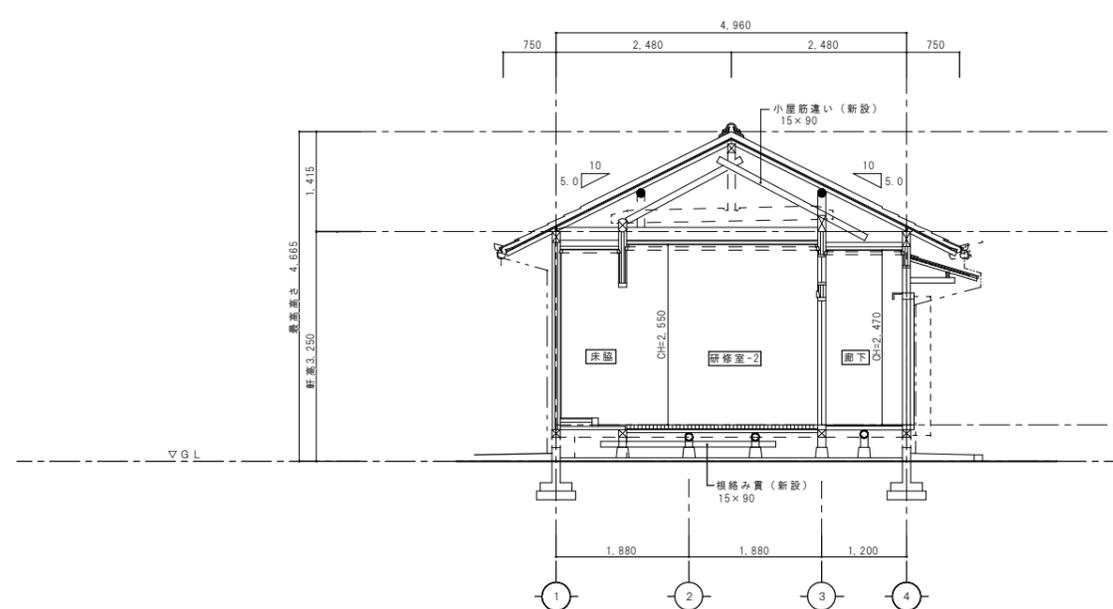
西立面図



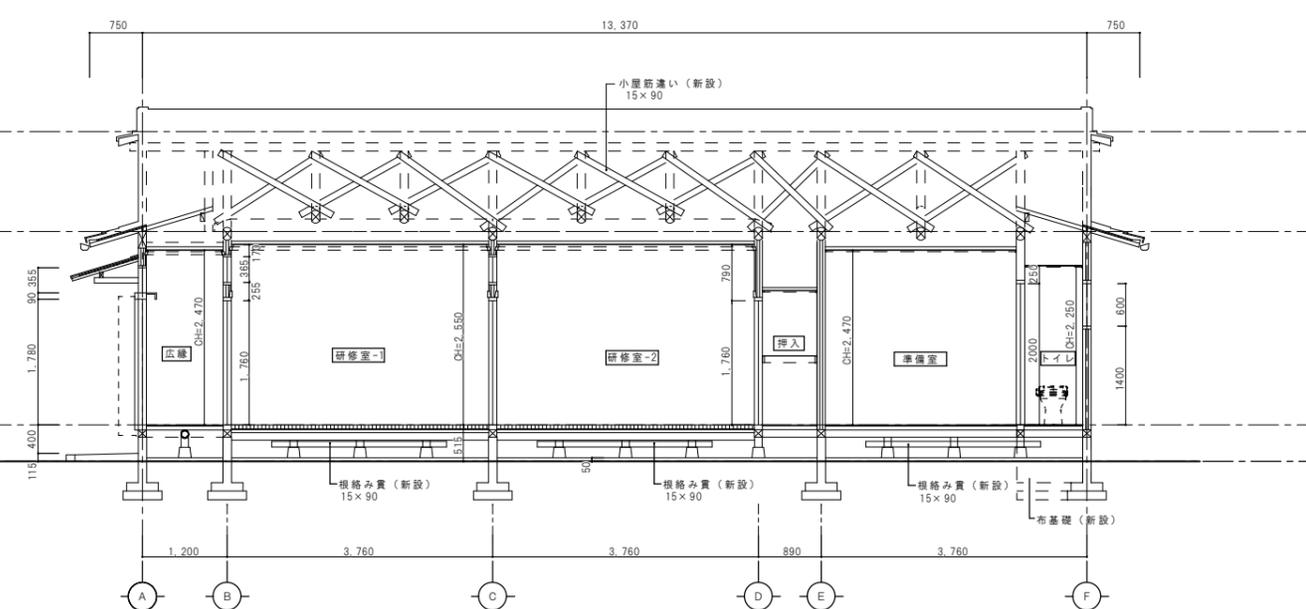
南立面図



東立面図



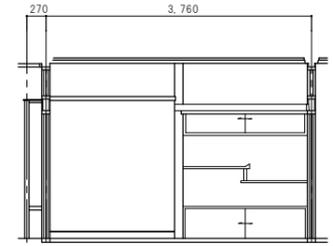
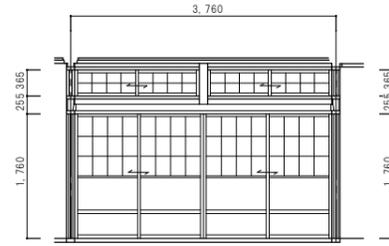
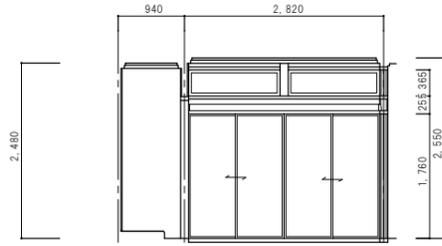
断面図



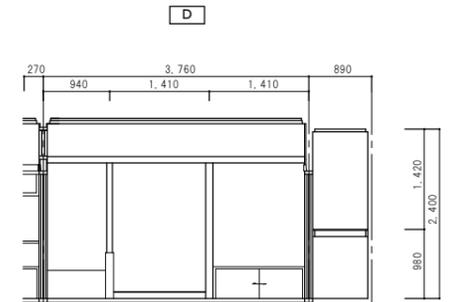
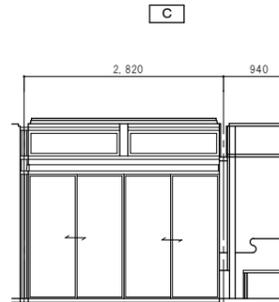
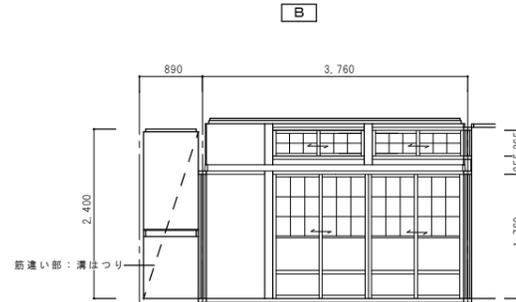
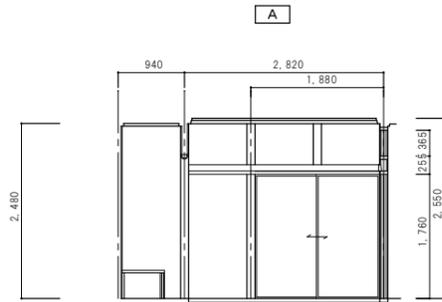
※注記: 特記以外の付梁は45x150(新設)とし、付土台は45x60(新設)とする。  
又、改修部の木部見え掛りは、自然塗装(外部3回、内部2回)とする。

特記事項	変更事項	日付	11.03.10	名称	川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事) 設計図	図番	R13-09	
		一級建築士事務所 (三重県知事) 登録第 1-748号 管理建築士: 今岡隆之 一級建築士登録第 55324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0801 三重県伊賀市平野見尾330-22 330-22 HIRANOMIHO, IGA CITY, Mie PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-6272 FAX(0595)23-6273	棟名	IMAOKA MATSUMOTO	図名	<既存棟> 立面図・断面図 (改修後)	縮尺	A3版 1/100 A1版 1/50
		株式会社 上野建築研究所 Ueno Architect & Associates	担当	NISHIO FUKUDA OHNO			検印	

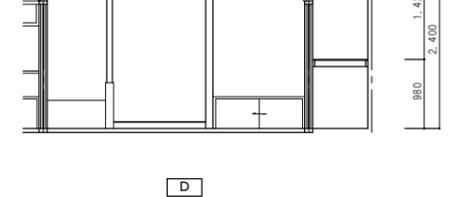
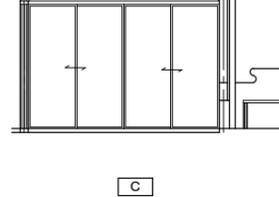
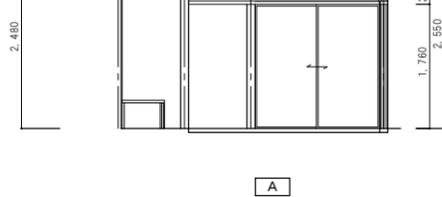
和室1（6帖）		CH=2550
床	畳敷き	（撤去）
巾木	畳寄せ	—
壁	繊維壁	—
天井	杉竿縁天井張	—



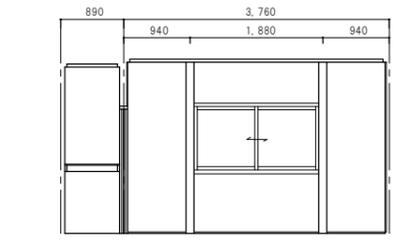
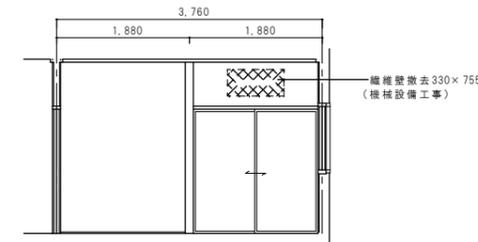
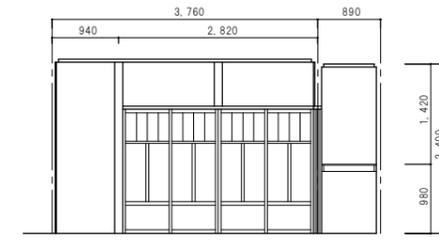
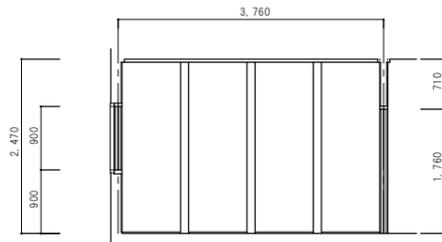
和室2（6帖）		CH=2550
床	畳敷き	（撤去）
巾木	畳寄せ	—
壁	繊維壁	—
天井	杉竿縁天井張	—



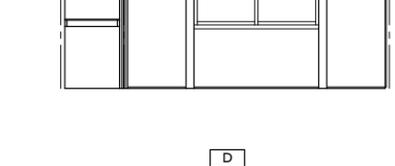
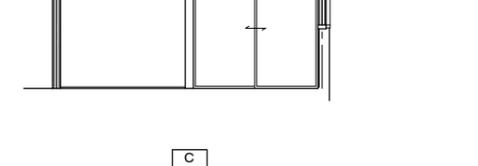
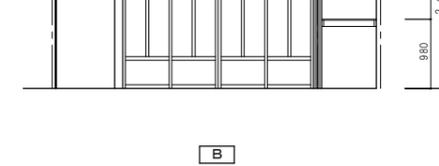
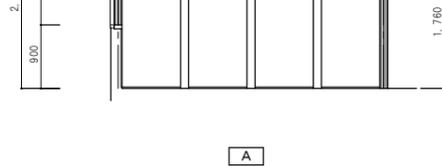
押入		CH=2400
床	荒床張	（撤去）
巾木	雑巾摺り	（撤去）
壁	モルタル塗（溝はつり）	—
天井	杉竿縁天井張	（撤去）



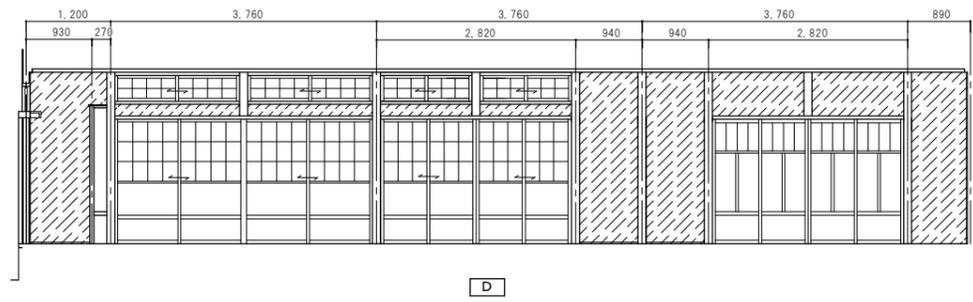
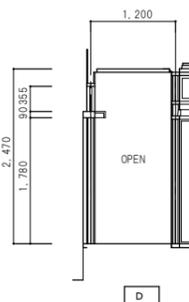
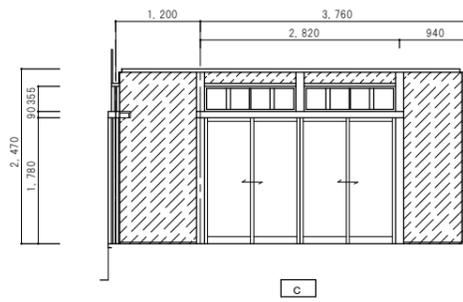
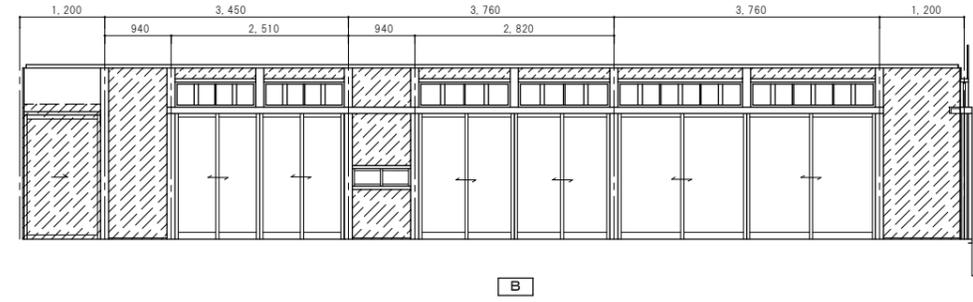
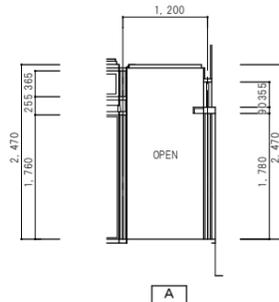
洋室（8帖）		CH=2470
床	フロー合板張	（撤去）
巾木	雑巾摺り	（撤去）
壁	ジュラク塗	—
天井	杉板張	（撤去）



物入		CH=2400
床	荒床張	（撤去）
巾木	雑巾摺り	（撤去）
壁	モルタル塗	—
天井	杉竿縁天井張	（撤去）

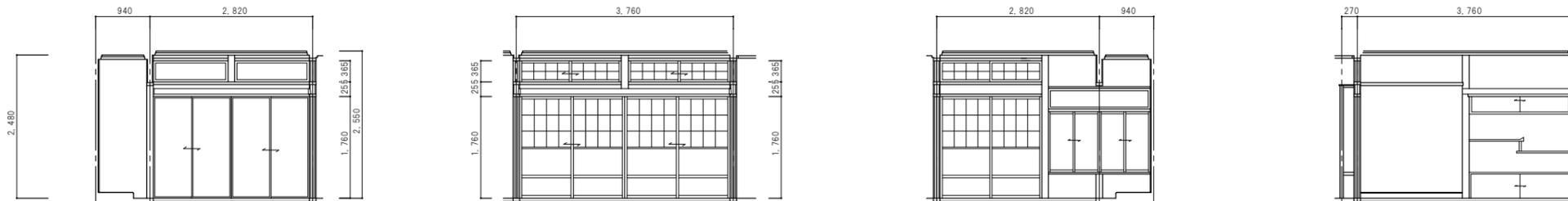


廊下・広縁		CH=2470
床	カーペット敷	（撤去）
巾木	雑巾摺り	（撤去）
壁	繊維壁	仕上（撤去）
天井	杉板張	—

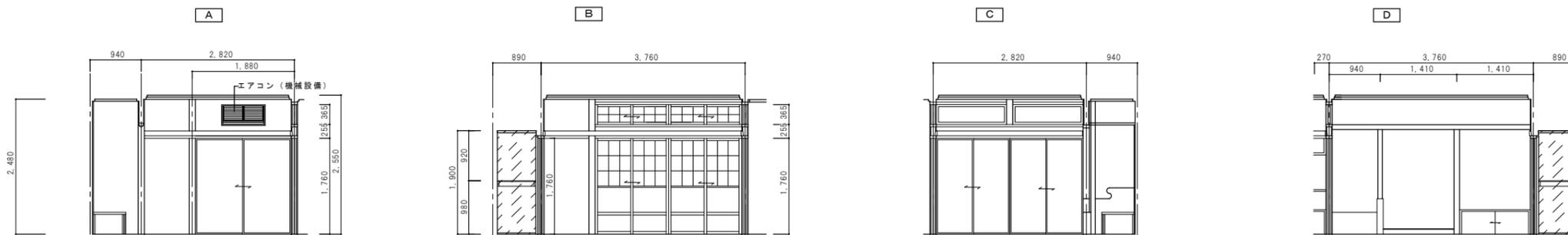


撤去部分を示す。

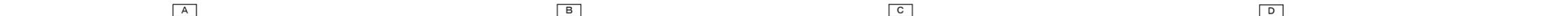
研修室-1	CH=2550
床	畳敷き (新設)
巾木	畳寄せ (既存)
壁	繊維壁 (既存)
天井	杉竿縁天井張 (既存)



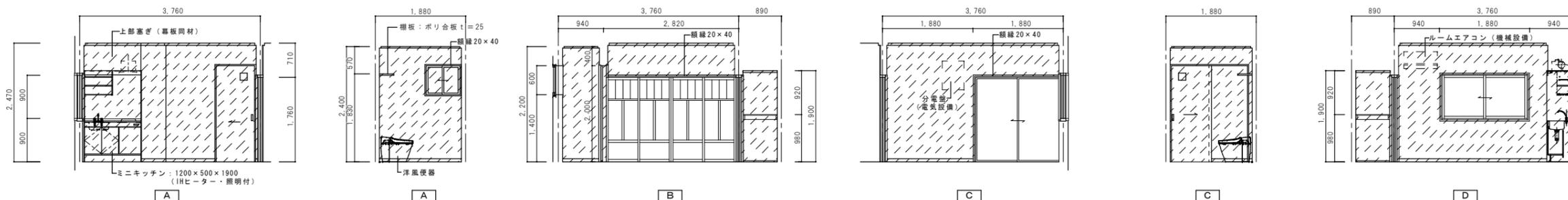
研修室-2	CH=2550
床	畳敷き (新設)
巾木	畳寄せ (既存)
壁	繊維壁 (既存)
天井	杉竿縁天井張 (既存)



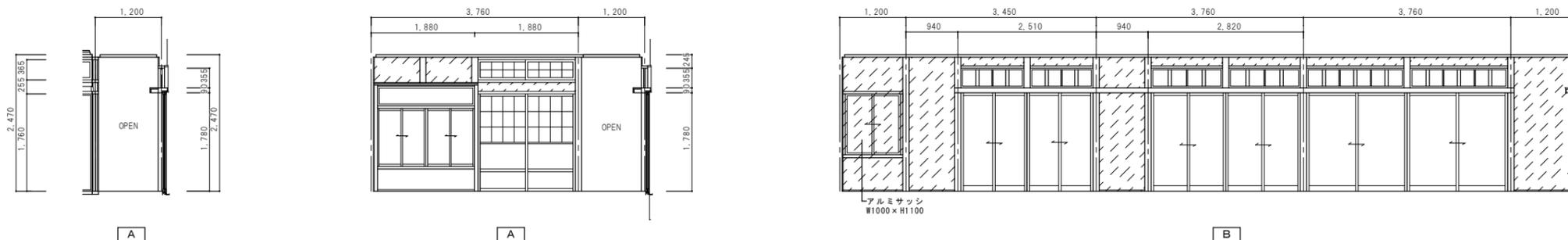
押入	CH=1900
床	シナ合板 t=9.0 (新設)
巾木	雑巾摺り (米摺) H=24 (新設)
壁	シナ合板 t=5.5 (新設)
天井	シナ合板 t=4.0 (新設)



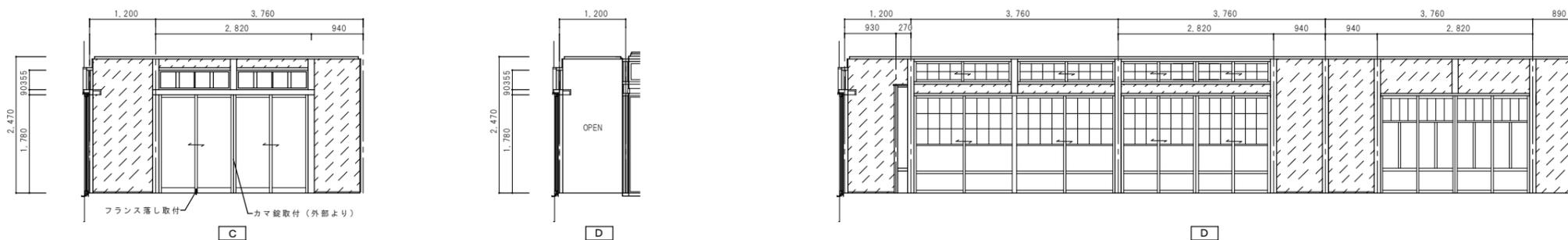
準備室	CH=2470
床	ビニル床シート貼 t=2.0 (新設)
巾木	木製巾木H=60 (新設)
壁	ビニルクロス貼 (新設)
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (新設)



トイレ	CH=2400
床	ビニル床シート貼 t=2.0 (新設)
巾木	木製巾木H=60 (新設)
壁	ビニルクロス貼 (新設)
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (新設)



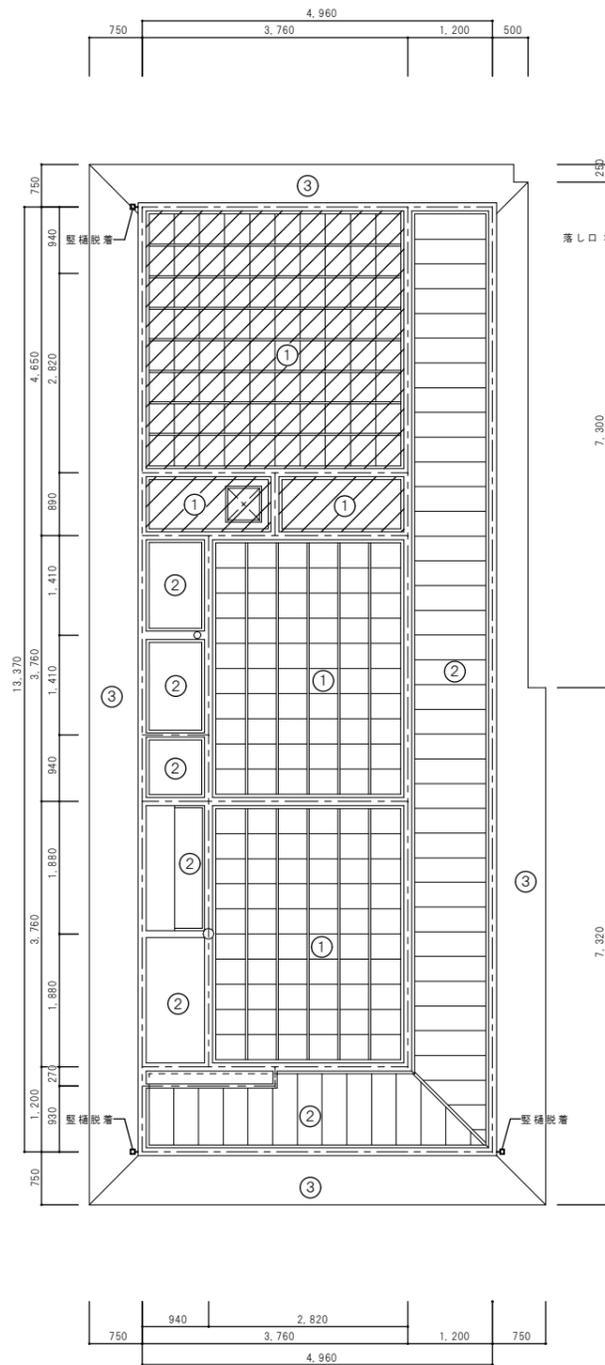
物入	CH=1900
床	シナ合板 t=9.0 (新設)
巾木	雑巾摺り (米摺) H=24 (新設)
壁	シナ合板 t=5.5 (新設)
天井	シナ合板 t=4.0 (新設)



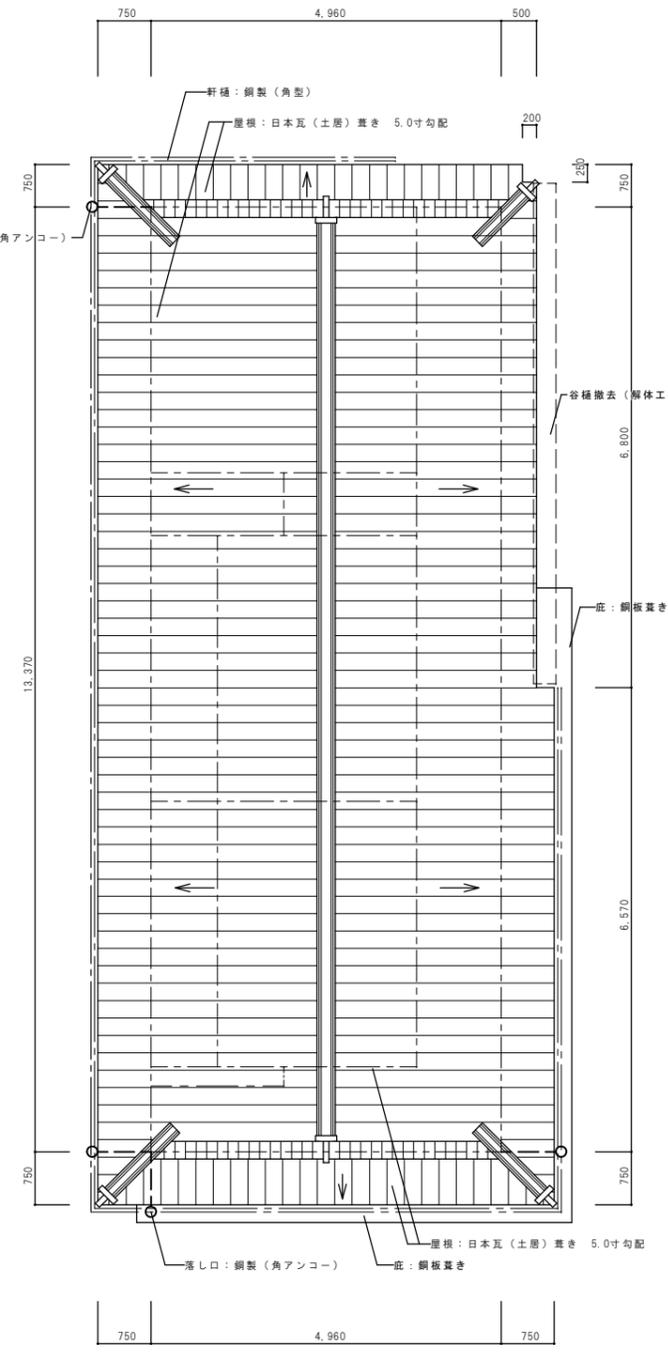
廊下・広縁	CH=2470
床	縁甲板張 t=12 (新設)
巾木	雑巾摺り (米摺) H=30 (新設)
壁	繊維壁 (新設)
天井	杉板張 (既存)

※廊下・広縁：繊維壁仕上部分全面塗替え  
(繊維部分のみ撤去にて、塗替え)

改修範囲を示す。



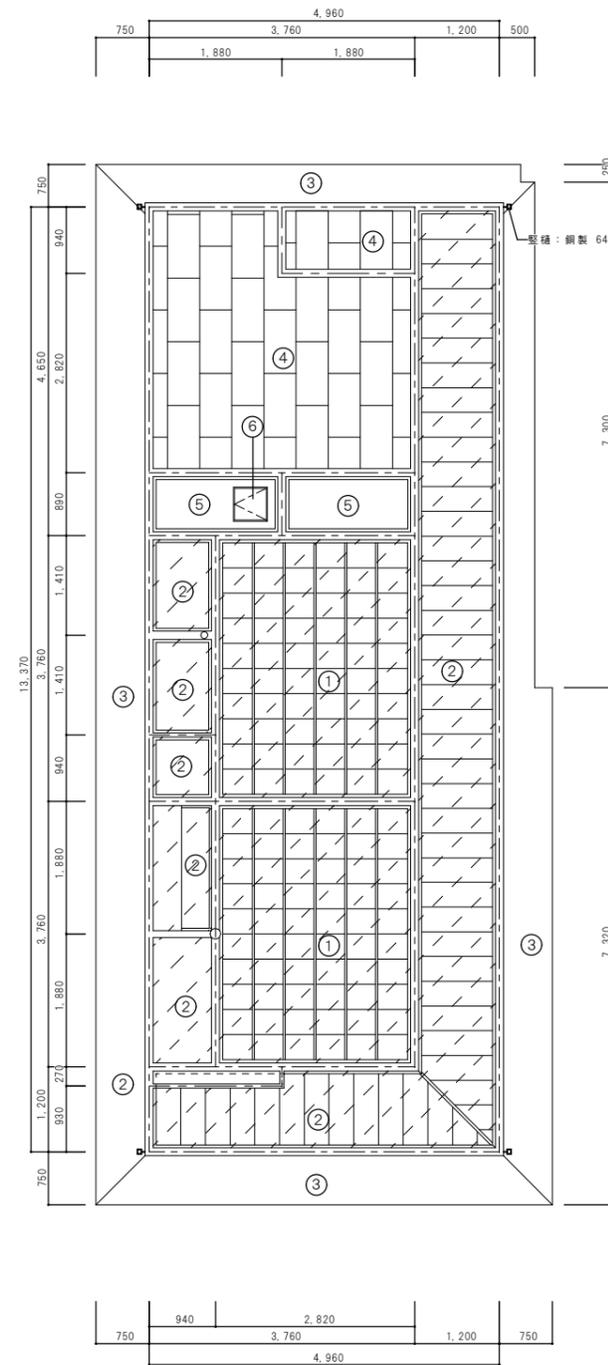
天井伏図 S = 1 / 50



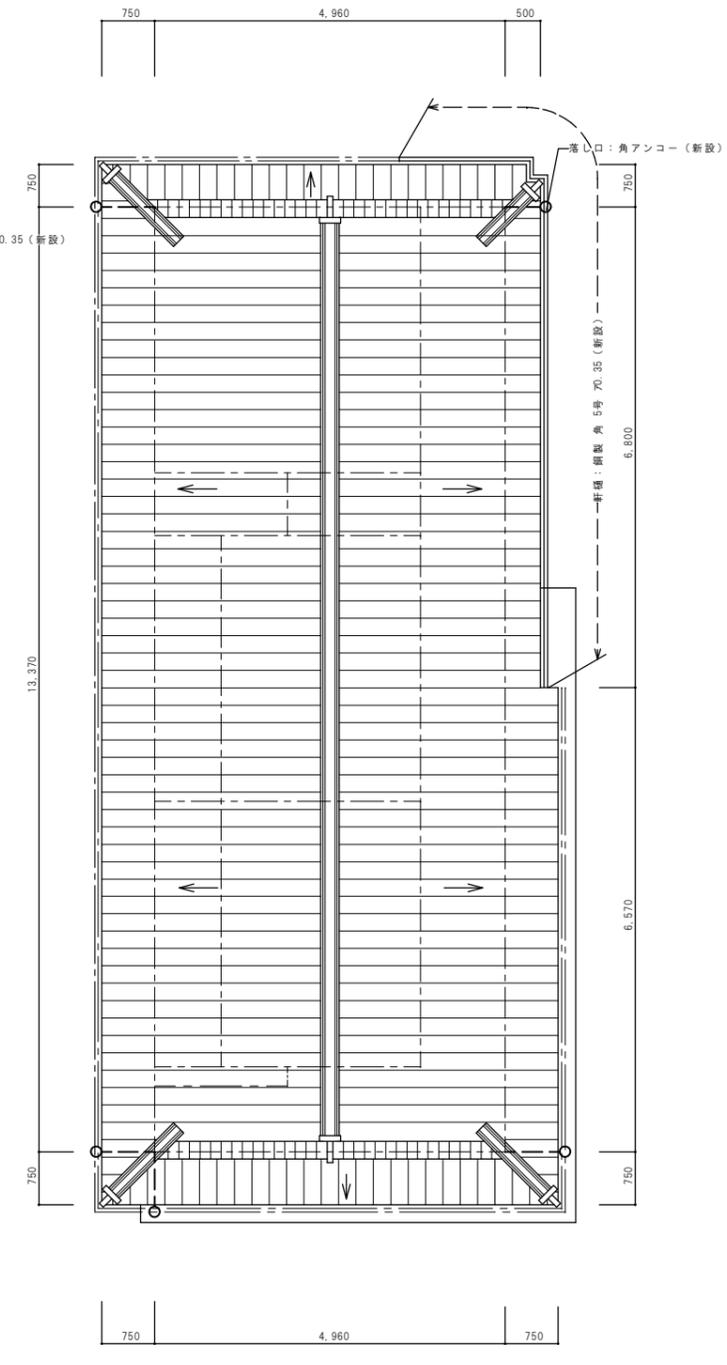
屋根伏図 S = 1 / 50

天井撤去（下地共）範囲を示す。

凡例	
①	杉竿縁天井張
②	杉板張
③	化粧野地板・垂木隠し



天井伏図 S = 1 / 50

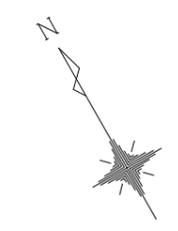
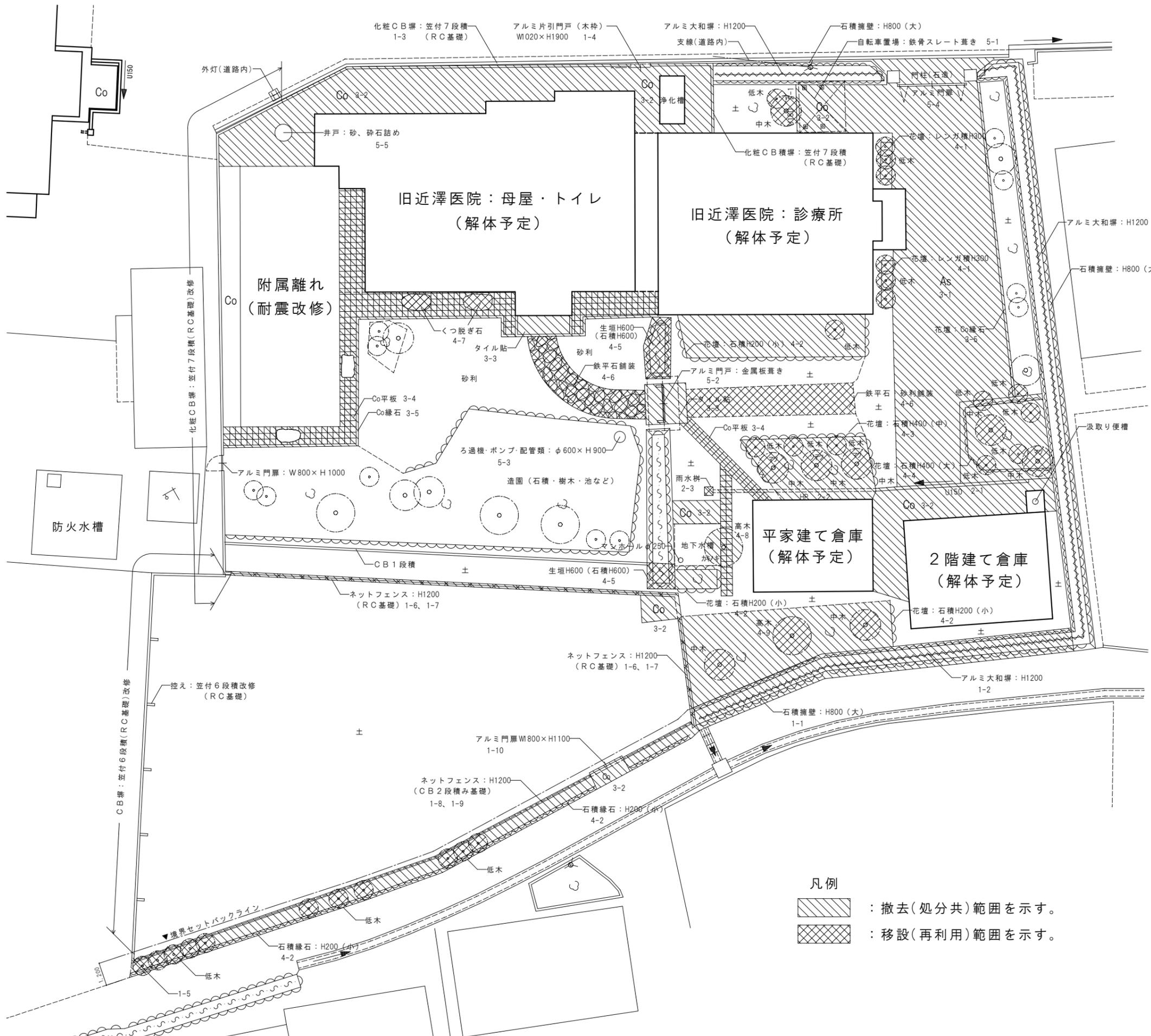


屋根伏図 S = 1 / 50

既設天井（既存のまま）を示す。

凡例	
①	杉竿縁天井張
②	杉板張
③	化粧野地板・垂木隠し
④	化粧石膏ボード張 t = 9.5
⑤	シナ合板張 t = 5.5
⑥	点検口450角



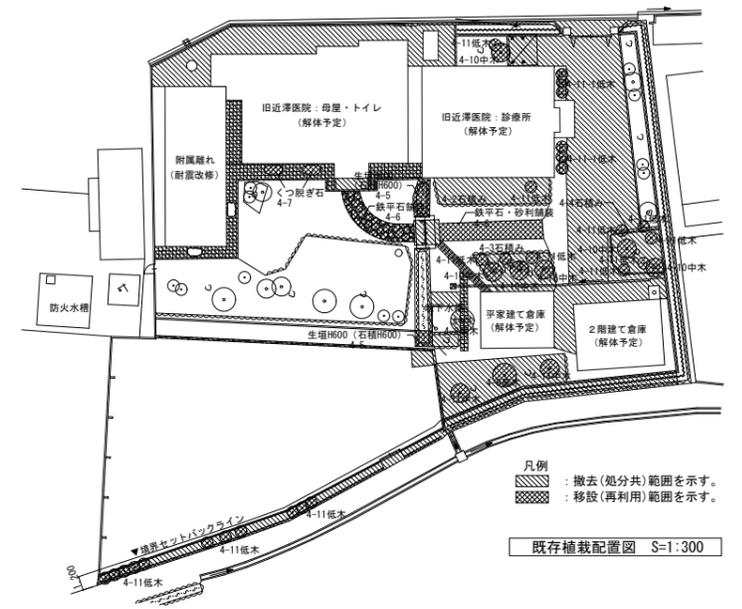
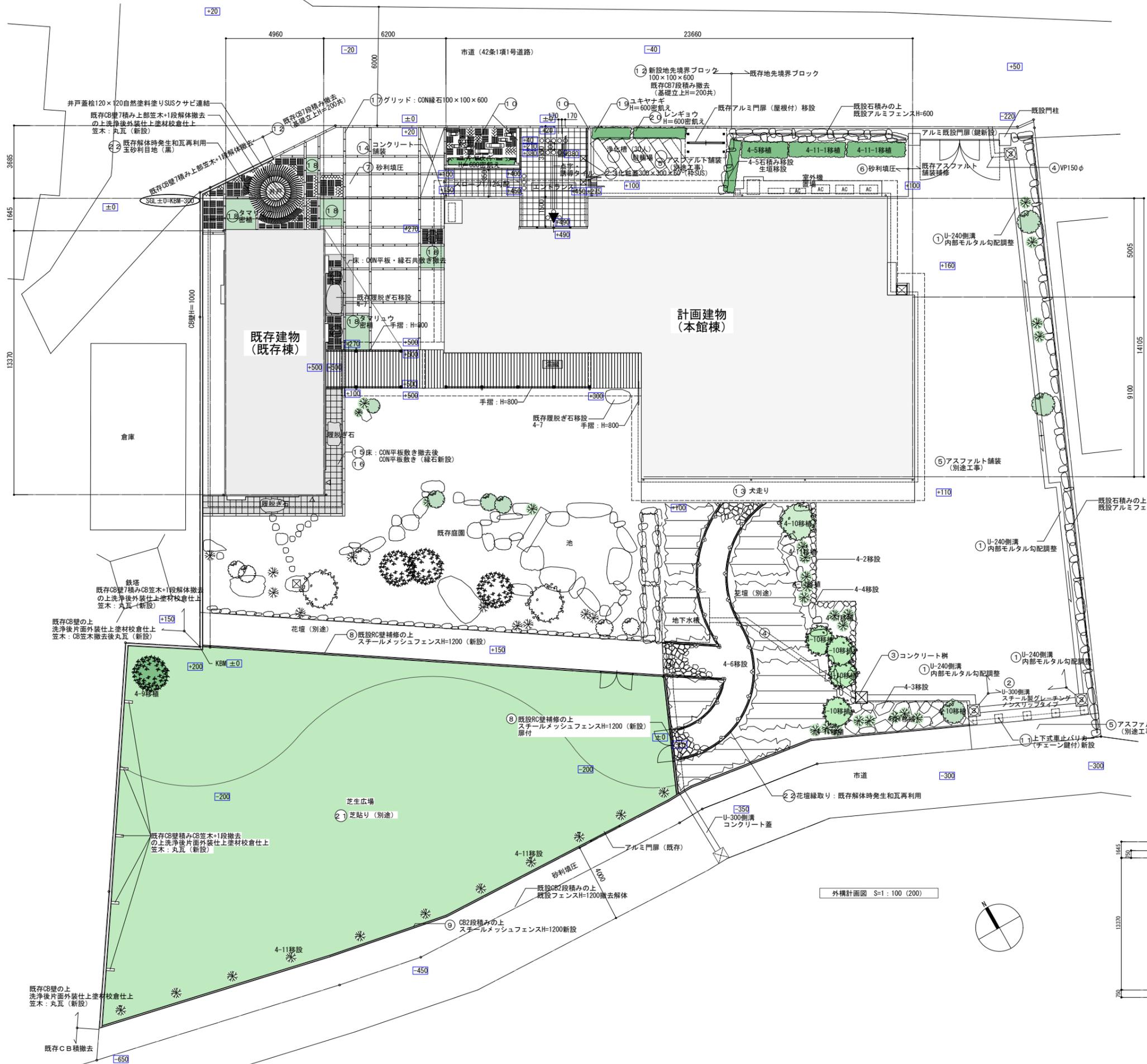


＜撤去・移設項目＞

1. 囲障工事
  - 1-1 石積擁壁W200×H800(基礎共)撤去：L=20.17m (取合部補修共)
  - 1-2 アルミ大和塀H1200撤去：L=20.74m (取合部補修・一部移設共)
  - 1-3 笠付化粧コンクリートブロック塀H1500(基礎共)撤去：L=25.57m
  - 1-4 アルミ片引門戸(木枠、基礎共)撤去：1020×H1900×①箇所
  - 1-5 笠付コンクリートブロック塀H1300(基礎共)撤去：L=0.57m
  - 1-6 ネットフェンスH1200撤去：L=28.92m
  - 1-7 同上、鉄筋コンクリート基礎補修：L=30.17m (新設コア抜き共)
  - 1-8 ネットフェンスH1200撤去：L=29.85m
  - 1-9 同上、コンクリートブロック2段積み基礎撤去：L=29.85m
  - 1-10 アルミ門扉(基礎共)移設：1800×H1100×①箇所
2. 排水工事
  - 2-1 側溝(U150)撤去：L=10.53m
  - 2-2 排水(HP)管撤去：L=8.50m
  - 2-3 雨水(450角)枺、铸铁蓋撤去：1箇所
3. 舗装工事
  - 3-1 アスファルト舗装 750 (路盤 7150 共)撤去：112.43m<sup>2</sup>
  - 3-2 土間コンクリート 7120 撤去：94.85m<sup>2</sup>
  - 3-3 タイル貼(土間コンクリート共) 7150 撤去：7.16m<sup>2</sup>
  - 3-4 コンクリート平板敷き撤去：44.61m<sup>2</sup>
  - 3-5 コンクリート縁石(120×120)撤去：49.84m
4. 造園工事
  - 4-1 花壇(レンガ積H300)撤去：1.47m<sup>2</sup>×② (6.09m×②)
  - 4-2 花壇(石積H200小形)移設：81.96m<sup>2</sup> (敷地内 52.26m<sup>2</sup>)
  - 4-3 花壇(石積H400中形)移設：18.68m<sup>2</sup> (敷地内 13.77m<sup>2</sup>)
  - 4-4 花壇(石積H400大形)移設：14.08m<sup>2</sup> (敷地内 11.19m<sup>2</sup>)
  - 4-5 生垣、石積(敷地内)移設：6.05m<sup>2</sup> (取合部の補修共)
  - 4-6 鉄平石舗装(敷地内)移設：24.31m<sup>2</sup>
  - 4-7 くつ脱ぎ石(敷地内)移設：1500×850×H400×②箇所
  - 4-8 高木掘取り(敷地外)撤去：1本
  - 4-9 高木掘取り(敷地内)移設：1本
  - 4-10 中木掘取り(敷地内)移設：8本
  - 4-11 低木掘取り(敷地内)移設：27本
5. 雑工事
  - 5-1 自転車置場(鉄骨スレート葺き)撤去：2400×2600×H2000～2400基礎共
  - 5-2 アルミ門戸(金属板葺き)移設：2800×1600×H2600基礎共
  - 5-3 ろ過機、ポンプ、配管類撤去：φ600×H900据付基礎共
  - 5-4 アルミ門扉シリンダー錠取替え
  - 5-5 井戸砂、砕石詰め

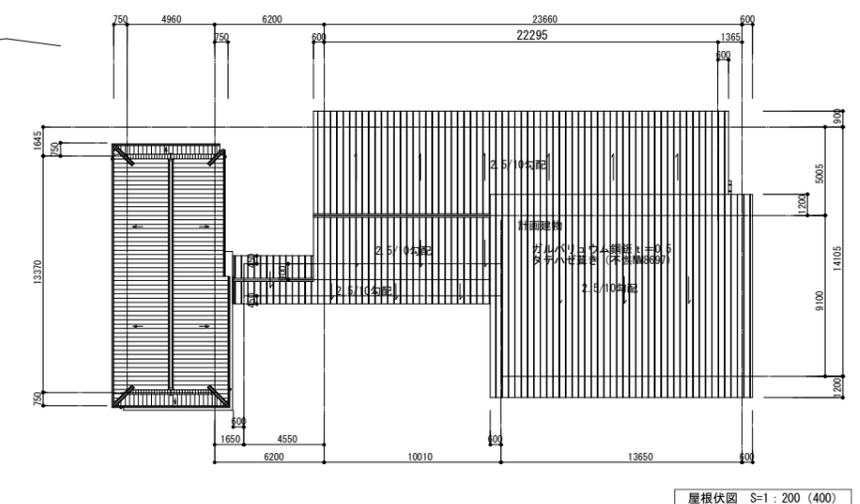
凡例

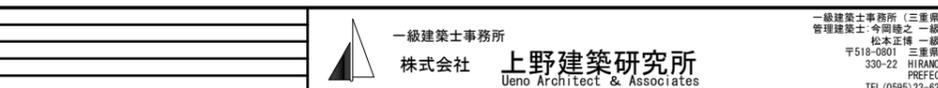
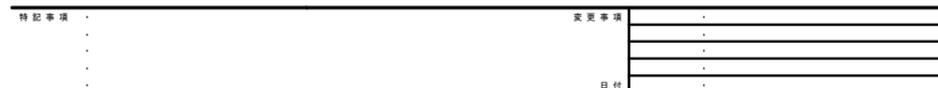
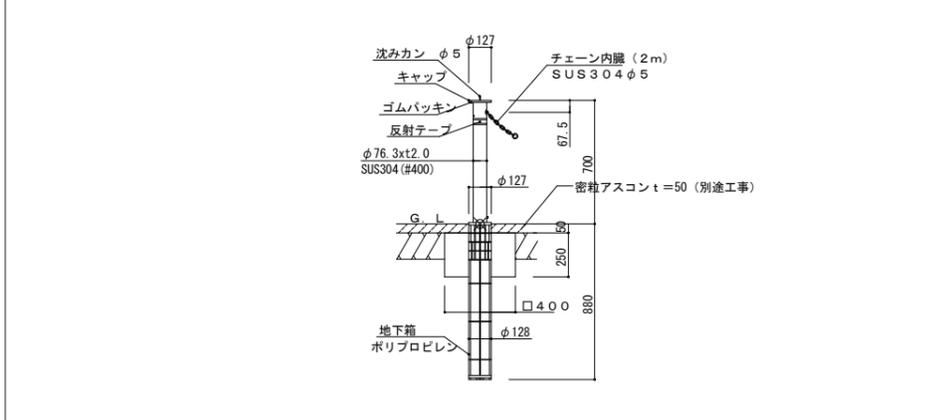
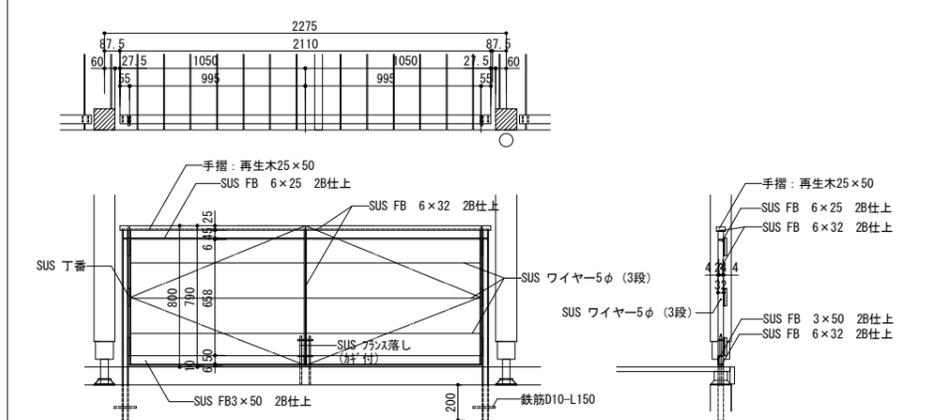
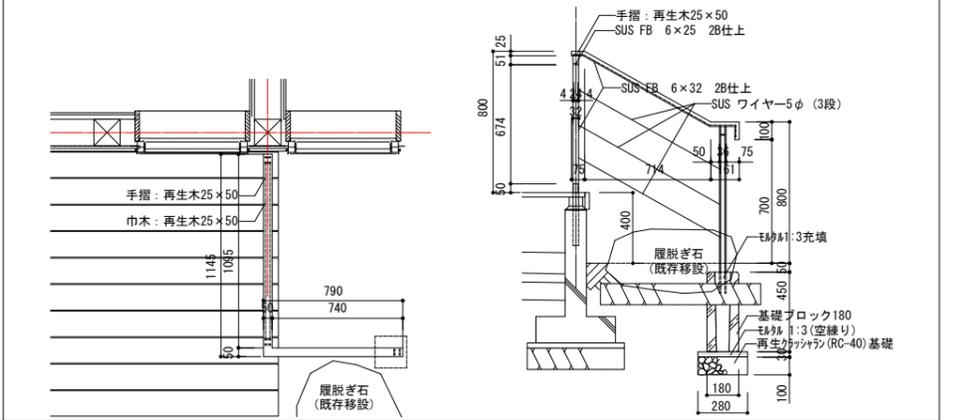
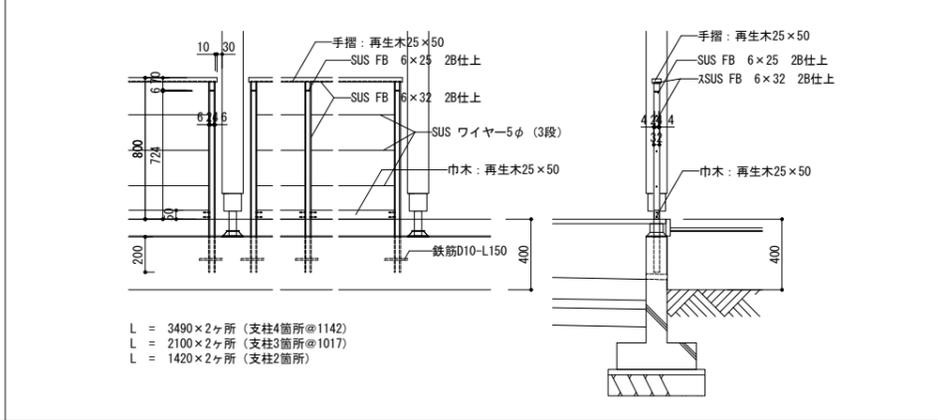
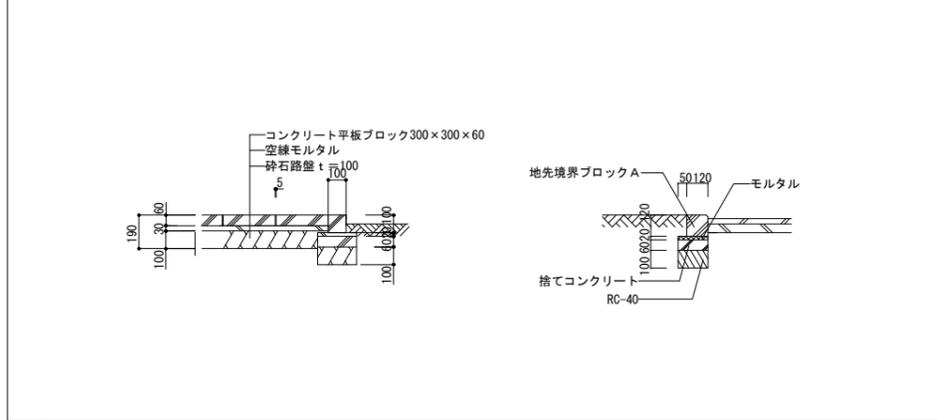
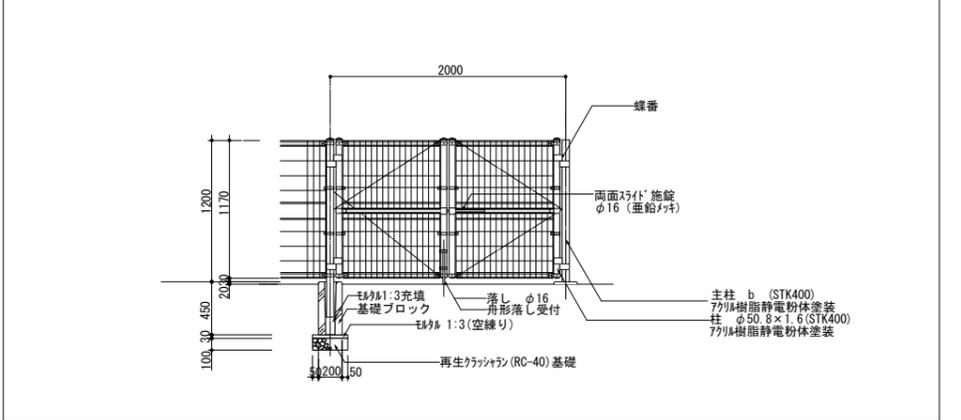
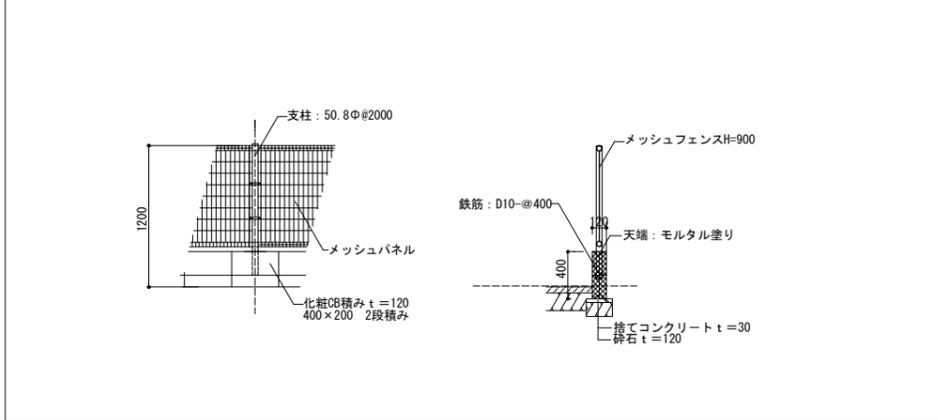
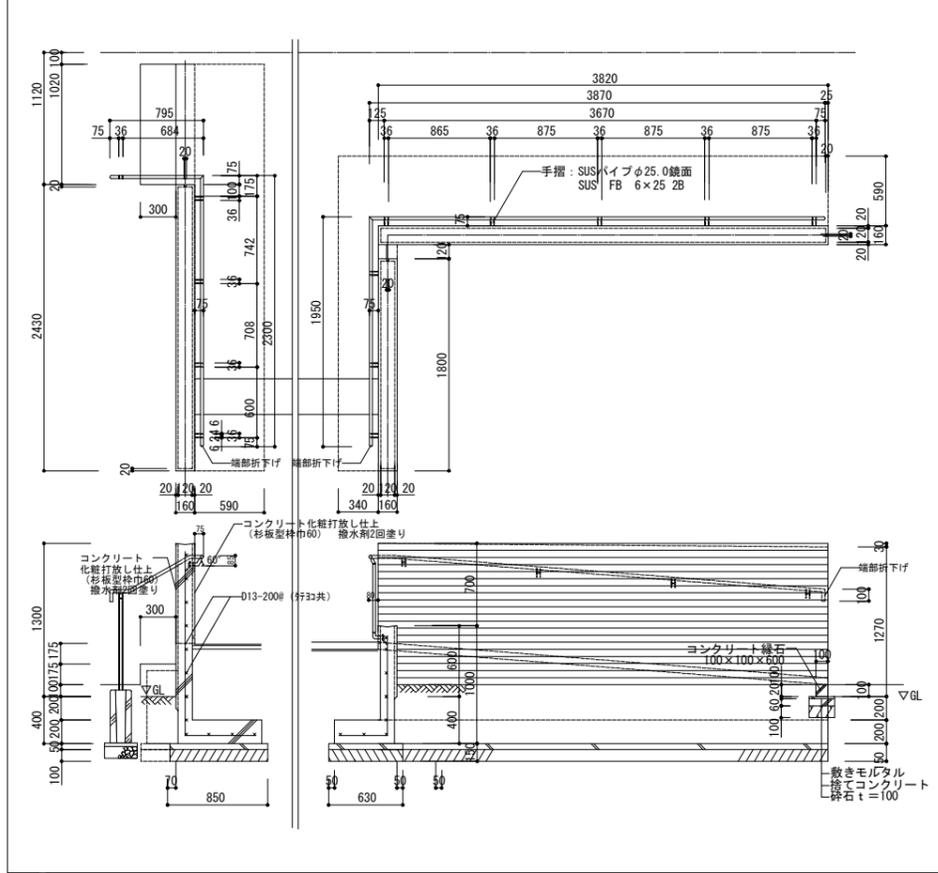
: 撤去(処分共)範囲を示す。  
 : 移設(再利用)範囲を示す。



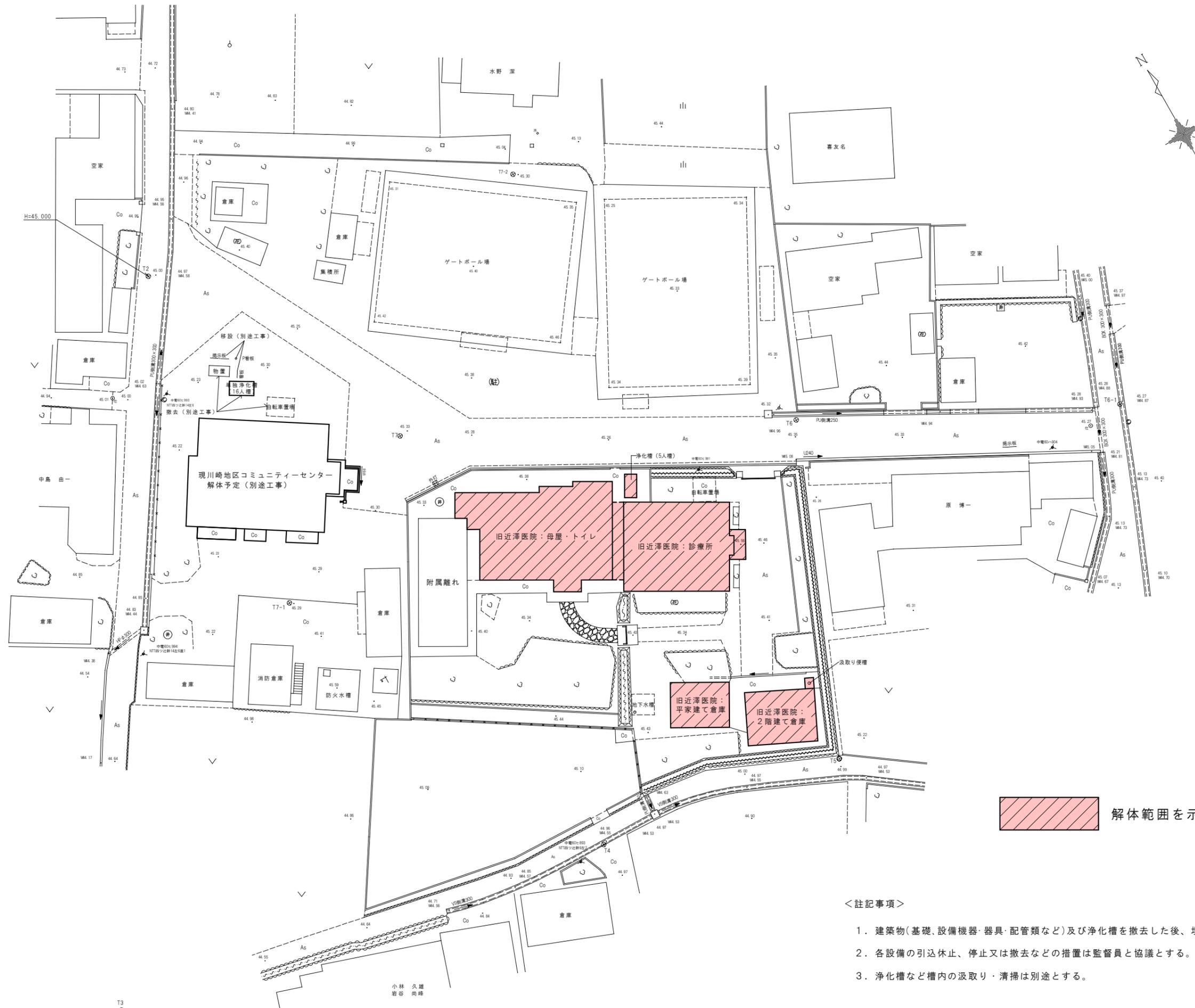
屋外付帯工事リスト

①	U型側溝 市240	34.7m
②	詳細図参照	
③	U型側溝 市300 (グレーチング蓋)	4.9m
④	詳細図参照	
⑤	集水溝 600×600×900	4箇所
⑥	詳細図参照	
⑦	VP150φ	14.3m
⑧	詳細図参照	
⑨	U-240側溝 内部モルタル勾配調整	278.00m <sup>2</sup>
⑩	詳細図参照	
⑪	アスファルト舗装 (別途工事)	駐輪場 (21.2m <sup>2</sup> 含む)
⑫	詳細図参照	
⑬	砂利填圧	20.0m <sup>2</sup>
⑭	砂利填圧 (グリッド) 詳細図参照	50.8m <sup>2</sup>
⑮	詳細図参照	
⑯	スチールメッシュフェンスH1200 (厚 両開きW=1600 2ヶ所含む)	26.0m
⑰	基礎ブロック 詳細図参照	
⑱	CB 2段積みの上スチールメッシュフェンスH1200	64.0m
⑲	基礎ブロック 詳細図参照	
⑳	コンクリート化粧 (杉板型枠) 打放し仕上 H=1300	1箇所
㉑	詳細図参照	
㉒	車止バリカー (チェーン内蔵)	1箇所 (5本)
㉓	詳細図参照	
㉔	車止バリカー (チェーン内蔵)	5.8m
㉕	詳細図参照	
㉖	地先境界ブロック	23.7m
㉗	詳細図参照	
㉘	犬走り	16.7m <sup>2</sup>
㉙	スロープ下 (コンクリート鏡仕上)	4.7m <sup>2</sup>
㉚	コンクリート平板ブロック舗装	11.2m <sup>2</sup>
㉛	詳細図参照	
㉜	コンクリート緑石	13.7m
㉝	詳細図参照	
㉞	コンクリート緑石 (グリッド)	95.6m
㉟	詳細図参照	
㊱	タマリュウ密植	12.53m <sup>2</sup>
㊲	詳細図参照	
㊳	ユキヤナギH=600密植	2.7m <sup>2</sup>
㊴	詳細図参照	
㊵	レンギョウH=600密植	1.5m <sup>2</sup>
㊶	詳細図参照	
㊷	芝張り・花壇 (別途工事)	375.0m <sup>2</sup> 68.0m <sup>2</sup>
㊸	既存解体時発生和瓦再利用 玉砂利目地 (黒)	23.3m <sup>2</sup> (33.9m)
㊹	詳細図参照	
㊺	SUS排水樹化化粧300×300×60 (枠SUS)	2箇所







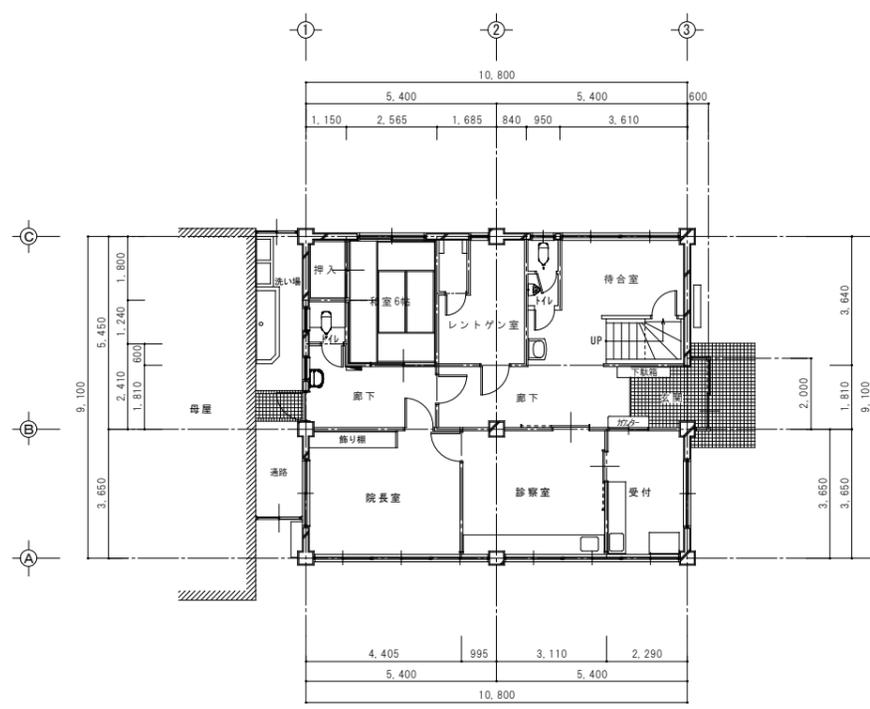


 解体範囲を示す。

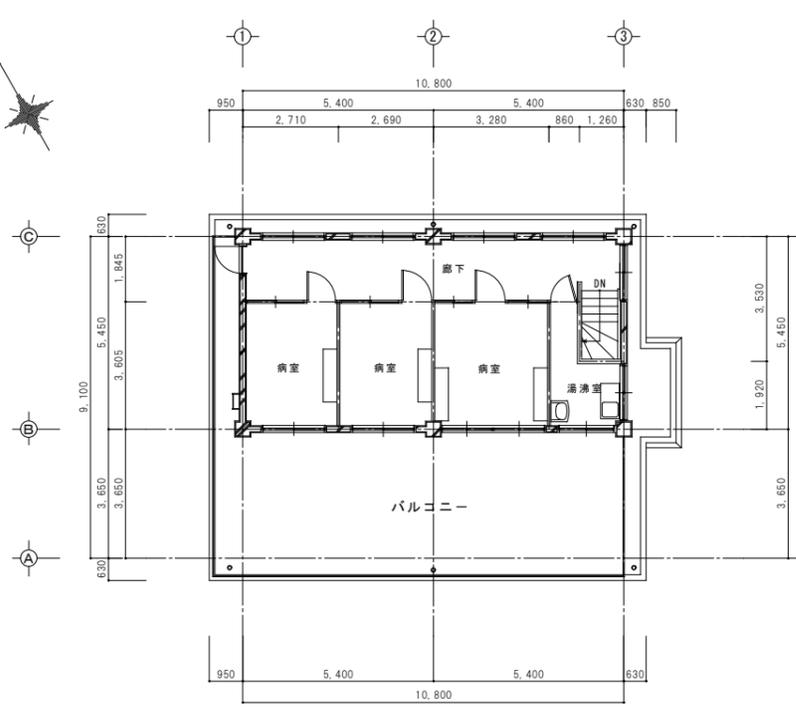
< 註記事項 >

1. 建築物(基礎、設備機器・器具・配管類など)及び浄化槽を撤去した後、埋戻し整地まで行う。
2. 各設備の引込休止、停止又は撤去などの措置は監督員と協議とする。
3. 浄化槽など槽内の汲取り・清掃は別途とする。

特記事項	変更事項	 一級建築士事務所 <b>株式会社 上野建築研究所</b> Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所(三重県知事)登録第 1-748号 管理建築士・今岡雄之 一級建築士登録第 55324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0401 三重県伊賀市平野見 330-22 330-22 HIRANOMINO, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL (0595)23-6272 FAX (0595)23-6273	日付 11.03.10 棟名 IMAKA MATSUMOTO 担当者 NISHIO OHNO MATSUDA	名称 <b>川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図</b> 図名 <b>解体工事 全体配置図</b>	図番 縮尺 A3版 1/400 A1版 1/200	原簿番号 <b>D12-02</b> 積印
	日付						

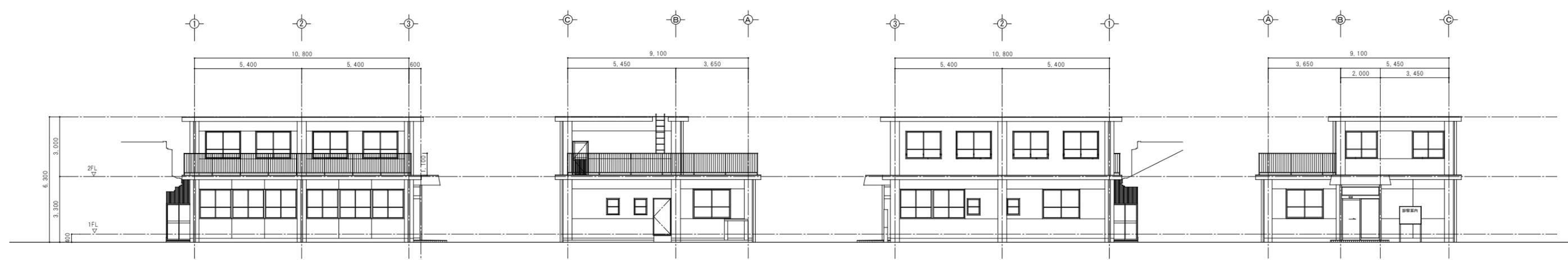


1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

建物概要					
用途	診療所	竣工年	昭和41年		
構造	鉄筋コンクリート造2階建て	規模	延床面積 158.44㎡ (1階:99.58㎡, 2階:58.86㎡)		
外部仕上表					
屋根	陸屋根:樹脂防水仕上 パラペット:モルタル塗りの上吹付タイル仕上H=250				
軒裏	アクリル樹脂吹付タイル仕上				
雨樋	整備:VPφ100 VP塗り 集水皿・鍍鉄製ドレインφ100用				
外壁	RC打増しt=20の上、アクリル樹脂吹付タイル仕上				
基礎	モルタル塗り刷毛引き仕上				
ポーチ	磁器質100角タイル貼				
建具	窓:アルミサッシ 玄関:アルミ引き自動ドア				
バルコニー	陸屋根:樹脂防水仕上 防護手摺:スチールパイプφ32@1500ピッチH=1100、手摺子φ12@100ピッチ				
内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	備考
玄関	磁器質100角タイル貼		クロス貼	ジブトーン貼	下駄箱
待合室	長尺塩ビシート貼	塩ビ巾木	クロス貼	ジブトーン貼	
受付	Pタイル貼	塩ビ巾木	クロス貼	ジブトーン貼	流し付地袋
診療室	長尺塩ビシート貼	塩ビ巾木	クロス貼	ジブトーン貼	流し付地袋
レントゲン室	Pタイル貼	塩ビ巾木	クロス貼	クロス貼	
院長室	カーペット敷き	木製	クロス貼	クロス貼	飾り棚
和室6帖	タタミ敷き	タタミ寄せ	クロス貼 (じゅうらく風)	杉板合板目隠し貼	
廊下	長尺塩ビシート貼	塩ビ巾木	クロス貼	クロス貼	
トイレ	モザイクタイル50角貼	100角タイル	陶器質100角タイル貼	クロス貼	小便器・大便器 入口前手洗器
押入	ラワンベニヤ貼t=4	雑巾摺り	ラワンベニヤ貼t=4	ラワンベニヤ貼t=4	棚
階段	木製階段の上Pタイル貼	ササラ折	E.P.塗り	ケイカル板t=6 E.P.塗り	手摺
病室	Pタイル貼	塩ビ巾木	E.P.塗り	ケイカル板t=6 (-部吸音板900角) E.P.塗り	壁付け飾り棚
湯沸室	Pタイル貼	塩ビ巾木	E.P.塗り	ケイカル板t=6 (吸音板900角) E.P.塗り	流し台・手洗器
廊下	Pタイル貼	塩ビ巾木	E.P.塗り	ケイカル板t=6 (吸音板900角) E.P.塗り	

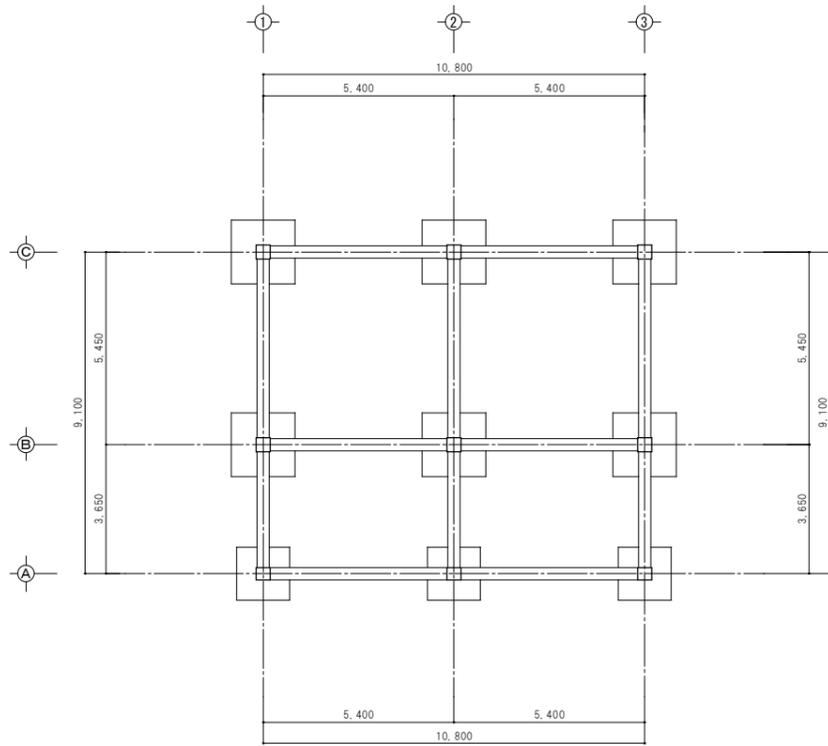


南立面図 S=1/100

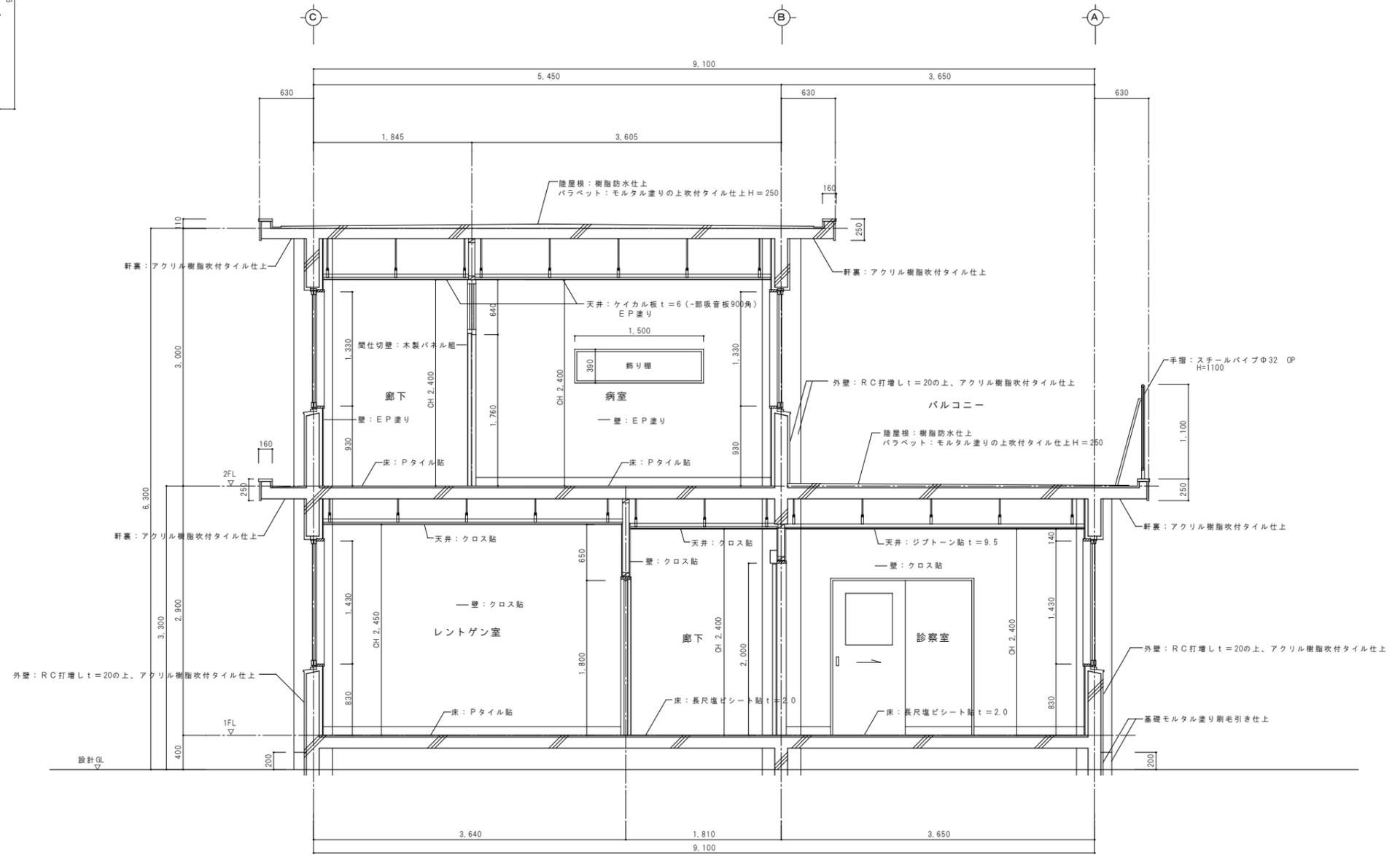
西立面図 S=1/100

北立面図 S=1/100

東立面図 S=1/100

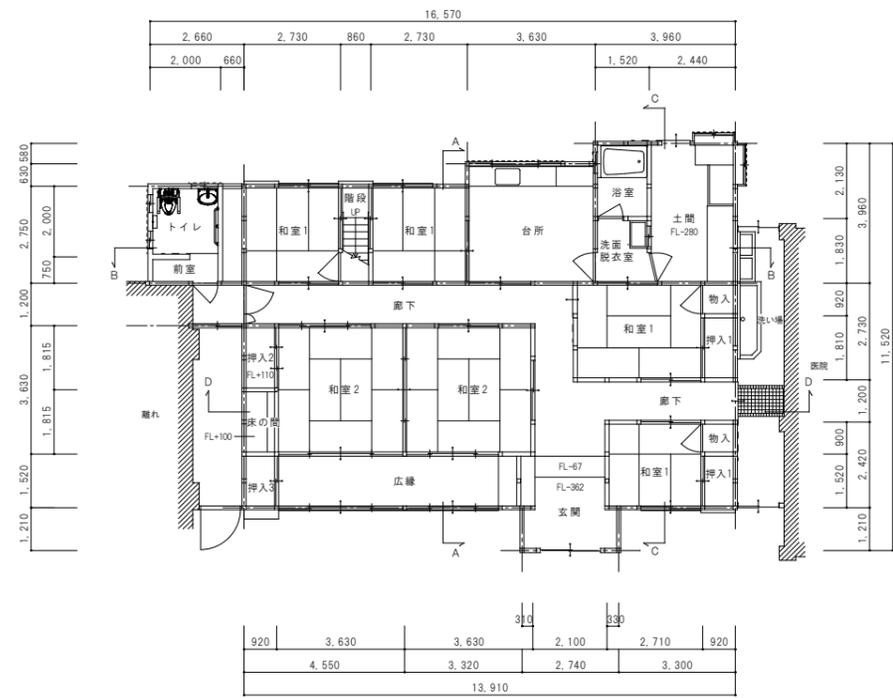


基礎伏図 S = 1 / 100

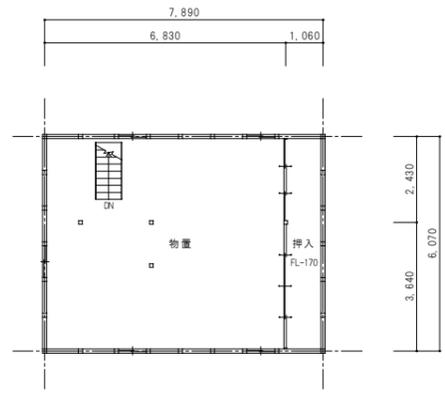


矩計図 S = 1 / 30

特記事項	変更事項	 一級建築士事務所 株式会社 上野建築研究所 Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所(三重県知事)登録第1-748号 管理建築士:今岡雄之 一級建築士登録第55324号 松本正博 一級建築士登録第187579号 〒518-0401 三重県伊賀市平野町330-22 330-22 HIRANOMINOH, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL (0595)23-6272 FAX (0595)23-6273	日付 11.03.10 棟名 IMAKA MATSUMOTO 担当 NISHIO OHNO MATSUDA	名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図 図名 <旧近澤医院 診療所> 解体図-2 縮尺 A3縦1/200・60 A1縦1/100・30	原簿番号 D12-04 検印
------	------	---	---	---	---	-------------------



1階平面図 S=1/100



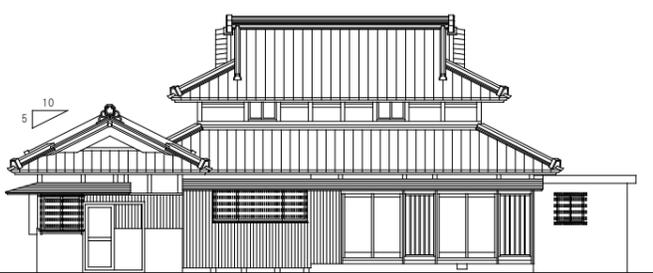
2階平面図 S=1/100



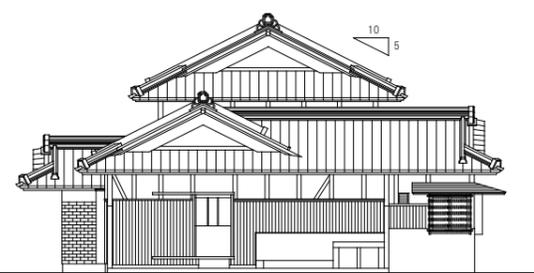
建物概要					
用途	住宅	竣工年	母屋1階：昭和41年11月、2階・トイレ：12月		
構造	母屋：木造2階建て、トイレ：コンクリートブロック造平家建て	規模	延床面積 母屋：186.67㎡、トイレ：7.31㎡		
外部仕上表（母屋）			外部仕上表（トイレ）		
屋根	日本瓦葺き	隠屋根	隠屋根：樹脂防水仕上		
軒裏	軒裏隠し	軒裏	アクリル樹脂吹付		
外壁	腰壁：杉板張り、二丁掛タイル貼り（玄関前） 小壁：じゅらく壁	モルタル	モルタル下地の上、アクリル樹脂吹付		
建具	木製建具、アルミサッシ	建具	アルミサッシ、縦格子付き		
基礎	腐ぎ出し 換気口有り	基礎			
犬走り	コンクリート300角	犬走り			
内部仕上表（母屋）					
室名	床	巾木	壁	天井	備考
玄関	大理石	100角タイル	綿壁 腰壁：タイル貼	杉舟底天井張	CH=2340~2400
和室1	タタミ敷		綿壁	杉半縁天井張	CH=2400
物入	杉板張		モルタル塗	杉板張	CH=2360
押入1	杉板張		モルタル塗	杉板張	CH=2380
廊下	パンチカーペット敷		綿壁	杉板目透し張	CH=2350
和室2	タタミ敷		じゅらく壁	杉半縁天井張	CH=2530
押入2	杉板張		漆喰塗	杉板張	CH=2230
床の間	杉板張		じゅらく壁	杉板張	CH=2370
広縁	フローター張		綿壁	杉板目透し張	CH=2380~2500
押入3	杉板張		綿壁	杉板張	CH=2380~2500
土間	コンクリート		綿壁 腰壁：タイル貼	化粧PB張	CH=2590
浴室	タイル貼		タイル貼	タイル貼	CH=2300
洗面・脱衣室	シート貼		綿壁 腰壁：タイル貼	杉板貼	CH=2300
台所	フローリング貼	木製	プリント合板	化粧PB張	CH=2500
階段室	フローター張、木製階段		綿壁、プリントベニヤ張	プリントベニヤ張	
物置	フローター張		モルタル塗	屋根裏隠し	
押入	杉板張		杉板張	屋根裏隠し	
内部仕上表（トイレ）					
室名	床	壁	天井	備考	
トイレ	モルタル塗の上、ビニルシート貼	腰壁：タイル貼（北西150角、東南75角） モルタル塗の上、EP塗	EP塗	CH=2140	
前室	モルタル塗の上、ビニルシート貼	ラスモルタル塗	EP塗	CH=2130	



西立面図 S=1/100



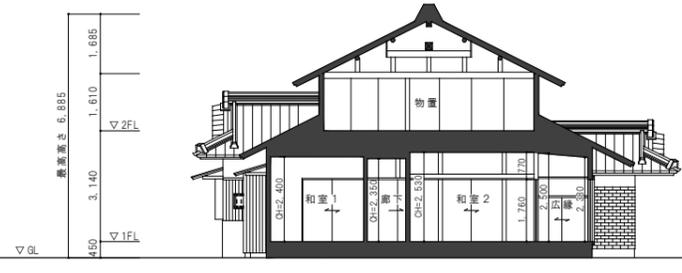
北立面図 S=1/100



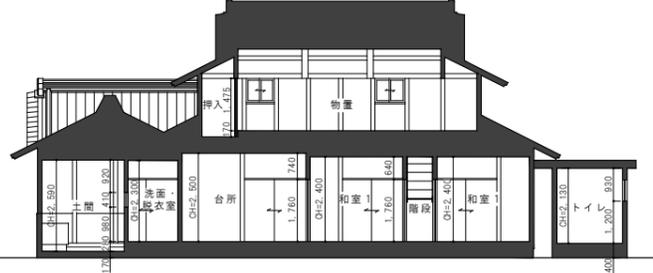
東立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100



A-A断面図 S=1/100



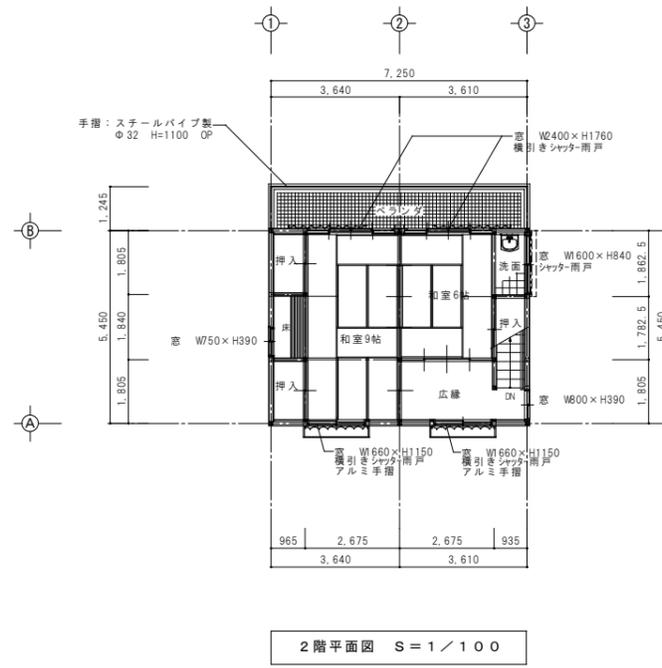
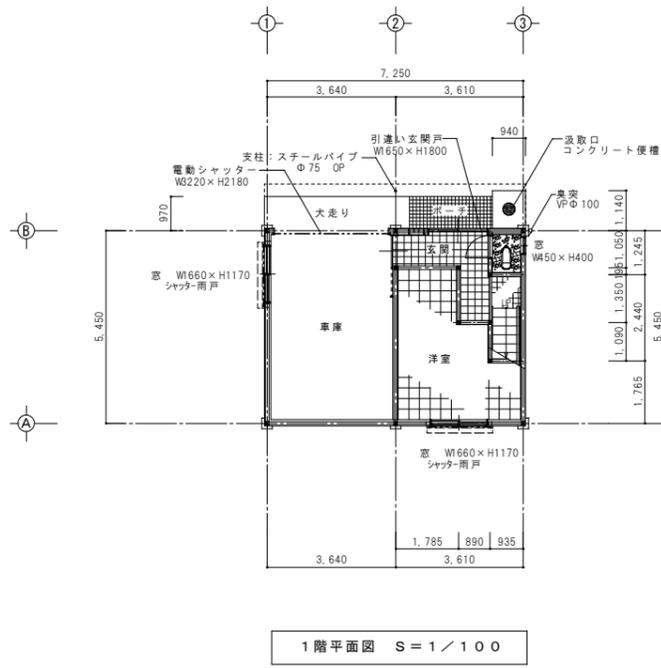
B-B断面図 S=1/100



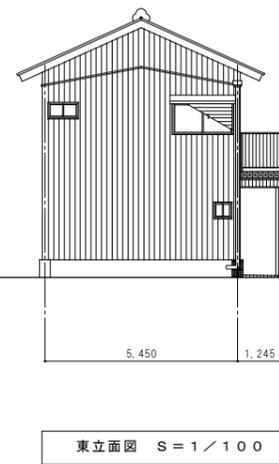
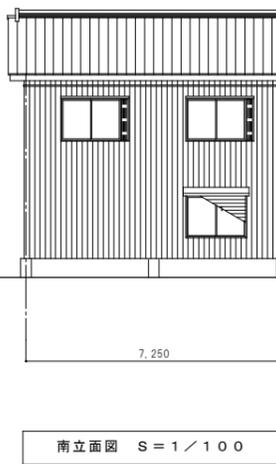
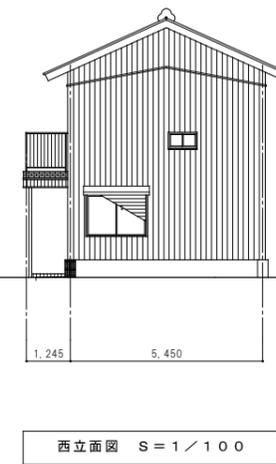
C-C断面図 S=1/100

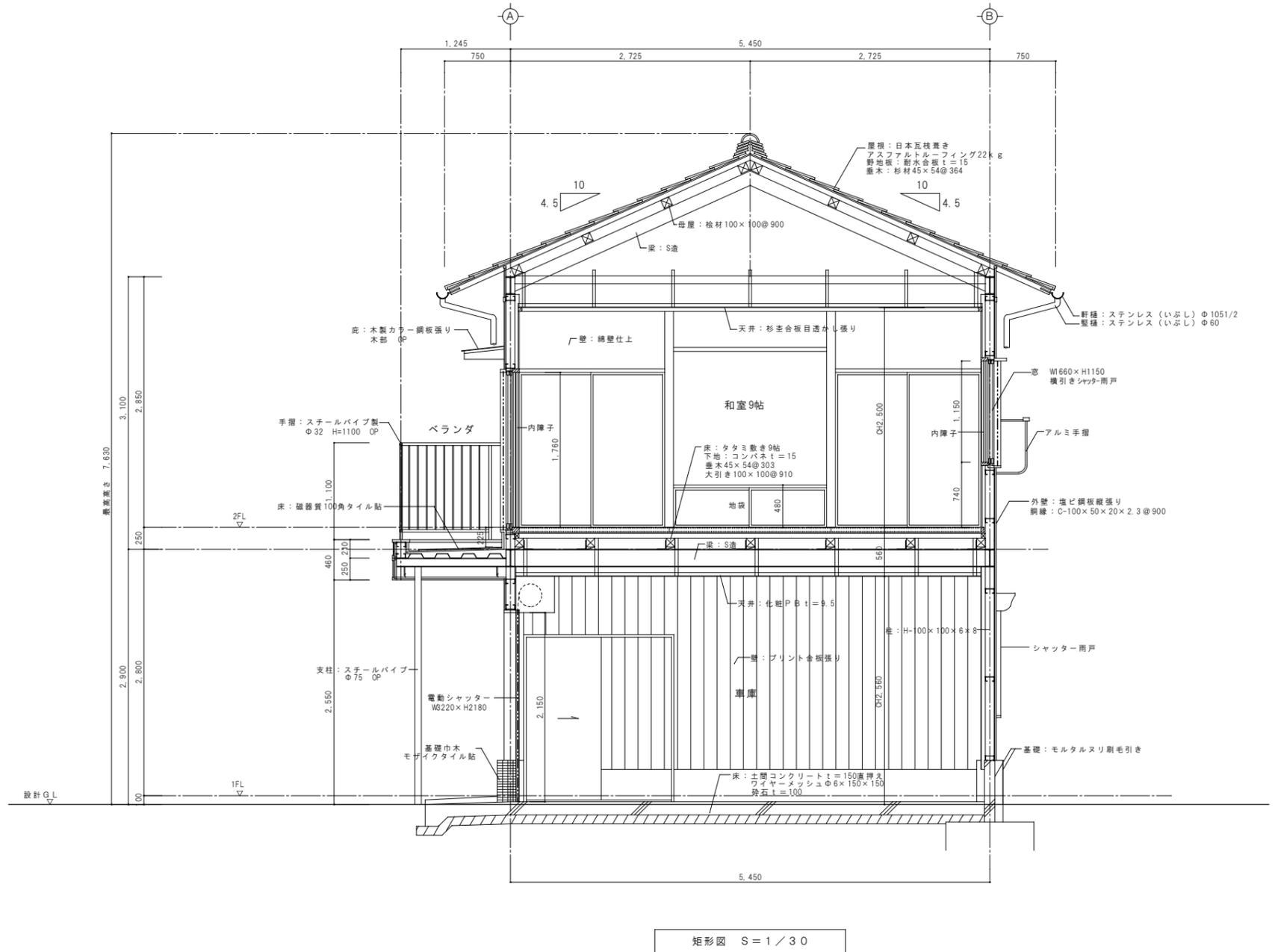
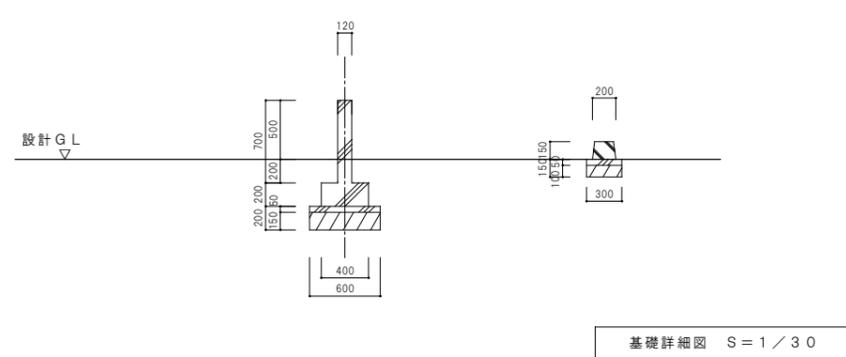
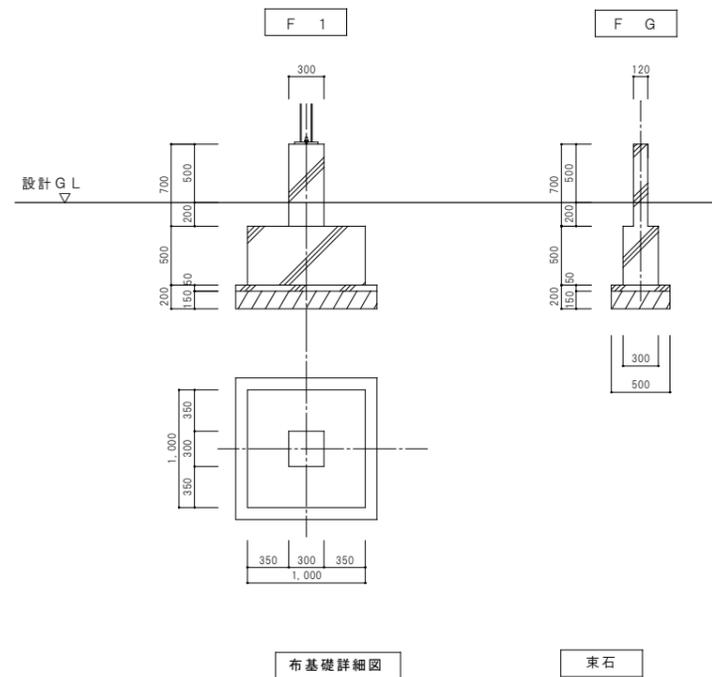
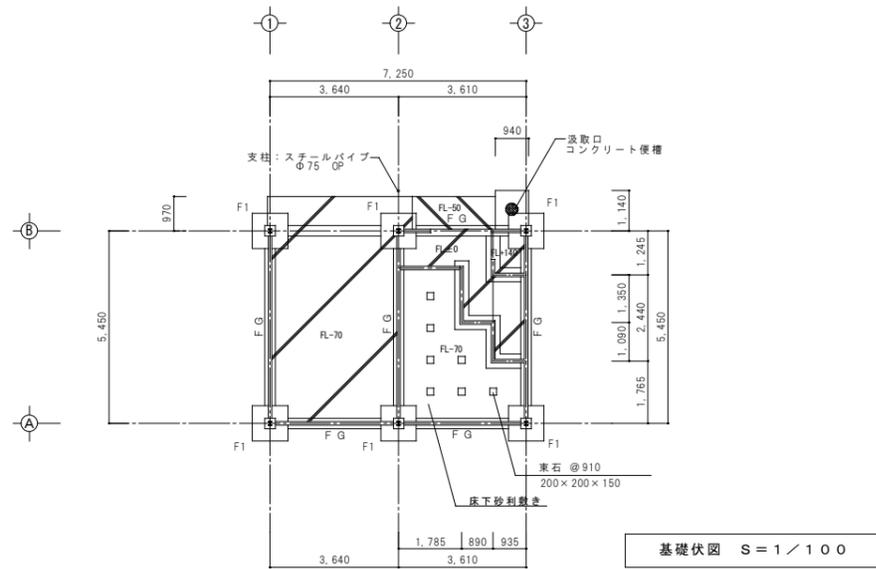


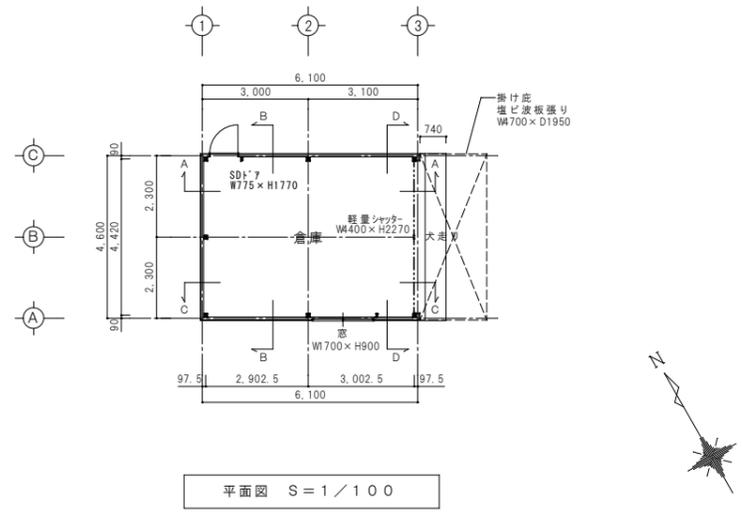
D-D断面図 S=1/100



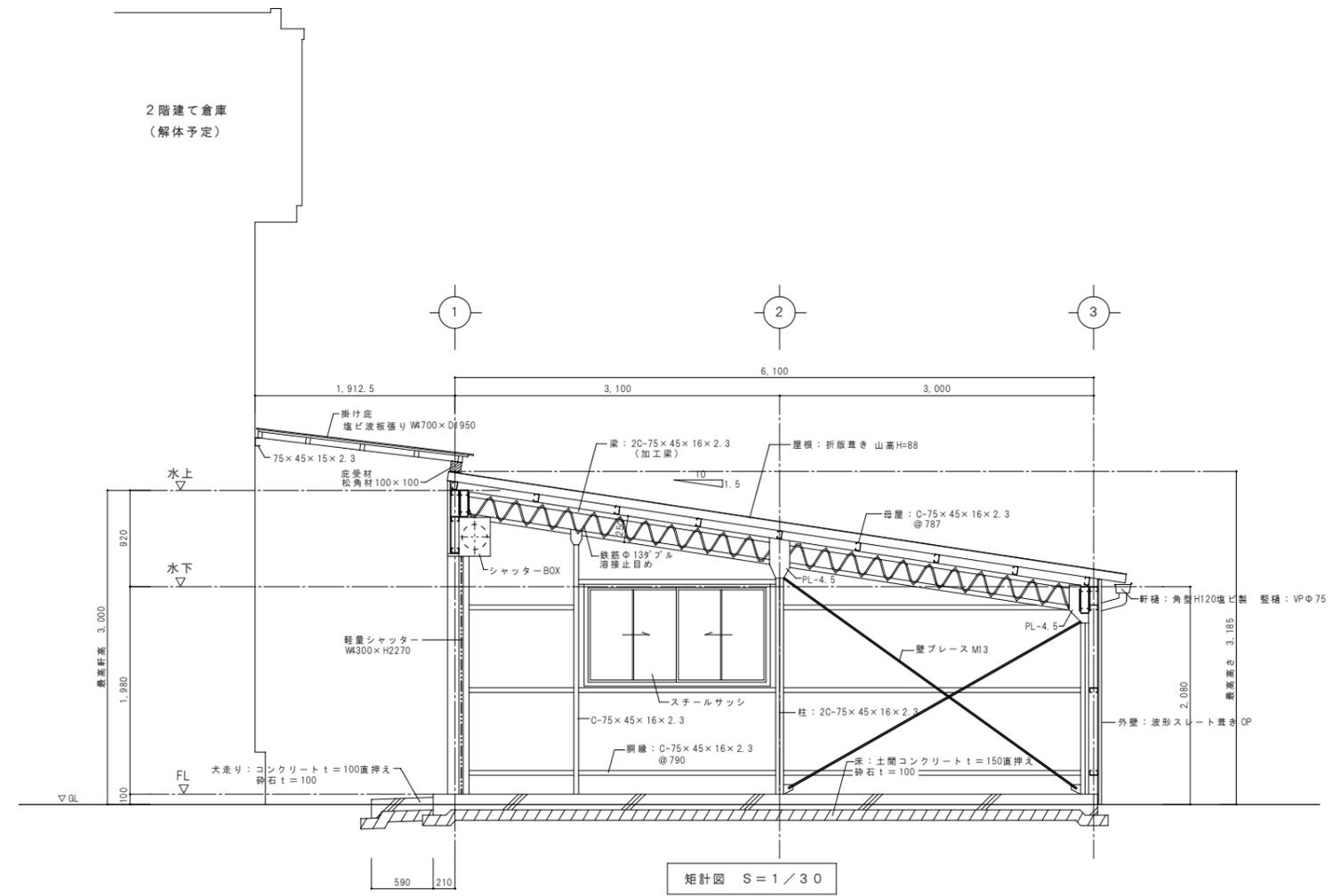
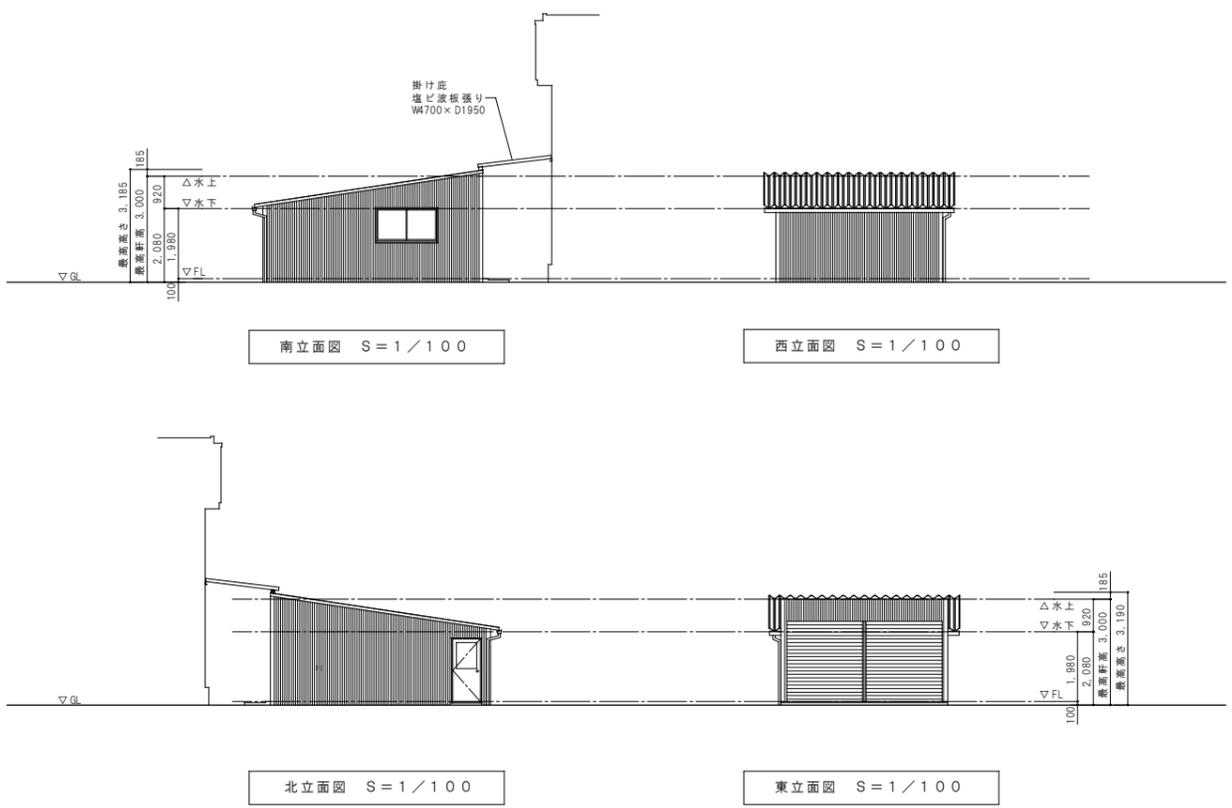
建物概要						
用途	倉庫	竣工年	昭和51年			
構造	鉄骨造2階建て	規模	延床面積 79.02㎡ (1階39.51㎡, 2階39.51㎡)			
外部仕上表						
屋根	日本瓦葺き 下地: 垂木54×45@394の上、野地板耐水ベニヤ t=12 アスファルトルーフィング22kg					
軒裏	野地板張り					
雨樋	軒樋: ステンレス(いぶし)Φ1051/2 壁樋: ステンレス(いぶし)Φ60					
外壁	塩ビ鋼板縦張り					
基礎	モルタル塗り刷毛引き仕上 一部タイル貼					
ポーチ	磁器質100角タイル貼					
建具	玄関: アルミ引違い戸 窓: アルミサッシ 雨戸: シャッター雨戸・横引きシャッター雨戸					
バルコニー	床: 磁器質100角タイル貼 防護手摺: スチールパイプΦ32@1500ピッチH=1100、手摺子Φ12@100ピッチ					
便槽	汲取口: FRP製業Φ350、便槽コンクリート製、臭突パイプ VPΦ100					
大走り	土間コンクリート t=100直押え					
内部仕上表						
階	室名	床	巾木	壁	天井	備考
1階	玄関	磁器質200角タイル貼	タイル	プリント合板張り 一部ガラスブロック	化粧PB t=9	
	居間	複合フロー t=12張り	木製巾木	プリント合板張り	化粧PB t=9	
	車庫	土間コンクリート t=100直押え	基礎無し	プリント合板張り	化粧PB t=9	
	トイレ	モザイクタイル張り	タイル	壁: 陶器質100角タイル 上部: プリント合板張り	化粧PB t=9	
	階段	木製階段	ササ材	プリント合板張り	プリント合板張り	
2階	広縁	カーペット敷き	---	綿壁	杉並合板目透かし張り	
	和室6帖	タタミ敷き	タタミ寄せ	綿壁	杉並合板目透かし張り	
	洗面	複合フロー t=12張り	---	綿壁 一部プリント合板張り	杉並合板目透かし張り	洗面化粧台 W50×D550×D1900
	和室9帖	タタミ敷き	タタミ寄せ	綿壁	杉並合板目透かし張り	
	床の間	床板	---	綿壁	杉並合板目透かし張り	地盤 W800×D410×H360
	押入	ラワンベニヤ t=4	雑巾摺り	ラワンベニヤ t=4	ラワンベニヤ t=4	



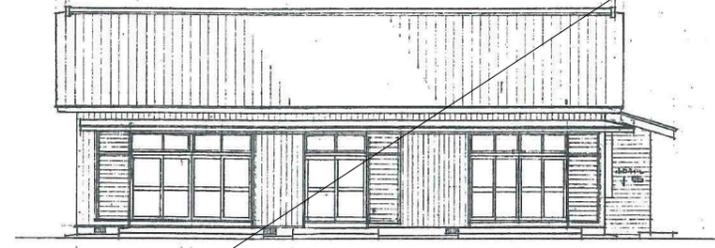
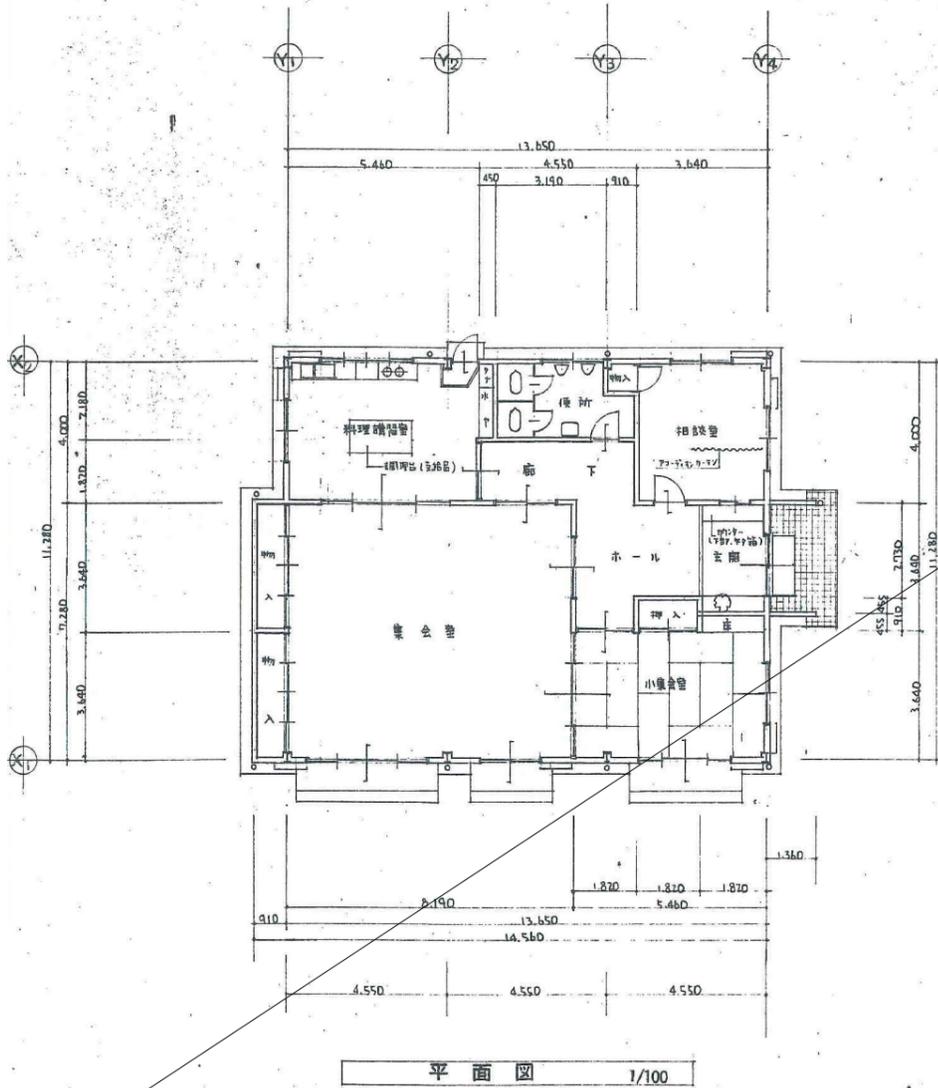




建物概要						
用途	倉庫	竣工年	昭和41年9月			
構造	軽量鉄骨造平屋建て	規模	延床面積 28.06㎡			
外部仕上表						
屋根	金属屋根材：折板葺き 山高H=88 (カラー鋼板 t=0.6)					
軒裏	折板葺き					
雨樋	軒樋：角型H120塩ビ製 壁樋：VPφ75					
外壁	波形スレート葺き OP塗り					
基礎	ベタ基礎					
犬走り	土間コンクリート t=100直押え					
建具	出入口：スチールドア・手動式軽量スチールシャッター・窓：スチール枠引違い窓					
内部仕上表						
室名	床	巾木	壁	天井	備考	
1階	倉庫	土間コンクリート t=150直押え	—	外壁、鋼線葺き	屋根折板葺き	



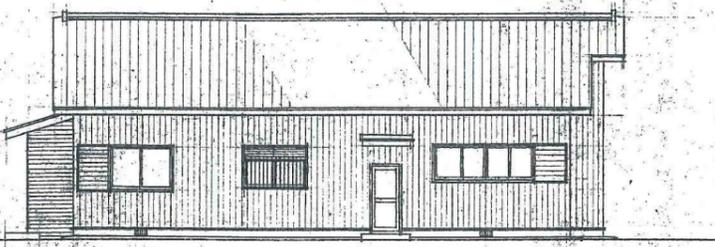
建物概要		外部仕上表			内部仕上表					
用途	コミュニティセンター	屋根	仕上：日本瓦葺	下地：杉皮3枚重ね、野地板コンパネ t=12	室名	床	巾木	壁	天井	備考
構造	鉄骨造平屋建て	庇	仕上：カラー鉄板一字葺	下地：コンパネ t=12	玄関	床用150角タイル貼	床用150角タイル貼	化粧合板貼	ジブトーン貼	下駄箱
竣工年	昭和55年10月設計	外壁	仕上：スーパーサイディング貼	下地：横鋼線18×45@450	ホール	縁材フロア貼	木製OP	化粧合板貼	ジブトーン貼	
規模	延床面積 160.59㎡	軒裏	共通：大平板 t=5 AEP塗	一部：換気用有孔 大平板 t=4	小集会室	タタミ敷き	タタミ寄せ	織 壁 (じゅらく風)	杉貼狂数直板貼	
		雨樋	軒 樋：エスロン丸樋φ120/2	壁 樋：塩ビ壁樋φ75	集会室	カーペット敷き	木製OP	ジューケン羽目ロンク貼	ジブトーン貼	
		建具	玄関：アルミ玄関サッシ (カラー)	窓：アルミサッシ	押入	ラワンベニヤ貼		ラワンベニヤ貼	ラワンベニヤ貼	中段付き
		基礎	モルタル金こて仕上		料理講習室	寄木 フロア貼	木製OP	大平板目透し貼 AEP塗	化粧石綿板	
		ポーチ	床：床用150角タイル貼	壁：小口タイル貼	便所	モザイクタイル貼		ラスモルタル金こて押え AEP塗	石こうボード目透し貼 E.P塗	
		犬走り	モルタル金こて仕上		相談室	寄木 フロア貼	木製OP	化粧合板貼	ジブトーン貼	



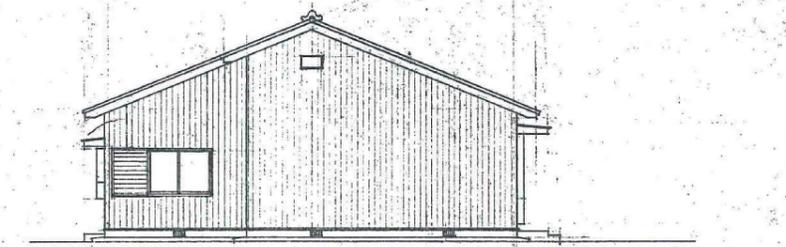
南立面図 1/100



東立面図 1/100



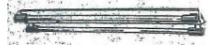
北立面図 1/100



西立面図 1/100

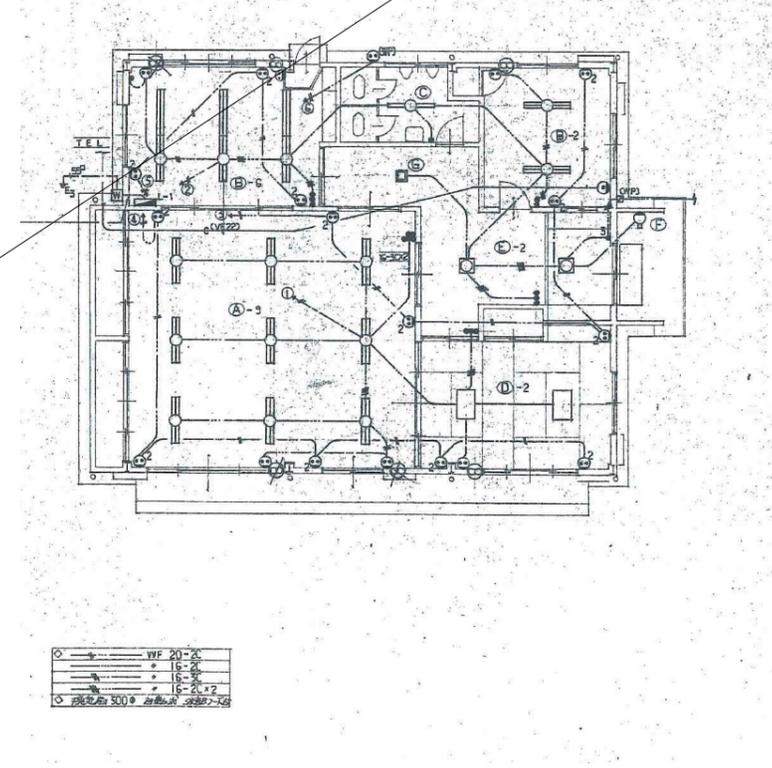
※別途工事とする。



		
(A) FL40W × 2	(B) FL40W × 2	(C) FL40W × 1
		
(D) FL20W × 4	(E) FCL30W × 1	(F) FL15W × 1 (WP)
		
(G) IL50W	(H) FL20W × 1 (WP)	

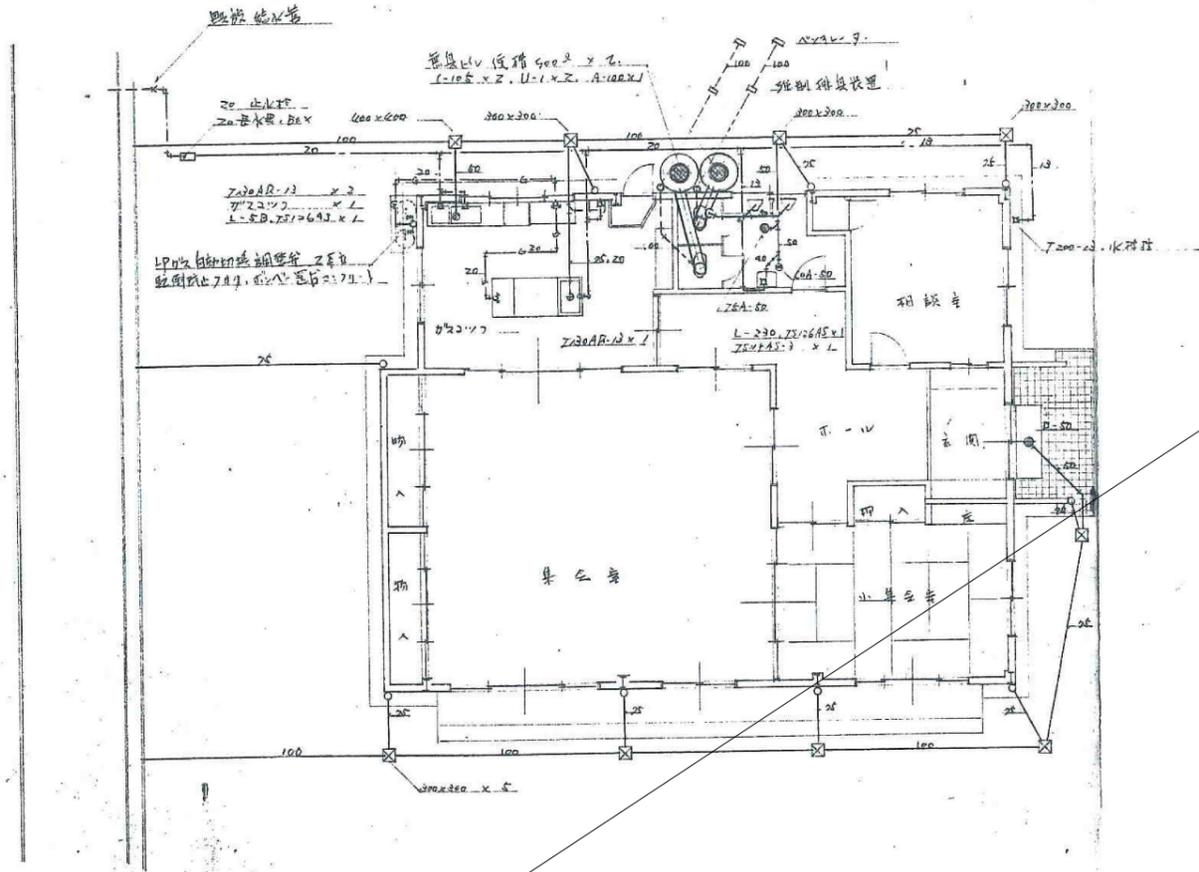
(注) FL40W以上の蛍光灯は100V高力電ラピッドスタート方式とする

照明器具姿図



電灯コンセント設備 平面図 1/100

※別途工事とする。



給排水衛生設備図

器具表

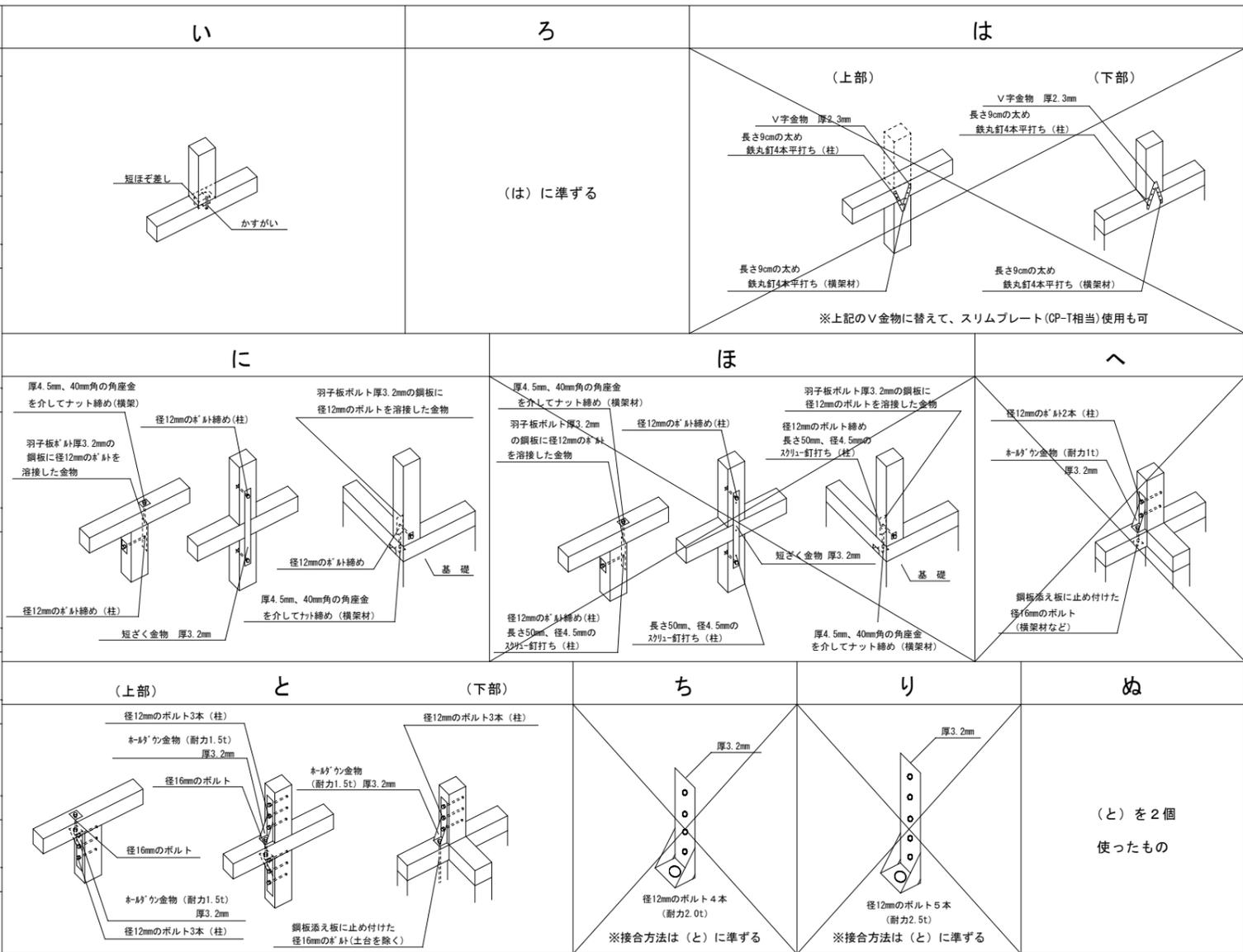
料理講習室	自在給水栓	T-130AR-13		3
	ガスコック	2口		2
	手洗器	L-5B	T205, TS126AS, T4A, T22S, T28AY	1
便所	無臭トイレ便槽	500 I	排臭セット, 排便器セット, その他一式	2
	非水洗大便器	C-105		2
	紙巻器	TS116AY		2
	非水洗小便器	U-1	T5P, KF-2	2
	仕切板	A-100	A-100AY	1
	洗面器	L-230	T201, TS126AS, T1A, T6S, T9RAY, T8CAY	1
	化粧鏡	TS119AS-3	363×455×5	1
	床上掃除口	COA-50		1
	床排水金物	T5A-50		1
玄関・屋外	ホーム水栓	T200-13	水栓柱 15A×900	1
	排水金物	D-50	目皿	1
	自動切換調整品	2本立	ポンペー転倒防止クサリ, 臺台コンクリート	1

給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H I P
排水管	一般用硬質塩化ビニル管	V U
通気管	一般用硬質塩化ビニル管	V U
L P ガス管	配管用炭素鋼々管 (白)	T I S 3 4 5 2

※別途工事とする。

柱の接合補強 (建設省告示1460号)						
使用する壁、筋かいの種類	柱の位置 壁、筋かいの種類	平屋または最上階		その他の部分(2階建ての1階部分)		
		出隅の柱	その他の軸組端部の柱	上階=出隅の柱 当該階=出隅の柱	上階=出隅の柱 当該階≠出隅の柱	上階≠出隅の柱 当該階≠出隅の柱
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面または両面に打ち付けた壁	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し
		い	い	い	い	い
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材、または径9mm以上の鉄筋の筋かい	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し	短ほぞ差し	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し	短ほぞ差し
		ろ	い	ろ	い	い
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合 左以外の柱の場合	筋かい下部が取り付く柱の場合	筋かい下部が取り付く柱の場合	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し
		長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛または9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛け	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)	長ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	1.5tホールドダウン 金物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物
		に	ろ	と	は	ろ
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合 左以外の柱の場合	筋かい下部が取り付く柱の場合	筋かい下部が取り付く柱の場合	1.5tホールドダウン 金物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物
		T字金物 V字金物	羽子板ボルト 短ざく金物	長ほぞ差し L字金物	と	は
構造用合板を打ち付けた壁	羽子板ボルト・短ざく金物	長ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	2.0tホールドダウン 金物	1.0tホールドダウン 金物	T字金物 V字金物
		ほ	ろ	ち	へ	は
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	1.5tホールダウン 金物	T字金物・V字金物	T字金物・V字金物	2.5tホールドダウン 金物	1.5tホールドダウン 金物	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)
		と	は	り	と	に
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	1.5tホールダウン 金物	羽子板ボルト・短ざく金物 (スクリュー釘なし)	羽子板ボルト・短ざく金物 (スクリュー釘なし)	1.5tホールドダウン 金物×2個	2.0tホールドダウン 金物	1.5tホールドダウン 金物
		に	に	ぬ	ち	と

特記：使用金物類は、日本住宅・木材技術センターのZ金物相当品とする事。



基礎の種類 (建設省告示1347号1項)		
使用する基礎の種類	地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )	構造形式
	●	20未満
基礎杭を用いた構造		
20以上 30未満		べた基礎
		基礎杭を用いた構造
30以上	べた基礎	
●		布基礎

特記・基礎の種類は、地耐力に応じて上記より選択すること  
・各基礎の構造基準は右表の通りとする

注意  
施工者は基礎工事着工前に載荷試験を行い設計採用地耐力が確保できている事を施工者の責任において確認の上工事監理者に報告のこと。工事監理者は、工事施工者の報告に基づいて設計採用基礎方式で施工が適当か判断を行う。

基礎杭を用いた構造  
(建設省告示1347号2項)

耐力上安全に基礎杭の上部を支えるよう配置すること

(1) 場所打ちコンクリート杭

- 主筋には異形鉄筋を6本以上用い、かつ帯筋と緊結
- 主筋の断面積の合計が杭断面積の0.4%以上

(2) 高強度プレストレスコンクリート杭

- JIS A5337-1995に適合するもの、また、同等以上

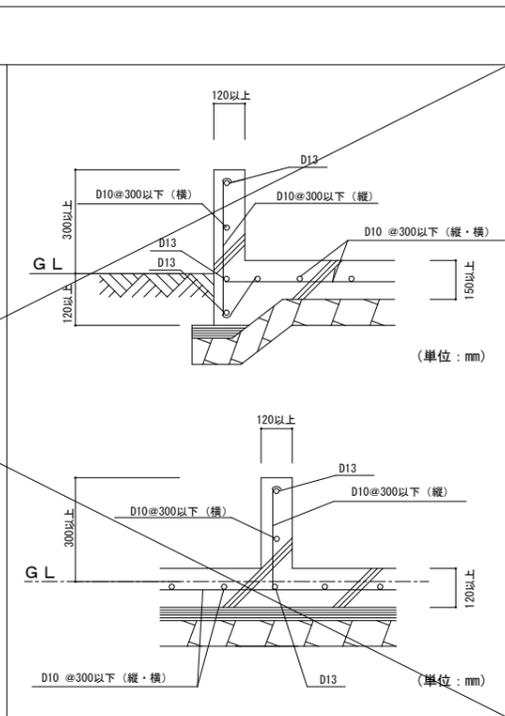
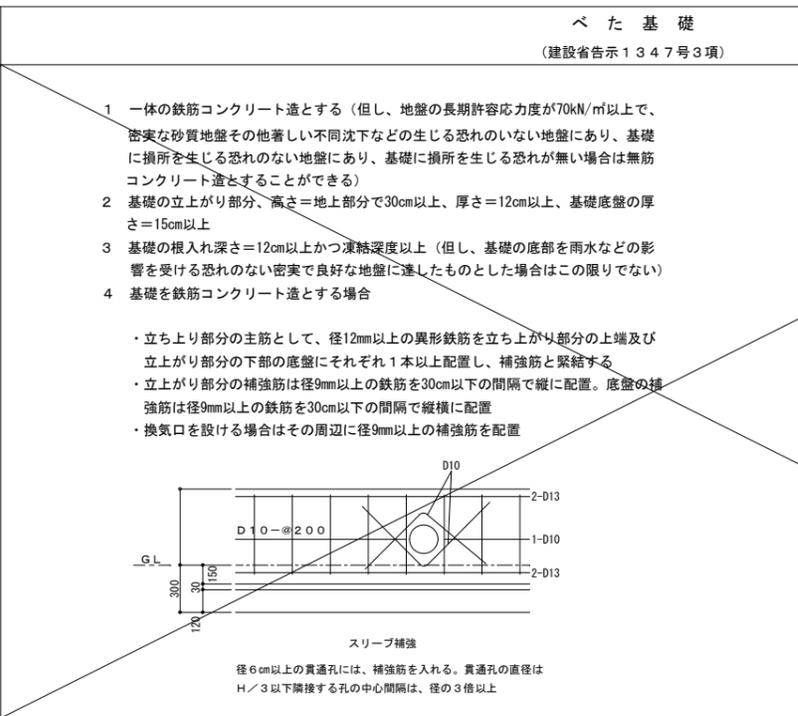
(3) 同心力鉄筋コンクリート杭

- JIS A5310-1995に適合するもの、また、同等以上

(4) 鋼管杭

- 杭の肉厚は6mm以上、かつ、杭の直径の100mm分の1以上
- 杭の肉厚は6mm以上、かつ、杭の直径の100mm分の1以上

※注 基礎杭を用いた構造とは基礎杭の上部に、べた基礎、布基礎、又はその他の構造体を築造する物をいう



A 構造用集成材躯体工事標準特記仕様書

1 共通仕様書

1.1 適用範囲

本書は、構造上主要な部分に構造用集成材を用いた木造躯体工事に適用する。

1.2 一般事項

- a. 集成材や接合金物の部材製作にあたっては各製作要領書を作成し、監督員の承諾を受ける。
- b. 工事に先立ち、必要な施工図、建方計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。
- c. 構造用集成材及び製作金物の出荷終了後、出荷証明書を作成し監督員に提出する。
- d. 建方終了後すみやかに、建方工事完了報告書を作成し、監督員に提出する。

1.3 準拠規程

- a. 大断面木造建築物設計施工マニュアル（日本建築センター）〈H7. 1. 25〉
- b. 木質構造設計規程・同解説（日本建築学会）〈2006改定〉
- c. 農林水産省告示第1152号「構造用集成材の日本農林規格」〈H19. 9. 25〉

2 集成材及び接合金物などの品質

2.1 一般事項

- a. 材料は、すべての形状が正しく、有害な傷のない製品とする。

2.2 構造用集成材

- a. 構造用集成材躯体木工事を請け負うものは、構造用集成材を用いた大規模木造建築物の軸組・躯体工事の設計及び施工について、ISO9001:2000により品質マネジメントシステムの審査登録をしていることとする。
- b. 製造工場は、低ホルムアルデヒド構造用集成材JAS認定工場とし、油圧にて圧力管理出来るプレス機、CAD/CAM化されたNC加工機を有し、製造～加工を一貫した工程で行える工場とする。

c. 使用樹種および材料強度

樹種	材料強度 (対称異等級構成)
ダフリカカラマツ	E120-F330
ベイマツ	E105-F300
○ 国産カラマツ	E95-F270
ヒノキ	E85-F255
スギ	E75-F240
その他( )	E65-F225
	その他( )

- d. ラミナは、全数グレーディングマシーン(MGFS)による、機械的等級区分されたラミナ材(MSR材)を使用すること。また、ラミナの縦継ぎは、垂直フインガージョイントとし、フインガー長さ18mm以上とする。

- ラミナの乾燥は、含水率15%以下とする。
- e. 使用環境  使用環境A  使用環境B  使用環境C  
(大断面集成材・6mを超える部材・外部露出部は、使用環境Aを使用。)

- g. 構造用集成材のホルムアルデヒド放散量による区分はF☆☆☆☆とする。

2.3 接合金物

- a. 接合金物の品質は下記のもの、あるいは同等以上のものとする。

	規格	種類	摘要
○	JIS G3101	一般構造用圧延鋼材	SS400 鋼板、鋼帯、平鋼、棒鋼など
○	JIS G3444	一般構造用炭素鋼管	STK400 鋼管など
	JIS G3466	一般構造用角形鋼管	STKR400 角形鋼管など
	JIS G3350	一般構造用軽量形鋼	SSC400 冷間成形軽量形鋼など
	JIS G3131	熱間圧延軟鋼板及び鋼帯	SPHC 冷間成形軽量形鋼など
○	JIS A5531	木構造用金物	羽子板ボルト、ナット、産金・短ざく金物など

- b. 使用する鋼材の品質については、鋼材検査証明書を提出する。
- c. Zマーク・Cマーク認定工場による木構造用金物においては、その認定工場の認定書と出荷証明書を提出する。

2.4 産金

材料については、JIS G3101を準用し、ボルトに使用する産金は原則として丸産金とし、寸法は下記による。(単位はmm)

ボルトの径	M12	M16	M20	M24
産金の厚さ	3.2	4.5	6.0	6.0
産金の直径	40	60	70	80

- ・ 引張ボルトに使用される産金の直径および厚さは別途計算とする。
- ・ 計算によって安全を確認できた場合はこの限りではない。

2.5 各ボルトおよびナット

- a. 品質は、下記の規格品、あるいは同等品とする。

		規格	摘要
○	ボルト	JIS B1180	六角ボルト 強度 4.6又は4.8、ナット並目ねじ、仕上げ程度 中ねじ精度 6g、炭素鋼
	ナット	JIS B1181	六角ナット 強度 4.6又は4.8、ナット並目ねじ、仕上げ程度 中ねじ精度 6H、炭素鋼
○	ターナー	JIS A5540	建築用六角鋼丸棒
	パツクル	JIS A5541	建築用六角鋼丸棒
○	アンカーボルト		基礎ボルト 強度 4.6、ナットねじ、仕上げ程度 中ねじ精度 8g、SS400・SR235、L型あるいはJ型とする
	高力ボルト	JIS B1186	摩擦接合用高力六角ボルト
○	ナット・産金のセット	JSS I09	構造用六角形高力ボルト
			六角ナット、平産金のセット

※アンカーボルトの定着長さは、特記無き場合 35d以上とする。

2.6 ラグスクリュー

- 品質に関しては、JIS B1180(六角ボルト)を準用し、材質はSS400もしくは同等品以上とする。

2.7 ドリフトピン

- 品質に関しては、JIS B0205(メートル並目ねじ)を準用し、材質はSS400もしくは、軟鋼線材(SWRM10)同等品以上とする。

2.8 釘

- 品質は JIS A5508(くぎ)に規定する「くぎの種類」に適合するものまたはこれと同等以上の性能を有するものとし、材質、寸法、形状等は特記による。

2.9 木ねじ

- 品質は、JIS B1135(すりわり付き木ねじ)の規定するものまたはこれと同等以上の性能を有するものとし、材質、寸法、形状等は特記による。

3 木材加工

3.1 施工図

- 施工図は、設計図書に基づき加工に必要な事項を明確にするとともに、全体の納まりや詳細について十分検討してCADにて作成し、監督員の承諾を受ける。

3.2 鋼製巻尺の確認

- a. 鋼製巻尺は、JIS B 7512(鋼製巻尺)による1級品を用いる。同一工事に用いる巻尺は、それら相互の誤差の少ないものを使用する。

3.3 断面寸法および形状の調整

- 加工、施工精度に準じて断面、形状の調整を行う。

3.4 寸法精度

- a. 短辺方向(板目方向)は、大断面:加工図寸法の±1.5mm以内  
中断面及び小断面:加工図寸法の+1.5mm、-0.5mm以内
- b. 長辺方向(積層方向)は、大断面:加工図寸法の±1.5%以内かつ5mm以内  
中断面及び小断面で300mm超:加工図寸法の±0.5%かつ+5mm、-3mm以内  
中断面及び小断面で300mm以下:加工図寸法の+1.5mm、-0.5mm以内
- c. 長さは、加工図寸法の±5.0mm以内
- d. 断面直角度は、直角とのみずみ±1/100以内

3.5 木材のボルト孔径

ボルトの公称軸径dに対する集成材の孔径下記による。

- ・ ボルト : d+2.0mm以下
- ・ ドリフトピン : d+0.0mm以下
- ・ ラグスクリュー : 2段あけを原則とし、胴部の先孔径は同寸とし、ネジ部は集成材の樹種に応じて40~75%とする。
- ・ 芯ずれ : ±1.0mm以内
- ・ 間隔のずれ : ±1.0mm以内

3.6 木材の加工

- 監督員の承諾を受けた施工図に基づいてCADにより加工図を作成し、加工図データに従ってCAD/CAM化された機械加工システムによる加工とする。

3.7 表面仕上げ

a. 外観等級

事項	基準 (要項)
	2種
掛け節、穴	目立たず、利用上支障のないこと
やにつぼ、やにすじ	
割れ、逆目、欠け、傷	
接合部のすき間	
変色、汚染	ないこと
雨り痕し、丸身、接着剤のはみ出し	

※掛け節および穴については、25mmを超えるものについては埋木又は樹脂にて補修を行う。

埋木材は、同一樹種とし無欠点で繊維が通直なものを使用する

- b. 表面仕上げ  プレーナー仕上げ

- c. 面取り  角面取り ( 5mm )  
 丸面取り ( mm )  
 糸面取り

面取りの形状、表面仕上げは、原則として共通仕様とする。

3.8 木材の工場塗装

- a. 素地調整 塗装前に塗装面の汚れ、付着物を除去する。  
新規部材のため、研磨紙ずりは省略する。
- b. 工場塗装  汚れ防止養生塗装 ( )  
 木材保護塗装 ( )  
 その他 ( )

4 接合金物加工

4.1 接合金物の寸法精度

- a. 製品の寸法精度  
幅、長さは、製作図寸法の ±2mm以内
- b. ボルト、ドリフトピンおよびラグボルトの孔径
  - ・ 中ボルト d+2.0mm ・ ドリフトピン d+1.0mm
  - ・ ラグスクリュー d+2.0mm
  - ・ 高力ボルト d+2.0mm ・ アンカーボルト d+5.0mm
- c. 孔あけ許容寸法
  - ・ 芯ずれ ±1.0mm以内
  - ・ 孔間隔のずれ ±1.0mm以内

4.2 接合金物の溶接工

- a. 溶接工は下記の技術を要するもので、技量証明書、その他必要な書類を 監督員に提出して承諾を受けたものとする。
  - ・ 手溶接 JIS Z 3801(溶接技術検定における試験方法および判定規程)
  - ・ 半自動溶接 JIS Z 3841(半自動溶接技術検定試験における試験方法および判断基準)
- b. 溶接工の技量に疑いを生じた場合は、工事に相応した試験を行い、その適否を決める。

4.3 接合金物の防錆処理

種類	接合金物	ドリフトピン		高力ボルト	ナット
		屋内	屋外		
さび止めペイント	JIS K5621 2種 1回塗	○	○		
電気亜鉛めっき	JIS H8610 1種B 1級			○	
溶融亜鉛めっき	JIS H8641 2種 55				
生地				○	○

- a. 特に指定がない場合には、Zマーク・Cマーク・既製接合金物等の仕様為準とする。

5 製品検査

5.1 一般事項

- a. 製品は、工場製作完了後、部材の検査を行う。
- b. 製品検査の検査項目および検査要領は、製作要領書による。

6 搬出および運搬時養生

6.1 輸送計画

- 製品の輸送にあつては、輸送計画書をあらかじめ作成し、建方計画に支障を生じないように道路状況、現場の作業手順などを考慮し、十分な検討を行う。

6.2 組立符号

- 部材はすべて組み立て符号図(部材番号、取り合い符号などを記入)により符号を付ける。

6.3 養生

- 積み込み、積み降ろしまたは輸送中に、製品がひずみ、変形などを生じないように荷台を調節し、長尺物、異形物などは適切な養生方法を講じる。

7 建方

7.1 一般事項

- a. 建方計画にあつては、建方精度に規定する諸寸法を保持するよう部材の組立順序を立案し、あわせて作業期間中の安全を考慮する。
- b. 建方に用いる機械は、最大吊り荷重、作業半径および建物の規模、形状により最適機種を選定し、その機械の特性に適した使用方法を計画するとともに、不慮の衝撃などに対しても安全であるようにする。
- c. 建方中における仮設用の機械、資材の仮置きおよび強風時に、各部材、接合部に生じる応力に対しては、短期許容応力度を超えないようにし、倒壊防止に有効な処置を施す。

7.2 搬入および仕分け

- a. 製品の受け入れにあつては、受入検査員が確認する。
- b. 製品は、建方順序に従い仕分けして集積する。
- c. 集積の際、部材は適当な受台の上に置き、材に曲がり、ねじれなどの損傷を与えないよう注意する。
- d. 部材の曲がり、ねじれなどを発見した場合は、建方に先立ちこれを修正する。

7.3 地組(仮組立)

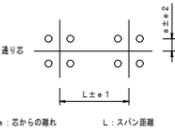
- 建方に先立って地組を行う場合は、寸法精度を保持するために有効な架台、治具などを用いて行う。

7.4 建方

- a. 建方計画に基づき順次建方を行う。この際、原則として筋かい・方づえなどの斜材を同時に取り付けながら進める。
- b. 必要に応じて仮設支柱を立てて架構を保持する。この仮設支柱は本接合が完了するまで存置する。
- c. 建方完了後、または定められた工程の建方が完了した場合は、建方工事完了報告書を作成し、監督員に提出する。

7.5 アンカーボルト受け入れ基準

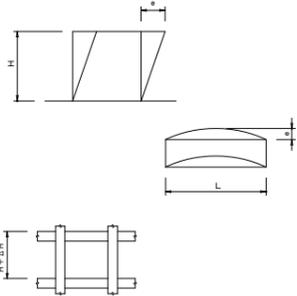
- 柱据え付け面の高さおよびアンカーボルトの位置
  - ・ 柱据え付け面基準高さからの誤差は±2mm以下
  - ・ 柱隣接間中心距離の誤差e1は±2mm以下
  - ・ 通り芯からの誤差e2は±2mm以下



7.6 建入れ検査

- 建方の精度基準は特記による。特記がない場合は下記による。

- ・ 建物の倒れ  
e ≤ H/2500 + 10mm  
かつ  
e ≤ 50mm
- ・ 建物の湾曲  
e ≤ L/2500  
かつ  
e ≤ 25mm
- ・ 階高  
-5mm ≤ ΔH ≤ +5mm



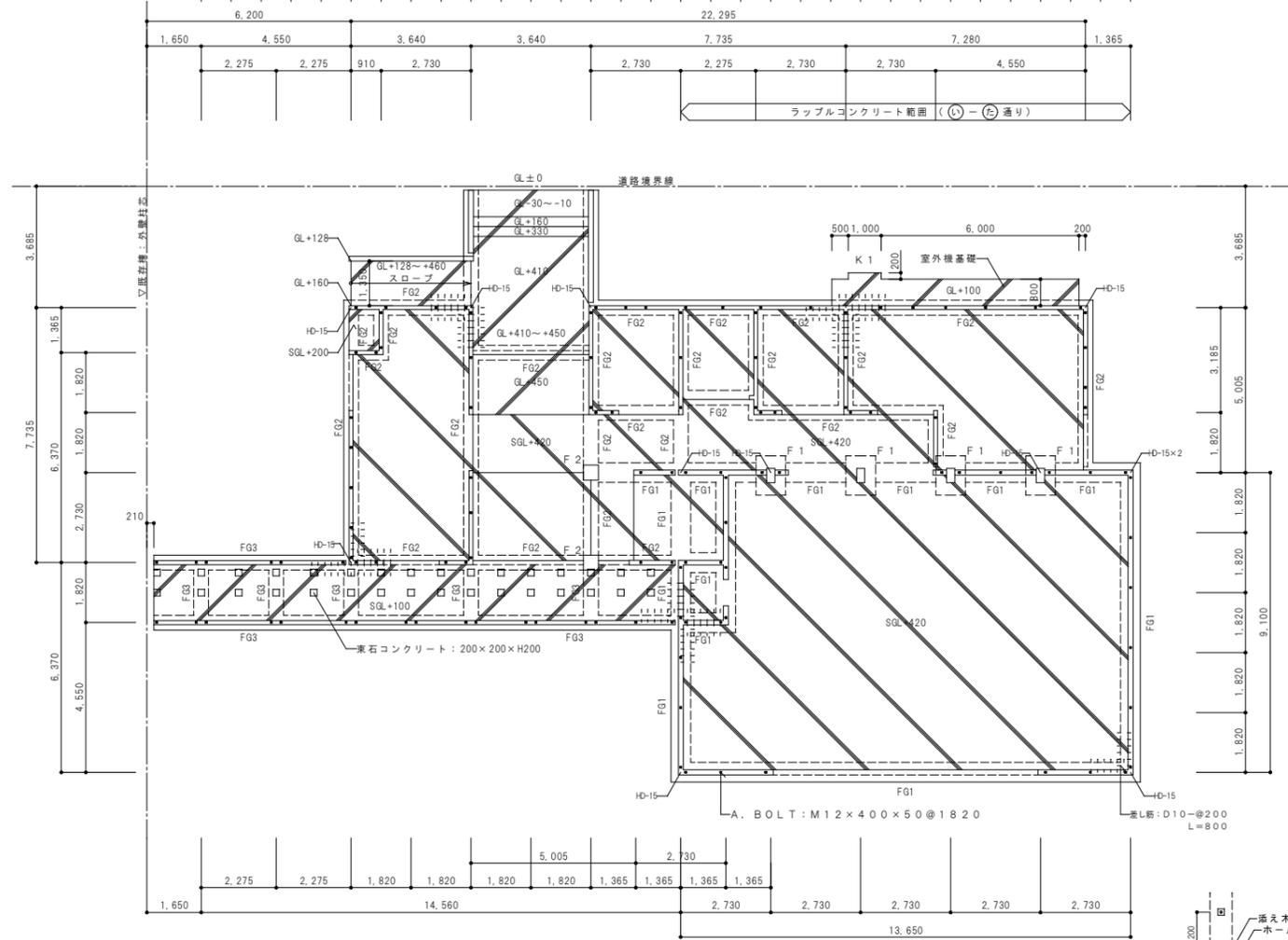
7.7 建方養生

- a. 建方の作業中、風圧力その他の荷重に対しては、必要に応じて臨時的筋かいその他の支持材で補強する。
- b. トラス、その他の吊り上げまたは建方にあつては、適切な補強を行う。
- c. 建方の作業中、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載し、あるいは柱に大きな引張力を与える場合は、監督員の承認を受け、かつ必要な補強を行う。

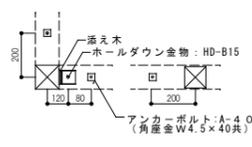
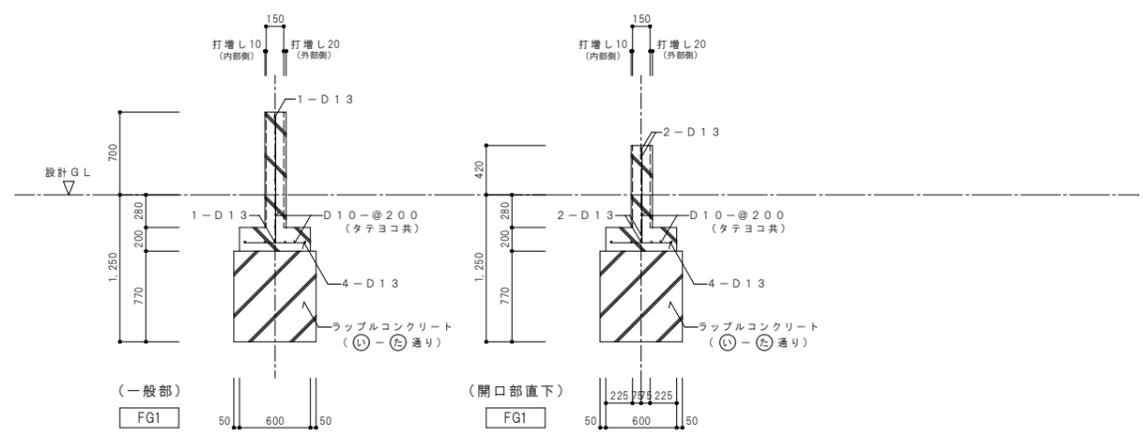
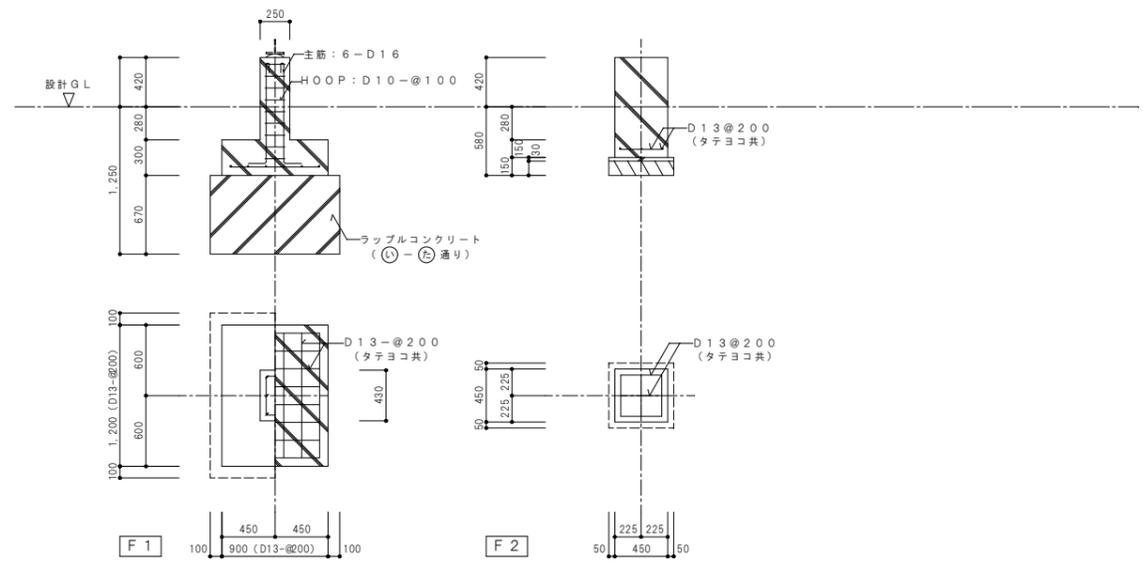
特記事項	変更事項	-	一級建築士事務所 株式会社 上野建築研究所 Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所(三重県知事)登録第1-748号 管理建築士(今岡隆之)一級建築士登録第55324号 松本正博 一級建築士登録第187579号 〒518-0801 三重県伊賀市平野見町330-22 330-22 HIRAKAWA, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-6272 FAX(0595)23-6273	日付	11.03.10	名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図 図名 <本館棟> 構造用集成材工事特記仕様書 縮尺 縮印	図面番号 S20-02
					棟名	IMAOKA MATSUMOTO		
					棟番	NISHIO OHNO		
					日付			



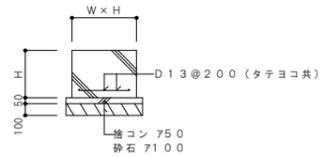
ふ け ま や く お の め う む ら な ね つ そ れ た よ か わ を る め り ち と へ ほ に は る い



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17



金物取付詳細図 1/20



機械基礎リスト

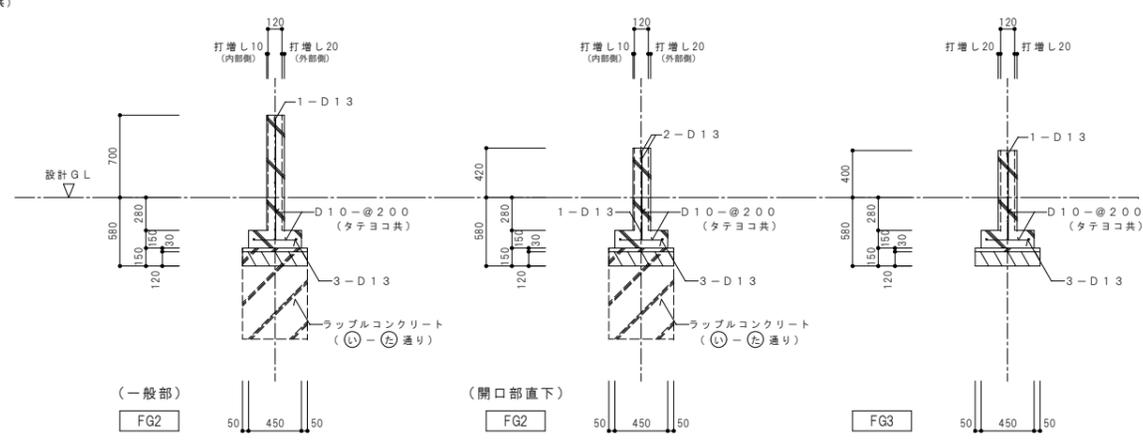
記号	W	D	H
K1	7500	1000	200

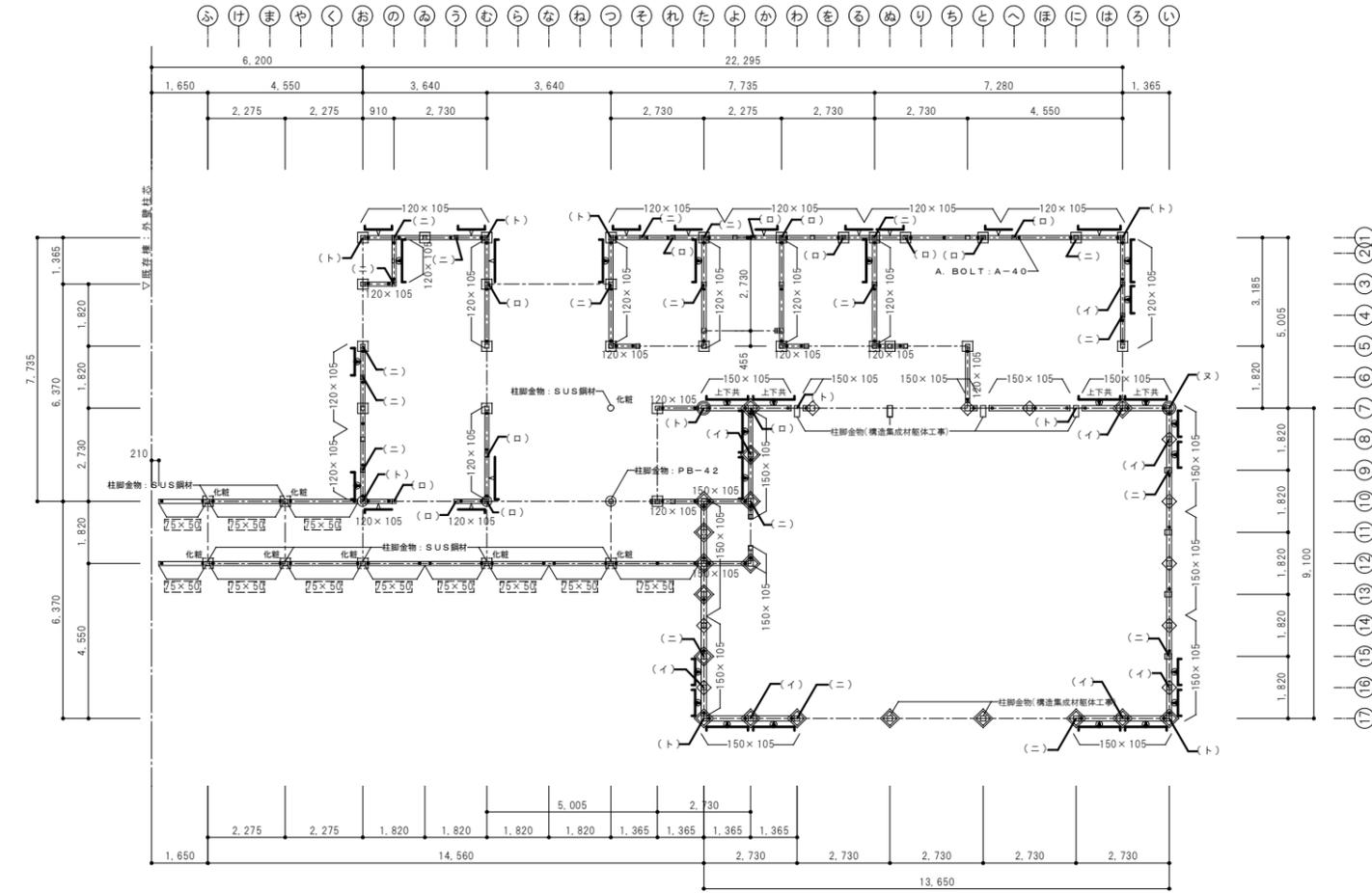
※特記無き配筋は、D10-@300×300とする。

土間リスト

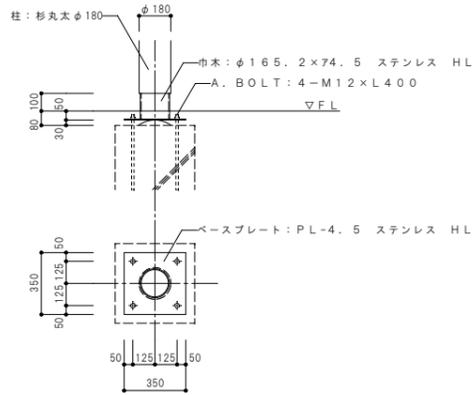
玄関ホール	土間コンクリート 7150	エントランス	土間コンクリート 7120
廊下	鉄筋D13-@200×200S	階段スロープ	鉄筋D13-@200×200S
ふれあいスペース	ポリスチレンフォーム 725		均しコンクリート 750
相談ルーム	ポリエチレンフィルム 70.15		砕石 7100
事務室	砕石 7120	※イナズマ筋トップは、2-D13とする。	
調理室		室外機置場	土間コンクリート 7120
集客室1・2		溝・渡り廊下	ワイヤーメッシュφ6-@150×150
倉庫1・2			砕石 7100
多目的トイレ			
男子トイレ			
女子トイレ			

※特記無き土間レベルは、GL+490とする。

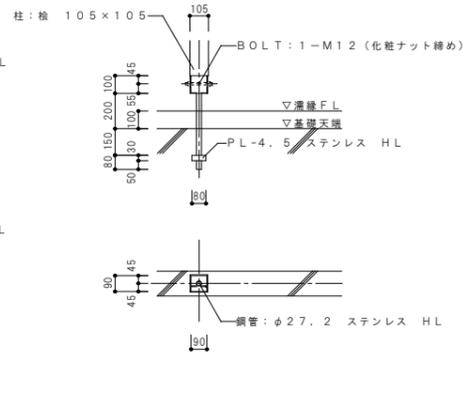




注記事項



ホール柱脚詳細図 (1/20)



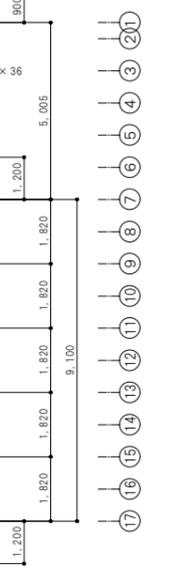
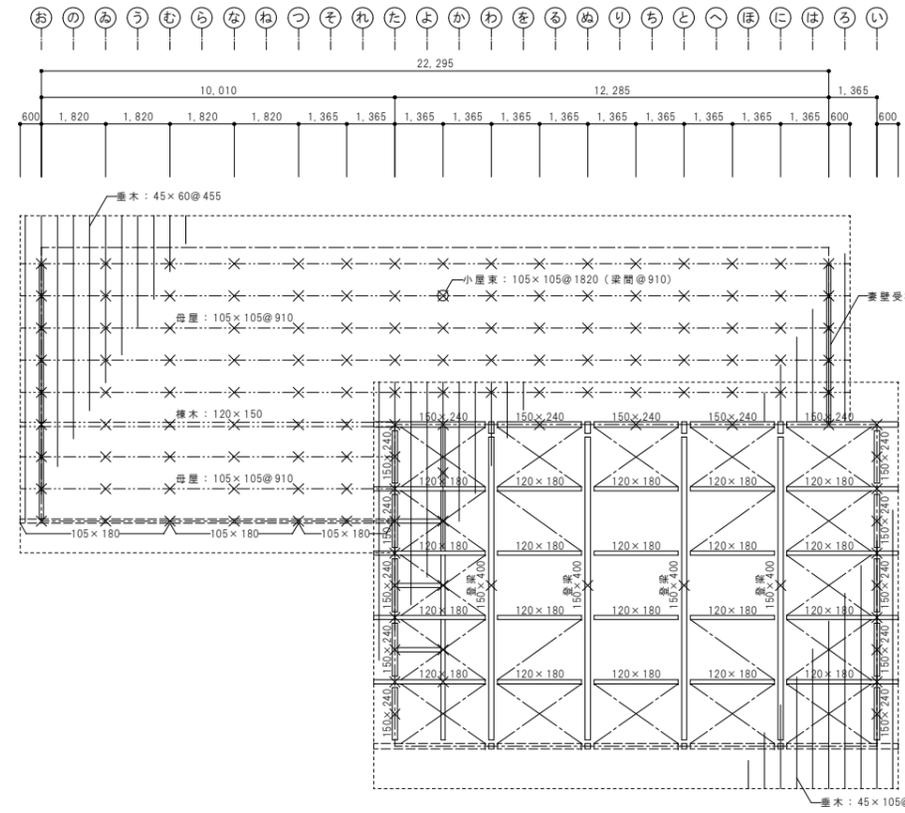
滯縁柱脚詳細図 (1/20)

<凡例・注記事項>

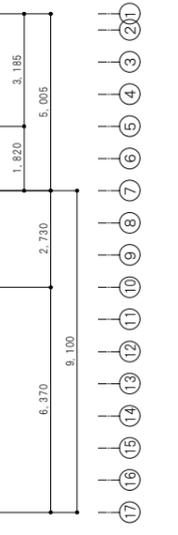
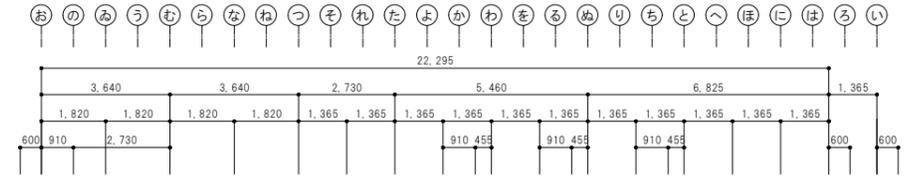
- ホールダウン金物: HD-B/N15又はS-HD15  
 (ト) ホールダウン金物HD-15  
 (又) ホールダウン金物HD-15を2枚
- A. BOLT : M12x400x50@1820 (A-40)
- 柱脚  
 筋違: 45x105  
 筋違: 45x105 (タスキ掛)
- ※ 土台・柱: 防蟻蟻剤 (50L+1.0m以下の範囲)
- ※ 土台パッキン: 換気部材 (720x100x200) @1000+コーナー部共
- ※ 筋交い接合は筋交いプレートを使用。また ( ) 内の記号は引抜き金物を示す。
- ※ 上記、引抜き金物等は、上下に取付とする。
- ※ H12建設省告示第1460号の木造の継手及び仕口の構造方法をチェックを確認の上、適切な金物等を施す。(筋違いの入れ方・位置等を変更する場合)

部材リスト (構造用集成材躯体・在来工法工事)

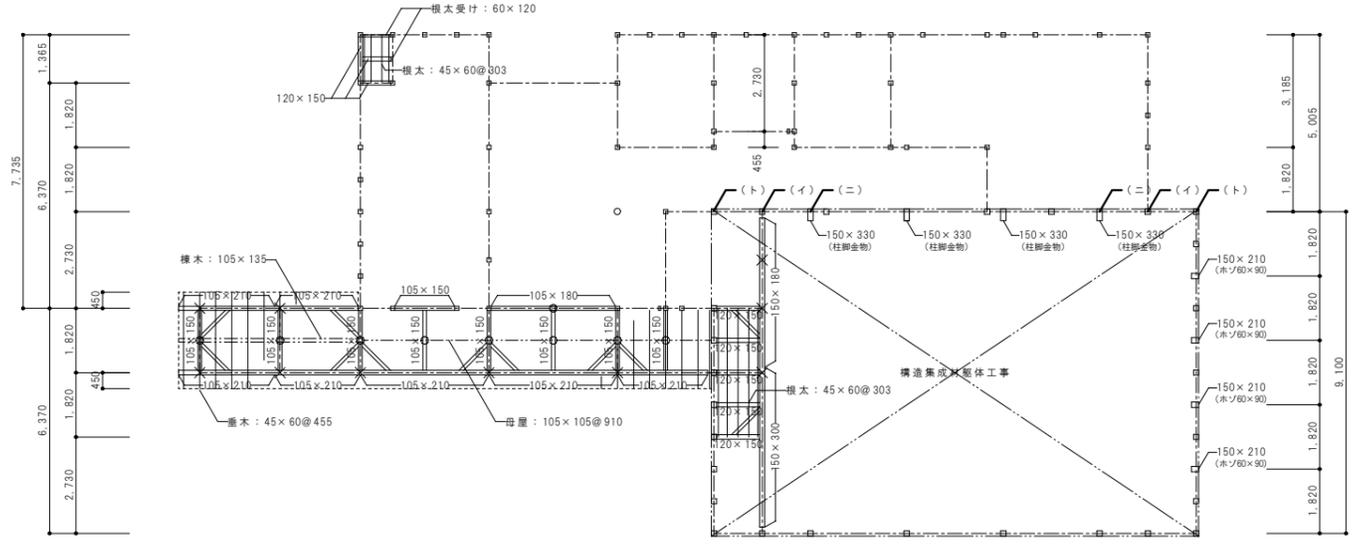
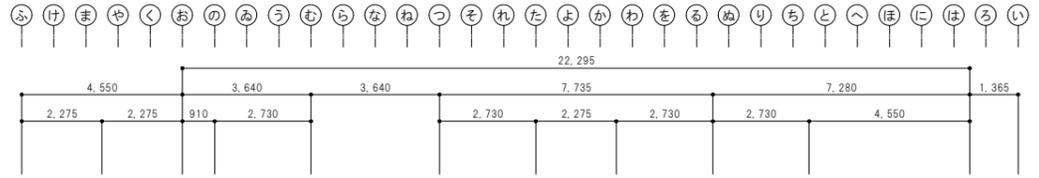
<軸組>		<小屋組>	
通し柱	150x330 (※) 集成材 柱脚金物 (図示)	小屋梁	150x330 (※) 集成材 受け金物 (図示)
通し柱	150x210 (※) 集成材 柱脚金物 (図示)	小屋梁	150x300 (※) 集成材 受け金物 (図示)
通し柱	150x150 (※) 集成材 柱脚金物 (図示)	小屋梁	150x240 (※) 集成材 受け金物 (図示)
通し柱	120x120 桧 特一	小屋梁	150x180 (※) 集成材 受け金物 (図示)
管柱	150x150 (※) 集成材 柱脚金物 (図示)	小屋梁	120x150 (※) 集成材 受け金物 (図示)
管柱	150x150 杉 特一	登り梁	150x400 (※) 集成材 受け金物 (図示)
管柱	120x120 桧 特一	登り梁	150x240 (※) 集成材 受け金物 (図示)
管柱	105x105 桧 上小	梁・桁	図示 集成材
管柱	105x105 杉 特一	頭隠ぎ	105x120 集成材
丸太柱	180φ 市産材杉 上小 化粧	火打梁	90x90 桧 特一
半柱	60x105 桧 特一	小屋梁	150x150 (※) 集成材 受け金物 (図示)
間柱	36x105 桧 特一	小屋梁	105x105 桧 特一 @910
筋違い	45x105 杉 特一 受け金物共	樑木	120x150 杉 特一
窓まぐさ	240x60 桧 特一	樑木	105x135 杉 特一
窓まぐさ	150x105 桧 特一	母屋	120x180 (※) 集成材 受け金物 (図示)
窓まぐさ	150x45 桧 特一	母屋	105x105 杉 特一 @910
窓まぐさ	105x105 桧 特一 受け材共	小屋筋違い	15x90 杉 特一 @1820
窓まぐさ	105x45 桧 特一	垂木掛け	60x120 桧 特一
窓台	150x105 桧 特一	垂木	45x105 (※) 杉 特一 見え掛り上小化粧 @455
窓台	105x105 桧 特一	垂木	45x60 杉 特一 見え掛り上小化粧 @455
筋縁	18x36 杉 特一 @450	野地板	A12x120 杉 見え掛り上小化粧
妻壁受け材	105x36 桧 特一	野地板	A12 耐水ベニヤ
外壁下地材	105x45 杉 特一	浸透塗	45x105 桧 特一
外壁材	A12x120 桧 上小 本美加工	破風板	A17x180 既製品 (商業系サイディング)
<床組>		<金物>	
土台	150x105 (※) 桧 特一	製作金物	柱脚金物 図示 一式 SUS鋼材
土台	120x105 桧 特一	製作金物	柱脚金物 (※) 図示 一式 鋼材
土台 (溝縁)	75x50 再生木材 ムク	製作金物	梁受け金物 (※) T型 一式
床材 (溝縁)	95x25 再生木材 ムク 段鼻共	製作金物	梁受け金物 (※) FB 一式
火打土台	90x45 桧 特一	製作金物	ブレース (※) M12 一式 L3500
根太	45x60 桧 特一 @303	既成金物	告示金物 図示 一式 Zマーク等
根太掛	60x120 桧 特一	既成金物	ホールダウン金物 図示 一式
床下地	A12 耐水ベニヤ	既成金物	アンカーボルト 図示 一式
<p>※木造関係の主な採用基準を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法37条 建築材料の品質 → 指定建築材料はJIS・JAS又は大臣認定</li> <li>・令37条 構造部材の耐久性 → 構造耐力上主要な部分の腐食・腐朽又は摩耗措置</li> <li>・令38条 基礎 → 図示</li> <li>・令39条 屋根葺き材等の緊結 → 屋根・内装・外壁・横壁等の脱落防止 等</li> <li>・令40条 木造規定の適用範囲 → 木造・組積造 等</li> <li>・令41条 木材 → 構造耐力上主要な部分の使用材料品質 等</li> <li>・令42条 土台及び基礎 → 基礎との緊結 (延床50㎡以内は除く) 等</li> <li>・令43条 柱の小径 → 構架材間の1/20、22、25、28、(※30)、33 等</li> <li>・令44条 はり等の横架材 → 中央付近 (下側) の欠込み禁止</li> <li>・令45条 筋交い → 図示</li> <li>・令46条 構造耐力上必要な軸組等 → 図示</li> <li>・令47条 継手又は仕口 → 図示</li> <li>・令48条 学校の木造校舎 → 該当なし</li> <li>・令49条 外壁内部等の防蟻措置等 → 柱・筋かい・土台の防蟻措置 (地上から1.0m以内)</li> </ul>		<p>&lt;注記事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特記以外の使用木材は、すべて 三重県産材とし市内の製材業者等を優先 とする。</li> <li>・特記以外の集成材材は、すべて 三重県産材とし 等級E65-F225 とする。</li> <li>・特記以外の製作金物は、すべて JIS K 5621 赤錆塗装 とする。</li> <li>・(※) は構造集成材躯体工事を示す。又、集成材は 国産材産松 とする。</li> </ul>	



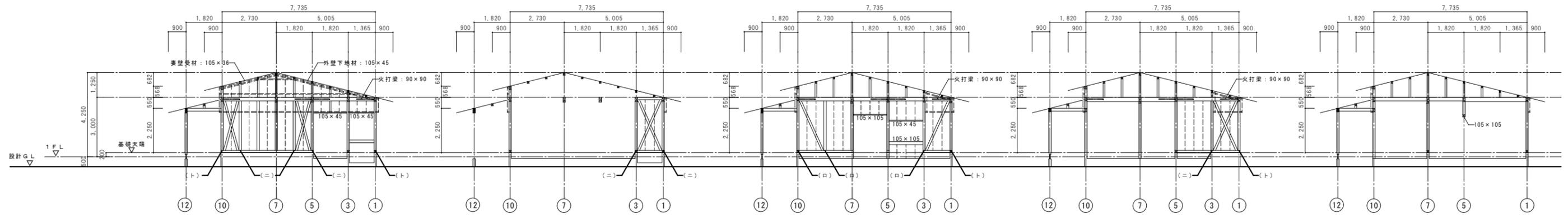
梁木・母屋・上弦材伏図  
※特記無き部材は105x120頭継ぎとする。



下屋・下弦材伏図  
○ - 小屋束: 105x105を示す。  
● - 小屋束: 150x150を示す。  
※特記無き部材は105x120頭継ぎとする。



渡り廊下・溝縁、床柱伏図  
○ - 小屋束: 105x105を示す。



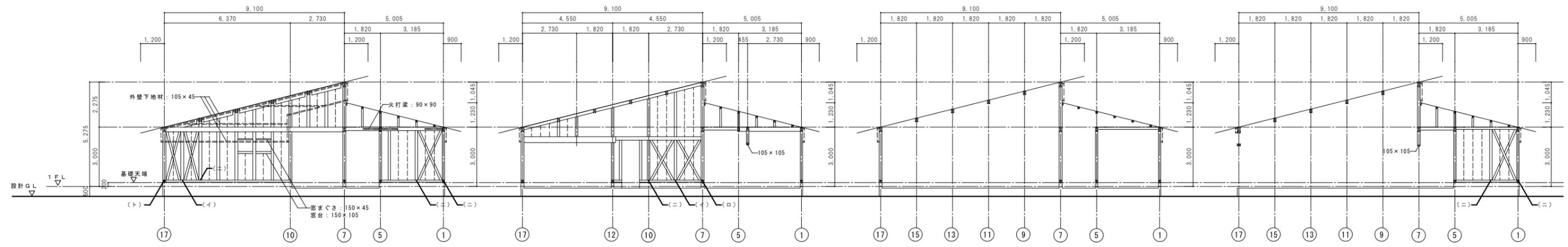
お 通り軸組図

の 通り軸組図

む 通り軸組図

づ 通り軸組図

又れ 通り軸組図

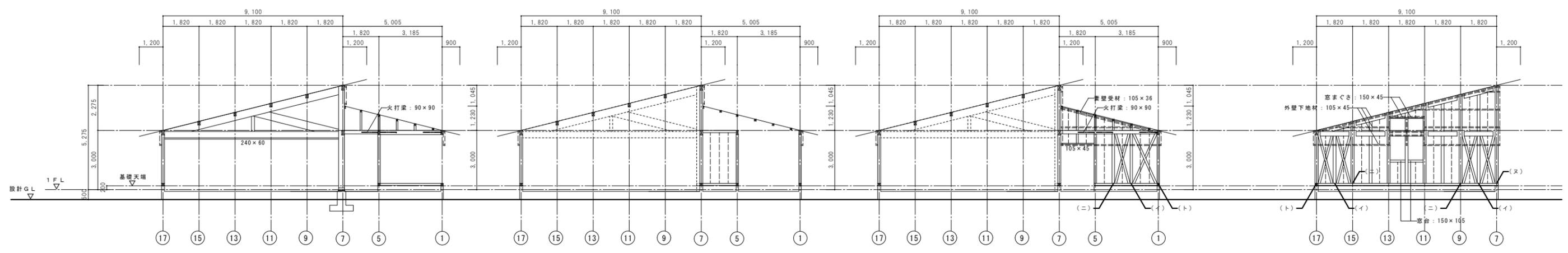


た 通り軸組図

又か 通り軸組図

わ 通り軸組図

又ぬ 通り軸組図



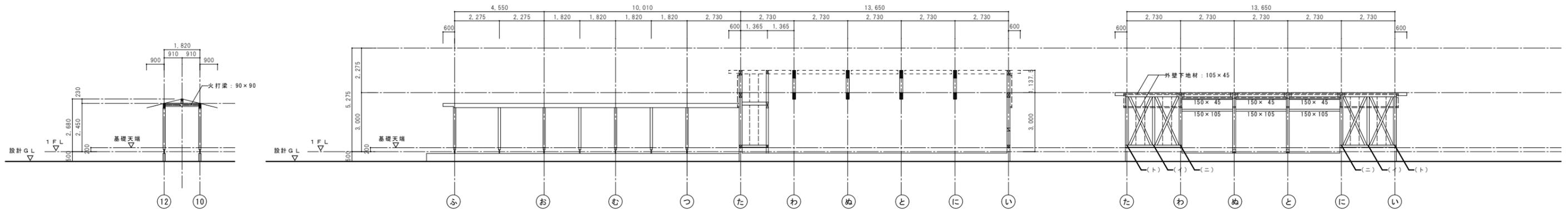
ぬ 通り軸組図

又と 通り軸組図

又ろ 通り軸組図

い 通り軸組図

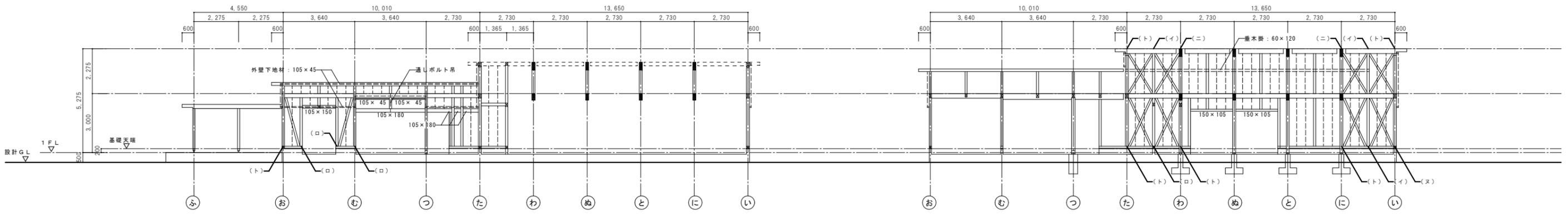
特記事項 . . . .	変更事項 . . . . 日付	一級建築士事務所 <b>株式会社 上野建築研究所</b> Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所 (三重県知事) 登録第 1-748号 管理建築士 今岡隆之 一級建築士登録第 55324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0801 三重県伊賀市平野見籠330-22 330-22 HIRAKINOH, IGA CITY, MIE PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-6272 FAX(0595)23-6273	日付 11.03.10 棟名 IMAOKA MATSUMOTO 照会 NISHIO OHNO	名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事) 設計図 図名 <本館棟> 軸組図-1 縮尺 A3版 1/200 A1版 1/100	図面番号 S20-07 構印
--------------------------	--------------------------------	--	---	--	--	-------------------



⑫ 通り軸組図

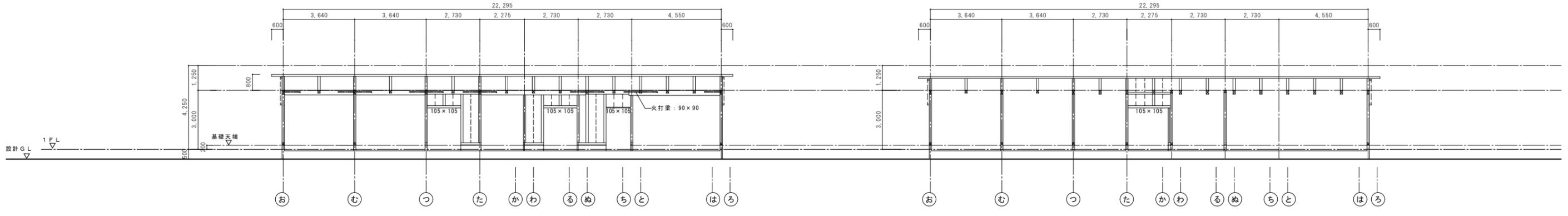
⑬ 通り軸組図

⑰ 通り軸組図



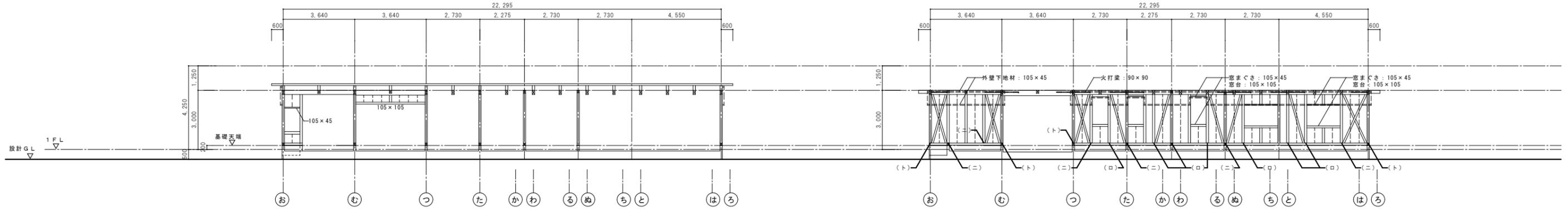
⑩ 通り軸組図

⑦ 通り軸組図



⑥ 通り軸組図

④ 通り軸組図



③ 通り軸組図

① 通り軸組図

特記事項	変更事項	 一級建築士事務所 <b>株式会社 上野建築研究所</b> Ueno Architect & Associates	一級建築士事務所 (三重県知事) 登録第 1-748号 管理建築士 今岡隆之 一級建築士登録第 55324号 松本正博 一級建築士登録第 187579号 〒518-0801 三重県伊賀市平野見籠330-22 330-22 HIRAKAWA 16A CITY, IGA PREFECTURE 518-0801 JAPAN TEL(0595)23-6272 FAX(0595)23-6273	日付	11.03.10	名称	川崎地区コミュニティセンター改築工事(建築主体工事)設計図	図面番号	S20-08
	日付				棟名	IMAOKA MATSUMOTO	縮尺	A3版 1/200 A1版 1/100	構印



接合金物				
種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用途	備考
短ざく金物 S		六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5×40 スクリーク Z S 50	1、2階管柱の連結、 胴差相互の連結等	
ひら金物 SM-12 SM-40		太めくぎ Z N 65	SM-12 かすがいと同様の用途  SM-40 管柱の連結等	
かね折り金物 SA		六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5×40 スクリーク Z S 50	通し柱と胴差の取 合	
ひねり金物 ST (右ひねりのみ)		太めくぎ Z N 40	たるきと軒げた、ま たは、もやの接合	
折曲げ金物 SF (右ひねり及び 左ひねり)		太めくぎ Z N 40	ひねり金物と同様の 用途	
くら金物 SS		太めくぎ Z N 40	ひねり金物と同様の 用途	
かど金物 CP・L CP・T		太めくぎ Z N 65	引張りをうける柱と 土台・横架材の接合	
山形プレート VP		太めくぎ Z N 90	かど金物と同様の用 途	
筋かいプレート BP		角根平頭ボルト M12 小型角座金 W2.3×30 六角ナット M12 太めくぎ Z N 65	筋かいを柱と横架材 に同時に接合	筋かい断面寸 法30mm×90mm に使用する。
筋かいプレート BP-2		角根平頭ボルト M12 小型角座金 W2.3×30 六角ナット M12 スクリーク Z S 50	筋かいを柱と横架材 に同時に接合	筋かい断面寸 法45mm×90mm に使用する。

種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用途	備考
羽子板ボルト SB・FSB ・E		六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5×40 スクリーク Z S 50	小屋ばりと軒げた、 軒げたと柱、はり と柱、胴差と通し柱の 連結	この他に、仮 止め用の穴の ない、S B E 2、S B F 2がある。
火打金物 HB		六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5×40 小型角座金 W2.3×30  Z F 55 平くぎ	床組及び小屋組の隅 角部の補強	

3階建木造住宅用接合金物リスト					
種類	記号	形状寸法 (単位: mm)	使用接合具	用途	許容耐力 (kgf)
ホールダウン金物 (引き寄せ金物)	HD-B10		六角ボルト、又は (2-M12) ラグスクリュー (2-L S12)	柱と基礎 (土台) 又は、管柱相互の 緊結	1000 (短期)
	HD-B15		六角ボルト、又は (3-M12) ラグスクリュー (3-L S12)		1500 (短期)
	HD-B20		六角ボルト、又は (4-M12) ラグスクリュー (4-L S12)		2000 (短期)
	HD-B25		六角ボルト、又は (5-M12) ラグスクリュー (5-L S12)		2500 (短期)
	HD-N5		太めくぎ Z N 90		500 (短期)
	HD-N10		太めくぎ Z N 90		1000 (短期)
	HD-N15		太めくぎ Z N 90		1500 (短期)
	HD-N20		太めくぎ Z N 90		2000 (短期)
	HD-N25		太めくぎ Z N 90		2500 (短期)
	S-HD10		六角ボルト (2-M12) 又は ラグスクリュー (2-L S12)		1000 (短期)
S-HD15		六角ボルト (3-M12) 又は ラグスクリュー (3-L S12)	1500 (短期)		
S-HD20		六角ボルト (4-M12) 又は ラグスクリュー (4-L S12)	2000 (短期)		
S-HD25		六角ボルト (5-M12) 又は ラグスクリュー (5-L S12)	2500 (短期)		

接合具			
種類・記号	形状・寸法	種類・記号	形状・寸法
かすがい C120 C150		全ねじボルト M12×115 六角袋ナット M12	
手違いかすがい C C120 C C150 (右ひねり及び左ひねり)		角座金 W4.5×40	
太めくぎ Z N 40 Z N 65 Z N 90		角座金 W9.0×80	
スクリーク Z S 50		丸座金 RW9.0×90	
六角ボルト M12 六角ナット M12		座金付ボルト M16W	
六角ボルト M16 六角ナット M16		アンカーボルト A-40	
ラグスクリュー L S 12		アンカーボルト A-60 A-70	

(註) H12建設省告示第1460号の木造の継手及び仕口の構造方法をチェックの上、適切な金物で施工すること。

木構造耐震補強工事特記仕様書 No1

第1章 工事概要

1. 工事名称 川崎地区コミュニティセンター改築工事に伴う耐震改修工事
2. 発注者 亀山市長 根井義之
3. 工事場所 亀山市川崎町 地内
4. 主要用途 住宅離れ ⇒ 集会所
5. 規模
  - 面積：計算書による
  - 構造  木造  木造鉄骨併用
  - 既存基礎  鉄筋コンクリート造布基礎  無筋コンクリート造布基礎  ひび割れ有りコンクリート造布基礎  その他の基礎
6. 工事範囲 本工事は、「川崎地区コミュニティセンター改築工事に伴う耐震改修工事」に関するものである。なお、別途設備工事との取り合いに留意のこと。
7. 工事計画 本工事は、既存の木造構造体に対して部材を補修又は増設することに依って耐震性の向上及び構造の改善を図るもので、既存構造体との接合が極めて重要である。また、この施工は限られた場所で行われるもので、一般の建築工事とは施工方法等相当異なる面がある。よって、設計の趣旨及び最終的な建物の状態を十分理解した上で工法を選び、施工計画をたてなければならない。特に次の点に十分注意すること。
  - a) 構造体寸法、階高寸法その他は実測による。
  - b) 適切な接合金物を選択する。
  - c) 既存構造体の金物締め直しを行う。
  - d) 騒音、粉塵及び汚染などの支障を及ぼす範囲をできるだけ小さくする。
  - e) 仕上げ及びコンクリート等の撤去に際しては、最小限必要な範囲とし残りの部分を傷めないように十分注意する。又、腐朽部分を取り替える。
  - f) 既存配管、配線及び器具等を十分に調査し、損傷を与えないように注意する。
  - g) 施工に先立ち全行程の施工計画書を作成し、施工及び設計者に承認を得ること。試験を伴う場合は、試験方法、及び結果報告を遅滞なく行うこと。なお、施工計画書は工事種目別ごとに作成すること。

8. 工事内容

- 工事項目は下記による。
- 耐力壁設置【筋交い】 ( 外壁面  内壁面)
  - 耐力壁設置【面材】 ( 外壁面  内壁面)
  - 耐力壁設置【鉄骨  鉄骨  鉄骨】
  - 金物取付
  - 金物の締め直し
  - 屋根面補強
  - 小屋面補強
  - 2階床面補強
  - 1階床下補強
  - 基礎補強
  - 地盤補強
  - 腐朽部分取り替え
  -
- 又上記工事に伴う撤去・修復等の工事も併せて行う。
- 真壁補修  有 ( 土壁補修  モルタル補修)
  - 無 ※無しの場合、真壁の耐力は考慮しない

第2章 総則

1. 適用範囲 本工事は、設計図及び本特記仕様書に基づくものとし、これらの記載なき場合は、次に定める優先順位の仕様書に拠ることとする。
  - (1) 本特記仕様書
  - (2) 「木造住宅の耐震精密診断と補強方法」日本建築防災協会
  - (3) 「木造住宅の耐震診断と補強方法2004年版」日本建築防災協会
2. 疑義又は軽微な変更 図面と仕様書との内容に相違があった場合や不明な箇所が生じた場合は、すべて監督員との協議に拠るものとする。
3. 工事写真 次の写真は工事記録として残すこと。
  - (1) 解体時及び解体完了時の主要構造部
  - (2) 改修箇所の改修前、中、後
  - (3) 脱着機器等の前、後

第3章 仮設工事

1. 施工内容 工事期間中に建物の使用が考えられるため、安全に対し十分な配慮を行うこと。場合によっては仮設間仕切りや仮囲い等を設け工事関係者以外の工事箇所立入を禁止すること。
2. 施工上の注意事項 仮設工事は次の各項に留意して行うこと。
  - a) 既存部材の仕上げ材及び器具類に損傷を与えないよう充分注意すること。なお、場合によっては必要に応じてシート等で養生する。

第4章 特別な材料・工法等

1. 特別な材料  別添図面に示す  無し
2. 特別な工法  別添図面に示す  無し

接合補強金物標準図				
特記：使用金物類は、日本住宅・木材技術センターのZ金物相当品とする。下図は告示による表記であり、メーカー仕様による該当品の使用も可である。				
<p>い <input type="checkbox"/> 短ほぞ差し、かすがい打ち</p> <p>短期許容耐力 1.62kN</p>	<p>ろ <input type="checkbox"/> 長ほぞ差し込み柱打ち</p> <p>短期許容耐力 (3.81kN 暫定数値)</p>	<p>か <input type="checkbox"/> カド金物 (CP-L)</p> <p>短期許容耐力 3.38kN</p>	<p>は <input type="checkbox"/> カド金物 (CP-T)</p> <p>短期許容耐力 5.07kN</p>	<p>こ <input type="checkbox"/> 山形プレート (VP)</p> <p>短期許容耐力 5.88kN</p>
<p>に <input type="checkbox"/> 羽子板ボルト/スクリュー釘なし (SB-F2, SB-E2)</p> <p>短期許容耐力 7.50kN</p>	<p>ろ <input type="checkbox"/> 短冊金物/スクリュー釘なし (S)</p> <p>短期許容耐力 7.50kN</p>	<p>ほ <input type="checkbox"/> 羽子板ボルト+スクリュー釘あり (SB-F, SB-E)</p> <p>短期許容耐力 8.50kN</p>	<p>ろ <input type="checkbox"/> 短冊金物+スクリュー釘あり (S)</p> <p>短期許容耐力 8.50kN</p>	<p>へ <input type="checkbox"/> 引き寄せ金物 (HD-B10, S-HD10)</p> <p>短期許容耐力 10.0kN</p>
<p>と <input type="checkbox"/> 引き寄せ金物 (HD-B15, S-HD15)</p> <p>短期許容耐力 15.0kN</p>	<p>ち <input type="checkbox"/> 引き寄せ金物 (HD-E20, S-HD20)</p> <p>短期許容耐力 20.0kN</p>	<p>り <input type="checkbox"/> 引き寄せ金物 (HD-E25, S-HD25)</p> <p>短期許容耐力 25.0kN</p>	<p>ぬ <input type="checkbox"/> 引き寄せ金物 (HD-B15, S-HD15) x 2個</p> <p>短期許容耐力 30.0kN</p> <p>(と)を2個使ったもの</p>	

基礎補強標準図 <input type="checkbox"/> 全面 (鉄筋コンクリート基礎に該当) <input type="checkbox"/> 部分 (クラック補修)		床下補強標準図 (基礎がない場合)	
<p>使用材料等</p> <p>A 基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 直接基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> ベタ基礎</li> <li><input type="checkbox"/> 杭基礎 <input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> 抗耐力 kN/本 (長期)</li> </ul> <p>B 鉄筋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> SD295A (径 )</li> <li><input type="checkbox"/> SD345 (径 )</li> <li><input type="checkbox"/></li> </ul> <p>C コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <math>f_c = \text{N/mm}^2</math></li> </ul> <p>D あと施工アンカー <input type="checkbox"/> 接着系アンカー <input type="checkbox"/> 金属系アンカー</p> <p>E その他</p>	<p><input type="checkbox"/> 布基礎補強</p> <p>※別に配筋の定めがある場合は、それに依る。</p>	<p><input type="checkbox"/> ベタ基礎補強</p> <p>※別に配筋の定めがある場合は、それに依る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 面材による補強</p> <p><input type="checkbox"/> 斜材による補強</p>

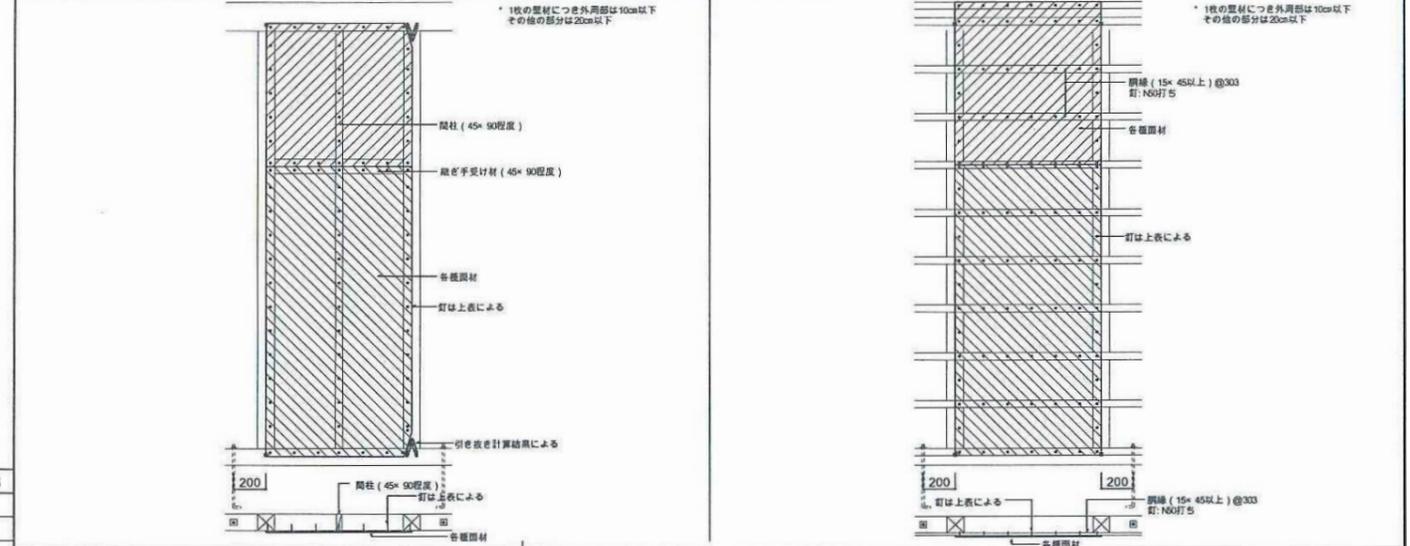
木構造耐震補強工事特記仕様書No.2 耐力壁標準図

□ 壁によるもの		□ 筋かいによるもの			
工法	壁倍率	工法	壁倍率	工法	壁倍率
□ 土塗り壁	0.5	□ 木材15mm×90mm以上	1.0	□ 鉄筋9.0mm以上	1.0
				□ 木材30mm×90mm以上	1.5

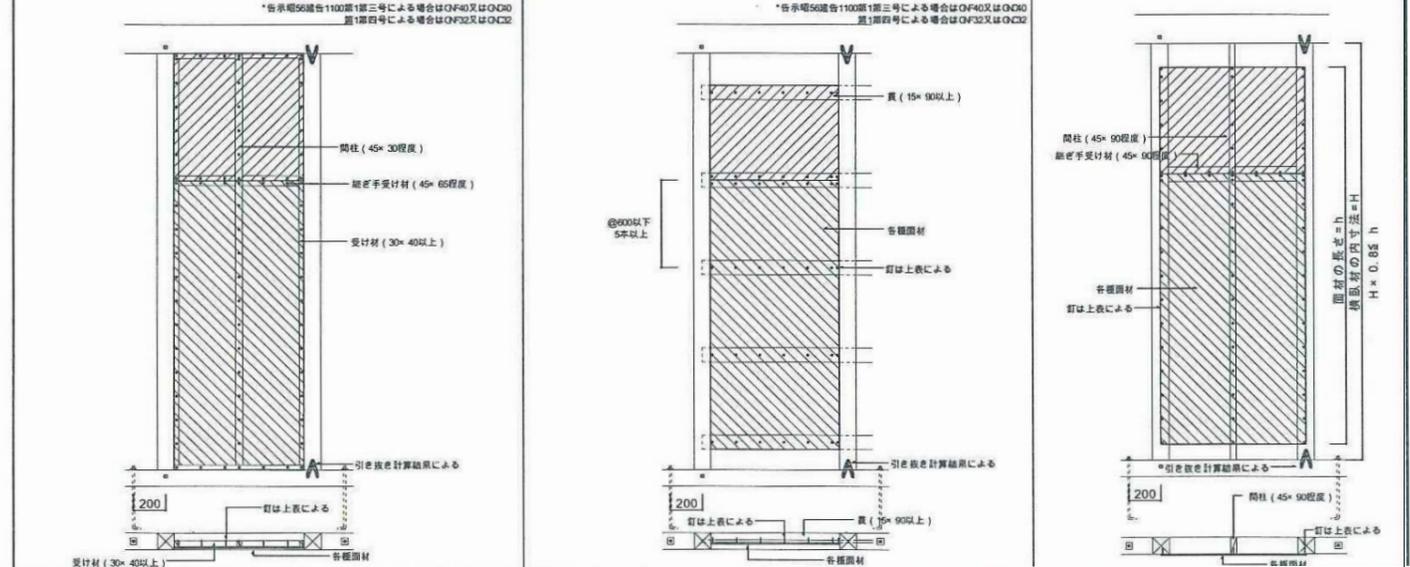
工法	壁倍率	工法	壁倍率	工法	壁倍率
□ 木摺等を打った壁(片面)	0.5	□ 木材45mm×90mm以上	2.0	□ 木材90mm×90mm以上	3.0
□ 木摺等を打った壁(両面)	1.0				

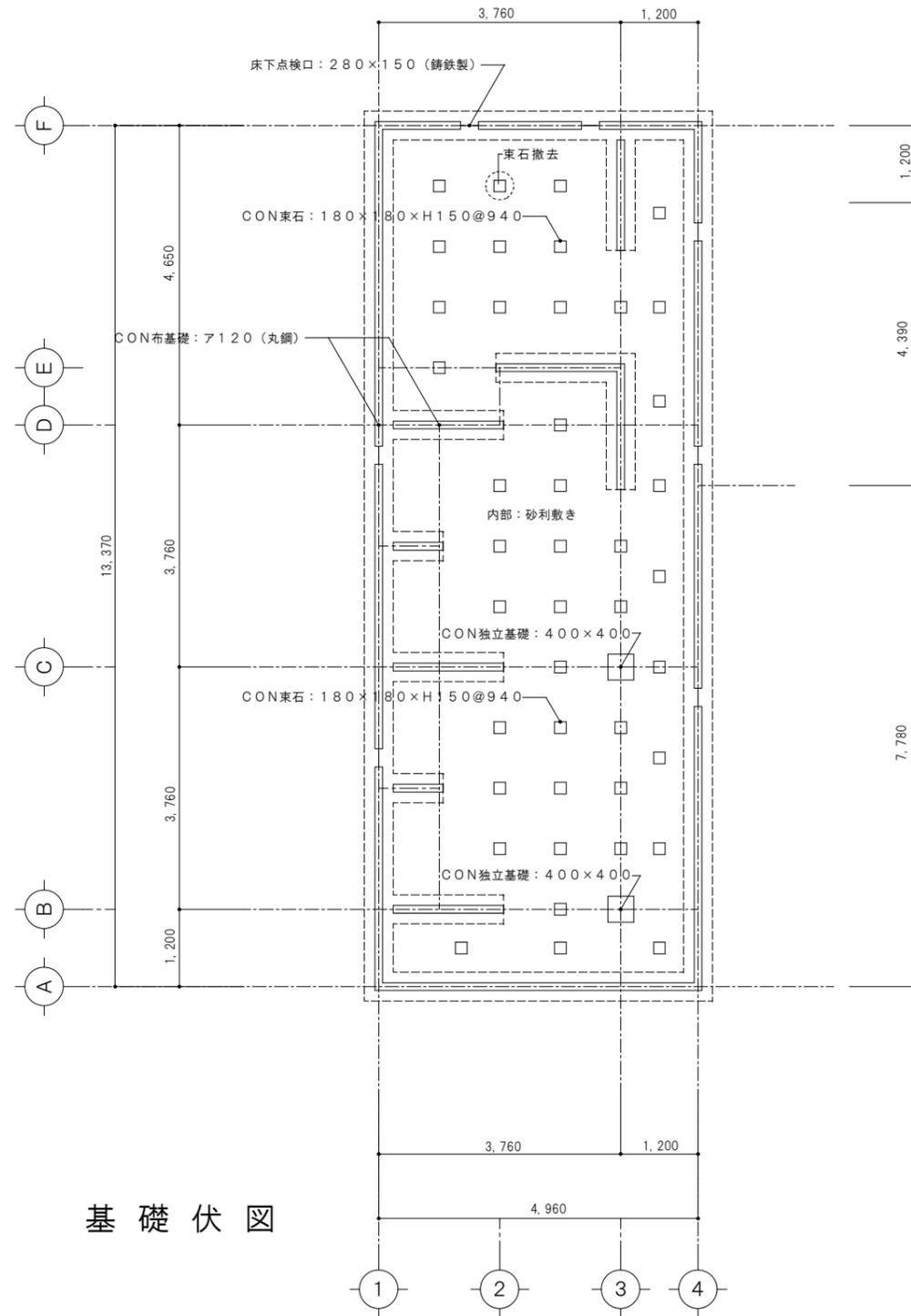
□ 上図は、告示による表記でありメーカー仕様による該当品の使用も可である。

□ 面材によるもの					
□ 大壁タイプ			□ 網縁タイプ		
材料	設計根拠	釘打ちの方法 間隔 (cm)	壁倍率	材料	設計根拠
□ 構造用合板 t=7.5 (屋外壁などで耐候措置のないもの)	N50	15以下	2.5	□ 構造用合板 t=7.5 (屋外壁などで耐候措置のないもの)	N50
□ 構造用合板 t=5.0 (その他の屋外壁等)				□ 構造用合板 t=5.0 (その他の屋外壁等)	
□ 構造用合板 t=5.0 (上記以外)	N50	15以下	2.0	□ 構造用合板 t=5.0 (上記以外)	N50
□ パーティクルボード t=12.0				□ パーティクルボード t=12.0	
□ ハードボード t=5.0	GNF40 又は GNC40	15以下	2.0	□ ハードボード t=5.0	GNF40 又は GNC40
□ 硬質木片セメント板 t=12.0				□ 硬質木片セメント板 t=12.0	
□ フレキシブル板 t=6.0	SN40	*	1.0	□ フレキシブル板 t=6.0	SN40
□ 石綿パーライト板 t=12.0				□ 石綿パーライト板 t=12.0	
□ 石綿けい酸カルシウム板 t=8.0	N38	15以下	1.0	□ 石綿けい酸カルシウム板 t=8.0	N38
□ 炭酸マグネシウム板 t=12.0				□ 炭酸マグネシウム板 t=12.0	
□ パルプセメント板 t=8.0	N38	15以下	1.0	□ パルプセメント板 t=8.0	N38
□ 石膏ボード t=12.0				□ 石膏ボード t=12.0	
□ シーディングインシュレーションボード t=12.0				□ シーディングインシュレーションボード t=12.0	
□ ラスシート (角波亜鉛鉄板 t=0.4, メタルラス t=0.6)				□ ラスシート (角波亜鉛鉄板 t=0.4, メタルラス t=0.6)	

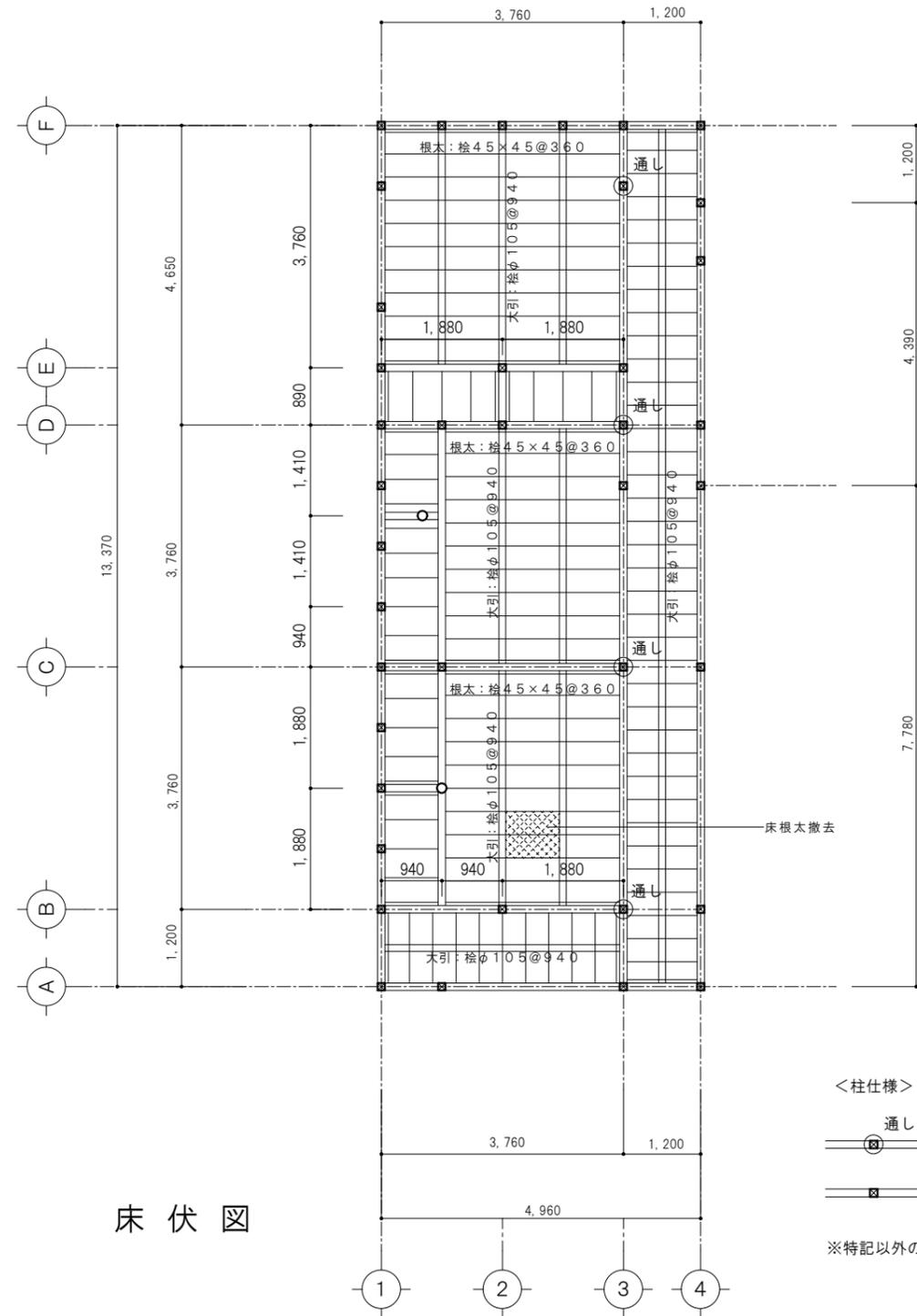


□ 受け材タイプ				□ 貫タイプ				□ 準耐力壁タイプ			
材料	設計根拠	釘打ちの方法 間隔 (cm)	壁倍率	材料	設計根拠	釘打ちの方法 間隔 (cm)	壁倍率	材料	設計根拠	釘打ちの方法 間隔 (cm)	壁倍率
□ 構造用合板 t=7.5	N50	15以下	2.5	□ 構造用合板 t=7.5	N50	15以下	1.5	□ 構造用合板 t=7.5	N50	15以下	1.5
□ N'-パーティクルボード t=12.0				□ N'-パーティクルボード t=12.0							
□ 構造用A'材 (JAS昭62農水告360)	GNF32, GNC32	*	1.5	□ 構造用A'材 (JAS昭62農水告360)	GNF32, GNC32	*	1.0	□ 構造用A'材 (JAS昭62農水告360)	GNF32, GNC32	*	1.0
□ 石膏ボード + 石膏7'ラシ-塗り t=15.0				□ 石膏ボード + 石膏7'ラシ-塗り t=15.0							
□ 石膏ボード t=12.0			1.0	□ 石膏ボード t=12.0			0.5	□ 石膏ボード t=12.0			0.5





基礎伏図

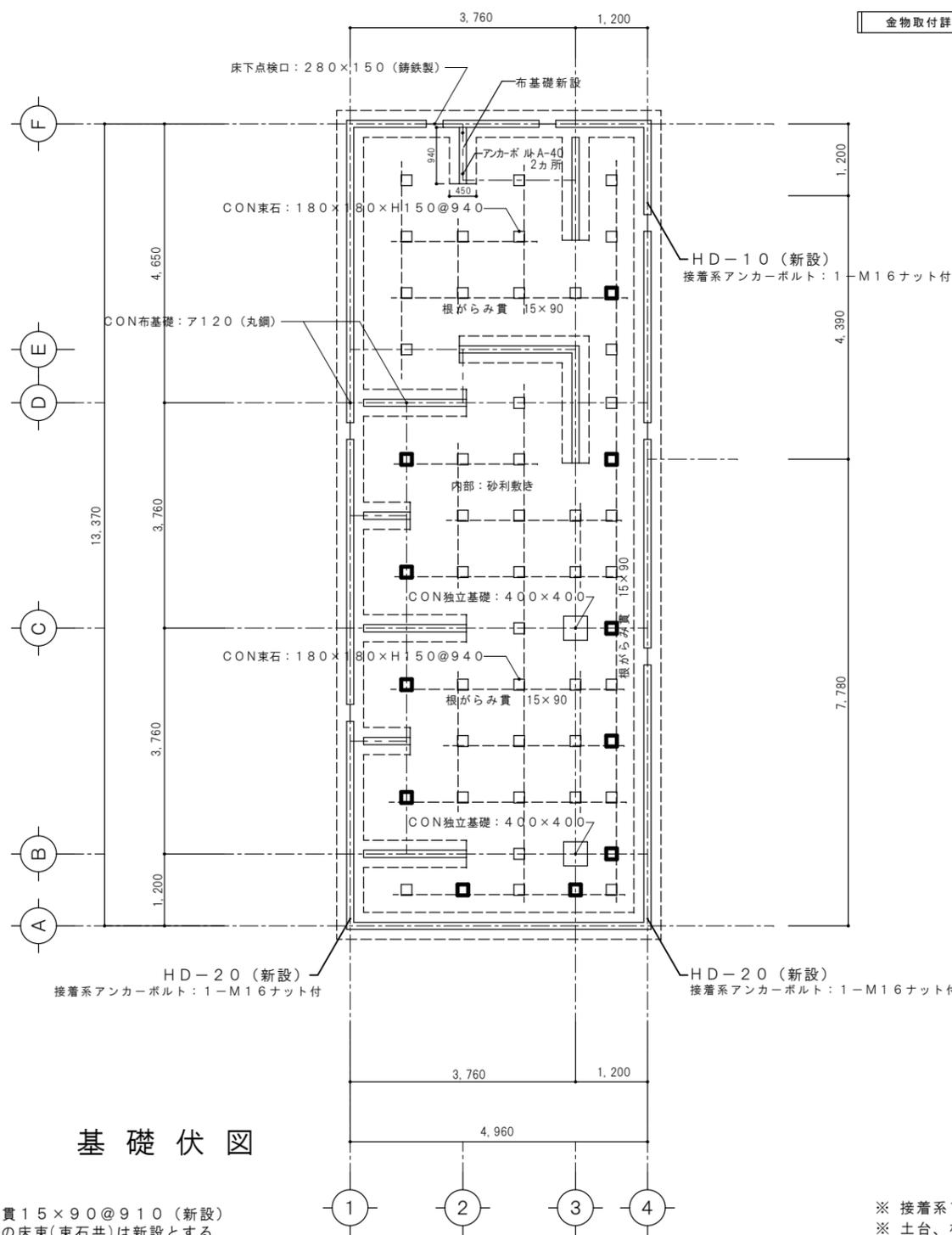


床伏図

<柱仕様>

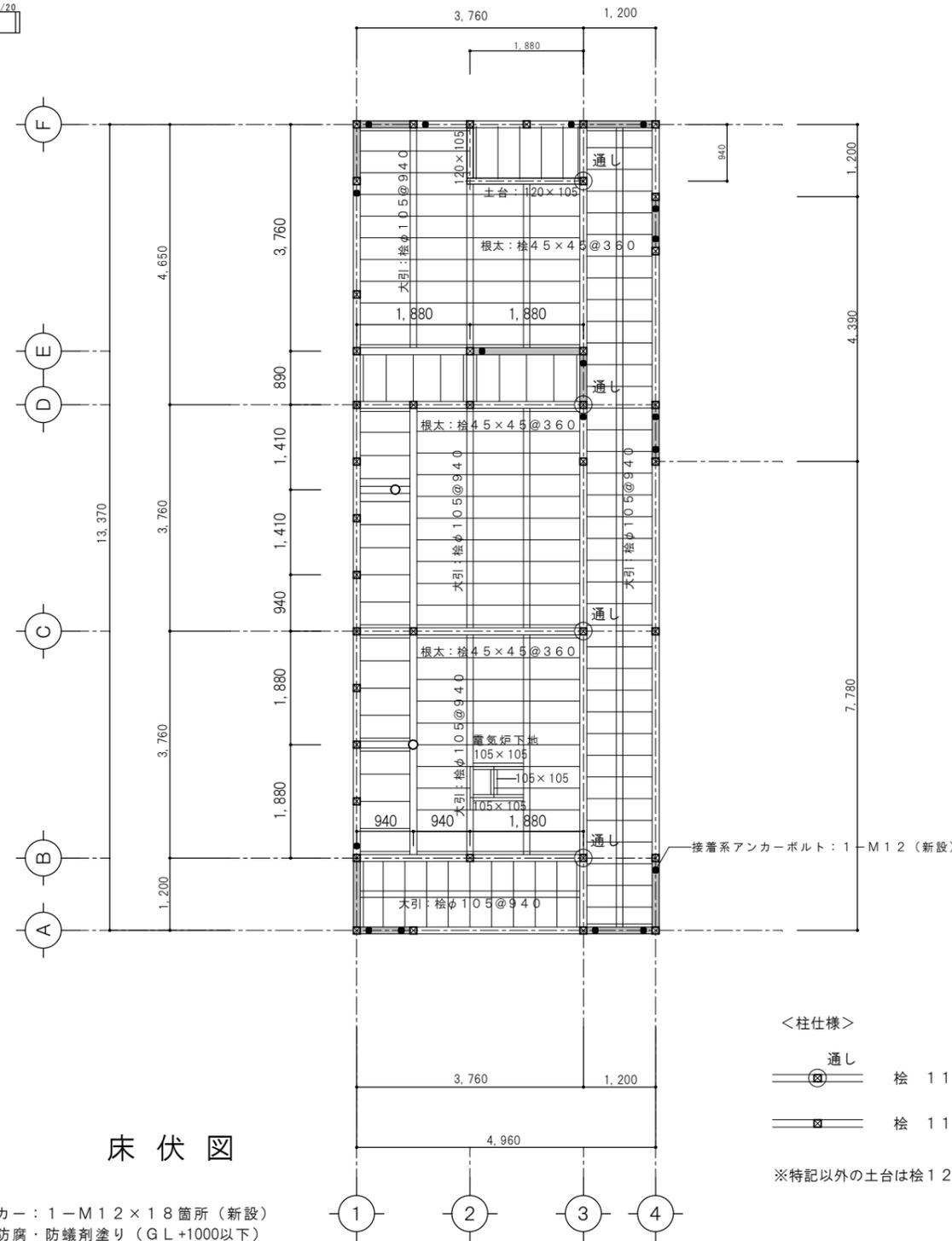
- 通し 桧 115×115
- 桧 115×115

※特記以外の土台は桧120×105



基礎伏図

※ 根絡み貫 15×90@910 (新設)  
 ※ 太線部の床束(東石共)は新設とする。  
 ※ HD金物はY方向へ設置する。



床伏図

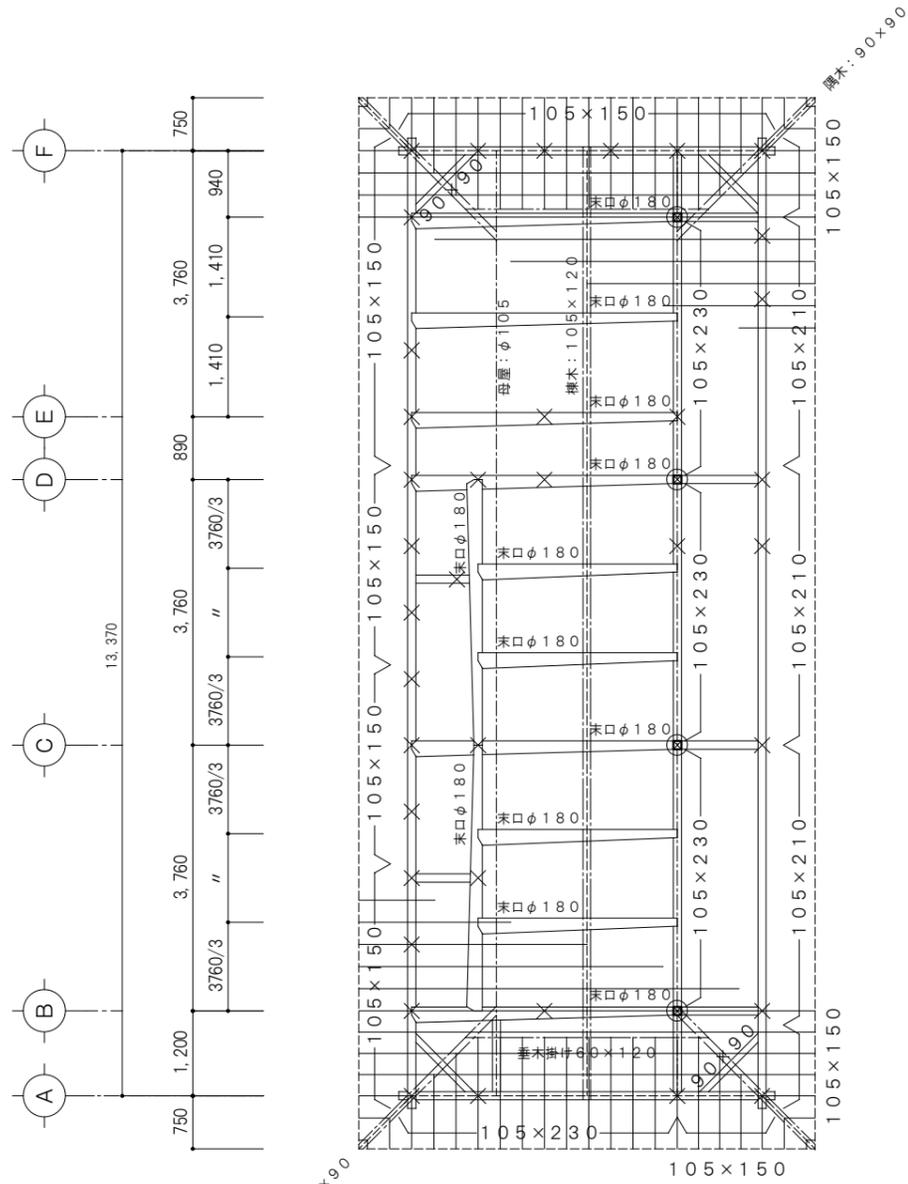
※ 接着系アンカー: 1-M12×18箇所 (新設)  
 ※ 土台、柱: 防腐・防蟻剤塗り (GL+1000以下)

<柱仕様>

- 通し 桧 115×115
- 桧 115×115

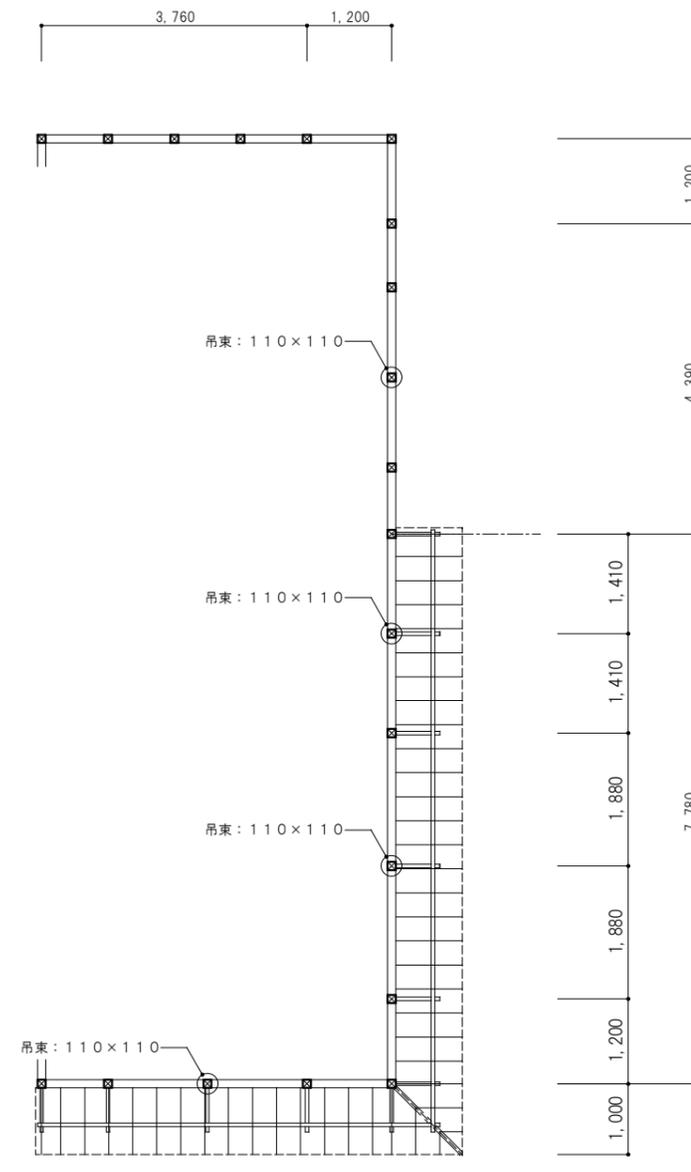
※特記以外の土台は桧120×105





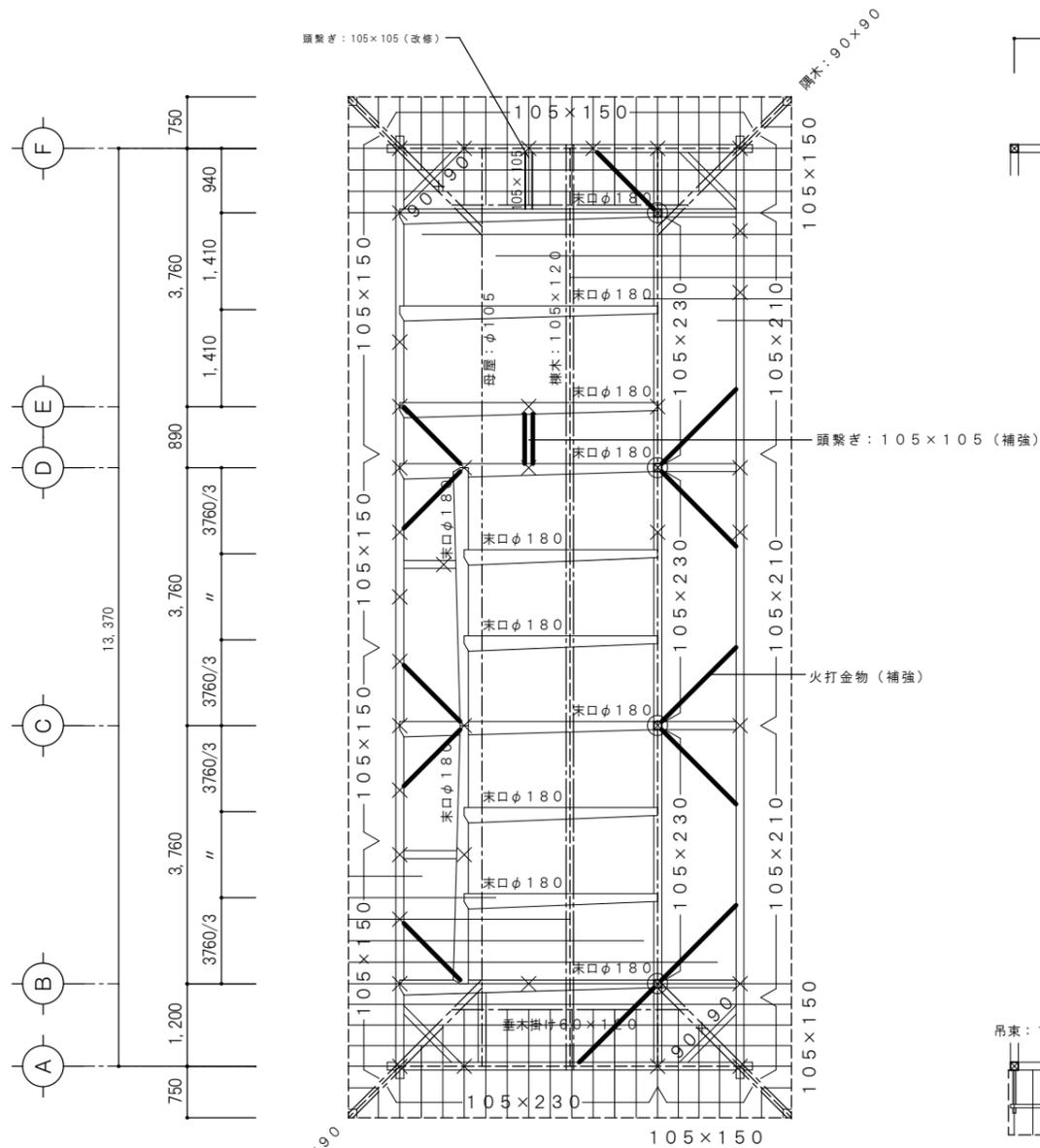
小屋伏図

※ 特記以外の頭繋ぎ 105×150



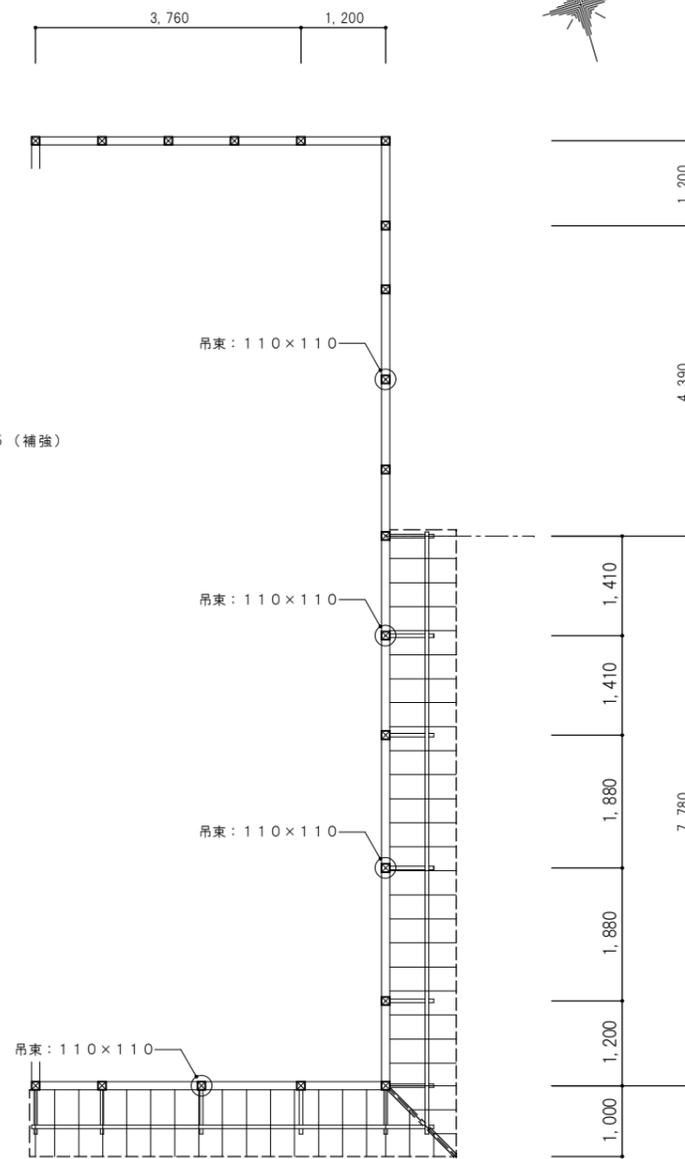
庇伏図

部 材 リ ス ト			
区分	部位	材種	寸法
<軸組床組>	柱	桧	115×115
	間柱	-	
	筋違い	杉	30×105
	土台	桧	120×105
	火打土台	-	
	窓まぐさ	桧	105×150
	窓台	桧	105×105
	吊束	桧	110×110
	胴縁	杉	18×36
	床束	桧	105×105
	大引	桧丸太	φ105
	根絡み貫	-	
	根太	桧	45×45@360
荒床	杉小巾板	ア10.5×300	
<和小屋組>	梁・桁	松	図示
	小屋梁	松丸太	図示
	頭繋ぎ	松	105×150
	火打梁	松	90×90
	小屋束	松	100×100
	小屋筋違い	-	
	棟木	杉	105×120
	隅木	杉	90×90
	母屋	杉	φ105
	垂木	杉	45×45@313
	垂木掛け	杉	60×120
野地板	杉小巾板	ア9.0 (杉皮張)	
野地板 (軒先)	杉小巾板	ア9.0 (化粧)	
<庇出し桁>	出し桁	松	50×75
	腕木	松	50×75
	隅木	松	50×50
	垂木	杉	30×35@340
	野地板	杉小巾板	ア9.0 (化粧)



小屋伏図

※ 特記以外の頭繋ぎ 105×150  
(小屋筋違い 15×90@1820 新設)



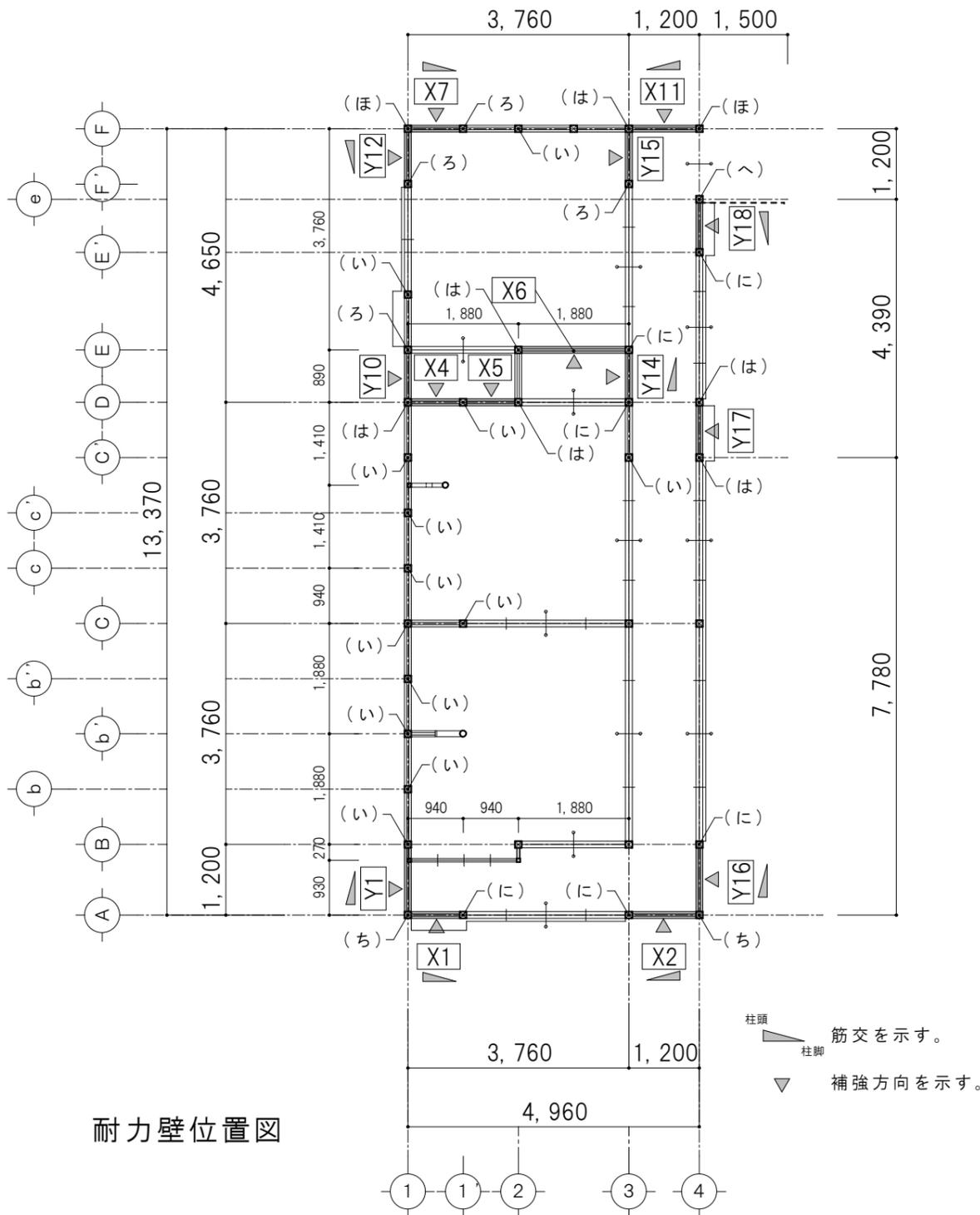
庇伏図

部 材 リ ス ト

区分	部位	材種	寸法	補強	改修
<軸組床組>	柱	桧 特一	105×105		○
	管 柱	杉 特一	105×105		○
	間 柱	桧 特一	36×105		○
	半 柱	桧 特一	60×105		○
	筋違い	桧 (無筋)	30×105		○
	土 台	桧 特一	120×105		○
	窓まぐさ	桧 特一	105×45		○
	窓 台	桧 特一	105×105		○
	胴 縁	桧 特一	18×36		○
	床 束	桧 特一	105×105		○
	大 引	桧 特一	φ105		○
	根絡み貫	杉 特一	15×90		○
	根 太	桧 特一	45×45@360		○
	荒 床	コンパネ	712		○
構造用合板	ラワン 1級B-C	712		○	
<和小屋組>	頭繋ぎ	杉	105×105	○	○
	小屋筋違い	杉	15×90	○	
<外壁化粧材>	外 壁	桧 上小	712×105		○
	見切縁	桧 上小	20×90×2枚		○
	見切縁	桧 上小	20×45		○
	付土台	桧 見え掛り上小	60×45		○
	付 柱	桧 見え掛り上小	120×45		○
	付 梁	桧 上小	150×45		○
	付 梁	桧 上小	300×45		○
	付鴨居	桧 上小	45×90		○
	妻 壁	桧 上小	712×120		○
縦 桟	桧 上小	40×40		○	
雨押え	桧 上小	20×90		○	
<その他>	布基礎	コンクリート	L=940		○
	既製金物	接着系アンカー	図示 一式	○	
	既製金物	アンカーボルト	図示 一式	○	
	既製金物	告示金物	図示 一式	○	



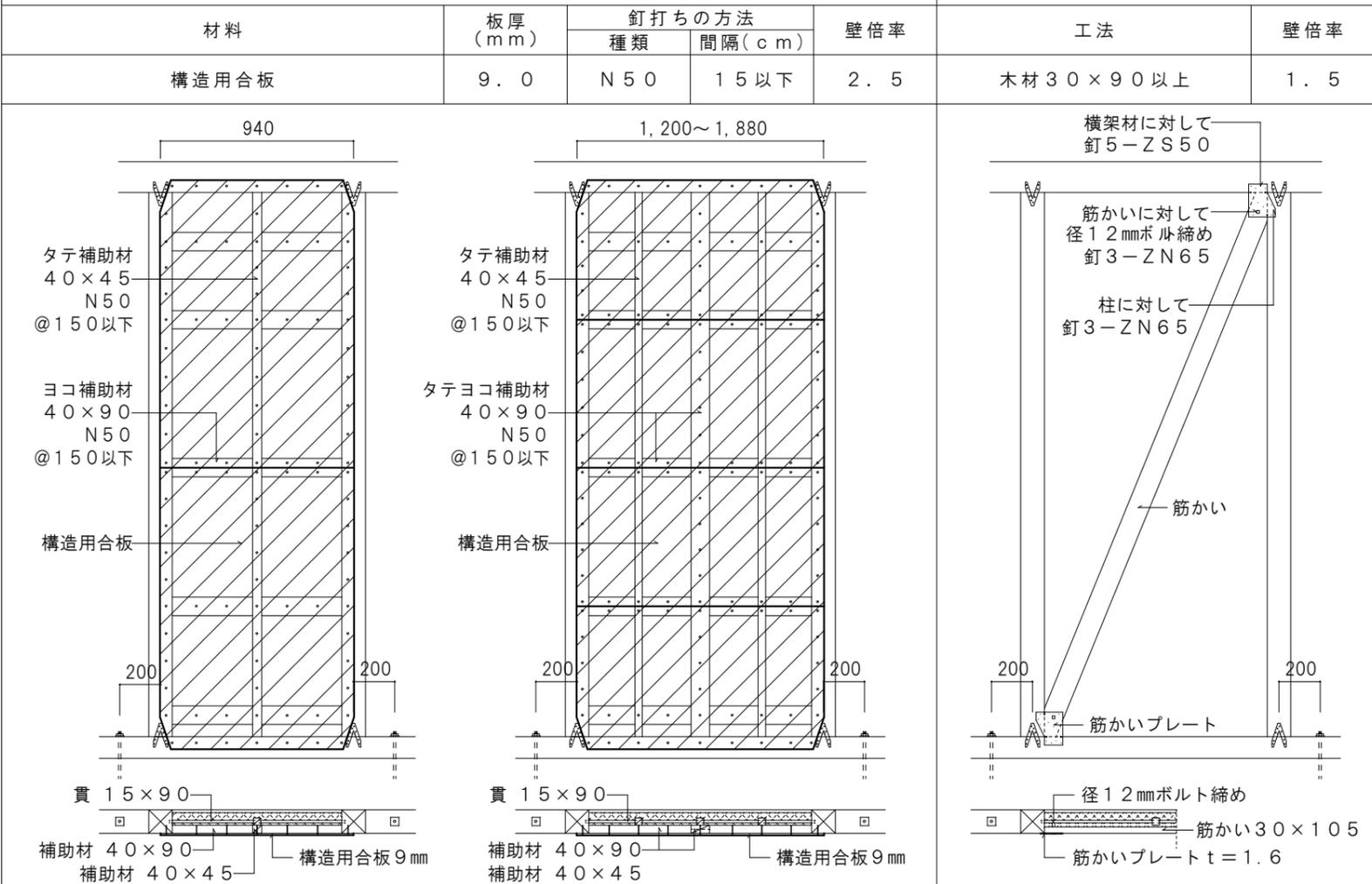




耐力壁位置図

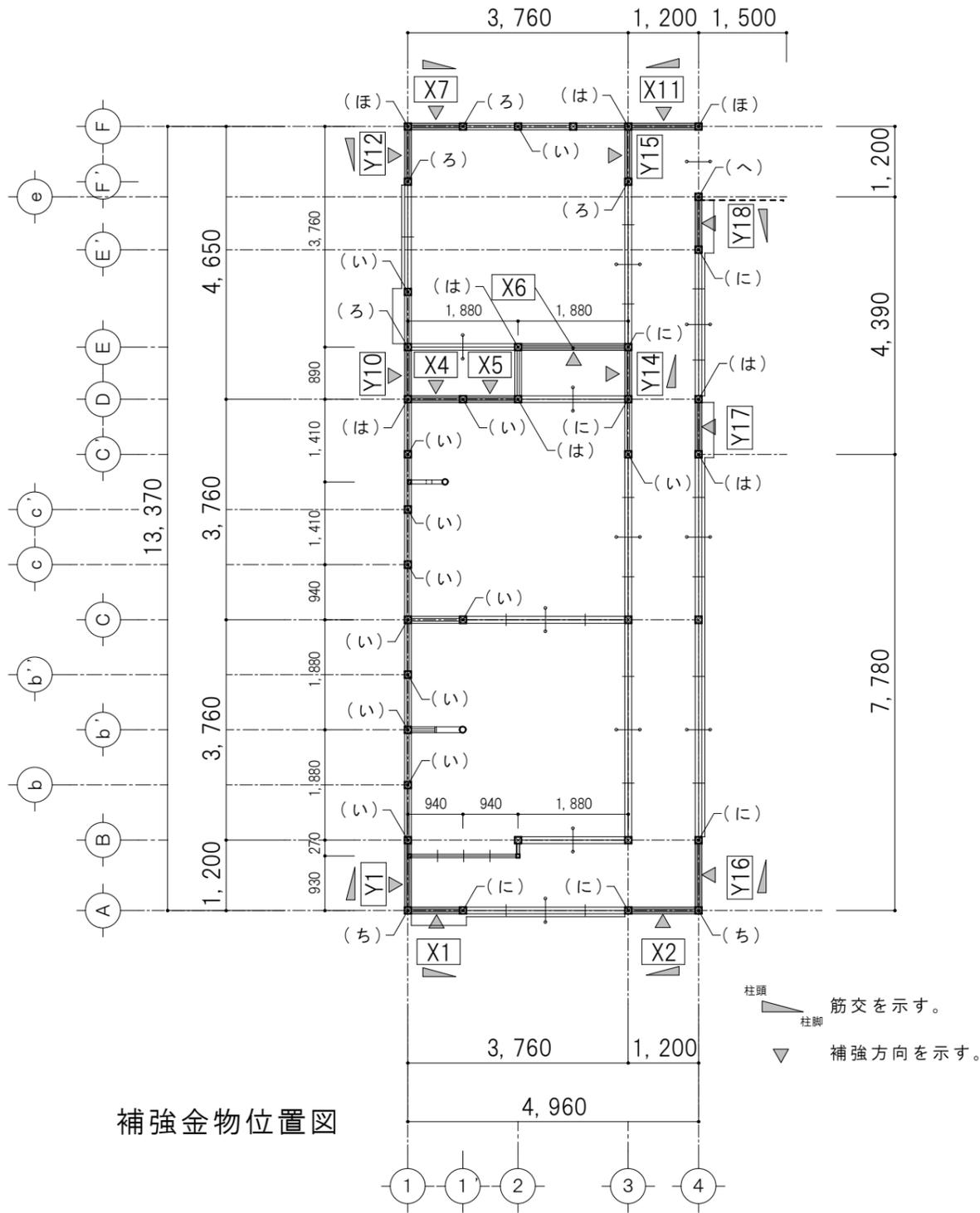
※補強計算において、Y1, 14, 16, 18については、HD金物設置の際に、既存土壁を一部落すことが考えられるため、既存土壁の耐力を計算に反映してありません。

面材による補強（真壁）



壁番号	補強内容
X1	構造用合板 t=9mm、既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
X2	構造用合板 t=9mm（横使い）、既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
X4	構造用合板 t=9mm補強
X5	構造用合板 t=9mm補強
X6	構造用合板 t=9mm（横使い）補強
X7	既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
X11	既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
Y1	既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
Y10	構造用合板 t=9mm補強
Y12	既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
Y14	構造用合板 t=9mm、新設筋交30×90以上シングル補強
Y15	構造用合板 t=9mm補強
Y16	構造用合板 t=9mm（横使い）、既存筋交30×105シングル筋交プレート補強
Y17	構造用合板 t=9mm補強（雨戸用、手繰り壁の回復を前提とする）
Y18	構造用合板 t=9mm、新設筋交30×90以上シングル補強

註記事項（金物は上下に取付とし、柱脚部のアンカーボルトがない場合、必ず設置する）  
 ※補強壁及びその他の壁において、新たな劣化を発見した場合は、全て補修を行うこと。  
 また、補強により、既存土壁に傷をつけた場合は、当該土壁、又は、モルタルによる補修を行うこと。



補強金物位置図

補強金物標準図

<p><b>い</b> 短ほぞ差し、かすがい打ち (短期許容耐力 1.62KN)</p>	<p><b>ろ</b> 長ほぞ差し込み栓打ち (短期許容耐力 3.81KN 暫定数値)</p> <p>かど金物：CP-L、L (短期許容耐力 3.38KN)</p> <p>(は) に準ずる</p>	<p><b>は</b> 山形プレート：VP かど金物：CP-T (短期許容耐力 5.88KN) (短期許容耐力 5.07KN)</p> <p>※上記のV金物に替えて、スリムプレート(CP-T相当)使用も可</p>
<p><b>に</b> 羽子板ボルト：SB-E2、F2 短ざく金物：S/スクリュー釘なし (短期許容耐力 7.50KN)</p>	<p><b>ほ</b> 羽子板ボルト：SB-E、F 短ざく金物：S+S/スクリュー釘なし (短期許容耐力 8.50KN)</p>	
<p><b>へ</b> 引寄せ金物：HD-10 (短期許容耐力 10.0KN)</p>	<p><b>と</b> 引寄せ金物：HD-15 (短期許容耐力 15.0KN)</p>	<p><b>ち</b> 引寄せ金物：HD-20 (短期許容耐力 20.0KN)</p> <p>※接合方法は(と)に準ずる</p>
<p><b>り</b> 引寄せ金物：HD-25 (短期許容耐力 25.0KN)</p> <p>※接合方法は(と)に準ずる</p>	<p><b>ぬ</b> 引寄せ金物：HD-15×2個 (短期許容耐力 30.0KN)</p> <p>(と)を2個使ったもの</p>	<p><b>註記事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用金物はZマーク相当品とする。また、メーカー仕様の場合は短期許容耐力が、同等以上であれば使用可。</li> <li>2. 引寄せ金物は、Y方向へ取付とする。</li> <li>3. その他、取付金物の破損・ゆるみ等がある場合は補修を行う。</li> </ol>